



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub PRO

1200/1051

ユーザーズガイド

POD管理者編



- 第1章 本書の概要
- 第2章 トレイ設定
- 第3章 調整
- 第4章 コントローラー設定
- 第5章 設定メニュー画面での設定
- 第6章 ウィークリータイマー設定
- 第7章 ユーザー認証/部門管理
- 第8章 ネットワーク設定
- 第9章 セキュリティー設定
- 第10章 Web Utilities設定
- 第11章 PageScope Web Connection設定
- 付録
- 索引

はじめに

このたびは、bizhub PRO 1200/1051(デジタル式電子写真複写機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザーズガイドは、bizhub PRO 1200/1051の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。最適な状態できれいなコピーをおとりいただくために、このユーザーズガイドを常時ご覧いただける場所に保管してください。

登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴ、The essentials of imagingは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub、bizhub PROは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標です。

Copyright © 2009 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 製造会社および販売会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

第 1 章 本書の概要

マニュアル体系について	1-2
機械状態画面での設定	1-3
〔トレイ設定〕	1-3
〔用紙条件登録 / 削除〕	1-3
〔不定形サイズ登録 / 削除〕	1-4
〔調整〕	1-4
〔コントローラー設定〕	1-4
設定メニュー画面での設定	1-5
ブラウザ操作での設定	1-6
Web Utilities	1-6
PageScope Web Connection	1-7

第 2 章 トレイ設定

トレイ設定の概要	2-2
用紙サイズの設定	2-2
用紙条件の項目	2-2
エアブロー機能の設定	2-3
用紙種類の仕様	2-4
トレイ 1 ～ 8 にトレイ設定する	2-6
トレイに設定した用紙条件を変更する	2-13
PI トレイにトレイ設定する	2-19
PI トレイにインターシート用の定形検知サイズを変更する	2-19
PI トレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定する	2-20
PI-PFU トレイにトレイ設定する	2-23
PI-PFU トレイにインターシート用のトレイ設定する	2-23
PI-PFU トレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定をする	2-26
PB トレイにトレイ設定する	2-29
PB トレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定	2-29
用紙条件を登録する	2-32
用紙条件を削除する	2-37
不定形サイズを登録・編集 / 削除する	2-38
不定形サイズを登録・編集する	2-38
登録した不定形サイズを削除する	2-40

第 3 章 調整

調整の概要	3-2
調整項目一覧	3-2
01 マシン調整	3-10
01 倍率調整 > 01 プリンター表面通紙方向倍率調整	3-10
01 倍率調整 > 02 プリンター裏面通紙方向倍率調整	3-11
01 倍率調整 > 03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整	3-12

01 倍率調整> 04 プリンター裏面通紙交差方向倍率調整	3-13
02 タイミング調整> 01 プリンター表面先端タイミング調整	3-14
02 タイミング調整> 02 プリンター裏面先端タイミング調整	3-15
02 タイミング調整> 03 スキャナー(原稿ガラス)先端タイミング調整	3-16
02 タイミング調整> 04 スキャナー(ADF)先端タイミング調整	3-17
03 片寄り調整> 01 プリンター片寄り調整	3-18
04 LPH 調整> 01 LPH チップ間ギャップ補正	3-19
02 フィニッシャー調整	3-20
01 平とじ機位置調整> 01 ステープルセンター位置調整	3-20
01 平とじ機位置調整> 02 紙幅調整	3-21
01 平とじ機位置調整> 03 排紙ガイド部材センター位置調整	3-23
01 平とじ機位置調整> 04 排紙ガイド部材紙幅調整	3-24
02 マルチ折り機(パンチ穴)調整> 01 紙幅調整	3-25
02 マルチ折り機(パンチ穴)調整> 02 パンチ穴のタテ位置調整	3-26
03 マルチ折り機(折り)調整> 01 中折り位置調整	3-28
03 マルチ折り機(折り)調整> 02 内3つ折り位置調整	3-29
03 マルチ折り機(折り)調整> 03 外3つ折り位置調整	3-31
03 マルチ折り機(折り)調整> 04 ダブルパラレル折り位置調整	3-33
03 マルチ折り機(折り)調整> 05 Z折り位置調整	3-35
03 マルチ折り機(折り)調整> 06 観音折り位置調整	3-37
04 スタッカージ調整> 01 紙幅調整	3-39
04 スタッカージ調整> 02 紙長調整	3-40
05 中とじ機位置調整> 01 ステープルセンター位置調整	3-41
05 中とじ機位置調整> 02 ステープル紙幅調整	3-42
05 中とじ機位置調整> 03 ステープルピッチ調整	3-44
05 中とじ機位置調整> 04 中折り位置調整	3-45
05 中とじ機位置調整> 05 3つ折り位置調整	3-46
05 中とじ機位置調整> 06 折り紙幅調整	3-48
05 中とじ機位置調整> 07 断裁量調整	3-49
05 中とじ機位置調整> 08 受け木調整	3-50
06 くるみ製本機調整> 01 表紙断裁切り量調整	3-51
06 くるみ製本機調整> 02 表紙先端位置調整	3-52
06 くるみ製本機調整> 03 表紙角背形成部位置調整	3-54
06 くるみ製本機調整> 04 糊塗布開始位置調整	3-55
06 くるみ製本機調整> 05 糊塗布完了位置調整	3-57
06 くるみ製本機調整> 06 糊形成完了位置調整	3-59
06 くるみ製本機調整> 07 温度設定	3-60
06 くるみ製本機調整> 08 サブコンパイル部 CD 整合幅調整	3-62
06 くるみ製本機調整> 09 クランプ部 CD 整合幅調整	3-63
06 くるみ製本機調整> 10 表紙昇降形成部 CD 整合幅調整	3-64
06 くるみ製本機調整> 11 クランプ部 FD 整合幅調整	3-65
07 中継スタッカー(RU)調整> 01 紙幅調整	3-66
07 中継スタッカー(RU)調整> 02 紙長調整	3-67
03 サイズメモリー回復モード	3-68
04 帯電手動清掃	3-69

第4章 コントローラー設定

コントローラー設定の概要.....	4-2
コントローラー設定一覧	4-2
01 レポートタイプ	4-6
02 プリンター設定	4-7
03 ポート別出力設定	4-11
04 スプール設定	4-12
05 I/F タイムアウト	4-13
06 Plug-in Form Password	4-14
07 スキャン設定	4-15
08 管理者設定	4-16

第5章 設定メニュー画面での設定

設定メニュー画面での設定の概要	5-2
設定メニュー画面を表示させる	5-2
設定メニュー画面設定一覧	5-4
01 環境設定.....	5-14
01 言語設定	5-14
02 単位系設定	5-15
03 ブザー設定 >01 ブザー ON/OFF、音量設定	5-16
03 ブザー設定 >02 停止時ブザー設定	5-17
04 1SHOT メッセージ表示時間	5-18
05 デフォルト画面設定	5-19
06 オートリセット設定	5-20
07 キー応答時間	5-21
08 ユーザーパスワード変更	5-22
09 ショートカットキー登録 > 01 コピー応用設定登録	5-23
09 ショートカットキー登録 > 02 コピー出力設定登録	5-24
09 ショートカットキー登録 > 03 ファンクションキー登録	5-25
09 ショートカットキー登録 > 04 スキャン応用設定登録	5-27
02 機能設定.....	5-28
01 給紙トレイ設定 >01 給紙トレイ自動選択	5-28
01 給紙トレイ設定 >02ATS 許可	5-29
01 給紙トレイ設定 >03ATS 設定	5-30
01 給紙トレイ設定 >04PFU 予備乾燥設定	5-31
01 給紙トレイ設定 >05 自動用紙種類	5-32
02 個別機能切替え	5-33
03 カール矯正方向選択	5-35
04 曲がり検知閾値設定	5-36
05 プリンター先端画像消去量設定	5-37
06 濃度設定 >01 原稿画質の濃度シフト	5-38
06 濃度設定 >02 登録濃度設定	5-39
06 濃度設定 >03 写真モード濃度選択	5-40

06 濃度設定 >04 画像濃度選択	5-41
07 登録倍率設定	5-42
03 コピー設定	5-43
01 リセット設定 >01 初期設定	5-43
01 リセット設定 >02 リセット機能任意設定	5-45
01 リセット設定 >03 キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル.....	5-46
02 個別機能切替え設定	5-47
04 スキャン設定	5-49
01 デフォルト送信先設定.....	5-49
02 初期設定（読込設定）.....	5-50
03 個別機能切替え設定.....	5-51
05 タッチパネル調整	5-52
06 管理者設定 >01 環境設定.....	5-53
01 パワーセーブ設定.....	5-53
02 日時設定	5-54
04 管理リストプリント.....	5-55
05 ユーザー操作禁止設定.....	5-58
06 エキスパート調整 > 01 プリンター画質調整	5-60
06 エキスパート調整 >02 原稿読取り領域設定	5-61
06 エキスパート調整 >03 ADF 枠消し設定.....	5-62
06 エキスパート調整 >04 原稿外消去.....	5-63
06 エキスパート調整 >05 スキャン画質調整	5-64
07 サイズ設定	5-65
08 任意スタンプ設定.....	5-66
09 くるみ製本設定 > 01 使用可能坪量選択	5-70
09 くるみ製本設定 > 02 くるみ制限枚数設定	5-71
09 くるみ製本設定 > 03 表紙長さ不適切時停止設定	5-72
10 サービスポート機器設定	5-73
11 画面カスタマイズ設定 > 01 表示文字太さ設定	5-74
11 画面カスタマイズ設定 > 02 コピー画面カスタマイズ設定.....	5-75
11 画面カスタマイズ設定 > 03 スキャン画面カスタマイズ設定.....	5-76
11 画面カスタマイズ設定 > 04 保存画面カスタマイズ設定.....	5-77
06 管理者設定 >02 管理者／本体登録	5-78
01 管理者登録.....	5-78
06 管理者設定 >05 コピー／プリンター設定	5-79
01 仕分け設定 > 01 ジョブオフセット動作	5-79
01 仕分け設定 > 02 オフセット排紙方法.....	5-80
02 連続プリント（プリンター）.....	5-81
03 小冊子時のページ印字位置	5-82
04 プリント前定着予備回転設定	5-83
05 サンプル排紙設定.....	5-84
06 自動画像回転.....	5-85
07 割込み停止方法.....	5-86
08 コピー予約の操作性.....	5-87
09 トレイ引抜きによる読込み禁止	5-88
10 連続プリント（コピー）.....	5-89

11 原稿ガラス 1 枚排紙方法	5-90
12 1 枚送り自動設定	5-91
06 管理者設定 > 06 システム連携	5-92
01 ユーザー発信	5-92
06 管理者設定 > 08 スキャン送信先登録	5-93
01 宛先編集／削除	5-93

第 6 章 ウィークリータイマー設定

06 管理者設定 > 06 環境設定 > 03 ウィークリータイマー設定	6-2
03 ウィークリータイマー設定 > 01 ウィークリータイマー使用設定	6-3
03 ウィークリータイマー設定 > 02 タイマー予約時刻設定	6-4
03 ウィークリータイマー設定 > 03 動作日設定	6-6
03 ウィークリータイマー設定 > 04 昼休みオフ機能設定	6-7
03 ウィークリータイマー設定 > 05 時間外使用パスワード設定	6-8

第 7 章 ユーザー認証／部門管理

06 管理者設定 > 03 ユーザー認証／部門管理	7-2
01 認証方式 > 01 認証設定	7-3
01 認証方式 > 02 部門管理設定	7-5
02 部門管理	7-7
03 ユーザー認証設定	7-10
04 未登録ユーザー／部門出力設定	7-13

第 8 章 ネットワーク設定

06 管理者設定 > 04 ネットワーク設定	8-2
01 本体 NIC 設定 > 01 TCP/IP 設定	8-2
01 本体 NIC 設定 > 02 http 通信設定	8-3
01 本体 NIC 設定 > 03 メール初期設定	8-4
02 コントローラー NIC 設定	8-5

第 9 章 セキュリティー設定

06 管理者設定 > 07 セキュリティー設定	9-2
01 管理者パスワード	9-2
02 HDD 管理設定 > 01 フォルダー・ボックス詳細／削除	9-3
02 HDD 管理設定 > 02 HDD 保存データ自動削除期間設定	9-5
02 HDD 管理設定 > 03 HDD ロックパスワード変更	9-6
02 HDD 管理設定 > 04 一時データ上書き削除	9-7
02 HDD 管理設定 > 05 全データ上書き削除	9-8
02 HDD 管理設定 > 06 HDD 暗号化設定	9-9
03 セキュリティー強化モード	9-10

第 10 章 Web Utilities 設定

Web Utilities について	10-2
部門管理データの編集	10-3
部門管理データをブラウザで新規登録する	10-3
登録済み部門管理データをブラウザで編集する	10-5
リモートパネル・リモートモニター・マルチモニターの設定	10-11
ネットワークスキャナーの設定	10-14
設定データを転送する	10-19
ボックスエクスプローラを使用する	10-25
ボックスエクスプローラ画面を表示させる	10-26
本体 HDD に対する操作	10-27
本体サービスポートに外付けされた CD/DVD ドライブに対する操作	10-29
本体操作部からボックスエクスプローラを終了する	10-32
ジョブ履歴を表示する	10-33
ジョブ履歴機能をオン / オフする	10-33
ジョブ履歴一覧を表示する	10-35

第 11 章 PageScope Web Connection 設定

PageScope Web Connection について	11-2
システム環境	11-2
Web ブラウザの設定	11-3
アクセスのしかた	11-4
管理者モード画面の構成	11-6
〔メンテナンス〕 タブ	11-7
カウンター	11-7
ROM バージョン	11-7
インポート / エクスポート	11-8
状態通知設定	11-9
本体登録	11-10
サポート情報	11-11
初期化 > ネットワーク設定クリア	11-12
〔セキュリティ〕 タブ	11-13
認証設定	11-13
ユーザー登録	11-13
部門登録	11-15
SSL/TLS 設定 > SSL/TLS 設定	11-17
SSL/TLS 設定 > 証明書無効時処理	11-22
自動ログアウト	11-23
管理者パスワード設定	11-23
〔ボックス〕 タブ	11-24
〔プリンター設定〕 タブ	11-25
デフォルト設定	11-25
ジョブスプール設定	11-27

インターフェース設定	11-28
ポート別出力設定	11-28
〔スキャナ〕 タブ	11-29
E-mail 件名	11-29
E-mail 本文	11-30
スキャン設定	11-32
〔ネットワーク〕 タブ	11-33
TCP/IP 設定> TCP/IP 設定	11-33
TCP/IP 設定> IP フィルタリング	11-34
TCP/IP 設定> IPsec 設定	11-35
時刻補正設定	11-37
E-mail 設定> E-mail 受信 (POP)	11-38
E-mail 設定> E-mail 送信 (SMTP)	11-39
IPP 設定	11-40
FTP 設定> FTP 送信設定	11-41
FTP 設定> FTP サーバー設定	11-42
SNMP 設定	11-42
SMB 設定> WINS 設定	11-43
SMB 設定> クライアント設定	11-44
SMB 設定> プリント設定	11-45
Web サービス設定> Web サービス設定	11-46
Web サービス設定> プリント設定	11-47
Web サービス設定> スキャン設定	11-48
Bonjour 設定	11-49
NetWare 設定> NetWare 設定	11-50
NetWare 設定> NetWare 状態	11-51
AppleTalk 設定	11-52
OpenAPI 設定	11-53
TCP Socket 設定	11-53
JSP 設定	11-54

付 録

文字入力のしかた	付録 -1
文字入力画面 (英記号)	付録 -2
文字入力画面 (ローマ字)	付録 -3
文字入力画面 (かな漢字)	付録 -4
文字入力画面 (カタカナ)	付録 -5
「デバイス」項目でインポート / エクスポートができる設定項目一覧	付録 -6
「カウンター」でエクスポートができる設定項目一覧	付録 -12
「ユーザー登録」でインポート / エクスポートができる設定項目一覧	付録 -13
フォントについて	付録 -14
用語集	付録 -22

索 引

本書の概要

第1章

本書の記載内容の概要について説明します。

マニュアル体系について	1-2
機械状態画面での設定	1-3
■ [トレイ設定].....	1-3
■ [用紙条件登録/削除].....	1-3
■ [不定形サイズ登録/削除].....	1-4
■ [調整].....	1-4
■ [コントローラー設定]	1-4
設定メニュー画面での設定	1-5
ブラウザ操作での設定	1-6
■ Web Utilities	1-6
■ PageScope Web Connection.....	1-7

マニュアル体系について

本機には、次のユーザズガイドが用意されています。

■ ユーザズガイド（コピー編） 印刷物 User's Guide CD

機械の概要やコピー操作について記載しています。

設置・取扱いの注意事項、電源の入れ方/切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピー操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ ユーザズガイド（POD管理者編）＜本書＞ 印刷物 User's Guide CD

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ ユーザズガイド（セキュリティ編） 印刷物 User's Guide CD

セキュリティ機能について記載しています。

セキュリティ強化機能の使い方、セキュリティ強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ ユーザズガイド（ネットワークスキャナー編） 印刷物 User's Guide CD

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。

保存、読出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ 商標/ライセンス User's Guide CD

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

■ ユーザズガイド（プリンター編） User's Guide CD

プリンター機能の操作について記載しています。

PCL ドライバー、Adobe PS ドライバー、PageScope Web Connection のユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ ユーザズガイド（プリンター (PostScript3 Plug-in ドライバー) 編） User's Guide CD

プリンター機能の操作について記載しています。

PS Plug-in ドライバーのユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

■ オペレーションクイックガイド 印刷物

本機がよく使われる機能について操作手順を中心に記載しています。

本機の特長を理解したい場合は、このガイドをごらんください。

安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザズガイド コピー編「第1章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

機械状態画面での設定

機械状態画面の下部には〔トレイ設定〕、〔用紙条件登録/削除〕、〔不定形サイズ登録/削除〕、〔調整〕、〔コントローラ設定〕のボタンがあります。



■〔トレイ設定〕

〔トレイ設定〕を押すと、トレイ設定画面が表示されます。



機械状態画面の〔トレイ設定〕は、各給紙トレイにあらかじめ、サイズ、用紙条件、エアープロー機能の自動/ON/OFFの設定をします。

コピー画面の〔用紙予約設定〕は、トレイ設定と異なる用紙にコピーするとき、一時的に設定をします。

〔閉じる〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔用紙条件登録/削除〕

〔用紙条件登録/削除〕を押すと、用紙条件登録/削除画面が表示されます。



機械状態画面のトレイ設定やコピー画面の用紙予約設定で用紙条件を設定するとき、ここで登録した用紙条件を呼び出すことができます。使用頻度の高い用紙条件を登録しておくとう便利です。

〔OK〕または〔キャンセル〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔不定形サイズ登録/削除〕

〔不定形サイズ登録/削除〕を押すと、不定形サイズ登録/削除画面が表示されます。

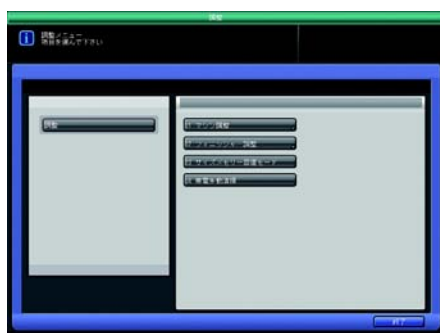


機械状態画面のトレイ設定やコピー画面の用紙予約設定で不定形サイズを設定するとき、ここで登録した不定形サイズを呼び出すことができます。使用頻度の高い不定形サイズを登録しておくくと便利です。

〔閉じる〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔調整〕

〔調整〕を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



オプションのフィニッシャーを装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。また、本体の出力および原稿スキャンの調整が可能です。

〔終了〕を押すと、機械状態画面にもどります。

■〔コントローラー設定〕

〔コントローラー設定〕を押すと、コントローラー設定メニュー画面が表示されます。



コントローラーの設定ができます。

〔機械状態〕タブを押すと、機械状態画面にもどります。

設定メニュー画面での設定

操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押すと、設定メニュー画面が表示されます。



設定メニュー画面には、一般ユーザーが設定可能な項目と、管理者パスワードを入力しなければ設定できないようにする管理者設定項目があります。

詳しく説明します

管理者設定項目は、初期設定では一般ユーザーも設定できるようになっています。
機械管理者をお選びになり、管理者のみが管理者設定を設定できるようにすることをお勧めします。管理者パスワードの設定はサービス実施店が行いますので、お申し出ください。

第5章では、設定メニュー画面で設定する下記以外の項目について説明します。

第6章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、ウィークリータイマー設定に関する説明をします。

第7章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、ユーザー認証 / 部門管理に関する説明をします。

第8章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、ネットワーク設定に関する説明をします。

第9章では、設定メニュー画面の管理者設定のうち、セキュリティ設定に関する説明をします。

設定メニュー画面の〔終了〕ボタン

〔終了〕を押すと、操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押す前の画面にもどります。

設定メニュー画面で設定不可にできる項目

下記の項目を設定メニュー画面で設定できないようにできます。サービス実施店にお問い合わせください。

- ・ 設定メニュー > 05 タッチパネル調整
- ・ 設定メニュー > 01 環境設定 > 05 デフォルト画面設定 > ジョブリスト

ブラウザ操作での設定

本機がローカルネットワークでPCとつながっているとき、そのPCのブラウザソフトを使って本体およびイメージコントローラーの管理・設定ができます。

■ Web Utilities



本機がネットワークでつながっているとき、PCのブラウザを使って下記の項目の操作ができます。

1 部門管理データ編集

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定の部門管理設定をPC上で行います。

2 リモートパネル・リモートモニター・マルチモニター設定

ブラウザを使って本機を操作したり、本機の状態を監視します。

3 ネットワークスキャナー設定

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定のスキャン送信先登録をPC上で行います。

4 設定データのインポート/エクスポート

ブラウザを使って本機にある設定データをPCに転送（エクスポート）したり、PCにある設定データを本機に転送（インポート）します。

5 ボックスエクスプローラ

ブラウザを使って本機のHDDに作成保存されたボックスデータの操作をします。また外付けされたCD/DVDドライブへのデータのバックアップやリストアをします。

6 ジョブ履歴ページ

ブラウザを使って本体の出力履歴を表示します。

詳しくは、第10章Web Utilities設定をごらんください。

■ PageScope Web Connection



PageScope Web Connection は、本機イメージコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供するデバイス監理用のユーティリティプログラムです。このユーティリティは、ブラウザを通じて本機のプリンター、スキャナー、ネットワークのステータスを表示したり、デフォルトやネットワークの設定を変更することができます。

詳しくは、第11章 PageScope Web Connection 設定をごらんください。

トレイ設定

第2章

各トレイに設定する用紙設定の内容および設定方法を説明します

トレイ設定の概要	2-2
■ 用紙サイズの設定	2-2
■ 用紙条件の項目	2-2
■ エアブロー機能の設定	2-3
■ 用紙種類の仕様	2-4
トレイ1～8にトレイ設定する	2-6
トレイに設定した用紙条件を変更する	2-13
PIトレイにトレイ設定する	2-19
■ PIトレイにインターシート用の定形検知サイズを変更する	2-19
■ PIトレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定する	2-20
PI-PFUトレイにトレイ設定する	2-23
■ PI-PFUトレイにインターシート用のトレイ設定する	2-23
■ PI-PFUトレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定をする	2-26
PBトレイにトレイ設定する	2-29
■ PBトレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定	2-29
用紙条件を登録する	2-32
用紙条件を削除する	2-37
不定形サイズを登録・編集/削除する	2-38
■ 不定形サイズを登録・編集する	2-38
■ 登録した不定形サイズを削除する	2-40

トレイ設定の概要

本機は各トレイに用紙サイズ、用紙条件、エアブロー機能を設定し、それぞれの用紙の特性に応じたプリントを行います。(トレイ設定)

上記3つの項目のうち、用紙条件は事前に登録し必要に応じて呼び出すことができます。(用紙条件登録)

また、設定されている用紙条件を変更し、新たに登録することができます。

■ 用紙サイズの設定

用紙サイズは下記の5つから1つを選択します。

- (1) 定形サイズ
- (2) 不定形サイズ
- (3) ワイド紙
- (4) インデックス紙
- (5) はがき*



はがきは大容量給紙トレイ PF-702、サクシオン式大容量給紙トレイ PF-703のトレイ3～5にセットします。
2連目の大容量給紙トレイの場合、はがきをセットできるトレイは PF-702、PF-703ともに中段トレイ(トレイ7)のみで、トレイ6、8にはセットできません。

■ 用紙条件の項目

用紙種類

塗工紙、追い刷り紙、上質紙、普通紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙の7種類から1つを選択します。

用紙名称

全角で6文字、半角で12文字まで入力

坪量

下記の10種類から1つを選択します。

- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1) 40-49 g/m ² | 2) 50-61 g/m ² | 3) 62-71 g/m ² | 4) 72-91 g/m ² |
| 5) 92-130 g/m ² | 6) 131-161 g/m ² | 7) 162-216 g/m ² | 8) 217-244 g/m ² |
| 9) 245-300 g/m ² | 10) 301-350 g/m ² | | |



用紙種類の仕様および用紙種類と坪量との関係についてはp. 2-4をごらんください。

色紙

白色、透明、黄色、桃色、青色、緑色から1つを選択します。

パンチ穴

パンチ穴あり、パンチ穴なしから1つを選択します。

表裏調整

両面コピー時、表面と裏面の画像印字位置を合わせるため、オモテ、ウラに対してそれぞれタテ倍率、ヨコ倍率、上下/左右のイメージシフト量を設定します。

- タテ倍率：－10～＋10 (0.05%/step)
- ヨコ倍率：－10～＋10 (0.05%/step)
- イメージシフト上下：－100～＋100 mm (0.1mm/step)
- イメージシフト左右：－100～＋100 mm (0.1mm/step)



表裏調整は、用紙の種類、用紙の銘柄、保管場所の温湿度差により、収縮率が異なるため、用紙を変えることまたは毎日行うことをお勧めします。
裏面のヨコ倍率は、管理者設定の共通設定により調整できます。

チャート調整

チャートを出力して表裏調整を行います。

設定範囲：0.0～999.9

プロセス調整

転写電流や定着圧の調整を行います。

■ エアブロー機能の設定

エアブロー機能は、下記のトレイ設定で用紙にエアーを吹きつけ給紙時のノーフードや重送などのトラブルを起こしにくくします。

- ・ 本体トレイ (トレイ1、2)
- ・ 大容量給紙トレイ PF-702 (トレイ3～8)
- ・ サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (トレイ3～8)
- ・ サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (PI-PFU)
- ・ くるみ製本機 PB-502の表紙トレイ

本体トレイ (トレイ1、2)、大容量給紙トレイ PF-702 (トレイ3～8) の場合、エアブロー機能は、下記の3つから1つを選択します。

- 自動： 給紙タイミングによって自動的にON/OFFします。
- ON： 用紙種類に関わらずONにします。
- OFF： 用紙種類に関わらずOFFにします。

サクション式大容量給紙トレイ PF-703 (トレイ3～8)、サクション式大容量給紙トレイ PI-PFUの場合、エアブロー機能は、下記の2つから1つを選択します。

- 自動： 先端/側面エアー吹きつけのそれぞれの風量を自動で調整します。
- 手動： 先端/側面エアー吹きつけの風量を手動で選択します。

くるみ製本機 PB-502の表紙トレイの場合、エアブロー機能は下記の2つから1つを選択します。

- ON： エアブロー機能をONにします。
- OFF： エアブロー機能をOFFにします。

■ 用紙種類の仕様

用紙表面のなめらかさなどによって5種類に分類します。

塗工紙

塗工紙は、上質紙を原紙とし、1平方メートルあたり両面で20～40g前後の塗料を塗布しているアート紙、コート紙の総称です。主に高級美術書、ポスターやカレンダー、自動車のカタログ、書籍、雑誌、チラシ、ポスター等に用いられています。塗工紙をセットするトレイは、通常すべて「塗工紙」に設定します。

追い刷り紙

オフセット印刷で印刷された塗工紙に追い刷りする場合、トレイを「追い刷り紙」に設定します。また、「塗工紙」に設定しても塗工紙の給紙にトラブルがある場合は、「追い刷り紙」に設定します。

詳しく説明します

- 追い刷り紙は、サクシヨン式大容量給紙トレイPF-703（トレイ3～8）にセットします。
- 本体トレイ（トレイ1、2）に追い刷り紙をセットしないでください。
- 大容量給紙トレイPF-702（トレイ3～8）に追い刷り紙をセットする場合は、オプションの追い刷りキットPP-701を取り付ける必要があります。サービス実施店にお問い合わせください。

上質紙

上質紙は、オフセット印刷で一般的に使用されている非塗工印刷用紙です。白色度が高く、様々な用途に用いられています。上質紙をセットするトレイは「上質紙」に設定します。

普通紙

普通紙は、複写機で用いられる「PPC用紙」と言われているコピー用紙で、通常再生紙を使用していないものをいいます。モノクロコピーに使用される普通紙や再生紙をセットするトレイは「普通紙」に設定します。

書籍用紙

書籍用紙は、書籍の本文用紙に用いられる、裏抜け（印刷が裏から透けて見えること）がないように不透明度を高くしたり、文字が読みやすいようにクリーム色にした用紙です。このような用紙をセットするトレイは「書籍用紙」に設定します。

ラフ紙

ラフ紙は表面が凸凹していて、定着性の悪い用紙です。上質紙の中でもコットンペーパーなどはラフ紙に含まれます。

未印字挿入紙

未印字挿入紙は、用紙表面のなめらかさによる分類ではなく、本機でプリントせず通紙するだけの紙をセットするトレイに設定します。

インターシート白紙表紙／白紙挿入の機能を使うときに、既に印刷されていて本機でコピーしない紙や白紙の状態で使用する紙をセットするトレイには「未印字挿入紙」と設定します。

用紙の重さ：坪量 (g/m²) と連量 (kg) の換算表
(四六判／A列本判／B列本判／菊判)

坪量 (g/m ²)	連量 (kg) (四六判)	連量 (kg) (A列本判)	連量 (kg) (B列本判)	連量 (kg) (菊判)
40 ～ 49 g/m ²	34.5 ～ 42.5	22.0 ～ 26.5	33.5 ～ 41.0	24.0 ～ 29.5
50 ～ 61 g/m ²	43.0 ～ 52.5	27.0 ～ 33.0	41.5 ～ 50.5	30.0 ～ 36.0
62 ～ 71 g/m ²	53.0 ～ 61.0	33.5 ～ 39.0	51.0 ～ 59.0	36.5 ～ 42.0
72 ～ 91 g/m ²	62.5 ～ 78.0	39.5 ～ 50.0	59.5 ～ 75.5	42.5 ～ 54.0
92 ～ 130 g/m ²	78.5 ～ 112.0	50.5 ～ 71.5	76.0 ～ 108.0	54.5 ～ 77.5
131 ～ 161 g/m ²	112.5 ～ 138.0	72.0 ～ 88.5	108.5 ～ 134.0	78.0 ～ 96.0
162 ～ 216 g/m ²	138.5 ～ 186.0	89.0 ～ 119.0	134.5 ～ 179.5	96.5 ～ 129.0
217 ～ 244 g/m ²	186.5 ～ 210.0	119.5 ～ 135.0	180.0 ～ 203.0	129.5 ～ 146.0
245 ～ 300 g/m ²	210.5 ～ 258.0	135.5 ～ 165.0	203.5 ～ 249.0	146.5 ～ 179.0
301 ～ 350 g/m ²	258.5 ～ 301.0	165.5 ～ 193.5	249.5 ～ 291.0	179.5 ～ 209.0

用紙の厚みを表す単位として、坪量 (g/m²) と連量 (kg) があり、製紙メーカーにより使用している単位が異なります。

坪量 (g/m²) : 1m²の用紙1枚の質量をグラムで表した単位。

連量 (kg) : 所定サイズの用紙(四六判では、788mmx1,091mm) 1000枚の質量をキログラムで表した単位。

トレイ1～8にトレイ設定する

トレイごとに用紙サイズ、登録されている用紙条件の選択、エアーブロー機能の設定をします。

手順

1. 機械状態画面の〔トレイ設定〕を押します。



2. 設定するトレイボタン (〔トレイ1〕～〔トレイ8〕) を押し、「用紙サイズ」表示右の〔設定変更〕を押します。

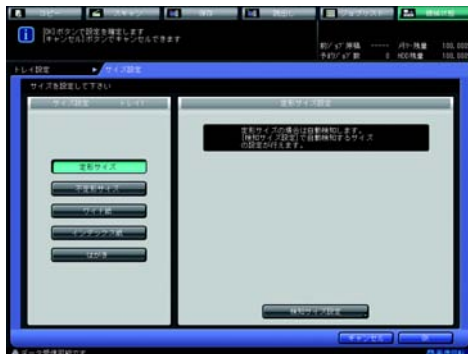


サイズ設定画面が表示されます。

3. 以下、それぞれの設定方法に従ってください。

〔定形サイズ〕を選択：

- (1) 選択したトレイに定形サイズ用の紙をセットする場合は、〔定形サイズ〕を押して選択します。



- (2) 選択したトレイに下記の定形サイズ用紙をセットする場合は〔検知サイズ設定〕を押して検知サイズ設定画面を表示させます。
- (3) 希望するサイズのボタンを押して選択します。



詳しく説明します

〔5.5x8.5 \square 〕を設定すると、A5 \square のかわりに5.5x8.5 \square を自動検知します。同様に〔12x18 \square 〕を設定するとSRA3 \square のかわりに12x18 \square 、〔8x13 \square 〕／〔8.12x13.2 \square 〕／〔8.25x13 \square 〕／〔8.5x13 \square 〕を設定すると8.5x14 \square のかわりに8x13 \square ／8.12x13.2 \square ／8.25x13 \square ／8.5x13 \square を自動検知します。

- (4) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。
- (5) サイズ設定画面の〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
- (6) 4項 (p. 2-11) に進みます。

〔不定形サイズ〕を選択：

- (1) 選択したトレイに不定形サイズの用紙をセットする場合は、〔不定形サイズ〕を押して選択します。



- (2) 用紙のタテ／ヨコのサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。
各給紙トレイによって入力できるサイズが異なります。詳細はコピー編の第3章をごらんください。
- (3) 〔先端合わせ〕、〔後端合わせ〕または〔中央合わせ〕を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。
- (4) 登録済みの不定形サイズを呼び出す場合は、〔サイズ読出し〕を押して、不定形サイズ読み出し画面で表示させます。
- (5) 〔▼〕〔▲〕を押して任意の登録ボタンを表示させ、登録No. ボタンを押して反転させ、〔OK〕を押します。



- (6) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
- (7) 4項 (p. 2-11) に進みます。

詳しく説明します

不定形サイズの最小サイズを変更することができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

〔ワイド紙〕を選択：

- (1) 選択したトレイにワイド紙の用紙をセットする場合は、〔ワイド紙〕を押して選択します。



- (2) 希望するワイド紙のサイズボタンを押して選択します。
 (3) 〔先端合わせ〕、〔後端合わせ〕または〔中央合わせ〕を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。
 (4) ワイド紙のサイズを設定するため、〔サイズ入力〕を押してサイズ入力画面を表示させます。
 (5) 用紙のタテのサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2)項で選択したワイド紙の定形タテ寸法以上～最大324mmです。



- (6) 用紙のヨコのサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2)項で選択したワイド紙の定形ヨコ寸法以上～最大463mmです。



ワイド紙を設定するときには必ずワイド紙のサイズ入力を行ってください。初期設定のサイズは、ワイド紙の寸法になっていません。

- (7) サイズ選択画面に戻るときは、〔サイズ選択〕を押します。
 (8) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面に戻ります。
 (9) 4項 (p. 2-11) に進みます。

〔インデックス紙〕を選択：

- (1) 選択したトレイにインデックス紙の用紙をセットする場合は、〔インデックス紙〕を押して選択します。



- (2) 希望するインデックス紙の定形サイズボタンを押して選択します。
- (3) インデックス紙のサイズを任意に設定する場合は、〔不定形サイズ〕を押してサイズ入力画面を表示させます。



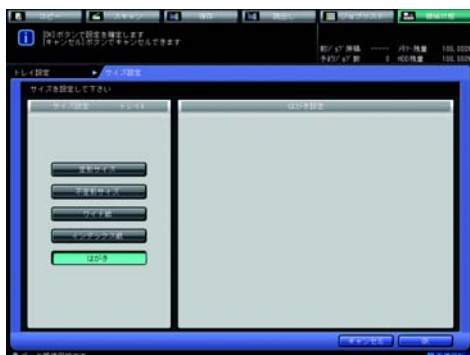
- (4) 用紙のタテ／ヨコ／インデックス幅のサイズを表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。
- (5) 〔インデックス数入力〕を押してテンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押してインデックス数を入力します。1～15まで設定できます。



- (6) 〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。
- (7) サイズ設定画面の〔OK〕を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
- (8) 4項 (p. 2-11) に進みます。

〔はがき〕を選択：

(1) 選択したトレイに郵政はがきをセットする場合は、〔はがき〕を押して選択します。



はがきをセットできないトレイは〔はがき〕ボタンが表示されず、設定できません。

本体トレイ（トレイ1、2）に郵政はがきをセットする場合は、ハガキアダプターが必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

(2) [OK] を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。

(3) サイズ設定画面の[OK]を押します。設定変更しない場合は〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。

(4) 4項 (p. 2-11) に進みます。

4. トレイ設定画面の〔設定呼出〕を押します。



5. 用紙条件呼出画面の〔▲〕または〔▼〕を押して登録されている用紙条件のリストから希望する用紙条件No. ボタンを押して選択します。



6. 用紙条件選択画面の〔OK〕を押します。設定した条件を使用しないときは〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
ここで呼び出した用紙条件を変更したいときは、〔設定変更〕を押します。その後の手順は〔トレイに設定した用紙条件を変更する〕をごらんください。
7. トレイ設定画面「エアブロー」表示右の〔設定変更〕を押します。手順2で選択したトレイによって設定内容が異なります。
本体トレイ、大容量給紙トレイ PF-702 : 〔自動〕、〔ON〕、〔OFF〕 から1つ選択
サクシオン式大容量給紙トレイ PF-703 :
〔自動〕 / 〔手動〕 から1つ選択
〔手動〕 選択時、先端、サイドの風量を調整
このとき〔印刷モードへ〕を押して、ためし出力が可能です。
8. 〔OK〕を押します。設定した条件を使用しないときは〔キャンセル〕を押します。トレイ設定画面にもどります。
9. トレイ設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

トレイに設定した用紙条件を変更する

各トレイに呼び出した用紙条件を変更したい場合は下記の手順に従って行ってください。



表裏調整は、用紙の種類、用紙の銘柄、保管場所の温湿度により、収縮率が異なるため、用紙を変えるごとまたは毎日行うことをお勧めします。

手順

1. 機械状態画面の〔トレイ設定〕を押します。



2. 任意のトレイボタンを押して反転させます。
3. 用紙条件リスト右下の〔設定変更〕を押します。



個別設定変更画面が表示されます。

4. 用紙種類を変更します。
〔用紙種類〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の用紙種類を選択します。



5. 坪量を変更します。

〔坪量〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の坪量を選択します。



6. 色紙を変更します。

〔色紙〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の色紙を選択します。



7. パンチ穴あり/なしを選択します。

〔パンチ穴〕を押して、〔パンチ穴あり〕〔パンチ穴なし〕選択します。



8. 表裏調整を行います。

(1) 「表裏調整」を押して反転させます。



(2) 表裏調整画面の「オモテ面」または「ウラ面」を押して設定するプリント面を選択します。

(3) 調整する項目（「タテ倍」、「ヨコ倍」、「上下」、「左右」）を押して選択します。

(4) 「+ ← →」を押して調整値の＋を選択します。

(5) テンキーまたは「▲」「▼」を押して任意の数値を表示させます。

詳しく説明します

調整値の設定範囲に関してはp. 2-3をごらんください。

9. チャート調整を行います。

(1) 表裏調整画面の「オモテ面」を押して「チャート調整」を押します。



- (2)〔印刷モードへ〕を押して、操作パネルの【スタート】を押します。



チャートが出力されます。

- (3) オモテ面の各ポイント間を測定し、〔▲〕〔▼〕または画面のテンキーで数値を入力します。
測定ポイント：(1)～(8)
調整範囲：0.0～999.9、1ステップ＝0.1mm
- (4)〔調整開始〕を押します。
- (5) 希望する調整結果が得られるまで(2)～(4)を繰り返します。
- (6)〔オモテ面〕の調整が終了したら〔閉じる〕を押します。
- (7) 表裏調整画面の〔ウラ面〕を押して、〔チャート調整〕を押します。



- (8)〔印刷モードへ〕を押して、操作パネルの【スタート】を押します。



チャートが出力されます。

- (9) オモテ面とウラ面のズレを測定し、〔▲〕〔▼〕または画面のテンキーで数値を入力します。
測定ポイント：(1)～(4)
調整範囲：X方向－99.9（左）～＋99.9（右）、Y方向－99.9（上）～＋99.9（下）、1ステップ＝0.1mm

- (10)〔調整開始〕を押します。
- (11)希望する調整結果が得られるまで(8)～(10)を繰り返します。
- (12)ウラ面の調整が終了したら〔閉じる〕を押します。

10. プロセス調整を行います。

- (1)〔プロセス調整〕を押して反転させます。
- (2)〔転写電流オフセット調整〕を押します。



詳しく説明します

プロセス調整の詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。

調整したい項目ボタンを押して反転させます。

〔+ ↔ -〕を押して調整値の＋－を選択し、画面のテンキーを押して数値を入力します。

〔セット〕を押します。

調整範囲：－128～＋127

〔OK〕を押します。



- (3)〔定着圧接力設定〕を押します。
任意のボタンを押して〔OK〕を押します。



11. 〔OK〕を押します。
変更した用紙条件を使用しないときは〔キャンセル〕を押します。
トレイ設定画面にもどります。
12. 用紙条件のリストで変更した内容を確認します。
ここで変更した用紙条件を登録したいときは、〔設定登録〕を押します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録したい登録No.を表示させ、登録No.ボタンを押して任意の名称を入力し〔OK〕を2回押します。
13. トレイ設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

PIトレイにトレイ設定する

PIトレイとは、折り機FD-503に装着されているポストインサーターの給紙トレイです。PIトレイには、下記の用紙をセットします。

- ・ インターシートのオモテ表紙/ウラ表紙/挿入紙
- ・ くるみ製本の表紙
- ・ 手動でパンチ/折り/とじ/ステープルする用紙

インターシートのオモテ表紙/ウラ表紙/挿入紙をPIトレイにセットするため、トレイ設定で定形検知サイズを変更することができます。それ以外のトレイ設定は必要ありません。くるみ製本の表紙をセットするため、トレイ設定で用紙サイズの不定形サイズ設定および用紙条件のうち、用紙種類と坪量を設定します。手動でパンチ/折り/とじ/ステープルをする用紙に対してトレイ設定をする必要はありません。

PIトレイにインターシート用の定形検知サイズを変更する

折り機FD-503のポストインサーターの上/下段トレイは、定形用紙サイズを自動的に検知します。検知するサイズを下記のように切替えることができます。

A5□ /5.5"x8.5"□
 SRA4□ / (A4□と8.5"x14"□)
 / (8.5"x11"□と8.5"x14"□)
 / (A4□と8.5"x13"□/8.12"x13.2"□/8.25"x13"□/8.5"x13"□)
 / (8.5"x11"□と8.5"x13"□/8.12"x13.2"□/8.25"x13"□/8.5"x13"□)
 8.5"x11"□/9"x11"□

手順

1. 機械状態画面の〔トレイ設定〕を押します。



2. 「PIトレイ」表示下の〔PI1〕または〔PI2〕を押して反転させます。「通常用紙設定」表示下の〔検知サイズ設定〕を押します。



3. 任意のサイズボタンを押して検知サイズを切替えます。



4. [OK] を押します。設定変更しない場合は[キャンセル]を押します。
5. 用紙設定画面の[閉じる]を押します。機械状態画面にもどります。

■PIトレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定する

くるみ製本の表紙を折り機FD-503のポストインサータートレイにセットするため、下記の手順に従ってトレイ設定をします。

手順

1. 機械状態画面の[トレイ設定]を押します。



2. 「PIトレイ」表示下の「PI1」または「PI2」を押して反転させます。
「くるみ製本表紙用設定」表示下の「用紙サイズ」の「設定変更」を押します。



3. 表紙の不定形サイズを設定します。

用紙のタテ/ヨコのサイズ数値を表示しているボタンを押して反転させ、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。

あらかじめ登録していた不定形サイズを呼び出すときは、〔サイズ読出し〕を押します。



〔▲〕〔▼〕を押して任意のNo. ボタンを押し、〔OK〕を押します。



サイズ設定画面の〔OK〕を押します。

4. 「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定呼出〕を押します。



5. 表紙の用紙条件（用紙種類、坪量）を設定します。

〔▲〕〔▼〕を押して登録されている用紙条件のリストからNo. ボタンを押して選択します。

〔OK〕を押します。



「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定変更〕を押します。



〔用紙種類〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の用紙種類を選択します。

〔坪量〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の坪量を選択します。

〔OK〕を押します。



6. ここで設定した用紙条件を登録したいときは〔設定登録〕を押します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録したい登録No.を表示させ、登録No.ボタンを押して任意の名称を入力し〔OK〕を2回押します。
7. トレイ設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

PI-PFUトレイにトレイ設定する

PI-PFUトレイとは、サクシオン式大容量給紙トレイのポストインサーターの給紙トレイです。

PI-PFUトレイには、下記の用紙をセットします。

- ・ インターシートのオモテ表紙/ウラ表紙/挿入紙
- ・ くるみ製本の表紙

インターシートのオモテ表紙/ウラ表紙/挿入紙をPI-PFUトレイにセットするため、トレイ設定で定形検知サイズを変更することができます。また、用紙条件のうち、用紙種類と坪量を設定し、エアブローの自動/手動の設定をします。

くるみ製本の表紙をセットするため、用紙サイズの不定形サイズ設定をします。また、用紙条件のうち、用紙種類と坪量を設定し、エアブローの自動/手動の設定をします。

PI-PFUトレイにインターシート用のトレイ設定する

PI-PFUトレイは、定形用紙サイズを自動的に検知します。検知するサイズを下記のように切替えることができます。

A5□ /5.5"x8.5"□
SRA3□ /12"x18"□
8.5"x14"□/8"x13"□/8.12"x13.2"□/8.25"x13"□/8.5"x13"□

手順

1. 機械状態画面の〔トレイ設定〕を押します。



2. 「PI-PFUトレイ」表示下の〔PI-PFU1〕、〔PI-PFU2〕または〔PI-PFU3〕を押して反転させます。「通常紙用設定」表示下の〔検知サイズ設定〕を押します。



3. 任意のサイズボタンを押して検知サイズを切替えます。



4. [OK] を押します。設定変更しない場合は [キャンセル] を押します。
5. 「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定変更〕を押します。



6. 用紙条件（用紙種類、坪量）を設定します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録されている用紙条件のリストからNo. ボタンを押して選択します。
〔OK〕を押します。



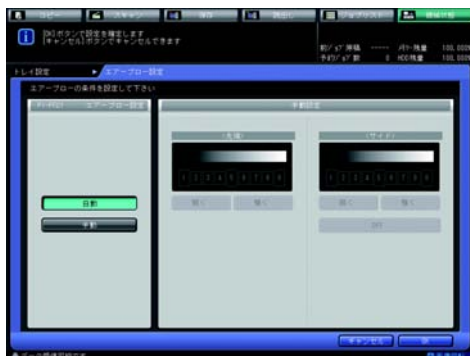
「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定変更〕を押します。



〔用紙種類〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の用紙種類を選択します。
〔坪量〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の坪量を選択します。
〔OK〕を押します。



7. 「エアブロー」表示右の〔設定変更〕を押します。
8. エアブローの自動/手動を選択します。
〔手動〕選択時、＜先端＞と＜サイド＞の風量を調整します。
〔OK〕を押します。



9. ここで設定した用紙条件を登録したいときは〔設定登録〕を押します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録したい登録No.を表示させ、登録No.ボタンを押して任意の名称を入力し〔OK〕を2回押します。
10. トレイ設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

■ PI-PFUトレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定をする

1. 機械状態画面の〔トレイ設定〕を押します。



2. 「PI-PFUトレイ」表示下の〔PI-PFU1〕、〔PI-PFU2〕または〔PI-PFU3〕を押して反転させます。
「くるみ製本表紙用設定」表示下の「用紙サイズ」の〔設定変更〕を押します。



3. 表紙の不定形サイズを設定します。
用紙のタテ/ヨコのサイズ数値を表示しているボタンを押して反転させ、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。
あらかじめ登録していた不定形サイズを呼び出すときは、〔サイズ読出し〕を押します。



〔▲〕〔▼〕を押して任意のNo. ボタンを押し、〔OK〕を押します。



サイズ設定画面の〔OK〕を押します。

4. 「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定呼出〕を押します。



5. 表紙の用紙条件（用紙種類、坪量）を設定します。

〔▲〕〔▼〕を押して登録されている用紙条件のリストからNo. ボタンを押して選択します。
〔OK〕を押します。



「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定変更〕を押します。



〔用紙種類〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の用紙種類を選択します。
〔坪量〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の坪量を選択します。
〔OK〕を押します。



6. 「エアブロー」表示右の〔設定変更〕を押します。
7. エアブローの自動/手動を選択します。
〔手動〕選択時、＜先端＞と＜サイド＞の風量を調整します。
〔OK〕を押します。



8. ここで設定した用紙条件を登録したいときは〔設定登録〕を押します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録したい登録No.を表示させ、登録No.ボタンを押して任意の名称を入力し〔OK〕を2回押します。
9. トレイ設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

PBトレイにトレイ設定する

PBトレイとは、くるみ製本機PB-502の表紙トレイです。

PBトレイは、くるみ製本の表紙のみセットします。

そのため、用紙サイズの不定形サイズを設定します。また、用紙条件のうち用紙種類と坪量を設定し、エアブローのON/OFFを設定します。

■PBトレイにくるみ製本表紙用のトレイ設定

手順

1. 機械状態画面の〔トレイ設定〕を押します。



2. 「PBトレイ」表示下の〔PB〕を押して反転させます。
「用紙サイズ」表示右の〔設定変更〕を押します。



3. 表紙の不定形サイズを設定します。
用紙のタテ/ヨコのサイズ数値を表示しているボタンを押して反転させ、テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意のサイズを入力します。
あらかじめ登録していた不定形サイズを呼び出すときは、〔サイズ読出し〕を押します。



〔▲〕〔▼〕を押して任意のNo. ボタンを押し、〔OK〕を押します。



サイズ設定画面の〔OK〕を押します。

4. 「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定呼出〕を押します。



5. 表紙の用紙条件（用紙種類、坪量）を設定します。

〔▲〕〔▼〕を押して登録されている用紙条件のリストからNo. ボタンを押して選択します。
〔OK〕を押します。



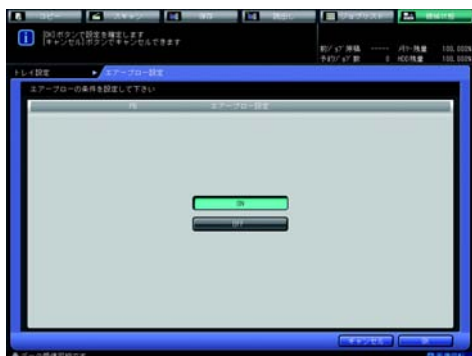
「用紙名称」「用紙種類」「坪量」表示下の〔設定変更〕を押します。



〔用紙種類〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の用紙種類を選択します。
〔坪量〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の坪量を選択します。
〔OK〕を押します。



6. 「エアブロー」表示右の〔設定変更〕を押します。
7. エアブローのON/OFFを選択します。
〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させ、〔OK〕を押します。



8. ここで設定した用紙条件を登録したいときは〔設定登録〕を押します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録したい登録No.を表示させ、登録No.ボタンを押して任意の名称を入力し〔OK〕を2回押します。
9. トレイ設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

用紙条件を登録する

用紙条件を登録する手順を説明します。



用紙サイズは用紙条件として登録しません。

手順

1. 機械状態画面の〔用紙条件登録/削除〕を押します。



2. 登録する登録No. ボタンを押して選択します。
〔▲〕〔▼〕を押して登録する登録No. ボタンを表示させます。001～256まで表示されます。
登録名が表示されていない登録No. ボタンを選択すると、新規に登録されます。
登録名が表示されている登録No. ボタンを選択すると、登録済みの用紙条件を編集できます。



用紙条件設定画面が表示されます。

3. 〔追加/編集〕を押します。



4. 用紙種類を設定します。

〔用紙種類〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の用紙種類を選択します。



用紙種類の仕様はp. 2-4をごらんください。

5. 用紙名称を入力します。

(1) 〔用紙名称〕を押し、用紙名称を入力します。



入力の方法は付録の「文字入力のしかた」をごらんください。

(2) 〔OK〕を押します。

新たに入力した用紙名称を設定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。

6. 坪量を設定します。

〔坪量〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の坪量を選択します。



7. 色紙を設定します。

〔色紙〕を押して反転させ、右側のボタンを押して任意の色紙を選択します。



8. パンチ穴あり/なしを設定します。

〔パンチ穴〕を押して反転させ、右側の〔パンチ穴あり〕または〔パンチ穴なし〕を押します。



9. 表裏調整を設定します。
〔表裏調整〕を押して、反転させます。



- (1) 表裏調整画面の〔オモテ面〕または〔ウラ面〕を押して設定するプリント面を選択します。
- (2) 調整する項目 (〔タテ倍〕、〔ヨコ倍〕、〔上下〕、〔左右〕) を押して選択します。
- (3) 〔+↔-〕を押して調整値の＋を選択します。
- (4) テンキーまたは〔▲〕〔▼〕を押して任意の数値を表示させます。

詳しく説明します

- ・調整値の設定範囲に関してはp. 2-3をごらんください。
- ・用紙条件の登録時はチャート調整はできません。チャート調整は、p. 2-3をごらんください。

10. プロセス調整を設定します。
- (1) 〔プロセス調整〕を押して反転させます。
 - (2) 〔転写電流オフセット調整〕を押します。



調整したい項目ボタンを押して反転させます。
〔+↔-〕を押して調整値の＋を選択し、画面のテンキーを押して数値を入力します。
〔セット〕を押します。

調整範囲：－128～＋127

〔OK〕を押します。



(3) 〔定着圧接力設定〕を押します。

任意のボタンを押して〔OK〕を押します。



(4) 〔OK〕を押します。

設定しないときは〔キャンセル〕を押します。

11. 用紙条件登録/削除画面の〔OK〕を押します。

設定した条件を使用しないときは〔キャンセル〕を押します。機械状態画面にもどります。

用紙条件を削除する

登録した用紙条件を削除する手順を説明します。

手順

1. 機械状態画面の〔用紙登録/削除〕を押します。



2. 〔▲〕〔▼〕を押して削除する登録No. ボタンを表示させます。
3. 削除する登録No. ボタンを押して反転させ、〔削除〕を押します。



4. 削除するときは〔はい〕、削除しないときは〔いいえ〕を押します。



用紙条件登録/削除画面にもどります。

複数の用紙条件を削除するときは、手順2～4を繰り返します。

5. 用紙条件登録/削除画面の〔OK〕を押します。機械状態画面にもどります。
6. 用紙設定画面の〔閉じる〕を押します。機械状態画面にもどります。

不定形サイズを登録・編集/削除する

用紙の不定形サイズを登録・編集/削除する手段を説明します。



トレイ設定や用紙予約設定から不定形サイズで不定形サイズをトレイに設定することができますが、設定した不定形サイズを登録することはできません。

■ 不定形サイズを登録・編集する

手順

1. 機械状態画面の〔不定形サイズ登録/削除〕を押します。



不定形サイズ登録/削除画面が表示されます。

2. 登録・編集する登録No. ボタンを押して反転させ、〔追加/編集〕を押します。
登録名が表示されている登録No. ボタンを選択すると、登録済みのサイズを編集できます。



3. タテ/ヨコのサイズ数値を表示しているボタンを押して反転させ、テンキーまたは〔▲〕、〔▼〕を押して、任意のサイズを入力します。



このとき入力出来る範囲は、タテ95 mm～324 mm、ヨコ133 mm～463 mmです。(最小タテ95 mm x ヨコ133 mm～最大タテ324 mm～ヨコ463 mm)

4. 〔先端合わせ〕、〔後端合わせ〕または〔中央合わせ〕を押して、画像転写基準位置を設定します。
 5. 〔OK〕を押します。
- 名前入力画面が表示されます。
6. 名前を入力して〔OK〕を押します。



7. 〔閉じる〕を押します。

■登録した不定形サイズを削除する

手順

1. 機械状態画面の「不定形サイズ登録/削除」を押します。



不定形サイズ登録/削除画面が表示されます。

2. 削除する登録No. ボタンを押して、「削除」を押します。



削除確認のポップアップ画面が表示されます。

3. 「はい」を押します。



4. 「閉じる」を押します。機械状態画面にもどります。

調整

第3章

本体の出力、原稿スキャンの調整、後処理系オプションの各調整について説明します。

調整の概要 3-2

- 調整項目一覧 3-2

01 マシン調整 3-10

- 01 倍率調整>01 プリンター表面通紙方向倍率調整 3-10
- 01 倍率調整>02 プリンター裏面通紙方向倍率調整 3-11
- 01 倍率調整>03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整 .. 3-12
- 01 倍率調整>04 プリンター裏面通紙交差方向倍率調整 .. 3-13
- 02 タイミング調整>01 プリンター表面先端タイミング調整.. 3-14
- 02 タイミング調整>02 プリンター裏面先端タイミング調整.. 3-15
- 02 タイミング調整>03 スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整..... 3-16
- 02 タイミング調整>04 スキャナー（ADF）先端タイミング調整.. 3-17
- 03 片寄り調整>01 プリンター片寄り調整..... 3-18
- 04 LPH調整>01 LPHチップ間ギャップ補正 3-19

02 フィニッシャー調整..... 3-20

- 01 平とじ機位置調整>01 ステープルセンター位置調整.. 3-20
- 01 平とじ機位置調整>02 紙幅調整 3-21
- 01 平とじ機位置調整>03 排紙ガイド部材センター位置調整.. 3-23
- 01 平とじ機位置調整>04 排紙ガイド部材紙幅調整 3-24
- 02 マルチ折り機（パンチ穴）調整>01 紙幅調整 3-25
- 02 マルチ折り機（パンチ穴）調整>02 パンチ穴のタテ位置調整... 3-26
- 03 マルチ折り機（折り）調整>01 中折り位置調整 3-28
- 03 マルチ折り機（折り）調整>02 内3つ折り位置調整 ... 3-29
- 03 マルチ折り機（折り）調整>03 外3つ折り位置調整 ... 3-31
- 03 マルチ折り機（折り）調整>04 ダブルパラレル折り位置調整... 3-33
- 03 マルチ折り機（折り）調整>05 Z折り位置調整 3-35
- 03 マルチ折り機（折り）調整>06 観音折り位置調整 3-37

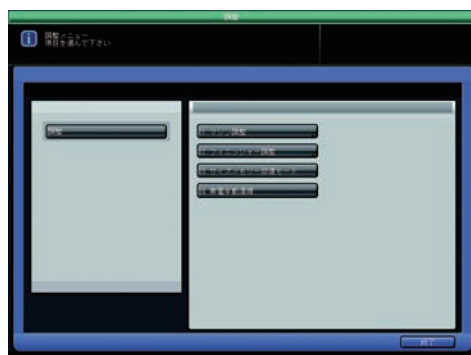
- 04 スタッカ―調整>01 紙幅調整 3-39
- 04 スタッカ―調整>02 紙長調整 3-40
- 05 中とじ機位置調整>01 ステープルセンター位置調整.. 3-41
- 05 中とじ機位置調整>02 ステープル紙幅調整..... 3-42
- 05 中とじ機位置調整>03 ステープルピッチ調整 3-44
- 05 中とじ機位置調整>04 中折り位置調整..... 3-45
- 05 中とじ機位置調整>05 3つ折り位置調整..... 3-46
- 05 中とじ機位置調整>06 折り紙幅調整..... 3-48
- 05 中とじ機位置調整>07 断裁量調整 3-49
- 05 中とじ機位置調整>08 受け木調整 3-50
- 06 くるみ製本機調整>01 表紙断裁切り量調整..... 3-51
- 06 くるみ製本機調整>02 表紙先端位置調整..... 3-52
- 06 くるみ製本機調整>03 表紙角背形成部位置調整 3-54
- 06 くるみ製本機調整>04 糊塗布開始位置調整..... 3-55
- 06 くるみ製本機調整>05 糊塗布完了位置調整..... 3-57
- 06 くるみ製本機調整>06 糊形成完了位置調整..... 3-59
- 06 くるみ製本機調整>07 温度設定 3-60
- 06 くるみ製本機調整>08 サブコンパイル部CD整合幅調整... 3-62
- 06 くるみ製本機調整>09 クランプ部CD整合幅調整 3-63
- 06 くるみ製本機調整>10 表紙昇降形成部CD整合幅調整 3-64
- 06 くるみ製本機調整>11 クランプ部FD整合幅調整..... 3-65
- 07 中継スタッカー（RU）調整>01 紙幅調整 3-66
- 07 中継スタッカー（RU）調整>02 紙長調整 3-67

03 サイズメモリー回復モード..... 3-68

04 帯電手動清掃 3-69

調整の概要

機械状態画面の〔調整〕を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



本体の出力および原稿スキャンの調整ができます。
オプションのフィニッシャーを装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。
ドラム予備回転や帯電極の清掃を行います。

■ 調整項目一覧

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
01 マシン調整		
01 倍率調整		
01 プリンター表面通紙方向倍率調整 プリンターエンジンの通紙方向の倍率を調整します。		調整範囲： （短い） - 10 ~ 10（長い） （1 step = 0.05%）
02 プリンター裏面通紙方向倍率調整 プリンターエンジン裏面の通紙方向の倍率オフセット調整をします。 前準備：プリンター表面通紙方向倍率調整が終了していること。		調整対象： トレイ 1 ~ トレイ 8 調整範囲： （短い） - 10 ~ 0（長い） （1 step = 0.05%）
03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整 プリンターエンジンの通紙交差方向の倍率を調整します。		調整範囲： （短い） - 10 ~ 10（長い） （1 step = 0.05%）
04 プリンター裏面通紙交差方向倍率調整 プリンターエンジンの裏面の通紙交差方向の倍率オフセット調整をします。 前準備：プリンター表面通紙交差方向倍率調整が終了していること。		調整対象： トレイ 1 ~ トレイ 8 調整範囲： （短い） - 10 ~ 0（長い） （1 step = 0.05%）
02 タイミング調整		
01 プリンター表面先端タイミング調整 プリンターエンジンの通紙方向画像先端位置を調整します。 前準備：倍率調整が終了していること。		調整対象： 全トレイオフセット、トレイ 1 オフセット ~ トレイ 8 オフセット 調整範囲： （短い） - 30 ~ 30（長い） （1 step = 0.1 mm）

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	02 プリンター裏面先端タイミング調整 プリンターエンジンの裏面の通紙方向画像先端位置オフセットを調整します。 前準備：倍率調整が終了していること。	調整対象： トレイ 1 オフセット～ トレイ 8 オフセット 調整範囲： （短い）－ 30 ～ 30（長い） （1 step = 0.1 mm）
	03 スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整 原稿ガラスでの原稿スキャン時の読み込み開始位置を調整します。 前準備：倍率調整が終了していること。	調整範囲： （画像早い）－ 40 ～ 40（画像遅い） （1 step = 0.1 mm）
	04 スキャナー（ADF）先端タイミング調整 ADF 原稿スキャン時の読み込み開始位置を調整します。 前準備：倍率調整が終了していること。	調整対象： 表面、裏面 調整範囲： （画像早い）－ 50 ～ 50（画像遅い） （1 step = 0.1 mm）
03 片寄り調整		
	01 プリンター片寄り調整 プリンターエンジンの用紙交差方向の画像片寄りを調整します。 前準備：プリンター表面（裏面）通紙交差方向倍率調整が終了していること。	調整範囲： － 64 ～ 63（1 step = 0.1 mm）
	04 LPH チップ間ギャップ補正	調整範囲： － 8 ～ 8（1 step = 1.0 %）
02 フィニッシャー調整		
	01 平とじ機位置調整	
	01 ステープルセンター位置調整 ステープルフィニッシャーのステープルのセンター位置を調整します。	調整範囲： （手前方向へ）－ 20 ～ 20（奥方向へ） （1 step = 0.1 mm）
	02 紙幅調整 ステープルモード：ステープルフィニッシャーのステープル束の整合板幅を調整します。 ストレートモード：ステープルフィニッシャーのストレート排出の整合幅を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、 A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、 8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、16K□、 12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、 A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、 11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、 SRA4□、9x11□ 調整範囲： （広く）－ 20 ～ 20（狭く） （1 step = 0.1 mm）
	03 排紙ガイド部材センター位置調整 平とじ機の排紙ガイド部材を用紙センターに合わせます。	調整対象： ストレート（小サイズ）、ストレート（大サイズ）、シフト前（小サイズ）、シフト前（大サイズ）、シフト奥（小サイズ）、シフト奥（大サイズ） 調整範囲： （手前方向へ）－ 50 ～ 50（奥方向へ） （1 step = 0.1 mm）

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	04 排紙ガイド部材紙幅調整 ステープルフィニッシャーの排紙ガイド部材の整合間隔を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、 A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、 8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、16K□、 12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、 A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、 11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、 SRA4□、9x11□ 調整範囲： （広く）－ 50 ～ 50（狭く） （1 step = 0.1 mm）
	02 マルチ折り機（パンチ穴）調整	
	01 紙幅調整 折り機の各用紙サイズの用紙幅を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8.5x11□、A4□、A5□、B5□、A5□、 5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、 8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、 16K□、12x18□、SRA4□、9x11□ 調整範囲： （狭い）－ 20 ～ 20（広い） （1 step = 0.1 mm）
	02 パンチ穴のv位置調整 折り機のパンチ穴の縦位置を調整します。パンチ穴と用紙端面の間隔を調整します。	調整対象： 2穴：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8.5x11□、A4□、A5□、B5□、A5□、 5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、 8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、 16K□、12x18□、SRA4□、9x11□ 3穴：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x11□、A4□、B5□、8K□、16K□、 12x18□、9x11□ 調整範囲： （狭い）－ 40 ～ 40（広い） （1 step = 0.1 mm）
	03 折り機（折り）調整	
	01 中折り位置調整 折り機の中折り位置を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、 12x18□、Custom、SRA4□ 調整範囲： （短く）－ 50 ～ 50（長く） （1 step = 0.1 mm）

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
	02 内 3 つ折り位置調整 折り機の内 3 つ折り位置を調整します。 1 折り、2 折りの両方を調整するときは、2 折りから調整します。	調整対象： 全 サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、 12x18□、Custom、SRA4□ 調整範囲： (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 step = 0.1 mm)
	03 外 3 つ折り位置調整 折り機の外 3 つ折り位置を調整します。 1 折り、2 折りの両方を調整するときは、2 折りから調整します。	調整対象： 全 サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、 12x18□、Custom、SRA4□ 調整範囲： (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 step = 0.1 mm)
	04 ダブルパラレル折り位置調整 折り機のダブルパラレル折り位置を調整します。 1 折り、2 折りの両方を調整するときは、1 折りから調整します。	調整対象： 全 サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、 12x18□、Custom、SRA4□ 調整範囲： (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 step = 0.1 mm)
	05 Z 折り位置調整 折り機の Z 折り位置を調整します。 1 折り、2 折りの両方を調整するときは、1 折りから調整します。	調整対象： 全 サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、 12x18□、Custom、SRA4□ 調整範囲： (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 step = 0.1 mm)
	06 観音折り位置調整 折り機の観音折り位置を調整します。 調整するときは、1 折りから調整します。	調整対象： 全 サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、 12x18□、Custom、SRA4□ 調整範囲： 1 折り / 3 折り：(短く) - 5050 (長く) (1 step = 0.1 mm) 2 折り：(長く) - 50 ~ 50 (短く) (1 step = 0.1 mm)
	04 スタッカー調整	
	01 紙幅調整 スタッカートレイの通紙交差方向で排紙ズレがあるときに、整合時の整合板の位置を調整します。	調整対象： スタッカー 1 連目 スタッカー 2 連目 調整範囲： (狭い) - 20 ~ 20 (広い) (1 step = 0.1 mm)
	02 紙長調整 スタッカートレイの通紙方向で排紙ズレがあるときに、先端ストッパーの位置を調整します。	調整対象： スタッカー 1 連目 スタッカー 2 連目 調整範囲： (狭い) - 20 ~ 20 (広い) (1 step = 0.1 mm)

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
05 中とし機位置調整		
01 ステープルセンター位置調整 中とし機のステープルのセンター位置を調整します。	調整範囲： (右) - 20 ~ 20 (左) (1 step = 0.1 mm)	
02 ステープル紙幅調整 中とし機の整合板の間隔を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、 A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、 12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、 Custom、SRA3□、SRA4□ 調整範囲： (狭く) - 20 ~ 20 (広く) (1 step = 0.1 mm)	
03 ステープルピッチ調整 中とし機のステープル間隔を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、 A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、 12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、 Custom、SRA3□、SRA4□ 調整範囲： (狭く) - 20 ~ 20 (広く) (1 step = 0.1 mm)	
04 中折り位置調整 中とし機の中折り位置を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、 A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、 12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、 Custom、SRA3□、SRA4□、PI用紙 調整範囲： (短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 step = 0.1 mm)	
05 3つ折り位置調整 中とし機の3つ折り位置を調整します。 1折り、2折りの両方を調整するときは、1折りから調整します。	調整対象： 全サイズ、A4□、8.5x11□ 調整範囲： 1折り：(長く) - 50 ~ 50 (短く) (1 step = 0.1 mm) 2折り：(短く) - 50 ~ 50 (長く) (1 step = 0.1 mm)	
06 折り紙幅調整 中折り、重ね3つ折り時の紙束内にズレがあるとき、 整合時の整合幅を調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、 A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、 12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、 Custom、SRA3□、SRA4□、PI用紙 調整範囲： (狭い) - 50 ~ 50 (広い) (1 step = 0.1 mm)	

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	07 断裁量調整 断裁量を調整します。2 mm より少ない場合、断裁不良を起こすことがあります。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、 8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、 A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、 12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、 Custom、SRA3□、SRA4□ 調整範囲： (小) - 400 ~ 400 (大) (1 step = 0.1 mm)
	08 受け木調整 頻繁に断裁を行うと、受け木が傷み、断裁が正常に行われなくなることがあります。自動 / 手動で受け木を動かします。	調整対象： 移動断裁回数 移動ピッチ 強制移動実行
06 くるみ製本機調整		
	01 表紙断裁切り量調整 右表紙先端の断裁量を調整します。左右の表紙先端位置を合わせるときは、最初に表紙先端位置調整を行ってください。	調整対象： PIトレイ、本体トレイ 調整範囲： (短く) - 128 ~ 127 (長く) (1 step = 0.1 mm)
	02 表紙先端位置調整 本身に対する左表紙先端位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 本体トレイ：全サイズ、8.5x11□、 A4□、A5□、B5□、A5□、5.5x8.5□、 Custom、16K□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、A4W□、A5W□、B5W□ PBトレイ：全サイズ、8.5x11□、A4□、 A5□、B5□、A5□、5.5x8.5□、 Custom、16K□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、A4W□、A5W□、B5W□ 調整範囲： (短く) - 128 ~ 127 (長く) (1 step = 0.1 mm)
	03 表紙角背形成部位置調整 背表紙の形成状態を調整します。	調整対象： 前調整（手前側）、後調整（奥側） 調整範囲： (下：丸くなる) - 128 ~ 127 (上：角張る) (1 step = 0.1 mm)
	04 糊塗布開始位置調整 本身への塗布開始位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 前進時（奥側）：全サイズ、8.5x11□、 A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、 A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、Custom 後退時（手前側）：全サイズ、8.5x11□、 A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、 A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、Custom 調整範囲： (早く) - 128 ~ 127 (遅く) (1 step = 0.1 mm)

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
05 糊塗布完了位置調整 本身への塗布完了位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 前進時（手前側）：全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom 後退時（奥側）：全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom 調整範囲： （早く）－ 128 ～ 127（遅く） （1 step = 0.1 mm）
06 糊形成完了位置調整 本身に塗布した糊の均一化完了位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom 調整範囲： （早く）－ 128 ～ 127（遅く） （1 step = 0.1 mm）
07 温度設定 糊タンク上部： 設定温度以下検知で液面低下と判断し、糊ペレットを補給します。環境温度が高く、液面検知が不良の場合、高めに設定します。 糊タンク中部： ウォームアップ完了判断温度で、ローラー回転を始めます。高めに設定すると、始業直後の糊温度が早めに安定します。 糊タンク下部： タンクヒーター制御温度を調整します。 温度低：糊粘度上昇、温度高：糊粘度低下 塗布ローラー： ローラーヒーター制御温度を調整します。糊加熱をサポートします。 温度低：糊粘度上昇、温度高：糊粘度低下	糊タンク上部： 初期値：132 °C 推奨範囲：128 °C～ 136 °C 糊タンク中部： 初期値：145 °C 推奨範囲：140 °C～ 145 °C 糊タンク下部： 初期値：185 °C 推奨範囲：180 °C～ 190 °C 塗布ローラー： 初期値：165 °C 推奨範囲：160 °C～ 170 °C
08 サブコンパイル部 CD 整合幅調整 サブコンパイル部での本身内のズレがあるときに整合幅を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom 調整範囲： （広く）－ 20 ～ 20（狭く） （1 step = 0.1 mm）
09 クランプ部 CD 整合幅調整 本身内のズレがあるときに通紙交差方向の整合幅を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom 調整範囲： （広く）－ 20 ～ 20（狭く） （1 step = 0.1 mm）

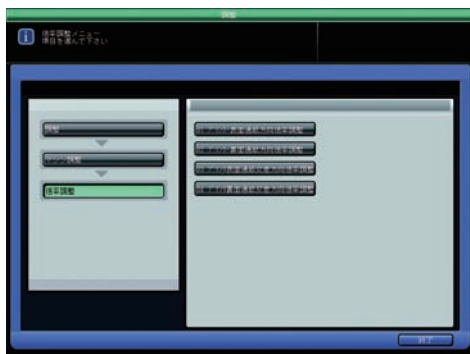
設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	10 表紙昇降形成部 CD 整合幅調整 本身と表紙の通紙交差方向位置関係を調整するため、表紙整合時の整合幅を調整します。	調整対象： PIトレイ、本体トレイ 調整範囲： (<u>広く</u>) - 20 ~ 20 (<u>狭く</u>) (1 step = 0.1 mm)
	11 クランプ部 FD 整合幅調整 本身内のズレがあるときに通紙方向の整合幅を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。	調整対象： 全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、 5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、 A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、 Custom 調整範囲： (<u>広く</u>) - 20 ~ 20 (<u>狭く</u>) (1 step = 0.1 mm)
07 中継スタッカー（RU）調整		
	01 紙幅調整 中継搬送ユニット（中継スタッカー）（RU）の通紙交差方向の整合板の位置を調整します。パンチの通紙交差方向穴ズレがあったときに調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、 A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、 8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、16K□、 12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、 A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、 11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、 SRA4□、9x11□ 調整範囲： (<u>狭い</u>) - 20 ~ 20 (<u>広い</u>) (1 step = 0.1 mm)
	02 紙長調整 中継搬送ユニット（中継スタッカー）（RU）の通紙方向の整合板の位置を調整します。パンチの通紙方向穴ズレがあったときに調整します。	調整対象： 全サイズ、11x17□、A3□、B4□、 8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、 A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、 8.125x13.25□、8.5x13□、 8.25x13□、8K□、16K□、16K□、 12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、 A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、 11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、 5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、 SRA4□、9x11□ 調整範囲： (<u>狭い</u>) -50 ~ 50 (<u>広い</u>) (1 step = 0.1 mm)
03 サイズメモリー回復モード ドラム予備回転を 1 分間実施します。前ジョブより幅の広い用紙を使用し、用紙端部画像に濃度差が発生したときに実施します。		スタート
04 帯電手動清掃 帯電極を清掃します。ハーフトーン画像にスジやムラが発生したときに実施します。		スタート

01 マシン調整

■ 01 倍率調整 > 01 プリンター表面通紙方向倍率調整

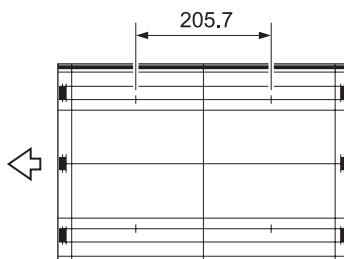
プリンターエンジンの通紙方向の倍率を調整します。

調整範囲：(短い) -10～10 (長い) (1 step = 0.05%)



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔01 倍率調整〕、〔01 プリンター表面通紙方向倍率調整〕を順に押します。
3. 印刷モードへ〕を押します。
4. A3□用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
6. 紙送り方向の倍率をスケールで測定します。



7. 調整が必要な場合は、〔閉じる〕を押してプリンター表面通紙方向倍率調整画面にもどります。
8. 〔+<->-〕を押して調整値の＋ーを選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
9. 希望する結果が得られるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 01 倍率調整 > 02 プリンター裏面通紙方向倍率調整

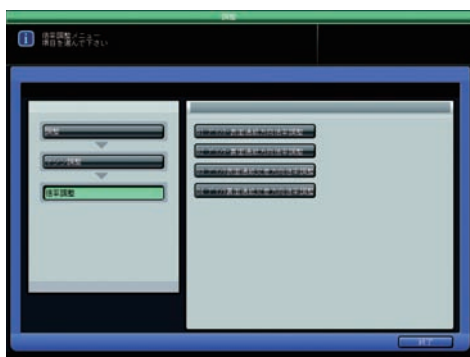
プリンターエンジン裏面の通紙方向の倍率オフセット調整をします。

調整対象：トレイ1～トレイ8

調整範囲：(短い) -10～0 (長い) (1 step = 0.05%)

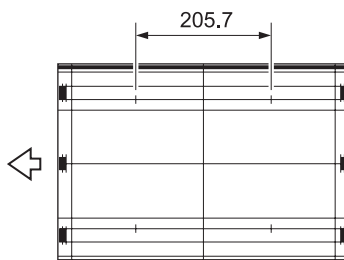


本調整は、「01 倍率調整 > 01 プリンター表面通紙方向倍率調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔01 倍率調整〕、〔02 プリンター裏面通紙方向倍率調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整したいトレイにA3□用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 紙送り方向の倍率をスケールで測定します。

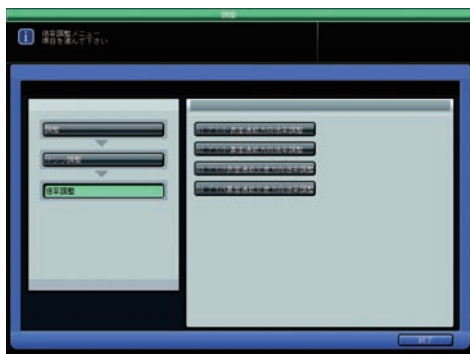


8. 調整が必要な場合は、〔閉じる〕を押してプリンター裏面通紙方向倍率調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 01 倍率調整 > 03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整

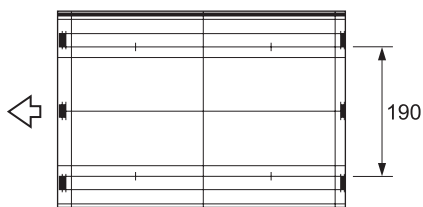
プリンターエンジンの通紙交差方向の倍率を調整します。

調整範囲：(短い) -10～10 (長い) (1 step = 0.05%)



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [01 マシン調整]、[01 倍率調整]、[03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整] を順に押します。
3. [印刷モードへ] を押します。
4. A3用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
6. 紙送り方向に対して垂直方向の倍率をスケールで測定します。



7. 調整が必要な場合は、〔閉じる〕を押してプリンター表面通紙交差方向倍率調整画面にもどります。
8. [＋<－>] を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
9. 希望する結果が得られるまで、手順3～8を繰り返します。
10. [前画面] を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 01 倍率調整 > 04 プリンター裏面通紙交差方向倍率調整

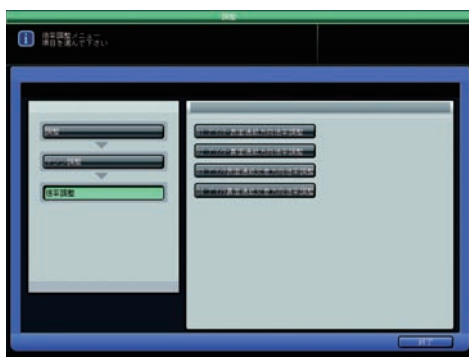
プリンターエンジンの裏面の通紙交差方向の倍率オフセット調整をします。

調整対象：トレイ1～トレイ8

調整範囲：(短い) -10～0 (長い) (1 step = 0.05%)

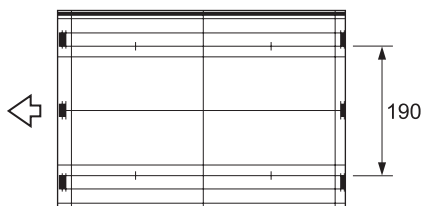


本調整は、「01 倍率調整 > 03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔01 倍率調整〕、〔04 プリンター裏面通紙交差方向倍率調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整したいトレイにA3□用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 紙送り方向に対して垂直方向の倍率をスケールで測定します。



8. 調整が必要な場合は、〔閉じる〕を押してプリンター裏面通紙交差方向倍率調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 02 タイミング調整 > 01 プリンター表面先端タイミング調整

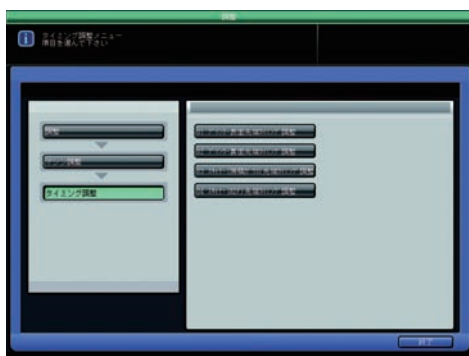
プリンターエンジンの通紙方向画像先端位置を調整します。

調整対象：全トレイオフセット、トレイ1オフセット～トレイ8オフセット

調整範囲：(短い) -30～30 (長い) (1 step = 0.1 mm)

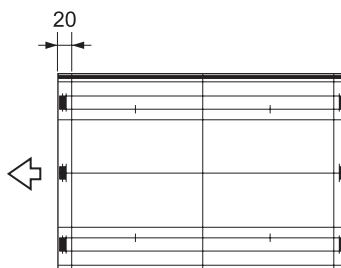


本調整は、「01 倍率調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔02 タイミング調整〕、〔01 プリンター表面先端タイミング調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整したいトレイにA3□用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 先端タイミングを確認します。規格値：20 ± 0.5 mm



8. 規格外の場合は、〔閉じる〕を押してプリンター表面先端タイミング調整画面にもどります。
9. 〔+<->->〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 02 タイミング調整 > 02 プリンター裏面先端タイミング調整

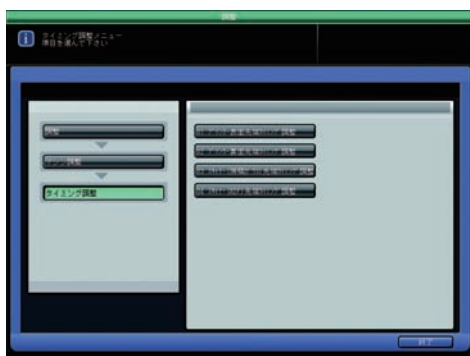
プリンターエンジンの裏面の通紙方向画像先端位置オフセットを調整します。

調整対象：トレイ1オフセット～トレイ8オフセット

調整範囲：(短い) -30～30 (長い) (1 step = 0.1 mm)

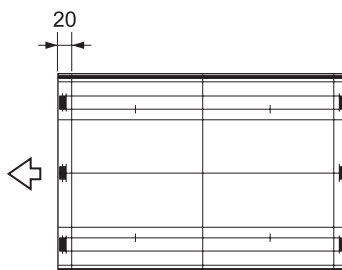


本調整は、「01 倍率調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔02 タイミング調整〕、〔02 プリンター裏面先端タイミング調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整したいトレイにA3□用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 先端タイミングを確認します。規格値：20 ± 0.5 mm



8. 規格外の場合は、〔閉じる〕を押してプリンター裏面先端タイミング調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

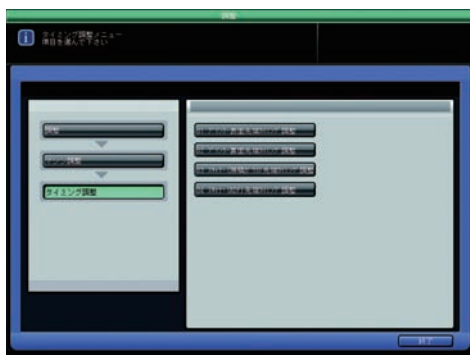
■ 02 タイミング調整 > 03 スキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整

原稿ガラスでの原稿スキャン時の読み込み開始位置を調整します。

調整範囲：（画像早い）－40～40（画像遅い）（1 step = 0.1 mm）



本調整は、「01 倍率調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01マシン調整〕、〔02 タイミング調整〕、〔02 プリンター裏面先端タイミング調整〕を順に押します。
3. 〔印刷モードへ〕を押します。
4. A3用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
5. テストチャートを原稿ガラスにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
6. 出力紙と原稿を合わせてズレを確認します。規格値：0 ± 1.5 mm以内
7. 規格外のときは、〔閉じる〕を押してスキャナー（原稿ガラス）先端タイミング調整画面にもどります。
8. 〔+<->-〕を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
9. 希望する結果が得られるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 02 タイミング調整 > 04 スキャナー (ADF) 先端タイミング調整

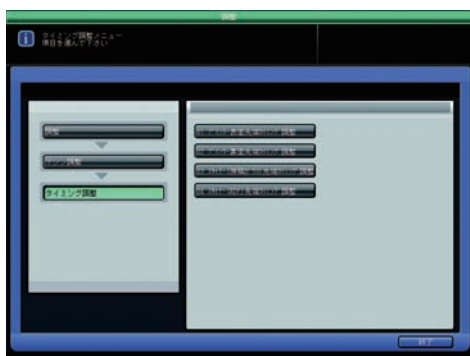
ADF原稿スキャン時の読み込み開始位置を調整します。

調整対象：表面、裏面

調整範囲：(画像早い) - 50 ~ 50 (画像遅い) (1 step = 0.1 mm)



本調整は、「01 倍率調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔02 タイミング調整〕、〔02 プリンター裏面先端タイミング調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. A3用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. テストチャートをADFにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力紙と原稿を合わせてズレを確認します。規格値：0 ± 2 mm以内
8. 規格外のときは、〔閉じる〕を押してスキャナー (ADF) 先端タイミング調整画面にもどります。
9. 〔+<->->-〕を押して調整値の+を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

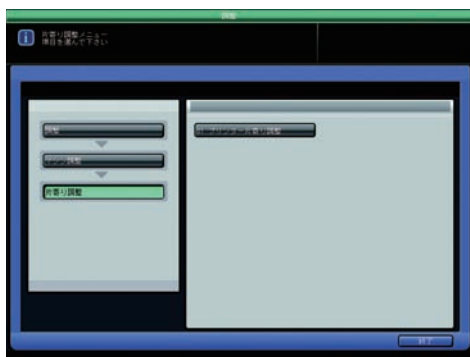
■ 03 片寄り調整 > 01 プリンター片寄り調整

プリンターエンジンの用紙交差方向の画像片寄りを調整します。この調整は、レーザー書き込みタイミングを変更して行われます。

調整範囲：-64～63（1 step = 0.1 mm）



本調整は、「01 倍率調整 > 04 プリンター裏面通紙交差方向倍率調整」と「01 倍率調整 > 03 プリンター表面通紙交差方向倍率調整」の調整後に行ってください。



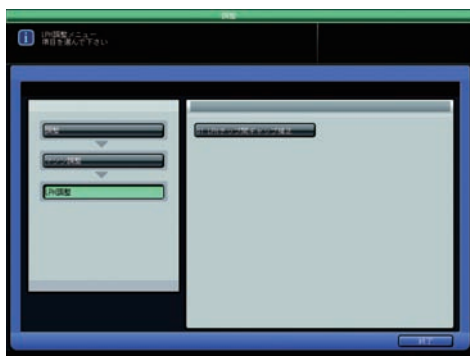
手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔03 片寄り調整〕、〔02 プリンター裏面先端タイミング調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. A3用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の送り方向の中心で2つ折りし、プリント中心のラインとのズレを確認します。
規格値：0 ± 1.5 mm以内
8. 規格外のときは、〔閉じる〕を押してプリンター片寄り調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して倍率調整メニュー画面にもどります。

■ 04 LPH調整 > 01 LPHチップ間ギャップ補正

LDHチップ間ギャップ39箇所を補正します。

調整範囲：-8～8 (1 step = 1 %)



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔01 マシン調整〕、〔04 LPH調整〕、〔01 LPHチップ間ギャップ補正〕を順に押します。
3. テストパターンとライン描画の〔あり〕 / 〔なし〕を選択し、〔印刷モードへ〕を押します。
4. A3用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
6. LDHチップ間ギャップを確認します。
7. ギャップがある場合は、〔閉じる〕を押してLPHチップ間ギャップ補正画面にもどります。
8. ギャップ箇所ボタンを押して反転させ、〔+〕〔-〕を押して調整値を入力し、〔セット〕を押します。全体を補正する場合は、〔全体オフセット〕を押して調整値を入力します。
9. ギャップが無くなるまで、手順4～9を繰り返します。
10. 〔OK〕を押してLPHチップ間ギャップ補正メニュー画面にもどります。

02 フィニッシャー調整

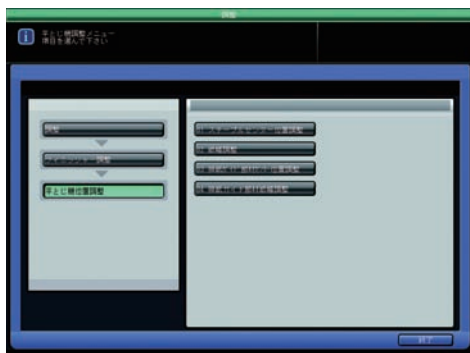
■ 01 平とじ機位置調整 > 01 ステープルセンター位置調整

ステープルフィニッシャー FS-521のステープルのセンタ位置を調整します。

調整範囲：（手前方向へ）－20～20（奥方向へ）（1 step = 0.1 mm）

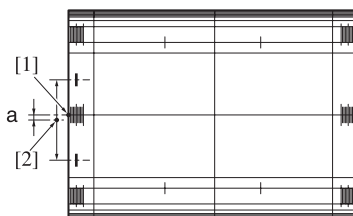


本調整は、「01 平とじ機位置調整 > 02 紙幅調整」のステープルモードの調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔01 平とじ機位置調整〕、〔01 ステープルセンター位置調整〕を順に押します。
3. 〔印刷モードへ〕を押します。
4. A3用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。ステープルされたテストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙の送り方向の中心で2つ折りし、ステープルセンターとのズレを確認します。



7. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押してステープルセンター位置調整画面にもどります。
8. 〔+<->-〕を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
9. 希望する結果が得られるまで、手順3～8を繰り返します。
10. 〔前画面〕を押して平とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 01 平とじ機位置調整 > 02 紙幅調整

ステーブルモード：ステーブルフィニッシャー FS-521 のステーブル束の整合板幅を調整します。

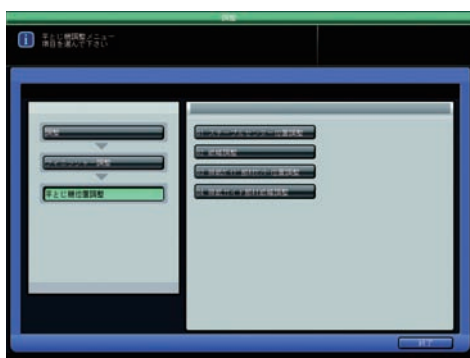
ストレートモード：ステーブルフィニッシャー FS-521 のストレート排出の整合幅を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、SRA4□、9x11□

調整範囲：(広く) -20 ~ 20 (狭く) (1 step = 0.1 mm)

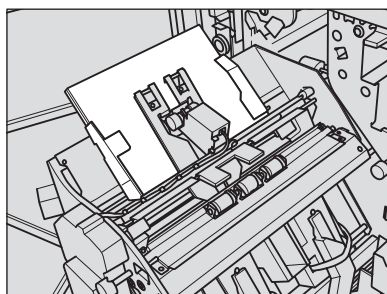
詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔01 平とじ機位置調整〕、〔02 紙幅調整〕を順に押します。
3. 〔ステーブルモード〕または〔ストレートモード〕を押して反転させます。
4. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
5. 〔印刷モードへ〕を押します。
6. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
7. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
8. ステーブルフィニッシャー扉を開け、平とじユニット部を引き出します。

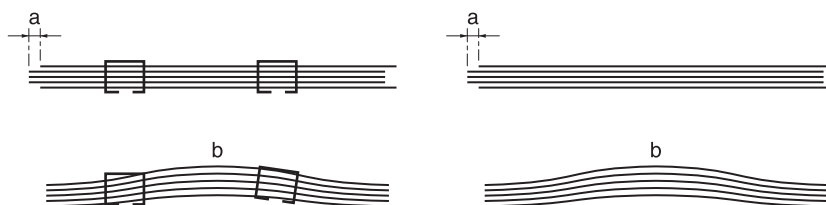


ひとこと

用紙の長辺が239 mm以上の用紙の場合、平とじユニットを引き出すことができません。用紙をいったん排紙口から引き出し、平とじユニットを引き出して、再度用紙をセットしてください。

9. 整合版と用紙の間隔を確認します。

紙束内にズレ a（紙幅よりも紙幅設定が大きいとズレが発生する）がないか、または紙束が湾曲 b（紙幅よりも紙幅設定が小さいと紙束が湾曲する）していないか確認します。



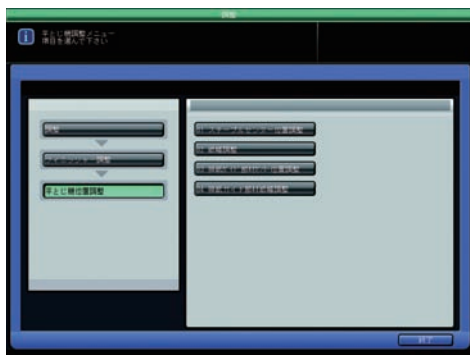
- 10.** 平とじユニット部から用紙を取り除き、平とじユニットを元に位置にもどしてステープルフィニッシャー扉を閉じます。
- 11.** 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して紙幅調整画面にもどります。
- 12.** 〔+<->-〕を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
- 13.** 希望する結果が得られるまで、手順**5**～**12**を繰り返します。
- 14.** 〔前画面〕を押して平とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 01 平とじ機位置調整 > 03 排紙ガイド部材センター位置調整

ステーブルフィニッシャー FS-521の排紙ガイド部材を用紙センターに合わせます。

調整対象：ストレート（小サイズ）、ストレート（大サイズ）、シフト前（小サイズ）、シフト前（大サイズ）、シフト奥（小サイズ）、シフト奥（大サイズ）

調整範囲：（手前方向へ）－50～50（奥方向へ）（1 step = 0.1 mm）



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔01 平とじ機位置調整〕、〔03 排紙ガイド部材センター位置調整〕を順に押します。
3. 調整対象のボタンを押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズ用の紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. メイントレイの出力紙を確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して排紙ガイド部材センター位置調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して平とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 01 平とじ機位置調整 > 04 排紙ガイド部材紙幅調整

ステーブルフィニッシャー FS-521の排紙ガイド部材の整合間隔を調整します。

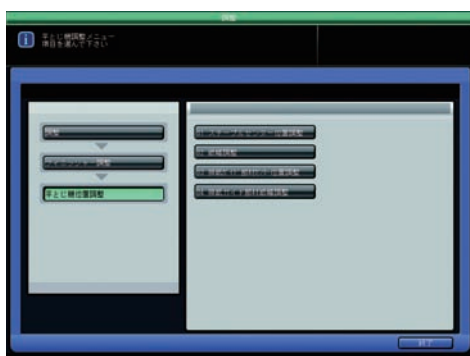
調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、SRA4□、9x11□

調整範囲：(広く) -50~50 (狭く) (1 step = 0.1 mm)



詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値+〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔01 平とじ機位置調整〕、〔04 排紙ガイド部材紙幅調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. メイントレイの出力紙を確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して排紙ガイド部材紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->->〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4~9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して平とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 02 マルチ折り機 (パンチ穴) 調整 > 01 紙幅調整

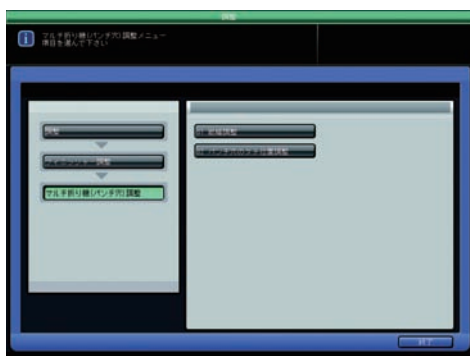
折り機 FD-503 のパンチ穴位置のズレが大きいとき、該当の用紙サイズで幅調整を行います。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8.5x11□、A4□、A5□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、16K□、12x18□、SRA4□、9x11□

調整範囲：(狭い) -20 ~ 20 (広い) (1 step = 0.1 mm)

詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔02 マルチ折り機 (パンチ穴) 調整〕、〔01 紙幅調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 設定部数を10部にして、操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙を重ねたときの貫通穴の直径を確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

設定値が広すぎるとパンチ穴の中央がズレ、狭すぎるとパンチ穴位置がバラつくことがあります。

10. 希望する結果が得られるまで、手順4~9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押してマルチ折り機 (パンチ穴) 調整メニュー画面にもどります。

■ 02 マルチ折り機（パンチ穴）調整 > 02 パンチ穴のタテ位置調整

折り機 FD-503 のパンチ穴の縦位置を調整します。パンチ穴と用紙端面の間隔を調整します。2穴、3穴のパンチ穴を別々に調整できます。

調整対象：2穴：

全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8.5x11□、A4□、A5□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、16K□、12x18□、SRA4□、9x11□

3穴：

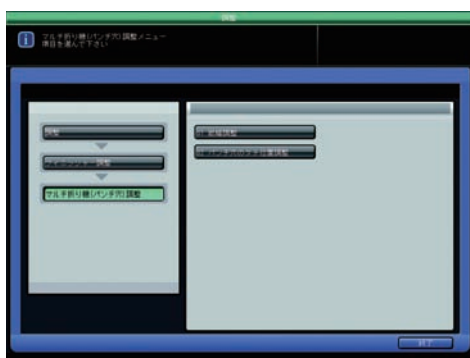
全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x11□、A4□、B5□、8K□、16K□、12x18□、9x11□

調整範囲：（狭い）－40～40（広い）（1 step = 0.1 mm）



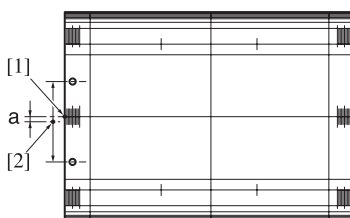
詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔02 マルチ折り機（パンチ穴）調整〕、〔02 パンチ穴のタテ位置調整〕を順に押します。
3. 〔2穴〕または〔3穴〕を押して反転させます。
4. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
5. 〔印刷モードへ〕を押します。
6. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
7. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
8. 出力された用紙のパンチ穴中央までの距離aを確認します。



9. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押してパンチ穴のタテ位置調整画面にもどります。
10. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
11. 希望する結果が得られるまで、手順**5～10**を繰り返します。
12. 〔前画面〕を押してマルチ折り機（パンチ穴）調整メニュー画面にもどります。

■ 03 マルチ折り機（折り）調整 > 01 中折り位置調整

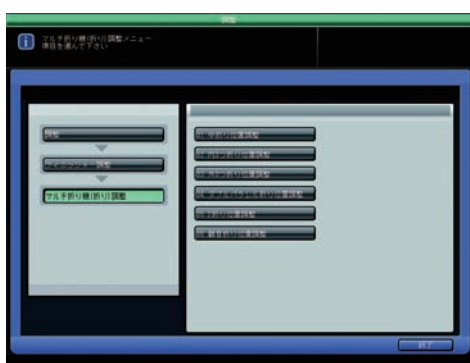
折り機FD-503の中折り位置を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、12x18□、Custom、SRA4□

調整範囲：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）



〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 フィニッシャー調整]、[03 マルチ折り機（折り）調整]、[01 中折り位置調整] を順に押します。
3. [▲] [▼] を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. [印刷モードへ] を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の端のズレaを確認します。



8. 調整が必要なときは、[閉じる] を押して中折り位置調整画面にもどります。
9. [＋<－>] を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[セット] を押します。

ひとこと

手順7のズレのときは、プラス側の調整値を入力してください。

10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. [前画面] を押してマルチ折り機（折り）調整メニュー画面にもどります。

■ 03 マルチ折り機（折り）調整 > 02 内3つ折り位置調整

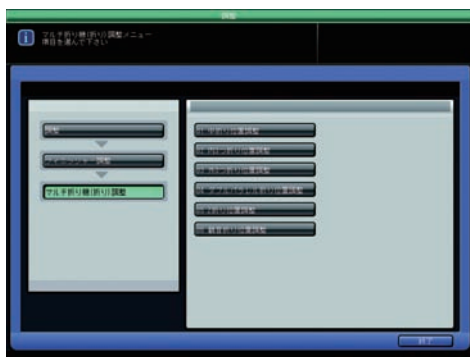
折り機FD-503の内3つ折り位置を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、12x18□、Custom、SRA4□

調整範囲：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）

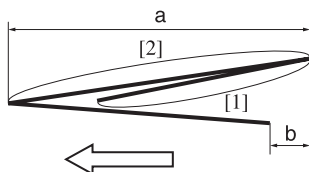
詳しく説明します

- 1 折り、2 折りの両方を調整するときは、2 折りから調整します。1 折りの位置は用紙先端を、2 折りの位置は1 折り位置をそれぞれ基準とするため、手順 7 の b 寸法は1 折り、2 折りのどちらの位置を変えても変化します。
- 〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

- 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
- 〔02 フィニッシャー調整〕、〔03 マルチ折り機（折り）調整〕、〔02 内3つ折り位置調整〕を順に押します。
- 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
- 〔印刷モードへ〕を押します。
- 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
- 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
- 出力された用紙のaとbを確認します。



- 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して内3つ折り位置調整画面にもどります。
- 〔2 折り〕を押して反転させます。

10. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

手順7のa寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

11. 〔1折り〕を押して反転させます。

12. 手順10を繰り返します。

ひとこと

手順7のb寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

13. 希望する結果が得られるまで、手順4～10を繰り返します。

14. 〔前画面〕を押してマルチ折り機（折り）調整メニュー画面にもどります。

■ 03 マルチ折り機（折り）調整 > 03 外3つ折り位置調整

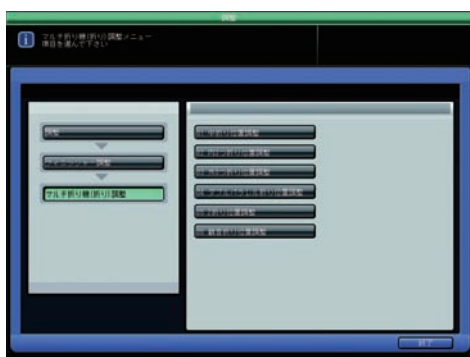
折り機FD-503の外3つ折り位置を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、12x18□、Custom、SRA4□

調整範囲：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）

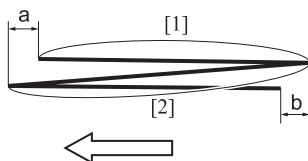
詳しく説明します

- 1折り、2折りの両方を調整するときは、2折りから調整します。1折りの位置は用紙先端を、2折りの位置は1折り位置をそれぞれ基準とするため、手順7のb寸法は1折り、2折りのどちらの位置を変えても変化します。
- 〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

- 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
- 〔02 フィニッシャー調整〕、〔03 マルチ折り機（折り）調整〕、〔03 外3つ折り位置調整〕を順に押します。
- 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
- 〔印刷モードへ〕を押します。
- 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
- 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
- 出力された用紙のaとbを確認します。



- 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して外3つ折り位置調整画面にもどります。
- 〔2折り〕を押して反転させます。

10. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

手順7のa寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

11. 〔1折り〕を押して反転させます。

12. 手順10を繰り返します。

ひとこと

手順7のb寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

13. 希望する結果が得られるまで、手順4～10を繰り返します。

14. 〔前画面〕を押してマルチ折り機（折り）調整メニュー画面にもどります。

■ 03 マルチ折り機（折り）調整 > 04 ダブルパラレル折り位置調整

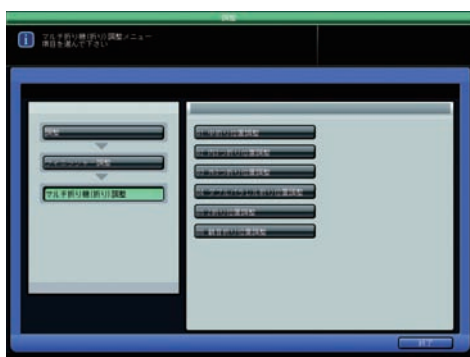
折り機FD-503のダブルパラレル折り位置を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、12x18□、Custom、SRA4□

調整範囲：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）

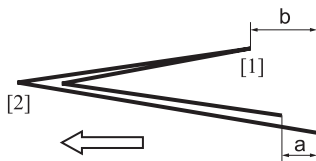
詳しく説明します

- 1 折り、2 折りの両方を調整するときは、1 折りから調整します。1 折りの位置は用紙先端を、2 折りの位置は1 折り位置をそれぞれ基準とするため、手順 7 の b 寸法は1 折り、2 折りのどちらの位置を変えても変化します。
- 〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔03 マルチ折り機（折り）調整〕、〔04 ダブルパラレル折り位置調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙のaとbを確認します。



8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押してダブルパラレル折り位置調整画面にもどります。
9. 〔1 折り〕を押して反転させます。

10. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

手順7のa寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

11. 〔2折り〕を押して反転させます。

12. 手順10を繰り返します。

ひとこと

手順7のb寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

13. 希望する結果が得られるまで、手順4～10を繰り返します。

14. 〔前画面〕を押してマルチ折り機（折り）調整メニュー画面にもどります。

■ 03 マルチ折り機（折り）調整 > 05 Z折り位置調整

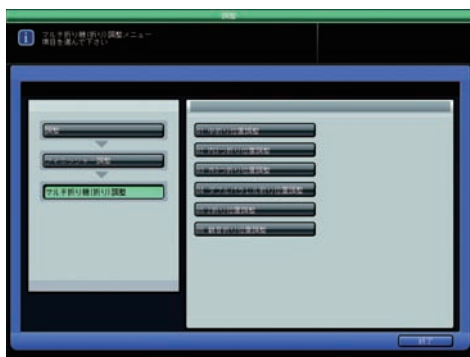
折り機FD-503のZ折り位置を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、12x18□、Custom、SRA4□

調整範囲：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）

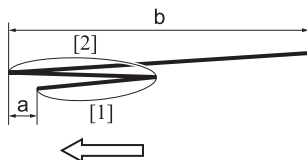
詳しく説明します

- 1折り、2折りの両方を調整するときは、1折りから調整します。1折りの位置は用紙先端を、2折りの位置は1折り位置をそれぞれ基準とするため、手順7のb寸法は1折り、2折りのどちらの位置を変えても変化します。
- 〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

- 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
- 〔02 フィニッシャー調整〕、〔03 マルチ折り機（折り）調整〕、〔05 Z折り位置調整〕を順に押します。
- 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
- 〔印刷モードへ〕を押します。
- 調整するサイズ用の紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
- 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
- 出力された用紙のaとbを確認します。



- 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押してZ折り位置調整画面にもどります。
- 〔1折り〕を押して反転させます。

10. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

手順7のa寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

11. 〔2折り〕を押して反転させます。

12. 手順10を繰り返します。

ひとこと

手順7のb寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

13. 希望する結果が得られるまで、手順4～10を繰り返します。

14. 〔前画面〕を押してマルチ折り機（折り）調整メニュー画面にもどります。

■ 03 マルチ折り機（折り）調整 > 06 観音折り位置調整

折り機FD-503の観音折り位置を調整します。

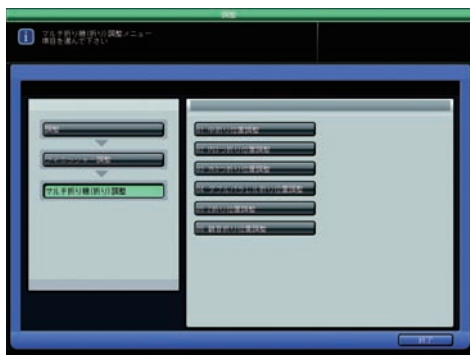
調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8K□、12x18□、Custom、SRA4□

調整範囲：1折り/3折り：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）

2折り：（長く）－50～50（短く）（1 step = 0.1 mm）

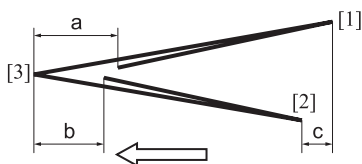
詳しく説明します

- 1折り、2折り、3折りのいずれも調整するときは、1折りから順に調整します。1折りの位置は用紙先端を、2折りの位置は1折り位置を、3折りの位置は2折りの位置をそれぞれ基準とするため、手順7のa、bおよびc寸法はどの折り位置を変えても変化します。
- 「全サイズ」で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋「全サイズ」の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 「02 フィニッシャー調整」、 「03 マルチ折り機（折り）調整」、 「06 観音折り位置調整」を順に押します。
3. 「▲」「▼」を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 「印刷モードへ」を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙のa、b、cを確認します。



8. 調整が必要なときは、「閉じる」を押して観音折り位置調整画面にもどります。
9. 「1折り」を押して反転させます。

- 10.〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

手順7のa寸法は、調整値をプラス側にすると小さくなり、マイナス側にすると大きくなります。

- 11.〔2折り〕、〔3折り〕を押してそれぞれ同様に調整します。

ひとこと

2折りの場合、手順7のb寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

3折りの場合、手順7のc寸法は、調整値をプラス側にすると小さくなり、マイナス側にすると大きくなります。

12. 希望する結果が得られるまで、手順4～10を繰り返します。

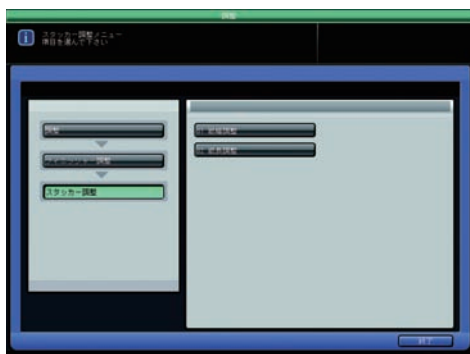
- 13.〔前画面〕を押してマルチ折り機（折り）調整メニュー画面にもどります。

■ 04 スタッカージョイント調整 > 01 紙幅調整

大容量スタッカー LS-505 スタッカートレイの通紙交差方向で排紙ズレがあるときに、整合時の整合板の位置を調整します。

調整対象： スタッカー 1 連目
スタッカー 2 連目

調整範囲： (狭い) -20 ~ 20 (広い) (1 step = 0.1 mm)



手順

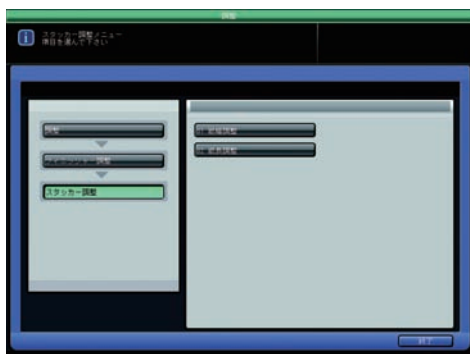
1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔04 スタッカージョイント調整〕、〔01 紙幅調整〕を順に押します。
3. 大容量スタッカー LS-505 を 2 連で使用している場合は、〔スタッカー 1 連目〕または〔スタッカー 2 連目〕を押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 任意の用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. スタッカートレイの排紙ズレを確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 9 を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押してスタッカージョイント調整メニュー画面にもどります。

■ 04 スタッカ調整 > 02 紙長調整

大容量スタッカー LS-505 スタッカートレイの通紙方向で排紙ズレがあるときに、先端ストッパーの位置を調整します。

調整対象： スタッカー 1 連目
スタッカー 2 連目

調整範囲： (狭い) -20 ~ 20 (広い) (1 step = 0.1 mm)



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔04 スタッカ調整〕、〔02 紙長調整〕を順に押します。
3. 大容量スタッカー LS-505 を 2 連で使用している場合は、〔スタッカー 1 連目〕または〔スタッカー 2 連目〕を押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 任意の用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. スタッカートレイの排紙ズレを確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して紙長調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順 4 ~ 9 を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押してスタッカー調整メニュー画面にもどります。

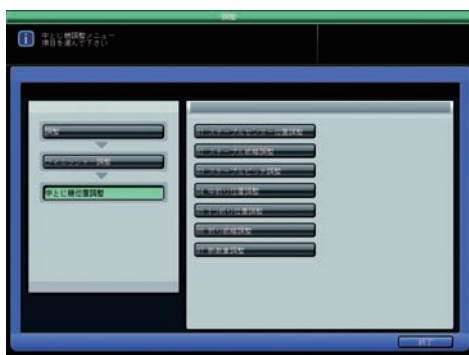
■ 05 中とじ機位置調整 > 01 ステープルセンター位置調整

中とじ機SD-506のステープルのセンター位置を調整します。

調整範囲：(右) -20～20 (左) (1 step = 0.1 mm)

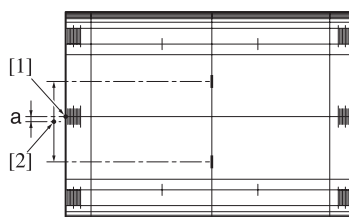


本調整は、「05 中とじ機位置調整 > 04 中折り位置調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 フィニッシャー調整]、[05 中とじ機位置調整]、[01 ステープルセンター位置調整]を順に押します。
3. [印刷モードへ]を押します。
4. 任意の用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
5. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
6. 出力された用紙の中折り位置と中とじ位置のズレaを確認します。
規格値a : 0 ± 1 mm



7. 調整が必要なときは、[閉じる]を押してステープルセンター位置調整画面にもどります。
8. [+<->-]を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[セット]を押します。
9. 希望する結果が得られるまで、手順3～8を繰り返します。
10. [前画面]を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 02 ステープル紙幅調整

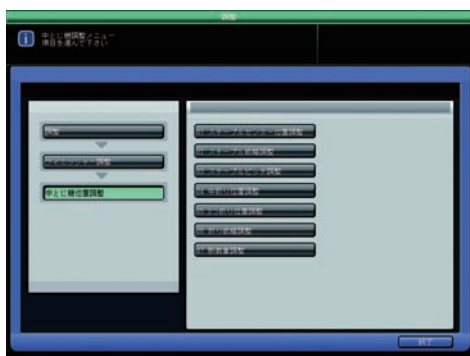
中とじ機SD-506の整合板の間隔を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、Custom、SRA3□、SRA4□

調整範囲：(狭く) -20 ~ 20 (広く) (1 step = 0.1 mm)

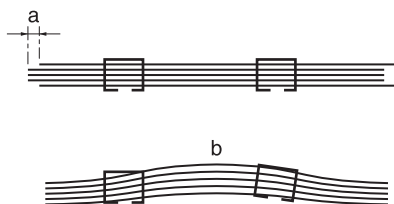
詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔05 中とじ機位置調整〕、〔02 ステープル紙幅調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 紙束内にズレa（紙幅よりも紙幅設定が大きいとズレが発生する）がないか、紙束が湾曲b（紙幅よりも紙幅設定が小さいと紙束が湾曲する）していないかを確認する。



8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押してステープル紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

詳しく説明します

用紙サイズによって、以下のステープル紙幅設定の条件があります。

紙 幅	最小値	最大値
～222mm	91mm	紙幅－91mm
222mm～290mm	条件なし	条件なし
290mm～	条件なし	165mm

A4□など紙幅が222 mm未満の用紙サイズで、ステープル間隔が91 mm以下になるような数値を入力しても、ステープル間隔は自動的に91 mmに設定されます。

10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 03 ステープルピッチ調整

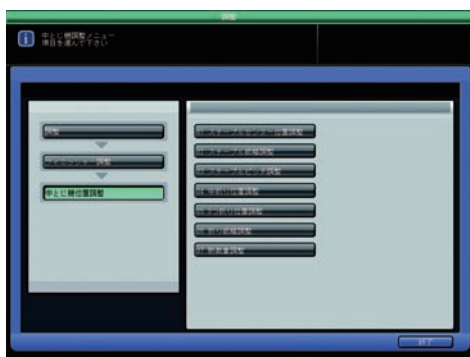
中とじ機SD-506のステープル間隔を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、Custom、SRA3□、SRA4□

調整範囲：(狭く) -20 ~ 20 (広く) (1 step = 0.1 mm)

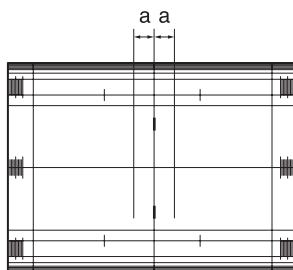


〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔05 中とじ機位置調整〕、〔03 ステープルピッチ調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の距離aを確認します。



8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押してステープルピッチ調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 04 中折り位置調整

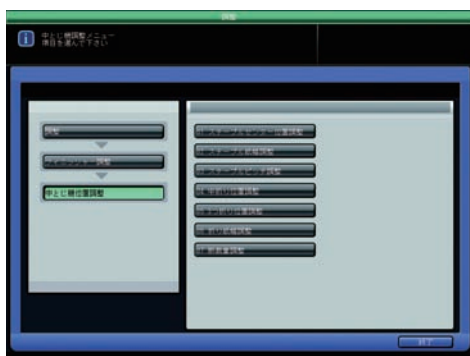
中とじ機SD-506の中折り位置を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、Custom、SRA3□、SRA4□、PI用紙

調整範囲：（短く）－50～50（長く）（1 step = 0.1 mm）



〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 フィニッシャー調整]、[05 中とじ機位置調整]、[04 中折り位置調整] を順に押します。
3. [▲] [▼] を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. [印刷モードへ] を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の端のズレaを確認します。



8. 調整が必要なときは、[閉じる] を押して中折り位置調整画面にもどります。
9. [+<->-] を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[セット] を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. [前画面] を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 05 3つ折り位置調整

中とじ機SD-506の3つ折り位置を調整します。

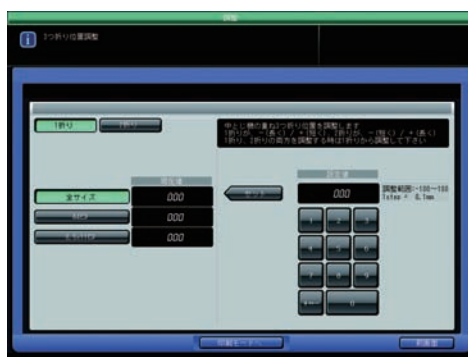
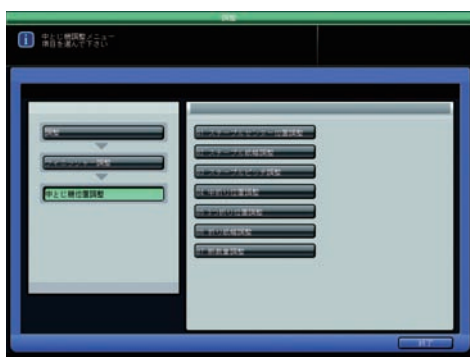
調整対象：全サイズ、A4□、8.5x11□

調整範囲：1折り：(長く) - 50～50 (短く) (1 step = 0.1 mm)

2折り：(短く) - 50～50 (長く) (1 step = 0.1 mm)

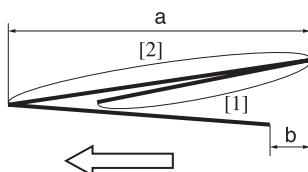
詳しく説明します

- 1折り、2折りの両方を調整するときは、1折りから調整します。1折りの位置は用紙先端を、2折りの位置は1折り位置をそれぞれ基準とするため、手順7のb寸法は1折り、2折りのどちらの位置を変えても変化します。
- [全サイズ] で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全サイズ] の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の[調整]を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 フィニッシャー調整]、[05 中とじ機位置調整]、[05 3つ折り位置調整5]を順に押します。
3. [▲] [▼] を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. [印刷モードへ] を押します。
5. 調整するサイズ用の紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙のaとbを確認します。



8. 調整が必要なときは、[閉じる]を押して3つ折り位置調整画面にもどります。
9. [1折り]を押して反転させます。

10. [＋<－>－] を押して調整値の＋を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[セット] を押します。

ひとこと

手順 7 の a 寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

11. [2 折り] を押して反転させます。

12. 手順 10 を繰り返します。

ひとこと

手順 7 の a 寸法は、調整値をプラス側にすると大きくなり、マイナス側にすると小さくなります。

13. 希望する結果が得られるまで、手順 4 ～ 12 を繰り返します。
14. [前画面] を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 06 折り紙幅調整

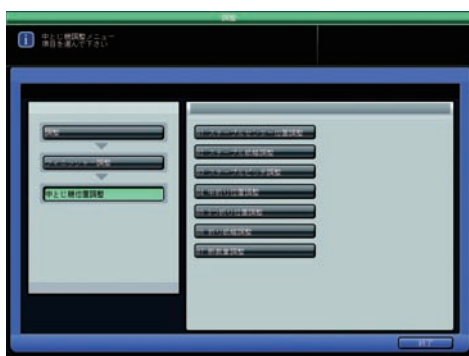
中とじ機SD-506の中折り、重ね3つ折り時の紙束内にズレがあるとき、整合時の整合幅を調整します。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、Custom、SRA3□、SRA4□、PI用紙

調整範囲：(狭い) - 50 ~ 50 (広い) (1 step = 0.1 mm)



〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔05 中とじ機位置調整〕、〔06 折り紙幅調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 紙束内にズレがないかを確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して折り紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

設定値が広すぎると紙束内のズレが大きくなることがあります。

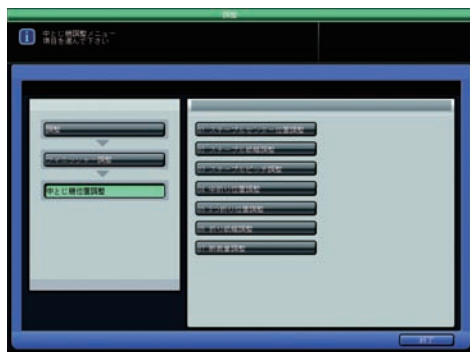
10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 07 断裁量調整

中とじ機SD-506の断裁量を調整します。2 mmより少ない場合、断裁不良を起こすことがあります。

調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、B5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、B5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、Custom、SRA3□、SRA4□

調整範囲：(小) - 400 ~ 400 (大) (1 step = 0.1 mm)



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔05 中とじ機位置調整〕、〔07 断裁量調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 出力された用紙の断裁量を確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して断裁量調整画面にもどります。
9. 〔+<->->〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。

ひとこと

- 断裁量を設定する場合は、表紙を2.0 mm以上断裁する数値を入力してください。2.0 mm以下だと断裁不良を起こすことがあります。
- 〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が断裁量になります。

10. 希望する結果が得られるまで、手順4～9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 05 中とじ機位置調整 > 08 受け木調整

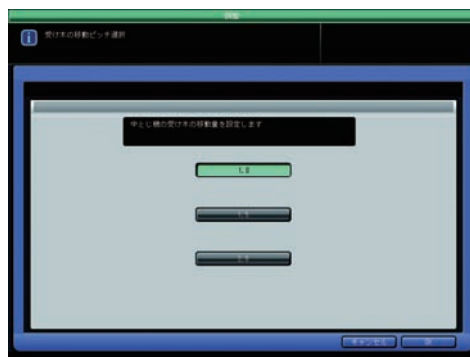
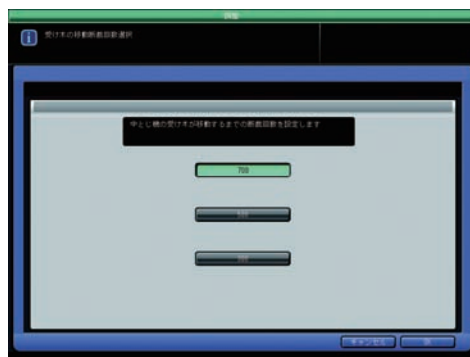
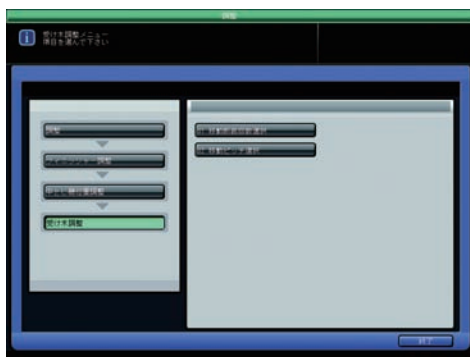
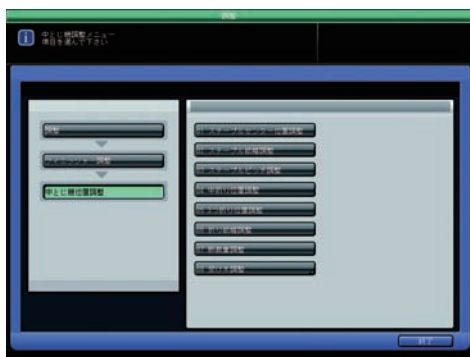
頻繁に断裁を行うと、受け木が傷み、断裁が正常に行われなくなることがあります。

移動断裁回数：受け木を定期的に移動する断裁回数を選択します。

移動ピッチ：受け木を動かす距離を選択します。

ひとこと

〔08 受け木調整〕ボタンは、通常表示されていません。この調整を行う場合は、サービス実施店にお申し出ください。



1. 手順

機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。

2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔05 中とじ機位置調整〕、〔08 受け木調整〕を順に押します。

3. 〔01 移動断裁回数選択〕を選択します。

〔700〕、〔500〕、または〔300〕を押して反転させます。

4. 〔02 移動ピッチ〕を選択します。

〔1.0〕、〔1.5〕、または〔2.0〕を押して反転させます。

5. 〔OK〕を押して中とじ機位置調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 01 表紙断裁切り量調整

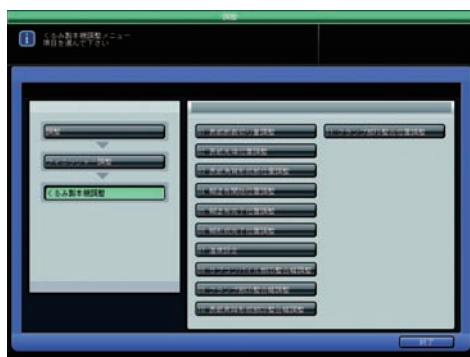
くるみ製本PB-502の製本で右表紙先端の断裁量を調整します。

調整対象：PIトレイ、本体トレイ

調整範囲：（短く）－128～127（長く）（1 step = 0.1 mm）

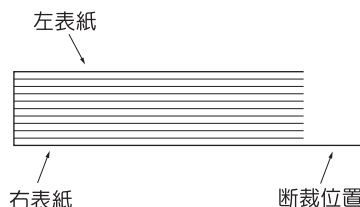


本調整は、「06 くるみ製本機調整 > 02 表紙先端位置調整」の調整後に行ってください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔01 表紙断裁切り量調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイまたは任意の本体トレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔PBトレイ〕または〔本体トレイ〕を押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのかくるみ製本が出力されます。
9. 製本の右表紙先端が左表紙の先端と一致しているかを確認します。



10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して表紙断裁切り量調整画面にもどります。
11. 〔+<->->〕を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順6～11を繰り返します。
13. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 02 表紙先端位置調整

くるみ製本PB-502の製本で本身に対する左表紙先端位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

調整対象：本体トレイ：

全サイズ、8.5x11 \square 、A4 \square 、A5 \square 、B5 \square 、A5 \square 、5.5x8.5 \square 、Custom、16K \square 、8.5x11W \square 、5.5x8.5W \square 、A4W \square 、A5W \square 、B5W \square

PBトレイ：

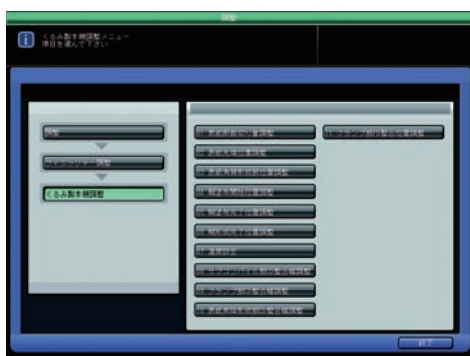
全サイズ、8.5x11 \square 、A4 \square 、A5 \square 、B5 \square 、A5 \square 、5.5x8.5 \square 、Custom、16K \square 、8.5x11W \square 、5.5x8.5W \square 、A4W \square 、A5W \square 、B5W \square

調整範囲：（短く）－128～127（長く）（1 step = 0.1 mm）



詳しく説明します

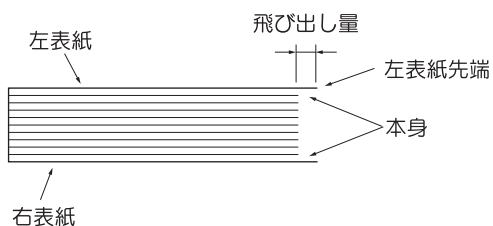
〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔02 表紙先端位置調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイまたは任意の本体トレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔PBトレイ〕または〔本体トレイ〕を押して反転させます。
6. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
7. 〔印刷モードへ〕を押します。
8. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
9. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのくるみ製本が出力されます。

10. 出力されたくるみ製本の本身に対する左表紙先端の飛び出し量が適切な長さかを確認します。



11. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して表紙先端位置調整画面にもどります。
12. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
13. 希望する結果が得られるまで、手順7～12を繰り返します。
14. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 03 表紙角背形成部位置調整

くるみ製本PB-502の製本で背表紙の形成状態を調整します。

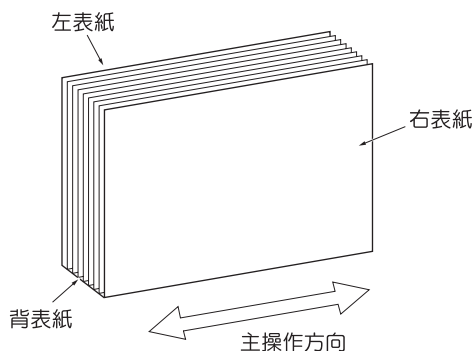
調整対象：前調整（手前側）、後調整（奥側）

調整範囲：（下：丸くなる）－128～127（上：角張る）（1 step = 0.1 mm）



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔03 表紙角背形成部位置調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔印刷モードへ〕を押します。
6. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
7. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのくるみ製本が出力されます。
8. 出力されたくるみ製本の背表紙が走査方向に対して均一に形成されているかを確認します。



9. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して表紙角背形成部位置調整画面にもどります。
10. 〔前調整〕または〔後調整〕を押して反転させます。
11. 〔+<->->-〕を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順7～12を繰り返します。
13. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 04 糊塗布開始位置調整

くるみ製本PB-502の製本で本身への塗布開始位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

調整対象：前進時（奥側）：

全サイズ、8.5x11_□、A4_□、B5_□、A5_□、5.5x8.5_□、16K_□、A4W_□、B5W_□、A5W_□、8.5x11W_□、5.5x8.5W_□、Custom

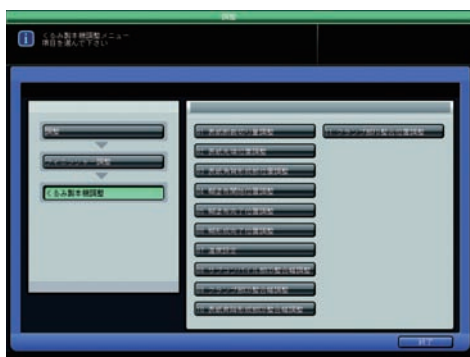
後退時（手前側）：

全サイズ、8.5x11_□、A4_□、B5_□、A5_□、5.5x8.5_□、16K_□、A4W_□、B5W_□、A5W_□、8.5x11W_□、5.5x8.5W_□、Custom

調整範囲：（早く）－128～127（遅く）（1 step = 0.1 mm）



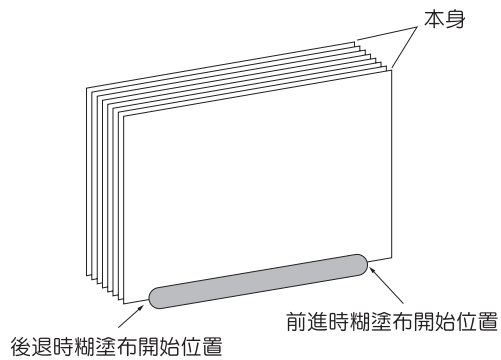
〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔04 糊塗布開始位置調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストバターンのくるみ製本が出力されます。

9. 本身への糊塗布開始位置が前進時、後退時とも適正かを確認します。



10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して糊塗布開始位置調整画面にもどります。
11. 〔前進時〕または〔後退時〕を押して反転させます。
12. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
13. 希望する結果が得られるまで、手順6～12を繰り返します。
14. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 05 糊塗布完了位置調整

くるみ製本PB-502の製本で本身への塗布完了位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

調整対象：前進時（手前側）：

全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom

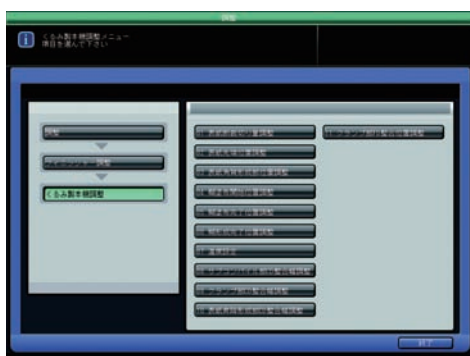
後退時（奥側）：

全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom

調整範囲：（早く）－128～127（遅く）（1 step = 0.1 mm）



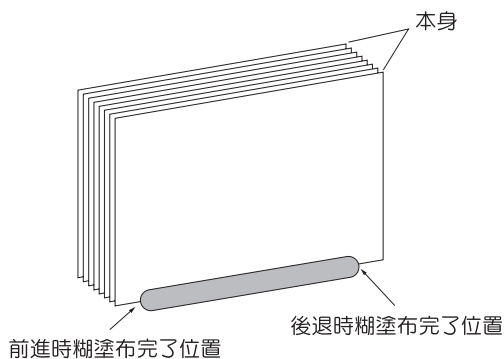
〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔05 糊塗布完了位置調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストバターンのくるみ製本が出力されます。

9. 本身への糊塗布完了位置が前進時、後退時とも適正かを確認します。



10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して糊塗布完了位置調整画面にもどります。
11. 〔前進時〕または〔後退時〕を押して反転させます。
12. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
13. 希望する結果が得られるまで、手順6～12を繰り返します。
14. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 06 糊形成完了位置調整

くるみ製本PB-502の製本で本身に塗布した糊の均一化完了位置を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

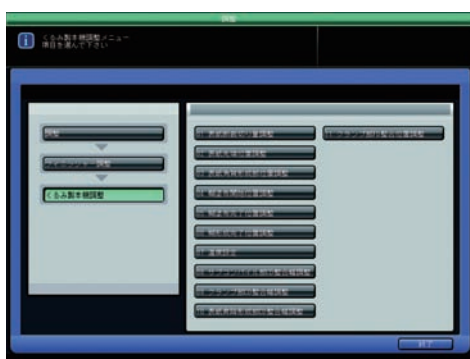
調整対象：全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom

調整範囲：（早く）－128～127（遅く）（1 step = 0.1 mm）



詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値＋〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔06 糊形成完了位置調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのくるみ製本が出力されます。
9. 本身へ塗布した糊の均一完了位置が適正化を確認します。
10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して糊形成完了位置調整画面にもどります。
11. 〔+<->->〕を押して調整値の＋－を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順6～11を繰り返します。
13. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 07 温度設定

くるみ製本PB-502の製本で糊タンク内および塗布ローラーの制御温度を設定して、糊の管理をします。

温度センサーは、下記の4種類があります。

糊タンク上部：

設定温度以下検知で液面低下と判断し、糊ペレットを補給します。環境温度が高く、液面検知が不良の場合、高めに設定します。

初期値：132℃

推奨範囲：128℃～136℃

糊タンク中部：

ウォームアップ完了判断温度で、ローラー回転を始めます。高めに設定すると、始業直後の糊温度が早めに安定します。

初期値：145℃

推奨範囲：140℃～145℃

糊タンク下部：

タンクヒーター制御温度を調整します。

温度低：糊粘度上昇、温度高：糊粘度低下

初期値：185℃

推奨範囲：180℃～190℃

塗布ローラー：

ローラーヒーター制御温度を調整します。糊加熱をサポートします。

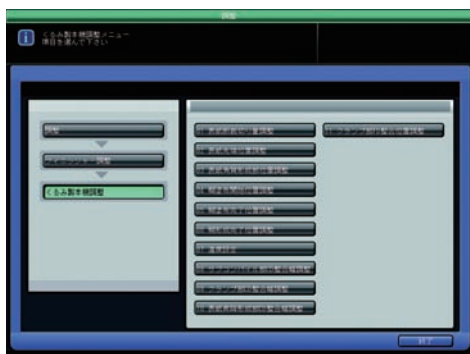
温度低：糊粘度上昇、温度高：糊粘度低下

初期値：165℃

推奨範囲：160℃～170℃



糊タンクの温度センサーの設定温度はむやみに変更しないでください。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔07 温度設定〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのかくるみ製本が出力されます。
9. 塗布された糊の状態が適切かを確認します。
10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して温度設定画面にもどります。
11. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順**6**～**11**を繰り返します。
13. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 08 サブコンパイル部CD 整合幅調整

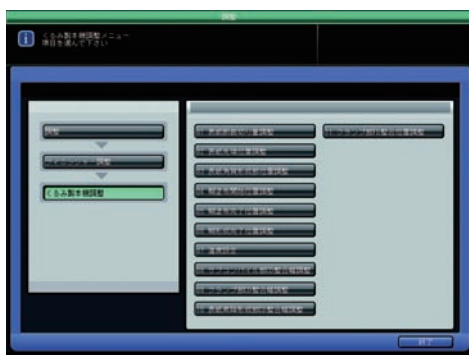
くるみ製本PB-502の製本でサブコンパイル部での本身内のズレがあるときに整合幅を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

調整対象：全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom

調整範囲：(広く) -20~20 (狭く) (1 step = 0.1 mm)

詳しく説明します

- くるみ製本の複数部数出力時に冊子の前半のページが揃っていない場合は、ここで調整します。後半のページが揃っていない場合は、「06 くるみ製本機調整 > 09 クランプ部CD 整合幅調整」を行ってください。
- [全サイズ] で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全サイズ] の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 フィニッシャー調整]、[06 くるみ製本機調整]、[08 サブコンパイル部CD 整合幅調整] を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. [▲] [▼] を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. [印刷モードへ] を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのかくるみ製本が出力されます。
9. 自身の主走査方向が全てのページで揃っているかを確認します。
10. 全てのページでばらつきがある場合は、次の手順に進みます。
前半のページは揃っているが、後半のページにばらつきがある場合は、「06 くるみ製本機調整 > 09 クランプ部CD 整合幅調整」で調整します。
調整が必要なときは、[閉じる] を押して糊形成完了位置調整画面にもどります。
11. [+<->-] を押して調整値の+を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[セット] を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順6~11を繰り返します。
13. [前画面] を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 09 クランプ部CD 整合幅調整

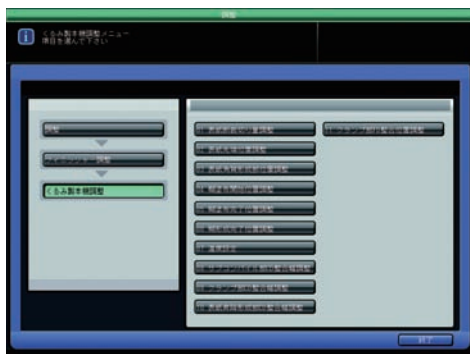
くるみ製本PB-502の製本で本身内のズレがあるときに通紙交差方向の整合幅を調整します。ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

調整対象：全サイズ、8.5x11□、A4v、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom

調整範囲：(広く) -20~20 (狭く) (1 step = 0.1 mm)

詳しく説明します

- くるみ製本の複数部数出力時に本身に主走査方向のズレがある場合や、複数部数出力時に冊子の後半のページが揃っていない場合は、ここで調整します。前半のページが揃っていない場合は、「06 くるみ製本機調整 > 08 サブコンパイル部CD 整合幅調整」を行ってください。
- [全サイズ] で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + [全サイズ] の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の「調整」を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. [02 フィニッシャー調整]、[06 くるみ製本機調整]、[09 クランプ部CD 整合幅調整] を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. [▲] [▼] を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. [印刷モードへ] を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのくるみ製本が出力されます。
9. 本身の主走査方向が全てのページで揃っているかを確認します。
前半のページは揃っているが、後半のページにばらつきがある場合は、次の手順に進みます。
全てのページでばらつきがある場合は、「06 くるみ製本機調整 > 08 サブコンパイル部CD 整合幅調整」で調整します。
10. 調整が必要なときは、[閉じる] を押して糊形成完了位置調整画面にもどります。
11. [+<->-] を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、[セット] を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順6~11を繰り返します。
13. [前画面] を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 10 表紙昇降形成部CD整合幅調整

くるみ製本PB-502の製本で本身と表紙の通紙交差方向位置関係を調整するため、表紙整合時の整合幅を調整します。

調整対象：PIトレイ、本体トレイ

調整範囲：(広く) -20 ~ 20 (狭く) (1 step = 0.1 mm)



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔10 表紙昇降形成部CD整合幅調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイまたは任意の本体トレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔PBトレイ〕または〔本体トレイ〕を押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのくるみ製本が出力されます。
9. 本身と表紙の主走査位置が合っていることを確認します。
10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して表紙昇降形成部CD整合幅調整画面にもどります。
11. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順6~11を繰り返します。
13. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 06 くるみ製本機調整 > 11 クランプ部FD整合幅調整

くるみ製本PB-502の製本で本身内のズレがあるときに通紙方向の整合幅を調整します。
ここでの用紙サイズは、表紙に対する本身のサイズです。

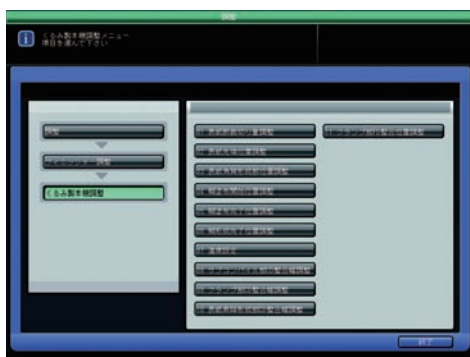
調整対象：全サイズ、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、16K□、A4W□、B5W□、
A5W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom

調整範囲：(広く) -20~20 (狭く) (1 step = 0.1 mm)



詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔06 くるみ製本機調整〕、〔11 クランプ部FD整合幅調整〕を順に押します。
3. 表紙をPBトレイにセットします。
4. 本身用紙を任意の本体トレイにセットします。
5. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
6. 〔印刷モードへ〕を押します。
7. 本身用紙をセットしたトレイボタンを押して反転させます。
8. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンのくるみ製本が出力されます。
9. 自身の副走査方向が全てのページで揃っているかを確認します。
10. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して糊形成完了位置調整画面にもどります。
11. 〔+<->->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
12. 希望する結果が得られるまで、手順6~11を繰り返します。
13. 〔前画面〕を押してくるみ製本機調整メニュー画面にもどります。

■ 07 中継スタッカー (RU) 調整 > 01 紙幅調整

中継搬送ユニット (中継スタッカー) RU-506 の通紙交差方向の整合板の位置を調整します。パンチの通紙交差方向ズレがあったときに調整します。

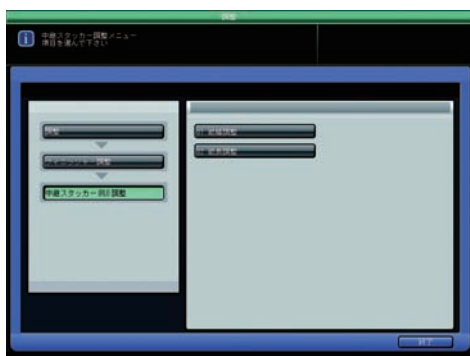
調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、SRA4□、9x11□

調整範囲：(狭い) -20 ~ 20 (広い) (1 step = 0.1 mm)



詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔07 中継スタッカー (RU) 調整〕、〔01 紙幅調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 通紙交差方向にズレがあるかを確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4~9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して中継スタッカー (RU) 調整メニュー画面にもどります。

■ 07 中継スタッカー (RU) 調整 > 02 紙長調整

中継搬送ユニット (中継スタッカー) RU-506の通紙方向の整合板の位置を調整します。パンチの通紙方向穴ズレがあったときに調整します。

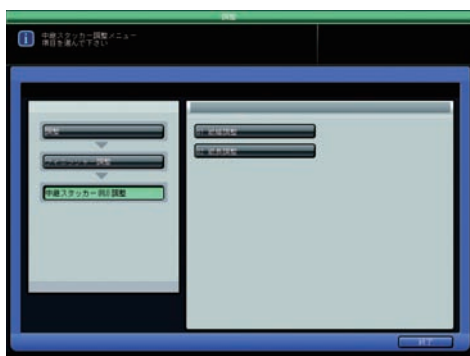
調整対象：全サイズ、11x17□、A3□、B4□、8.5x14□、A4□、8.5x11□、8.5x11□、A4□、B5□、A5□、5.5x8.5□、8x13□、8.125x13.25□、8.5x13□、8.25x13□、8K□、16K□、16K□、12x18□、A3W□、B4W□、A4W□、A4W□、B5W□、A5W□、12x18W□、11x17W□、8.5x11W□、8.5x11W□、5.5x8.5W□、Custom、SRA3□、SRA4□、9x11□

調整範囲：(狭い) -50 ~ 50 (広い) (1 step = 0.1 mm)



詳しく説明します

〔全サイズ〕で数値を入力すると、全ての用紙サイズに反映されます。個別の用紙サイズに数値を入力すると、個別の用紙サイズの入力値 + 〔全サイズ〕の入力値が設定量になります。

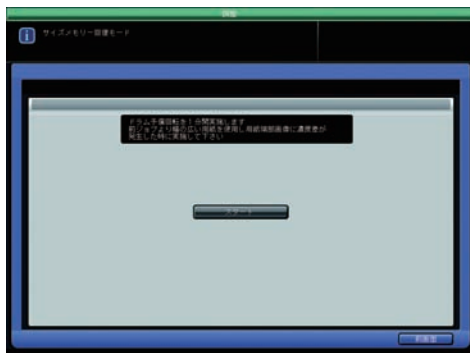
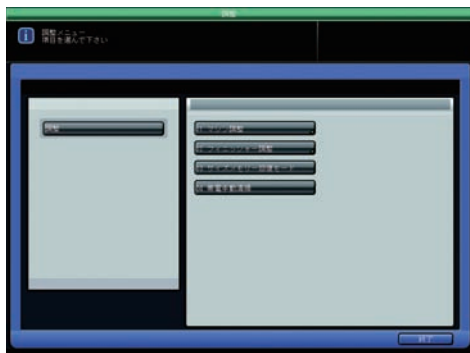


手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔02 フィニッシャー調整〕、〔07 中継スタッカー (RU) 調整〕、〔02 紙長調整〕を順に押します。
3. 〔▲〕〔▼〕を押して調整したいサイズボタンを表示させ、押して反転させます。
4. 〔印刷モードへ〕を押します。
5. 調整するサイズの用紙をセットし、セットしたトレイボタンを押して反転させます。
6. 操作パネルの【スタート】を押します。テストパターンが出力されます。
7. 通紙方向にズレがあるかを確認します。
8. 調整が必要なときは、〔閉じる〕を押して紙幅調整画面にもどります。
9. 〔+<->-〕を押して調整値の+-を選択し、画面テンキーを押して数値を入力し、〔セット〕を押します。
10. 希望する結果が得られるまで、手順4~9を繰り返します。
11. 〔前画面〕を押して中継スタッカー (RU) 調整メニュー画面にもどります。

03 サイズメモリー回復モード

ドラム予備回転を1分間実施します。前ジョブより幅の広い用紙を使用し、用紙端部画像に濃度差が発生したときに実施します。

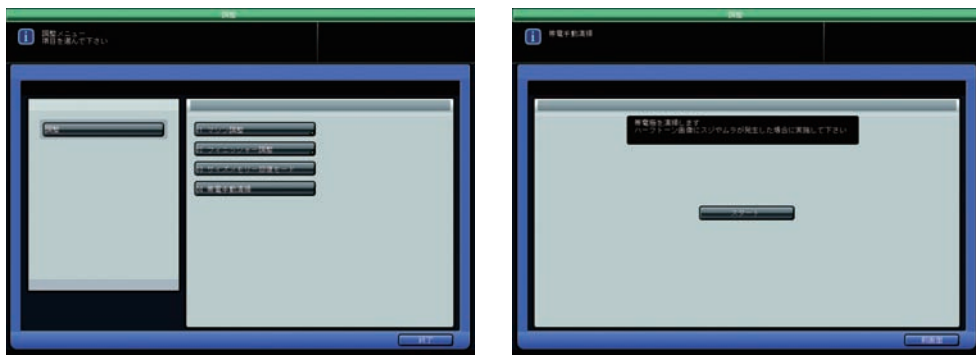


手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔03 サイズメモリー回復モード〕を押します。
3. 〔スタート〕を押します。
4. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどります。

04 帯電手動清掃

帯電極を清掃します。ハーフトーン画像にスジやムラが発生したときに実施します。



手順

1. 機械状態画面の〔調整〕を押します。調整メニュー画面が表示されます。
2. 〔04 帯電手動清掃〕を押します。
3. 〔スタート〕を押します。
4. 〔前画面〕を押して調整メニュー画面にもどります。

プリンターコントローラーに関する設定について説明します。

コントローラー設定の概要	4-2
■ コントローラー設定一覧	4-2
01 レポートタイプ	4-6
02 プリンター設定	4-7
03 ポート別出力設定	4-11
04 スプール設定	4-12
05 I/F タイムアウト	4-13
06 Plug-in Form Password	4-14
07 スキャン設定	4-15
08 管理者設定	4-16

コントローラー設定の概要

〔コントローラー設定〕を押すと、コントローラー設定画面が表示されます。



プリンターコントローラーの調整ができます。

■ コントローラー設定一覧

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
01 レポートタイプ 出力したいレポートタイプを選択します。		
設定情報リスト 設定情報リストを出力します。ファームウェアのバージョンやネットワーク設定を確認できます。		
PCL デモページ PCL のデモページを出力します。		
PS デモページ PS のデモページを出力します。		
PCL フォントリスト PCL のフォントリストを出力します。		
PS フォントリスト PS のフォントリストを出力します。		
02 プリンター設定 プリントに関する各種設定をします。		
設定番号 各番号のデフォルトの出力形態を設定します。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
01 基本設定 ドライバーからの指示がない場合は、以下の設定が反映されます。		
01 PDL 標準で使用するページ記述言語を選択します。		<u>Auto</u> 、PCL、PS、TIFF * ¹
02 給紙トレイ設定 標準で使用する給紙トレイを選択します。オプション構成により設定できる内容が異なります。		自動、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5、トレイ 6、トレイ 7、トレイ 8
03 排紙トレイ設定 標準で起用する排紙トレイを選択します。オプション構成により設定できる内容が異なります。		自動、スタッカー自動、スタッカー 1 メイントレイ、スタッカー 1 サブトレイ、スタッカー 2 メイントレイ、スタッカー 2 サブトレイ、マルチ折り機 メイントレイ、マルチ折り機サブトレイ、中とじ機サブトレイ、平とじ機 メイントレイ、平とじ機サブトレイ、くるみ製本機サブトレイ

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
04 片面 / 両面	両面プリントの有無を選択します。	片面、両面
05 とじ方向	標準で使用するとじ方向を選択します。	上とじ、 <u>左とじ</u> 、右とじ
06 ステープル	標準で使用するステープルの機能を選択します。	<u>Off</u> 、左コーナー、右コーナー、2 点
07 パンチ	標準で使用するパンチ機能を選択します。	<u>Off</u> 、2 穴、3 穴
08 紙折り / 断裁	標準で使用する Z 折り、中とじ、重ね中折り、重ね 3 つ折り、断裁の機能を選択します。	<u>Off</u> 、Z 折り (A3/B4/11x17/8K)、Z 折り (8.5x14)、中とじ / 断裁しない、中とじ / 断裁する、中折り / 内印刷、中折り / 外印刷、内 3 つ折り / 内印刷、内 3 つ折り / 外印刷、外 3 つ折り / 内印刷、外 3 つ折り / 外印刷、ダブルパラレル折り / 内印刷、ダブルパラレル折り / 外印刷、観音折り / 内印刷、観音折り / 外印刷、重ね 3 つ折り / 内印刷、重ね 3 つ折り / 外印刷、重ね中折り / 断裁しない、重ね中折り / 断裁する
09 オフセット	仕分けソートや仕分けグループを標準で使用するかどうかを選択します。	On、 <u>Off</u>
10 出力設定	プリント面の出力方向を選択します。	<u>フェイスダウン</u> 、フェイスアップ
11 排紙順	出力されるページ順を選択します。	<u>順方向</u> 、逆方向
12 部数	標準でプリントする部数を設定します。	1 ~ 9,999
13 ソート / グループ	標準の出力方法を選択します。	<u>ソート</u> 、グループ
14 用紙サイズ	標準の用紙サイズを選択します。 インデックス紙を選択したときは、インデックス数も設定します。	A3、 <u>A4</u> 、A5、JIS-B4、ISO-B4、JIS-B5、ISO-B5、SRA3、SRA4、12x18、11x17、9x11、8 1/2x14、8 1/2x13、8 1/4x13、8 1/8x13 1/4、8x13、8 1/2x11、5 1/2x8 1/2、A3W、A4W、A5W、JIS-B4W、ISO-B4W、JIS-B5W、ISO-B5W、12x18W、11x17W、8 1/2x11W、5 1/2x8 1/2W、8 1/2x11 インデックス、A4 インデックス、Post Card
15 用紙方向	画像方向を選択します。	<u>縦</u> 、横
16 バナーオプション	バナー印刷をするかどうかを選択します。	<u>Off</u> 、On
17 バナーページトレイ	バナー印刷で使用する給紙トレイを選択します。オプションの構成により選択できる内容が異なります。	自動、トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5、トレイ 6、トレイ 7、トレイ 8
18 用紙サイズ変更	指定の用紙サイズの変更を行うか設定します。	<u>Off</u> 、8.5x11/11x17 to A4/A3、A4/A3 to 8.5x11/11x17

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
	19 集約 / リPEAT 標準で使用する集約とリPEATの機能を選択します。	Off、2 in 1、2 リPEAT、 方向指定定型 2 リPEAT / 左、 方向指定定型 2 リPEAT / 右、 方向指定定型 2 リPEAT / 上、 方向指定定型 2 リPEAT / 下
	20 小冊子 小冊子印刷をするかしないかを選択します。	Off、On
	21 無線とじ 無線とじ印刷をするかしないかを選択します。	Off、On
	22 画像位置 標準の画像位置の基準を選択します。	先端合わせ、中央合わせ、後端合わせ
	23 上積み許可 大容量スタッカー LS-505 の上積みを許可するかどうかを設定します。	Off、On
	24 くるみ製本 くるみ製本の設定をします。	01 モード： OFF、表紙白紙モード、表紙画像合成 済み、表紙画像 2 in 1、表紙画像 3 in 1 表紙トレイ： トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、 トレイ 5、トレイ 6、トレイ 7、 トレイ 8、PIトレイ 1、PIトレイ 2、 PI-PFU1、PI-PFU2、PI-PFU3、< PB カバートレイ 表紙両面：片面、両面 表紙断裁：OFF、ON 背評紙幅：1.0 – 30.0 mm (10.0)
	25 解像度 出力の解像度を設定します。	1200、600
	26 ふちなし印刷 ふちなし印刷するかどうかを選択します。	Off、On
	02 PCL 設定 PCL 関連の設定をします。	
	01 フォント設定 PCL で使用するフォントを選択します。	90 フォント (Courier) ダウンロードフォント (90 – 999)
	02 シンボルセット PCL で使用するシンボルセットを選択します。	45 セット (ROMAN8)
	03 ライン / ページ ページのライン数を指定します。	5 – 128 (64)
	04 ポイント フォントのポイントを指定します。	4.00 – 999.75 (12.00)
	05 ピッチ ピッチ数を指定します。	0.44 – 99.99 (10.00)
	06 CR/LF マッピング 改行コードのマッピングを選択します。	Off: CR=CRLF LFLF FF=FF、 CR=CR LF=CRLF FF=CRLF CR=CRLF LF=CRLF FF=CRLF
	03 PS 設定 PS 関連の設定をします。	
	01 PS エラー印刷 PS のラスタライズ時にエラーが発生したときのエラー情報を印字するかどうかの設定をします。	Off、On

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
04 TIFF 設定 TIFF 関連の設定をします。		
01 自動用紙選択 自動用紙のオン / オフを選択します。		Off、 <u>On</u>
02 画像位置 画像位置を選択します。		左、 <u>中央</u>
03 ポート別出力設定 デフォルトポートのデフォルト出力設定やポートごとのデフォルト出力設定番号を割り当てます。		
Port 1 (9100) デフォルトポートのデフォルト出力設定をします。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
Port 2 (9112) ポート 2 のデフォルト出力設定をします。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
Port 3 (9113) ポート 3 のデフォルト出力設定をします。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
Port 4 (9114) ポート 4 のデフォルト出力設定をします。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
Port 5 (9115) ポート 5 のデフォルト出力設定をします。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
Port 6 (9116) ポート 6 のデフォルト出力設定をします。		1 ～ 6 (<u>1</u>)
04 スプール設定 ジョブの HDD へのスプール動作を選択します。		自動、許可、 <u>禁止</u>
05 I/F タイムアウト ネットワークタイムアウトと USB タイムアウトの時間を設定します。		
ネットワーク ネットワーク接続のタイムアウトの時間を設定します。		10 – 3,600 (<u>60</u>)
USB USB 接続のタイムアウトの時間を設定します。		10 – 1,000 (<u>60</u>)
06 Plug-in Form Password プラグインドライバーの SOFHA ドライバーのフォーム用パスワードを設定します。		半角英数字 64 文字以内
07 スキャン設定 スキャン関連の設定をします。		
01 ボックス内ドキュメント削除時間 ボックスに保存したスキャンデータの保存時間を選択します。		削除しない、12 時間、 <u>1 日</u> 、2 日、3 日、7 日、30 日
02 ファイル名 スキャンデータを保存するファイル名を設定します。		<u>S + シリアル番号 + " " "</u> 半角英数字 11 文字以内
08 管理者設定 管理者設定に関する設定をします。		
01 メモリースイッチ スイッチ番号とそのオン/オフでメモリースイッチの項目の設定をします。		スイッチ番号 (1 – 50) Off (0) / On (1)
02 デフォルト設定 コントローラー設定をデフォルトにします。		スタート

01レポートタイプ

レポートタイプの出力をします。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラ設定〕を押します。
コントローラ設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔01.レポートタイプ〕を押します。
レポートタイプ設定画面が表示されます。
3. 出力したいレポートタイプを選択します。
4. 〔実行〕を押します。
コントローラ設定メニュー画面に戻ります。
前の画面に戻る場合は、〔前画面〕を押します。
操作パネルのデータランプが点滅し、出力されます。
5. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

02プリンター設定

プリンター設定は出力形態を設定します。出力形態は最大6種類設定できます。設定番号（1～6）を設定し、それに下記の4つのプリンター設定を登録します。

- 01 基本設定：プリンターに関する基本的な設定をします。
- 02 PCL設定：PCL関連の設定をします。
- 03 PS設定：PSエラーページ印刷に関する設定をします。
- 04 TIFF設定：TIFFの設定をします。

手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。



コントローラー設定メニュー画面が表示されます。

2. 〔02.プリンター設定〕を押して、プリンター設定画面を表示させます。
3. 設定番号を設定します。



- (1) プリンター設定画面の右側にあるテンキーで、番号を入力します。
設定範囲は1～6までです。
- (2) 〔設定〕を押して確定します。
間違えて入力した場合は正しい番号を入力しなおしてください。〔設定〕を押す前に間違えて入力した場合は、〔リセット〕を押し、入力しなおしてください。

4. 基本設定をします。



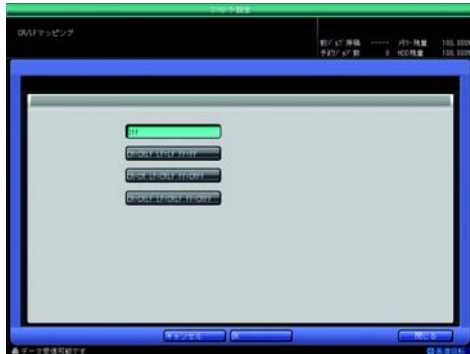
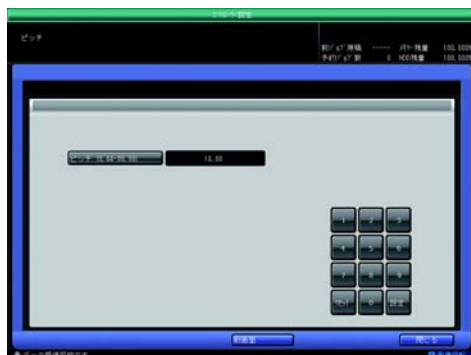
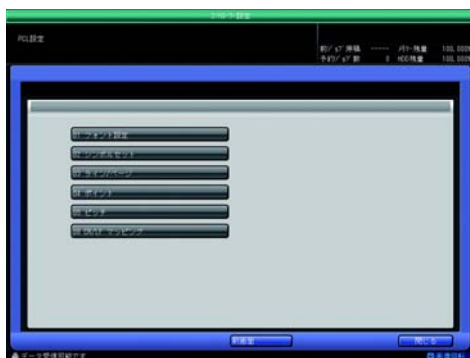
- (1) [01 基本設定] を押します。基本設定メニュー画面が表示されます。
- (2) 各種設定を行います。必要に応じて〔次頁〕〔前頁〕を押します。
ドライバーからの指示がない場合は、以下の設定が反映されます。
- 01 PDL：標準で使用するページ記述言語を設定します。
- 02 給紙トレイ設定：標準で使用する給紙トレイを選択します。
- 03 排紙トレイ設定：標準で使用する排紙トレイを選択します。
- 04 片面/両面：両面印刷の有無を選択します。
- 05 とじ方向：標準で両面印刷する場合のとじ方向を選択します。
- 06 ステープル：標準で使用するステープル機能を選択します。
- 07 パンチ：標準で使用するパンチ機能を選択します。
- 08 紙折り/断裁：標準でZ折り/中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り断裁する機能を選択をします。
- 09 オフセット：仕分けソート/仕分けグループを標準で使用するかしないかを選択します。
- 10 出力設定：プリント面の出力方向を選択します。
- 11 排紙順：標準で出力されるページ順を選択します。
- 12 部数：標準でプリントする部数を設定します。
- 13 ソート/グループ：標準の出力方法を選択します。
- 14 用紙サイズ：用紙サイズを選択します。
- 15 用紙方向：画像方向を選択します。
- 16 バナーオプション：バナー印刷するかどうかを選択します。
- 17 バナーページトレイ：バナー印刷するときの給紙トレイを選択します。
- 18 用紙サイズ変更：用紙サイズの変更を行うかどうかを設定します。
- 19 集約/リピート：標準で使用する集約とリピートの機能を選択します。
- 20 小冊子：小冊子印刷するかどうかを選択します。
- 21 無線とじ：無線とじ印刷するかどうかを選択をします。
- 22 画像位置：標準の画像位置の基準を選択します。
- 23 上積み許可：出力紙の上積みを許可するかどうかを設定します。
- 24 くるみ製本：くるみ製本機各種設定をします。

25 解像度：出力の解像度を設定します。

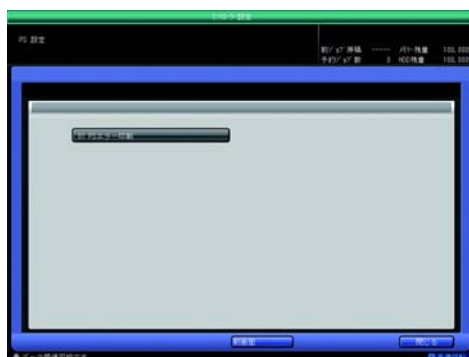
26 ふちなし印刷：ふちなし印刷するかどうかを設定します。

(3) 設定が終了したら、〔前画面〕を押してプリンター設定画面にもどします。

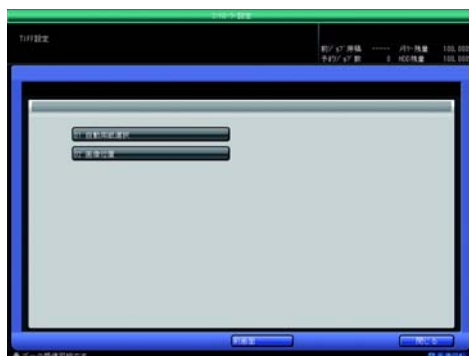
5. PCL設定をします。



- (1) [02 PCL 設定] を押します。PCL 設定メニュー画面が表示されます。
 - (2) 任意のボタンを押して各種設定を行います。必要に応じて [次頁] [前頁] を押します。
 - 01 フォント設定： PCLで使用するフォントを選択します。
フォント番号を選択してフォントをインストールできます。
 - 02 シンボルセット： PCLで使用するシンボルセットを選択します。
 - 03 ラインページ： 1 ページのライン数を指定します。
 - 04 ポイント： フォントのポイントを指定します。
 - 05 ピッチ： ピッチ数を指定します。
 - 06 CR/LFマッピング： 改行コードのマッピングを選択します。
 - (3) 設定が終了したら [前画面] を押してプリンター設定画面にもどします。
6. PS設定をします。



- (1) [03 PS 設定] を押します。PS 設定画面が表示されます。
 - (2) [01 PS エラー印刷] を押します。
PS エラーページ印刷のオン/オフを設定します。
 - (3) [OK] を押します。
キャンセルする場合、[キャンセル] を押します。
PS 設定画面に戻ります。
 - (4) 設定が終了したら、[前画面] を押してプリンター設定画面にもどします。
7. TIFF 設定をします。



- (1) [04 TIFF 設定] を押します。TIFF 設定メニュー画面が表示されます。
 - (2) 任意のボタンを押して設定します。
 - 01 自動用紙選択：自動用紙設定のオン/オフを設定します。
 - 02 画像位置：画像位置を設定します。
 - (3) [OK] を押します。TIFF 設定メニュー画面に戻ります。
 - (4) 設定が終了したら、[前画面] を押してプリンター設定画面にもどします。
8. プリンター設定画面の [前画面] を押します。コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
9. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は [機械状態] タブを押します。機械状態画面に戻ります。

03ポート別出力設定

ポート別にプリンターデフォルト設定を割り当てます。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます
2. 〔03 ポート別出力設定〕を押して、ポート別出力設定画面を表示させます。
3. 設定したいボタンを押します。画面右側のテンキーを使って、番号を入力します。
入力範囲は1～6までです。
4. 〔設定〕を押して確定します。
間違って入力した場合は正しい番号を入力しなおしてください。〔設定〕を押す前に間違って入力した場合は、〔リセット〕を押し、入力しなおしてください。
5. 〔前画面〕を押します。コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
6. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

04スプール設定

スプールを自動にするか、許可するか、禁止するかを設定します。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます
2. 〔04 スプール設定〕を押して、ジョブスプール設定画面を表示させます。
3. 任意のボタンを押します。
4. 〔OK〕を押します。
設定をキャンセルする場合は、〔キャンセル〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
5. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

05 I/Fタイムアウト

ネットワークタイムアウトとUSBタイムアウトの時間を設定します。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラ設定〕を押します。
コントローラ設定メニュー画面が表示されます
2. 〔05 I/Fタイムアウト〕を押して、I/Fタイムアウト設定画面を表示させます。
3. 任意のボタンを押します。
4. 画面の右側にあるテンキーを使って、時間を入力し、〔設定〕を押します。
ネットワークタイムアウトの入力範囲は10～3600、USBタイムアウトの入力範囲は10～1000です。範囲以外の時間を入力して〔設定〕を押すと、最初に設定されていた時間に設定されます。
〔設定〕を押す前に間違えて入力した場合は、〔リセット〕を押して入力しなおします。
5. 〔前画面〕を押します。
コントローラ設定メニュー画面に戻ります。
6. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

06Plug-in Form Password

プラグインドライバーのSOFHAドライバーのフォーム用パスワードを設定します。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔06 Plug-in Form Password〕を押してプラグインフォームパスワード設定画面を表示させます。
3. 現在のパスワードを入力して、〔OK〕を押します。
4. 新しいパスワードを入力して、〔OK〕を押します。
5. 〔前画面〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面に戻ります。
6. 他の項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面に戻ります。

07 スキャン設定

スキャンデータの保存に関する設定をします。



手順

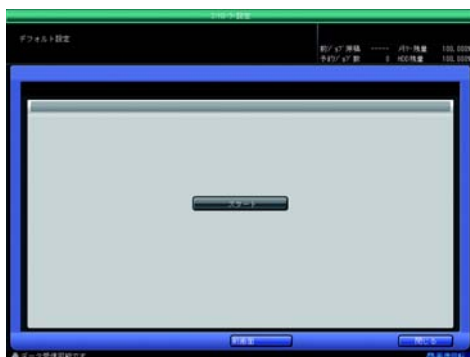
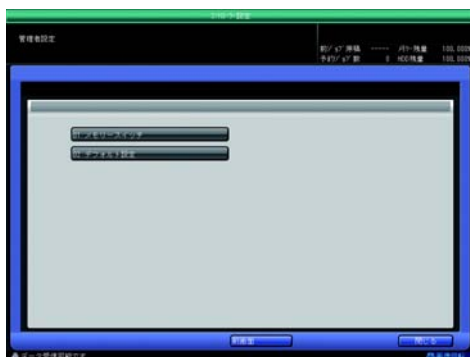
1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔07 スキャン設定〕を押して、スキャン設定メニュー画面を表示させます。
3. 任意のボタンを押して各種設定を行います。
01 ボックス内ドキュメント削除時間：ボックスに保存されているスキャンデータの保存時間を任意のボタンから選択します。
02 ファイル名：ファイル名を入力します。（半角英数字11文字以内）
4. 〔OK〕を押します。
5. 設定が終了したら、〔前画面〕を押してコントローラー設定メニュー画面にもどします。
6. ほかの項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面にもどります。

08 管理者設定

メモリスイッチの設定およびデフォルト設定を行います。



メモリスイッチについての詳細は、ユーザーズガイド（プリンター編）を参照してください。



手順

1. 機械状態画面の〔コントローラー設定〕を押します。
コントローラー設定メニュー画面が表示されます。
2. 〔08 管理者設定〕を押します。管理者パスワードを入力して管理者設定メニュー画面を表示させます。
3. メモリスイッチを設定します。
 - (1) 〔01 メモリスイッチ〕を押します。
 - (2) 〔スイッチ番号 (1-50)〕を押し、テンキーを押して任意のスイッチ番号を入力します。
入力を間違えたときは、続けて正しい番号を入力してください。
 - (3) 〔Off (0) / On (1)〕を押し、〔0〕または〔1〕を入力します。
 - (4) 〔設定〕を押します。もとの設定にもどすときは、〔リセット〕を押します。
 - (5) 〔前画面〕を押します。
4. デフォルト設定をします。
 - (1) 〔デフォルト設定〕を押します。
 - (2) 〔スタート〕を押します。
 - (3) 〔前画面〕を押します。
5. 設定が終了したら、〔前画面〕を押してコントローラー設定メニュー画面にもどします。
6. ほかの項目を設定する場合は、任意のボタンを押します。
設定を終了する場合は、〔機械状態〕タブを押します。機械状態画面にもどります。

設定メニュー画面での設定

第5章

設定メニュー画面で設定する項目の設定方法を説明します。

第5章
設定メニュー
画面での設定

設定メニュー画面での設定の概要	5-2
■ 設定メニュー画面を表示させる	5-2
■ 設定メニュー画面設定一覧	5-4

01環境設定	5-14
■ 01言語設定	5-14
■ 02単位系設定	5-15
■ 03ブザー設定>01ブザー ON/OFF、音量設定	5-16
■ 03ブザー設定>02停止時ブザー設定	5-17
■ 04 1SHOTメッセージ表示時間	5-18
■ 05デフォルト画面設定	5-19
■ 06オートリセット設定	5-20
■ 07キー応答時間	5-21
■ 08ユーザーパスワード変更	5-22
■ 09ショートカットキー登録>01コピー応用設定登録	5-23
■ 09ショートカットキー登録>02コピー出力設定登録	5-24
■ 09ショートカットキー登録>03ファンクションキー登録	5-25
■ 09ショートカットキー登録>04スキャン応用設定登録	5-27

02機能設定	5-28
■ 01給紙トレイ設定>01給紙トレイ自動選択	5-28
■ 01給紙トレイ設定>02ATS許可	5-29
■ 01給紙トレイ設定>05自動用紙種類	5-32
■ 01給紙トレイ設定>04PFU予備乾燥設定	5-31
■ 01給紙トレイ設定>05自動用紙種類	5-32
■ 02個別機能切替え	5-33
■ 03カーリ矯正方向選択	5-35
■ 04曲がり検知閾値設定	5-36
■ 05プリンター先端画像消去量設定	5-37
■ 06濃度設定>01原稿画質の濃度シフト	5-38
■ 06濃度設定>02登録濃度設定	5-39
■ 06濃度設定>03写真モード濃度選択	5-40
■ 06濃度設定>04画像濃度選択	5-41
■ 07登録倍率設定	5-42

03コピー設定	5-43
■ 01リセット設定>01初期設定	5-43
■ 01リセット設定>02リセット機能任意設定	5-45
■ 01リセット設定>03キーカウンター/コピーカード挿入イニシャル	5-46
■ 02個別機能切替え設定	5-47

04スキャン設定	5-49
■ 01デフォルト送信先設定	5-49
■ 02初期設定（読み込み設定）	5-50
■ 03個別機能切替え設定	5-51

05タッチパネル調整	5-52
------------------	------

06管理者設定>01環境設定	5-53
■ 01パワーセーブ設定	5-53
■ 02日時設定	5-54
■ 04管理リストプリント	5-55
■ 05ユーザー操作禁止設定	5-58
■ 06エキスパート調整>01プリンター画質調整	5-60
■ 06エキスパート調整>02原稿読み取り領域設定	5-61
■ 06エキスパート調整>03 ADF枠消し設定	5-62
■ 06エキスパート調整>04原稿外消去	5-63
■ 06エキスパート調整>05 スキャン画質調整	5-64
■ 07サイズ設定	5-65
■ 08任意スタンプ設定	5-66
■ 09くるみ製本設定>01使用可能坪量選択	5-70
■ 09くるみ製本設定>02くるみ制限枚数設定	5-71
■ 09くるみ製本設定>03表紙長さ不適切時停止設定	5-72
■ 10サービスポート機器設定	5-73
■ 11画面カスタマイズ設定>01表示文字太さ設定	5-74
■ 11画面カスタマイズ設定>02コピー画面カスタマイズ設定	5-75
■ 11画面カスタマイズ設定>03スキャン画面カスタマイズ設定	5-76
■ 11画面カスタマイズ設定>04保存画面カスタマイズ設定	5-77

06管理者設定>02管理者／本体登録	5-78
■ 01管理者登録	5-78

06管理者設定>05コピー／プリンター設定	5-79
■ 01仕分け設定>01ジョブオフセット動作	5-79
■ 01仕分け設定>02オフセット排紙方法	5-80
■ 02連続プリント（プリンター）	5-81
■ 03小冊子時のページ印字位置	5-82
■ 04プリント前定着予備回転設定	5-83
■ 05サンプル排紙設定	5-84
■ 06自動画像回転	5-85
■ 07読み込み停止方法	5-86
■ 08コピー予約の操作性	5-87
■ 09トレイ引抜きによる読み込み禁止	5-88
■ 10連続プリント（コピー）	5-89
■ 11原稿ガラス1枚排紙方法	5-90
■ 12 1枚送り自動設定	5-91

06管理者設定>06システム連携	5-92
■ 01ユーザー発信	5-92

06管理者設定>08スキャン送信先登録	5-93
■ 01宛先編集／削除	5-93

設定メニュー画面での設定の概要

操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押すと、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面のうち、01～05の項目は任意に設定できますが、「06 管理者設定」は管理者パスワードを入力しなければ設定できないようにすることができます。「06 管理者設定」の設定項目は、機械のパフォーマンスのほか認証やセキュリティーなどの機械の管理に関わる内容が含まれています。管理者を選任し、その管理者のみがこの設定を行うようにすることをお勧めします。



管理者パスワードの設定はサービス実施店にお申し出ください。

■ 設定メニュー画面を表示させる

1 【設定メニュー / カウンター】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。



01～05の各種設定ができます。
06管理者設定を行う場合は2項に進みます。

■ 設定メニュー画面設定一覧

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
01 環境設定	
01 言語設定 表示している言語を切り替えます。	日本語／英語／簡体字中国語
02 単位系設定 タッチパネルに表示される数値単位を選択します。	用紙サイズ（長さ）単位：mm／インチ（小数点）／インチ（分数） 坪量単位：g/m ² ／kg（A 本判）／kg（B 本判）／kg（四六判）／kg（菊判）／lb（Bond）／lb（Book）／lb（Bristol）／lb（Cover）／lb（Index）／lb（Tag）
03 ブザー設定	
01 ブザー ON／OFF、音量設定 タッチパネルのボタンを押したときの音の設定をします。	ON／OFF、小さく／大きく
02 停止時ブザー設定 紙なしや紙づまりで、機械が停止するときのブザー音を設定します。	OFF／3 秒／5 秒／10 秒
04 1SHOT メッセージ表示時間 タッチパネルに表示されるメッセージの表示時間を設定します。	3 秒／5 秒
05 デフォルト画面設定 電源オン時に表示される画面を設定します。	機械状態／ジョブリスト／コピー
06 オートリセット設定 いずれのボタンも押さずに一定時間経過すると、デフォルトのコピー条件に戻ります。このときの時間を設定します。	OFF／1 分／2 分／3 分／4 分／5 分／6 分／7 分／8 分／9 分
07 キー応答時間 ボタンのタッチ時間を設定します。	通常／0.5 秒／1 秒／2 秒／3 秒
08 ユーザーパスワード変更 個々のユーザーが、ユーザー認証で設定した自分のパスワードを変更するときに押します。	パスワード変更の入力
09 ショートカットキー登録	
01 コピー応用設定登録 コピー画面の〔応用設定〕表示下に表示させるショートカットキーを選択します。4 つまで設定できます。	インターシート／章分け／集約／小冊子／差込みページ／ブック連写／プログラムジョブ／原稿外消去／ネガポジ反転／リピート／枠／折り目消し／センタリング／全面画像／とじしろ／スタンプ／オーバーレイ
02 コピー出力設定登録 コピー画面の〔出力設定〕表示下に表示させるショートカットキーを選択します。4 つまで設定できます。	折り／重ね中折り／重ね3つ折り／中とじ／ステープル／パンチ穴／仕分けソート／ソート／仕分けグループ／グループ／くすみ製本
03 ファンクションキー コピー画面下部に表示させるファンクションキーを設定します。5 つまで設定できます。	5 つ
04 スキャン応用設定登録 スキャン画面の〔応用設定〕表示下に表示させるショートカットキーを選択します。4 つまで設定できます。	ブック連写／原稿外消去／ネガポジ反転／枠／折り目消し／全面画像／スタンプ／オーバーレイ

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
02 機能設定		
01 給紙トレイ設定		
01 給紙トレイ自動選択 トレイごとの自動トレイ選択機能の設定と選択時の優先順位を設定します。		自動選択の有無(トレイ1～8): <u>OFF</u> トレイ優先順位: トレイ4 / トレイ3 / トレイ5 / トレイ7 / トレイ6 / トレイ8 / トレイ1 / トレイ2
02 ATS 許可 自動トレイ選択機能のオン/オフを設定します。		ON / <u>OFF</u>
03 ATS 設定 ATSが機能して他のトレイから用紙が給紙されている状態でもとのトレイに用紙を補給したとき、現在のまま給紙を維持するか、もとのトレイからの給紙に再び切り替えるかの設定をします。		維持する / <u>維持しない</u>
04 PFU 予備乾燥設定 大容量給紙トレイの予備乾燥中の給紙待ち制御をするかどうかの設定をします。		あり / <u>なし</u>
05 自動用紙種類 自動トレイ選択機能で選択される紙種の各種設定をします。		用紙種類 (普通紙) / 坪量 (62-71, 72-80) / 色紙(白) / パンチ穴(<u>なし</u>)
02 個別機能切替え		
とじしろ小数点入力 とじしろ設定で、小数点以下を入力可能にするかどうかを設定します。		小数点入力可 / <u>小数点入力不可</u>
プリンター受付禁止タイマー コピー設定後に、プリントジョブを受け付けるまでの時間を設定します。		OFF / 15秒 / <u>30秒</u> / 1分 / 1分30秒
不要インデックス紙排紙 セットで給紙トレイに収納したインデックス紙のうち、半端になったインデックス紙を自動的に排紙するかどうかを設定します。		<u>あり</u> / なし
インデックス紙プリント自動シフト 定形原稿の右側に印字された文字を自動的に右側に12.5mm シフトさせてインデックス部分にコピーするかどうかの設定をします。		あり / <u>なし</u>
ダーシ長（ページスタンプ） 定形スタンプのページ設定で使われるダーシの長さを選択します。		<u>長い</u> / 短い
高カバレッジ制御 高カバレッジ制御を機能させるかどうかを選択します。		<u>なし</u> / 画質優先 / 速度優先
スキャナーアップロード完了後モード保持 スキャンデータをアップロードしたあとに、スキャン条件を保持するかどうか選択します。		保持する / <u>保持しない</u>
コピー連続予約 コピー予約を連続して行えるようにするかどうかの設定をします。		あり / <u>なし</u>
スキャナー連続予約 スキャン予約を連続して行えるようにするかどうかの設定をします。		あり / <u>なし</u>
ボックス連続保存 ボックス保存を連続して行えるようにするかどうかの設定をします。		あり / <u>なし</u>

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
03 カール矯正方向選択 後処理系オプションに紙づまりが発生する場合、デカーラユニットに搬送される用紙のカール矯正方向を選択して紙づまりを起こしにくくします。	OFF / 上側 / 下側
04 曲がり検知閾値設定 コピー / プリント時に機械停止する曲がり量を設定します。	検知しない / 0.5% / <u>1.0%</u>
05 プリンター先端画像消去量設定 プリント時の先端白抜け量（原稿消去量）を選択します。	定形サイズ用紙： 消去しない / 先端 3mm を消去する ワイド紙 / 不定形サイズ用紙： 消去しない / 先端 3mm を消去する
06 濃度設定	
01 原稿画質の濃度シフト 各原稿画質モードに対する濃度のデフォルトを設定します。	0 ～ 5(文字 / 写真 : 3、薄文字 : 2、 写真 : 3、文字 : 3)
02 登録濃度設定 頻繁に使用する濃度値を予め登録することができます。	2 つ
03 写真モード濃度選択 写真モード選択時、自動濃度で選択される濃度レベルを設定します。	淡い / <u>ふつう</u> / 濃い
04 画像濃度選択 画質を落とさず、濃度をうすくコピーしたいときに設定します。 最大濃度を濃くしたいときや、本の印刷や郵政はがきを使った喪中はがき印刷時に設定します。	+ 1 ～ - 5（標準）
07 登録倍率設定 頻繁に使用する倍率を予め登録することができます。	3 つ
03 コピー設定	
01 リセット設定	
01 初期設定 【リセット】を押したときに設定される初期値を設定します。	現在の設定値 / <u>出荷時の設定値</u>
02 リセット機能任意設定 リセットボタン設定 【リセット】を押したときに表示される画面表示を設定します。 フルオートは工場出荷時の設定条件、初期設定は上記 01 初期設定で設定された設定条件です。 各種リセット設定 上記設定が「初期設定」のとき有効です。初期設定を設定メモリー（30）に登録したコピー条件にするか、コピー初期設定の設定にするかを選択します。 フルオート時のフィニッシャーモード 【リセット】を押したときに設定されるフルオートのときのフィニッシャーモードを設定します。	 フルオート / <u>初期設定</u> <u>初期化設定</u> / 設定メモリー（30）読出 仕分けソート / 仕分けグループ / ソート / グループ / ステープル / 中とじ / 中折り / フェイスアップ / フェイスダウン
03 キーカウンター / コピーカード挿入イニシャル キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、コピー条件を初期状態にするかどうかを設定します。	<u>ON</u> / OFF

設定項目と説明	設定値 (下線は初期値)
02 個別機能切り替え	
中とじ／重ね中折り時小冊子 中とじ／重ね中折りを選択したとき、自動的に小冊子機能を選択させるかどうかを設定します。	<u>自動選択する</u> ／自動選択しない
原稿ガラス自動倍率 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動倍率を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
ADF 自動倍率 ADF に原稿をセットしたとき、自動倍率を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
原稿ガラス自動サイズ選択 原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
ADF 自動サイズ選択 ADF に原稿をセットしたとき、自動用紙を動かせるかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
APS 解除時のトレイ指定 APS(自動用紙) が解除されたときに選択するトレイを指定します。	自動選択優先トレイ／トレイ1／トレイ2／トレイ3／トレイ4／トレイ5／トレイ6／トレイ7／トレイ8
原稿／出力のとじ方向合わせ 原稿設定のとじ方向で設定したとじ方向と、出力設定のとじ方向とを同じにするかどうかを設定します。	<u>ON</u> ／OFF
ステープルオートリセット 【リセット】を押したときにステープルのオフ／オンを設定します。	ON／ <u>OFF</u>
原稿セット／とじ方向 原稿設定画面で設定した原稿セット方向と出力設定で設定した両面とじ方向の設定を、ジョブごとに解除するかどうかを設定します。	解除しない／ <u>ジョブ毎に解除</u>
リセット時の原稿ガラス／ADF 保持状態 【リセット】を押したとき、片面／両面設定を解除しないようにするかどうかを設定します。	保持／ <u>保持しない</u>

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
04 スキャン設定		
01 デフォルト送信先設定 スキャン画面で表示されるデフォルトのタブを設定します。		E-mail / HDD / FTP / SMB
02 初期設定（読み込設定） スキャン読み込み時の初期設定を設定します。		
03 個別機能切替え設定		
ファイルフォーム設定 (E-Mail) Scan to E-Mail のファイルフォームのデフォルトを設定します。		一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS
ファイルフォーム設定 (HDD) Scan to HDD のファイルフォームのデフォルトを設定します。		一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS
ファイルフォーム設定 (FTP) Scan to FTP のファイルフォームのデフォルトを設定します。		一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS
ファイルフォーム設定 (SMB) Scan to SMB のファイルフォームのデフォルトを設定します。		一括 PDF / 分割 PDF / 一括 TIFF / 分割 TIFF / 一括 XPS / 分割 XPS
05 タッチパネル調整		
タッチパネルのボタンを押して正常に反応しないとき、タッチセンサーと画面にズレが生じていないかを調整します。		
06 管理者設定		
01 環境設定		
01 パワーセーブ 設定 オートローパワー／オートシャットオフ ローパワーとシャットオフモードの時間を設定します。		オートローパワー設定：1 分 / 3 分 / 5 分 * / 10 分 / <u>15 分</u> * / 30 分 / 60 分 / 90 分 / 120 分 / 240 分 * : bizhub PRO 1200 は 15 分、bizhub PRO 1051 は 5 分に設定されています。 オートシャットオフ設定：1 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分 / 60 分 / <u>90 分</u> / 120 分 / 240 分 オートシャットオフはオフ
02 日時設定		
設定時刻／サマータイム／時差設定 現在の日時、サマータイム、時差を設定します。		設定時刻
03 ウィークリータイマー設定（第 6 章を参照）		
01 ウィークリータイマー使用設定 ウィークリータイマーを使用するかどうかを設定します。		使用する / <u>使用しない</u>
02 タイマー予約時刻設定 機械の電源オン／オフのタイマーを設定します。		
03 動作日設定 機械の電源オン／オフする動作日を設定します。		
04 昼休みオフ機能設定 昼休みに設定された時間のみ電源をオフするように設定します。		昼休み OFF する（OFF / 再起動） / <u>連続運転</u>
05 時間外使用パスワード設定 ウィークリータイマー機能が働いている時間以外に使用するとき、パスワードが必要となります。このパスワードを設定します。		0000（4 桁）

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
04 管理リストプリント		
設定メモリーリスト 設定メモリーに登録したジョブをリスト出力します。		
ユーザー管理リスト ユーザーが設定した内容をリスト出力します。		
使用管理リスト ユーザーや部門の使用状況をリスト出力します。		
フォントパターンリスト 本機で利用できるフォントパターンをリスト出力します。		
監査ログレポート セキュリティーモードの監査ログをレポート出力します。		
05 ユーザー操作禁止設定		
設定メモリーロック／削除設定 設定メモリーに登録したジョブを消去できないようにロックしたり、削除します。		
宛先登録変更 スキャン画面で送信先入力を入力を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
登録倍率変更 倍率の変更をさせるかどうかを設定します。		許可／禁止
登録オーバーレイ変更 登録オーバーレイ機能で、画像の画像名を削除したり、上書きすることを許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（E-mail） スキャン機能でE-Mailの選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（HDD） スキャン機能で HDD の選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（FTP） スキャン機能でFTPの選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止
スキャン機能選択（SMB） スキャン機能で SMB の選択を許可するかどうかを設定します。		許可／禁止

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
06 エキスパート調整 01 プリンター画質調整 プリンター画質を階調を優先するか、解像度を優先するかの選択をします 02 原稿読取り領域設定 原稿外消去の設定をします。 03 ADF 枠消し設定 ADF でコピーするときの枠消し量を設定します。 04 原稿外消去設定 応用機能の原稿外消去の詳細を設定します。 05 スキャン画質調整 スキャン画質を設定します。	階調優先／解像度優先 原稿外消去する／自動サイズ／自動倍率時のみ／ <u>原稿ガラス等倍を除き消去</u> なし／1mm／2mm／ <u>3mm</u> ／4mm／5mm 消去方法：斜角消去／矩形消去／ <u>自動</u> 原稿濃度：5段階／ <u>自動</u> テクスチャー除去：する／ <u>しない</u> 印刷階調選択：高い／ <u>低い</u> 1200dpi 写真読み込み スクリーン指定：階調優先／解像度優先 EE 選択ガンマ調整：－5 ～＋5 (<u>0</u>)
07 サイズ設定 原稿サイズ検知 原稿を検知するサイズを設定します。 原稿ガラス最小サイズ設定 原稿ガラスを使ってコピーをとるとき、最小サイズを設定します。	A系・B系／インチ系／A系列のみ／フルサイズ 5.5x8.5□／B5□／8.5x11□／ <u>A5□</u> ／A4□／はがき
08 任意スタンプ設定 任意スタンプ設定の新規登録、編集、削除を行います。	
09 くるみ製本設定 01 使用可能坪量選択 くるみ製本機で使用可能な用紙坪量を本身、表紙それぞれに設定します。 02 くるみ制限枚数設定 本身の用紙坪量で、製本する最小最大枚数を設定します。 03 表紙長さ不適切時、一時停止設定 表紙ヨコの長さが、使用する本身サイズと背表紙厚みに適合していないとき、一時停止させるかどうかを設定します。	本身： <u>62</u> －71 g/m ² ／72－91 g/m ² 表紙： <u>72</u> －91 g/m ² ／92－130 g/m ² ／131－161 g/m ² 62－71 g/m ² 最小枚数： <u>10</u> 最大枚数： <u>300</u> 72－91 g/m ² 最小枚数： <u>10</u> 最大枚数： <u>300</u> <u>一時停止する</u> ／一時停止しない
10 サービスポート機器設定 サービスポートを使用する／しない、および使用するときのキーボードの種類を選択します。	使用する／使用しない キーボード種類：EN65／EN104／JP101／JP106／JP109
11 画面カスタマイズ設定 01 表示文字太さ設定 画面の文字の太さを選択します。 02 コピー画面カスタマイズ設定 コピー画面上半分に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。 03 スキャン画面カスタマイズ設定 スキャン画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。 04 保存画面カスタマイズ設定 保存画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。	標準／太文字

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
02 管理者／本体登録		
01 管理者登録 機械管理者の名前と内線番号を登録します。登録した内容は、設定メニュー画面のカウンター表示部に表示されます。		名前 (20 文字) / 内線番号 (8 桁) / E-mail アドレス
03 ユーザー認証／部門管理 (第 3 章を参照)		
01 認証方式		
01 認証設定 認証方法や部門管理数を設定します。		ユーザー認証 (なし)、部門管理 (なし)、部門名入力 (なし)、ユーザー／部門認証連動 (なし)、パスワード入力タイピング (オートリセット時)、部門振分け数 (1000)
02 部門管理設定 各モードに対し、部門管理するかどうか、リミット到達時の動作を設定します。		コピー (あり／なし)、スキャン (あり／なし)、リミットオーバー停止設定 (即時停止／プリント後停止／警告のみ)
02 部門管理 部門管理の各種設定をします。 変更、追加、削除、カウンタークリアすることができます。		部門 No. / 部門名 / パスワード / リミット
03 ユーザー認証設定 01.-01. 認証設定でユーザー認証ありにすると表示されるユーザー認証あり時、ユーザー認証の登録、変更、追加、削除等、カウンタークリア行います。		ユーザーNo./ユーザー名/パスワード/所属部門/使用可能な機能 (コピー/スキャン/保存・読出し/プリント)
04 未登録ユーザー／部門出力設定 登録されていないユーザーや部門の出力をカウントするかどうかを設定します。		ON / OFF
04 ネットワーク設定 (第 8 章を参照)		
01 本体 NIC 設定 本体 NIC の各種設定をします。		IP アドレス/サブネットマスク等
01 TCP / IP 設定 本体の TCP / IP の各種設定をします。		
02 http 通信設定 http 通信の各種設定をします。		プロキシサーバの使用 / SSL の使用 / 認証の使用等
03 メール初期設定 メールの初期設定をします。		
02 コントローラー NIC 設定		
01 TCP / IP 設定 コントローラーの TCP / IP の各種設定をします。		
02 NetWare 設定 Net Ware の各種設定をします。		
03 HTTP 設定 HTTP の各種設定をします。		
04 FTP 設定 FTP の各種設定をします。		
05 SNMP 設定 SNMP の各種設定をします。		
06 SMB 設定 SMB の各種設定をします。		

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
02 コントローラー NIC 設定（つづき）		
07 AppleTalk 設定 Apple Talk の各種設定をします。		
08 Bonjour 設定 Bonjour に関する設定をします。		
09 E-mail 設定 E-Mail に関する各種設定をします。		
10 TCP Socket 設定 TCP Socket に関する設定をします。		
11 CSRC 設定 CSRC に関する設定をします。		
12 Open API 設定 Open API に関する設定をします。		
13 Web サービス設定 Web サービスに関する設定をします。		
14 JSP 設定 JSP に関する設定をします。		
15 詳細設定 そのほかの詳細設定をします。		
05 コピー／プリンター設定		
01 仕分け設定		
01 ジョブオフセット動作 指定部数ごとや指定ジョブごとにオフセットさせるかどうかを設定します。		指定部数オフセット：ON / <u>OFF</u> 指定ジョブ単位オフセット：ON / <u>OFF</u>
02 オフセット排紙方法 オフセット方法を選択します。		排紙位置切替／仕切り紙挿入（仕切り紙給紙トレイ選択）／プリント停止
02 連続プリント（プリンター） 連続した複数の予約プリントを、ジョブの切れ目で機械を停止させることなく出力させるかどうかを設定します。		ON / <u>OFF</u>
03 小冊子時のページ印刷位置 応用機能の小冊子選択時、ページ印字位置を設定します。		ON（外側印刷） / <u>OFF</u>
04 プリント前定着予備回転設定 紙種や坪量の変更により定着温度の切り替えが必要になることがあります。このとき、出力前に定着を回転させ、その紙種や坪量に適した温度でプリントします。		<u>回転する</u> ／回転しない
05 サンプル排紙設定 サンプル出力の排紙先を選択します。また部門カウンターを設定するかどうかを設定します。		排紙トレイ選択： <u>トレイ 1</u> ／トレイ 2／トレイ 3／ トレイ 4／トレイ 5／トレイ 6／ トレイ 7／トレイ 8 部門カウンター設定： <u>する</u> ／しない
06 自動画像回転 トレイに、原稿と異なるサイズ of 用紙しかないとき、原稿の画像を回転させ、コピー用紙に収まるようにできます。		常にする／自動サイズ／自動倍率時 ／ <u>自動サイズ</u> ／自動倍率／縮小時
07 割込み停止方法 コピー中に割込みボタンを押したとき、現コピーに対する割込みのタイミングを設定します。		<u>部数区切</u> ／部数途中

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
08 コピー予約の操作性 機械状態画面が表示されているときのコピー予約で、コピー予約確認画面で設定するか、原稿セットすることでコピー予約のためのコピー画面へ移るかの設定をします。		ボタン押下によるコピー予約／原稿セットによるコピー予約
09 トレイ引抜きによる読み込み停止 トレイを引き出しているときの読み込み動作を停止させるかどうかを設定します。		ON / OFF
10 連続プリント（コピー） 連続した複数の予約コピーを、ジョブの切れ目で機械を停止させることなく出力させるかどうかを設定します。		ON / OFF
11 原稿ガラス 1 枚排紙方法 原稿ガラスから 1 枚コピーするときの排紙方法を設定します。		フェイスアップ／フェイスダウン
12 1 枚送り自動設定 ADF に原稿を 1 枚セットしたとき、自動的にコピーをスタートするかどうかを設定します。		ON / OFF
06 システム連携		
01 ユーザー発信 CSRC で呼出すときにスタートを押します。		スタート
07 セキュリティー設定（第 9 章を参照）		
01 管理者パスワード サービスモードで設定されている管理者パスワードを変更できます。		
02 HDD 管理設定		
01 フォルダー・ボックス一覧／削除 本体の HDD に保存されているフォルダー・ボックスの詳細表示と削除をします。		一覧の参照と削除
02HDD 保存データ自動削除期間 HDD に保存されたデータを自動で削除する時間を設定します。		削除しない／12 時間／1 日間／2 日間／3 日間／7 日間／30 日間
03HDD ロックパスワード変更 HDD ロックパスワードを変更します。		
04 一時データ上書き削除 保存データの上書きをできるようにするか、および消去モードを設定します。		設定の有無：しない／する 消去モード：モード 1／モード 2
05 全データ上書き削除 消去モードを選択します。		消去モード 1～8（消去モード 4）
06 HDD 暗号化設定 HDD のデータを暗号化するかどうかを設定します。		する／しない
03 セキュリティー強化モード セキュリティ強化モードを設定します。		ON / OFF
08 スキャン送信先登録		
01 宛先編集／削除 登録済みのスキャン送信先を編集または削除します。		

01環境設定

■ 01 言語設定

本機を操作するとき、タッチパネルに表示される言語の設定をします。
最初は、日本語が設定されています。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔01 言語設定〕を順に押します。
2. 〔日本語〕または〔英語〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 02 単位系設定

画面に表示される用紙サイズの数値の単位を選択します。

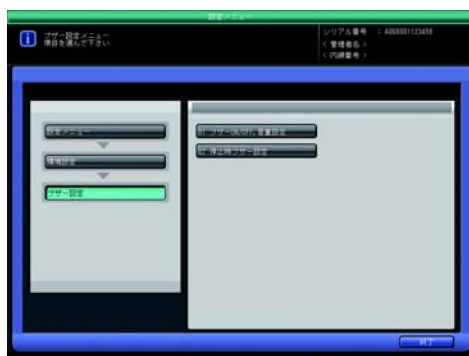
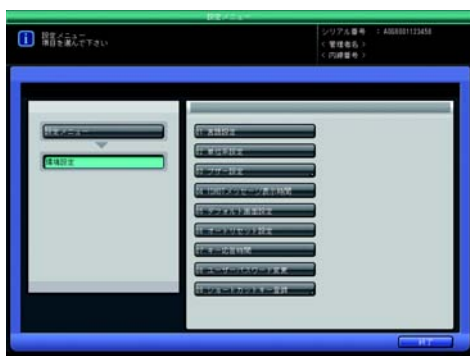


手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔02 単位系設定〕を順に押します。
2. 「用紙サイズ（長さ）単位」表示下の〔mm〕、〔インチ（小数点）〕または〔インチ（分数）〕を押して反転させます。
3. 「坪量単位」表示下の任意のボタンを押して反転させます。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 03ブザー設定>01ブザー ON/OFF、音量設定

タッチパネルを押すときに鳴るブザー（タッチ音）のオン/オフの設定、また音量の設定をします。

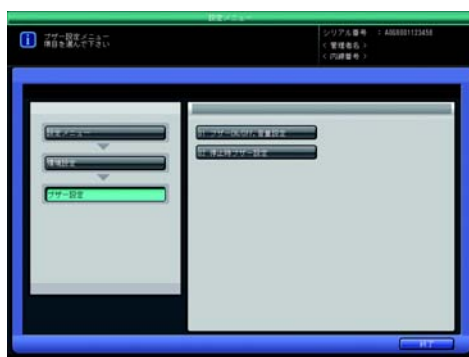


手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ブザー設定〕、〔01ブザー ON/OFF,音量設定〕を順に押します。
2. 〔ON〕を押して反転させます。ブザー音量調整の〔▼小さく〕と〔▲大きく〕を押して、希望するブザーの音量に調整します。
ブザーをオフにする場合は、〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ブザー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ブザー設定>02停止時ブザー設定

紙なしや紙づまりなどでジョブ停止時に鳴るブザーの時間の設定をします。

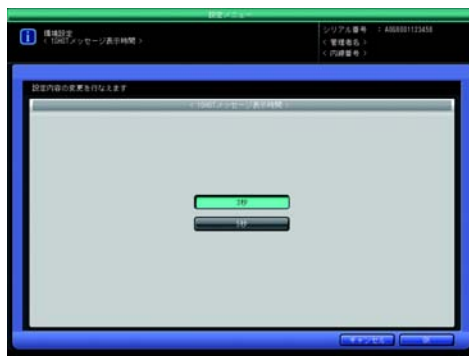


手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ブザー設定〕、〔02停止時ブザー設定〕を順に押します。
2. 希望する時間のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ブザー設定メニュー画面にもどります。

■ 04 1SHOTメッセージ表示時間

タッチパネルのメッセージ表示部に瞬時的に表示される「原稿サイズはA4です」のようなメッセージの表示時間を設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔041SHOTメッセージ表示時間〕を順に押します。
2. 〔3秒〕または〔5秒〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 05 デフォルト画面設定

本機の電源を入れたとき、デフォルトで表示される画面の設定をします。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔05デフォルト画面設定〕を順に押します。
2. デフォルトで使用したい画面のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 06 オートリセット設定

オートリセットは、タッチパネルや操作パネルのボタンも押さずに一定時間経過するとデフォルトとして設定しているコピー条件に自動的にもどす機能です。
ここでは、オートリセットが機能する時間を設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 オートリセット設定〕を順に押します。
2. 希望する時間のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 07 キー応答時間

ボタンを押してからそれに本機が反応するまでの時間を設定します。



手順

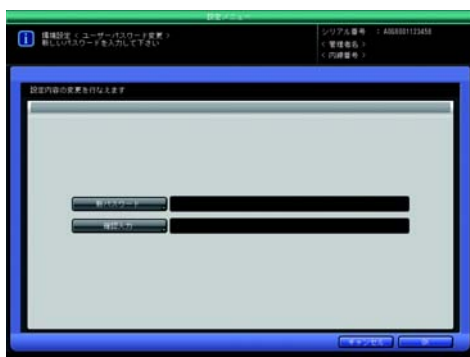
1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔07 キー応答時間〕を順に押します。
2. 希望する時間のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■08ユーザーパスワード変更

ユーザー認証で登録されているユーザー名のユーザーパスワードの変更をします。



ここで変更したパスワードは、ユーザー認証設定内容に反映されます。

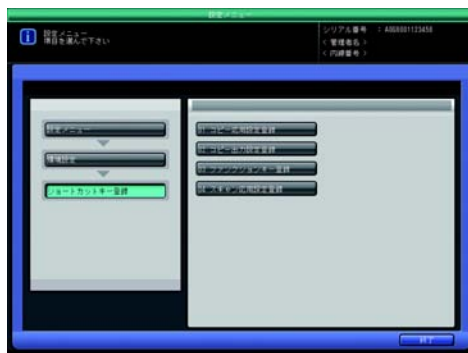


手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔08 ユーザーパスワード変更〕を順に押します。
2. ユーザー名と既存のパスワードを入力して、〔OK〕を押します。
3. 新しいパスワードを入力します。確認のため、確認入力の欄に再度新しいパスワードを入力します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 09ショートカットキー登録>01コピー応用設定登録

コピー画面の「応用設定」表示下に応用設定のショートカットキーを表示させ、ワンタッチで設定画面を表示させることができます。4つまで設定できます。

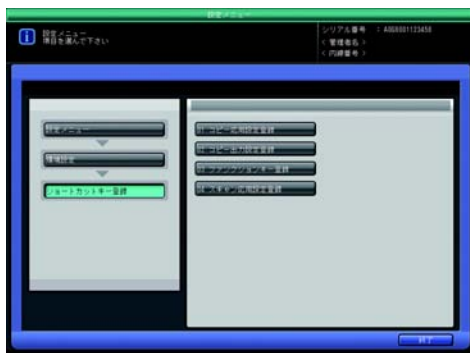


手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔09 ショートカットキー登録〕、〔01 コピー応用設定登録〕を順に押します。
2. 表示させたいキーを押して反転させます。4つまで選択できます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

■09ショートカットキー登録>02コピー出力設定登録

コピー画面の〔出力設定〕表示下に出力設定のショートカットキーを表示させ、ワンタッチで設定画面を表示させることができます。4つまで設定できます。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔09 ショートカットキー登録〕、〔02 コピー出力設定登録〕を順に押します。
2. 表示させたいキーを押して反転させます。4つまで選択できます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

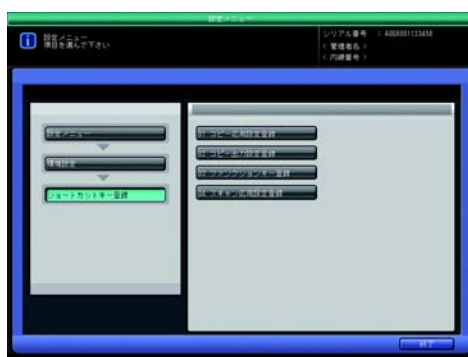
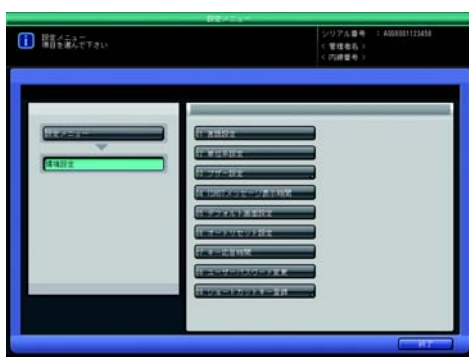
■ 09ショートカットキー登録> 03ファンクションキー登録

あらかじめ設定メモリーに登録したコピー条件を5件までファンクションキーに登録します。

ファンクションキーに登録された設定メモリーは、コピー画面からワンタッチで呼び出すことができます。



ファンクションキーに登録するコピー条件は、あらかじめプログラムに登録する必要があります。プログラムの登録方法の詳細は、コピー編のp.13-7をごらんください。



手順

1. 設定メニュー画面の「01環境設定」、「09ショートカットキー登録」、「03ファンクションキー登録」を順に押します。
2. ファンクションキー設定画面左側に表示される登録または削除したいファンクションキー(F1～F5)を押して選択します。
3. 登録または削除します。
ファンクションキーに設定メモリーを登録する
(1) [▼] [▲] を押して任意の設定メモリー項目ボタンを表示させます。
(2) ファンクションキーに登録したい設定メモリー項目ボタンを押して選択します。
(3) [<<登録] を押します。

手順2で選択したファンクションキーにすでに設定メモリーが登録されている場合、上書き確認のポップアップ画面が表示されます。[はい] を押します。

ファンクションキーの設定メモリーを削除する

(1)〔削除〕を押します。

(2) 削除確認のポップアップ画面が表示されます。

〔はい〕を押すと、設定メモリーの登録が選択されたファンクションキーから削除されます。

〔いいえ〕を押すと、削除されません。



詳しく説明します

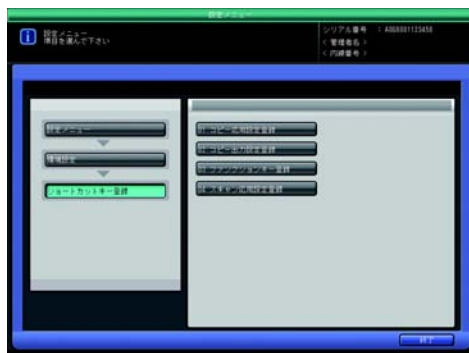
このときファンクションキーの設定メモリーを削除しても、設定メモリー自体は削除されることはありません。

4. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれもショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

■09ショートカットキー登録>04スキャン応用設定登録

スキャン画面の〔応用設定〕表示下に応用設定のショートカットキーを表示させ、ワンタッチで設定画面を表示させることができます。4つまで設定できます。



手順

1. 設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔09ショートカットキー登録〕、〔04スキャン応用設定登録〕を順に押します。
2. 表示させたいキーを押して反転させます。4つまで選択できます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、ショートカットキー登録メニュー画面にもどります。

02機能設定

■ 01 給紙トレイ設定>01 給紙トレイ自動選択

オートトレイスイッチング機能時に切り換え対象になるトレイの選択、切り換えトレイの優先順位を設定します。

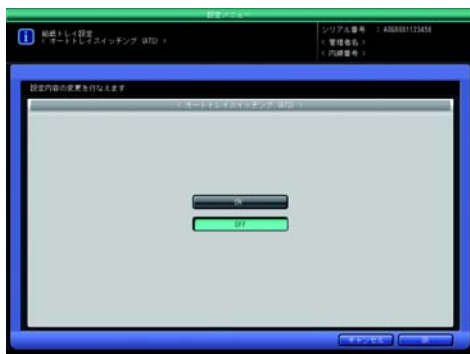


手順

1. 設定メニュー画面の「02 機能設定」、 「01 給紙トレイ設定」、 「01 給紙トレイ自動選択」 を順に押します。
2. 画面左側「自動選択の有無」下の各トレイボタンで、オートトレイスイッチング機能時に切り換え対象になるトレイの選択をします。
押して選択するとオートトレイスイッチングが機能したとき、切り替わる対象のトレイになります。選択しなかったトレイはオートトレイスイッチングがオンになっていても切り替わる対象のトレイになりません。
選択したトレイは、画面右側にトレイボタンとして表示されます。
3. 画面右側「トレイ優先順位」下の各トレイボタンで、オートトレイスイッチング機能時に切り換え対象になっているトレイの優先順位を設定します。
順位を変更するトレイボタンを押して選択し、「上げる▲」または「下げる▼」を押して変更します。
4. 設定内容を確認するため、「OK」を押します。
確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>02ATS許可

オートトレイスイッチングのオン/オフの設定をします。

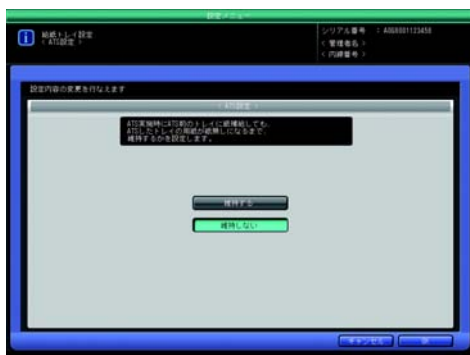


手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔01給紙トレイ設定〕、〔02ATS許可〕を順に押します。
2. オートトレイスイッチングを使用する場合は〔ON〕、使用しない場合は〔OFF〕を押して選択します。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>03ATS設定

ATSが機能して他のトレイから用紙が給紙されている状態で、もとのトレイに用紙を補給したとき、現在のまま給紙を維持するか、もとのトレイからの給紙に再び切替えるかの設定をします。

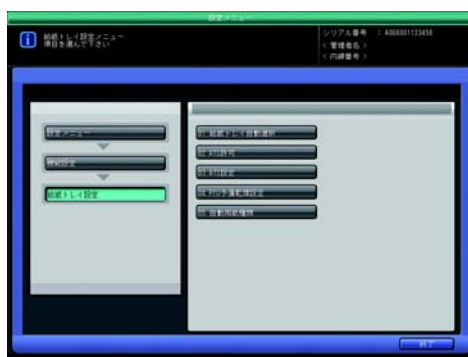


手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔01給紙トレイ設定〕、〔03ATS設定〕を順に押します。
2. 〔維持する〕または〔維持しない〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>04PFU予備乾燥設定

大容量給紙トレイの予備乾燥中の給紙待ち制御をするかどうかの設定をします。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔01 給紙トレイ設定〕、〔04PFU予備乾燥設定〕を順に押します。
2. 給紙待ち制御をする場合は〔あり〕、しない場合は〔なし〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 01 給紙トレイ設定>05自動用紙種類

オートトレイスイッチングが機能したときの自動選択されたトレイの用紙条件を設定します。ここで設定された以外の用紙条件がオートトレイスイッチング機能で自動選択されたトレイに設定されているとき、機械は不一致を表示します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔01給紙トレイ設定〕、〔05自動用紙種類〕を順に押します。
2. オートトレイスイッチングで自動選択されるトレイの用紙条件を設定します。〔用紙種類〕〔坪量〕〔色紙〕〔パンチ穴〕それぞれの項目で、希望する種類・条件のボタンを押して反転させます。1つの項目につき複数のボタンを押すことができます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、給紙トレイ設定メニュー画面にもどります。

■ 02 個別機能切替え

下記の8つの設定をします。

とじしろ少数点入力

とじしろ量を設定する際に、小数点以下を入力可能にするかどうかの設定

プリンター受付禁止タイマー

コピージョブ設定（最後のボタン入力）後にプリンタジョブを受け付ける時間の設定

不要インデックス紙排紙

セットで給紙トレイに収納したインデックス紙のうち半端になったインデックス紙を自動的に排紙するかどうかの設定

インデックス紙プリント自動シフト

定形原稿の右側に印字されたインデックス用の文字を自動的に右側に 12.5mm シフトさせてインデックス部分にコピーするかどうかの設定

ダーシ長（ページスタンプ）

定形スタンプのページ設定で使用するダーシの長さの設定

高力バレッジ制御の設定

濃度が高い（濃い）原稿を連続でプリントすると、プリント画像が不安定になることがあります。プリント画像を安定化させるため、自動的に複写速度を下げるか、複写速度を優先させるか、機能させないかの設定をします。

スキャナーアップロード完了後モード保持

スキャンデータをアップロードした後、そのときのモードを保持するかどうかの設定

コピー連続予約

コピー予約を連続して行えるようにするかどうかの設定をします。

スキャナー連続予約

スキャン予約を連続して行えるようにするかどうかの設定をします。

ボックス連続保存

ボックス保存を連続して行えるようにするかどうかの設定をします。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔02 個別機能切替え〕を順に押します。
2. 「とじしろ小数点入力」の〔小数点入力可〕または〔小数点入力不可〕を押して、とじしろ量を小数点以下で設定するかどうか選択します。
「プリンタ受付禁止タイマー」項目右のボタンのいずれかを押してタイマーの時間を選択します。
「不要インデックス紙排紙」の〔あり〕または〔なし〕を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
「インデックス紙プリント自動シフト」の〔あり〕または〔なし〕を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
「ダージ長（ページスタンプ）」の〔長い〕または〔短い〕を押して、ダージの長さを選択します。
「高力バレッジ制御」項目右のボタンのいずれかを押して機能を選択します。
「スキャナーアップロード完了後モード保持」の〔保持する〕または〔保持しない〕を押して保持するかしないかを選択します。
「コピー連続予約」の〔あり〕または〔なし〕を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
「スキャナー連続予約」の〔あり〕または〔なし〕を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
「ボックス連続予約」の〔あり〕または〔なし〕を押して、機能を使用するかしないかを選択します。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
設定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。



〔不要インデックス紙排紙〕は、装着されている後処理機により表示されない場合があります。

■ 03カール矯正方向選択

オプションに紙づまりが発生する場合、デカーラユニットに搬送される用紙のカール矯正方向を選択して紙づまりを起こしにくくします。



カール矯正は坪量 244g/m^2 以下の用紙に有効です。
坪量 $245\sim 300\text{g/m}^2$ 、 $301\sim 350\text{g/m}^2$ の用紙に対しては、設定してもカール矯正は行われません。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔03カール矯正方向選択〕を順に押します。
2. 〔上側〕または〔下側〕を押して選択します。機能させないときは、〔OFF〕を押します。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
設定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

■ 04 曲がり検知閾値設定

1 枚の通紙ごとに曲がりデータを検証し、設定された閾値を越えたときに停止します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔04 曲がり検知閾値設定〕を順に押します。
2. 曲がり検知の閾値を選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
設定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。



曲がり検知の閾値は通常コピー時に機械停止する曲がり量です。

■ 05プリンター先端画像消去量設定

プリント時の先端白抜け量（原稿消去量）を選択します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔05プリンター先端画像消去量設定〕を順に押します。
2. 任意のボタンを押して反転させ、定形サイズ、ワイド / 不定形サイズの各用紙の消去量を選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
設定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

■ 06 濃度設定>01 原稿画質の濃度シフト

コピー画面のマニュアル濃度設定では9つの濃度レベルが選択できますが、その濃度レベルを薄い方向に3段階、濃い方向に3段階シフトすることができます。

この濃度シフトは、通常の画質設定（文字／写真）のほかに、3つの画質設定（薄文字、写真、文字）に対してそれぞれシフトするように設定できます。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔03濃度設定〕、〔01原稿画質の濃度シフト〕を順に押します。
2. 4つの画質設定に対してそれぞれ0～5の数字ボタンを押して、任意の濃度シフトを設定します。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 06 濃度設定>02登録濃度設定

登録濃度は原稿画質の各設定(文字/写真、薄文字、写真、文字)に対して濃度設定および下地調整を登録します。登録された濃度設定は、コピー画面の画質設定画面から呼び出します。

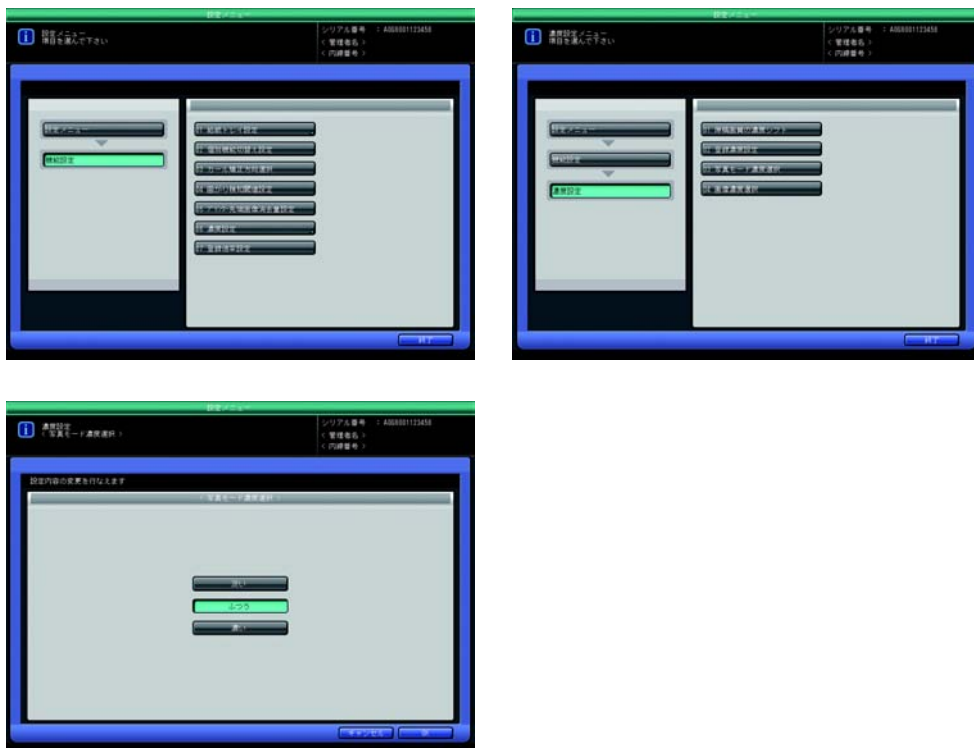


手順

1. 設定メニュー画面の〔02機能設定〕、〔03濃度設定〕、〔02登録濃度設定〕を順に押します。
2. 〔登録濃度1〕または〔登録濃度2〕を押します。
3. 原稿画質のボタンを押して反転させ、それぞれに濃度設定と下地調整を設定します。
4. 設定した濃度サンプルを見たいときは〔印刷モードへ〕を押し、原稿をセットし、操作パネルの〔スタート〕を押します。〔閉じる〕を押します。
5. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 06 濃度設定>03 写真モード濃度選択

写真モード選択時の自動濃度選択で選択される濃度レベルを設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔03 濃度設定〕、〔03 写真モード濃度選択〕を順に押します。
2. 〔薄い〕、〔ふつう〕、〔濃い〕の中から希望する濃度のボタンを押して選択します。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 06 濃度設定>04 画像濃度選択

コピー画面で設定できる濃度の設定幅を変更できます。
オフセット印刷のようにシャドウ部（最高濃度）の画像濃度を濃くしたり、薄くしたいときに設定します。本などの印刷物のように文字のぎらつきを抑え、読者の目の疲労を和らげるため、薄めの文字を使用するときなどに便利です。



手順

1. 設定メニュー画面の〔02 機能設定〕、〔03 濃度設定〕、〔04 画像濃度選択〕を順に押します。
2. 希望する濃度のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、濃度設定メニュー画面にもどります。

■ 07 登録倍率設定

倍率画面で選択できる3種類の登録倍率の値を設定します。

最初、「登録倍率1」は4.000、「登録倍率2」は2.000、「登録倍率3」は0.500に設定されています。



手順

1. 設定メニュー画面の「02 機能設定」、「04 登録倍率設定」を順に押します。
2. 変更したい「登録倍率」(1～3)を押して選択します。画面右のテンキーを押して、テンキー右側に希望する倍率を表示させます。
3. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、機能設定メニュー画面にもどります。

03コピー設定

■01リセット設定>01初期設定

機械がリセットされたときのコピー条件を任意に変更します。

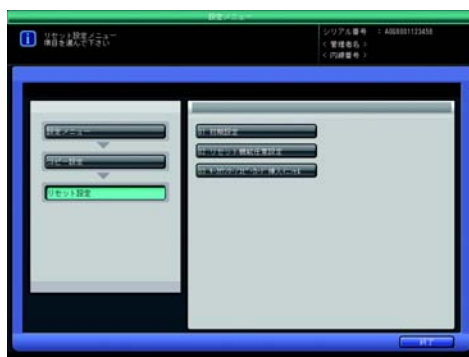
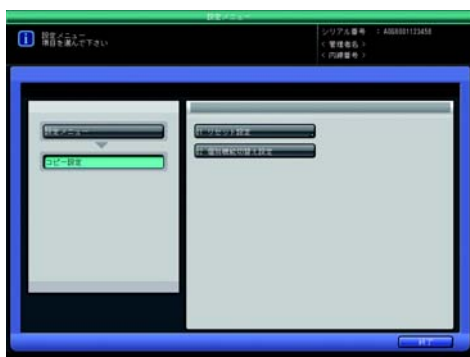
機械のリセット

- 電源をオンにしたとき
- オートリセット機能が働いたとき
- パワーセーブ機能が働いたとき
- ユーザー認証／部門管理が設定されているときにパスワード入力等でコピー可能になったとき
- キーカウンター／コピーカードを挿入したとき
- 操作パネルの【リセット】を押したとき

工場出荷時に設定されている設定（フルオート）とは別に任意のコピー条件を初期設定として設定することができます。

フルオートのコピー条件

- 原稿設定：標準
- 画質設定：標準
- 自動濃度：オン
- 倍率設定：1.000
- 出力設定：〔02リセット機能任意設定〕で設定
- 片面/両面設定：片面→片面
- 自動用紙：オン
- 自動画像回転：オン
- ADF：オン



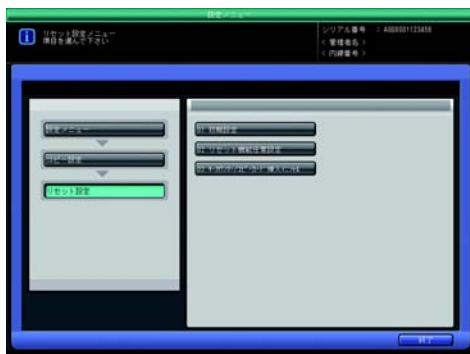
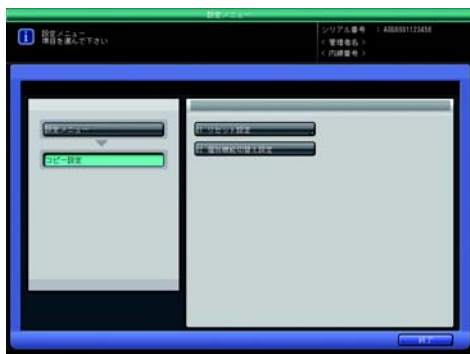
手順

1. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔01リセット設定〕、〔01初期設定〕を順に押します。
2. 初期状態のときの原稿設定、画質設定、自動濃度／任意濃度選択、片面／両面、倍率設定、出力設定、自動用紙／任意トレイ選択および自動画像回転ON／OFFを設定します。
設定方法は、コピー画面上で行う設定と同じです。
〔ADF〕を押して選択すると、初期設定としてADFモードが選択されます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

■ 01リセット設定>02リセット機能任意設定

機械がリセットされたとき、工場出荷時に設定されている設定（フルオート）にするか、〔03コピー設定>01リセット設定>01初期設定〕で設定した初期設定にするかの選択をします。

また、フルオートの設定のうち、出力設定を任意に変更します。

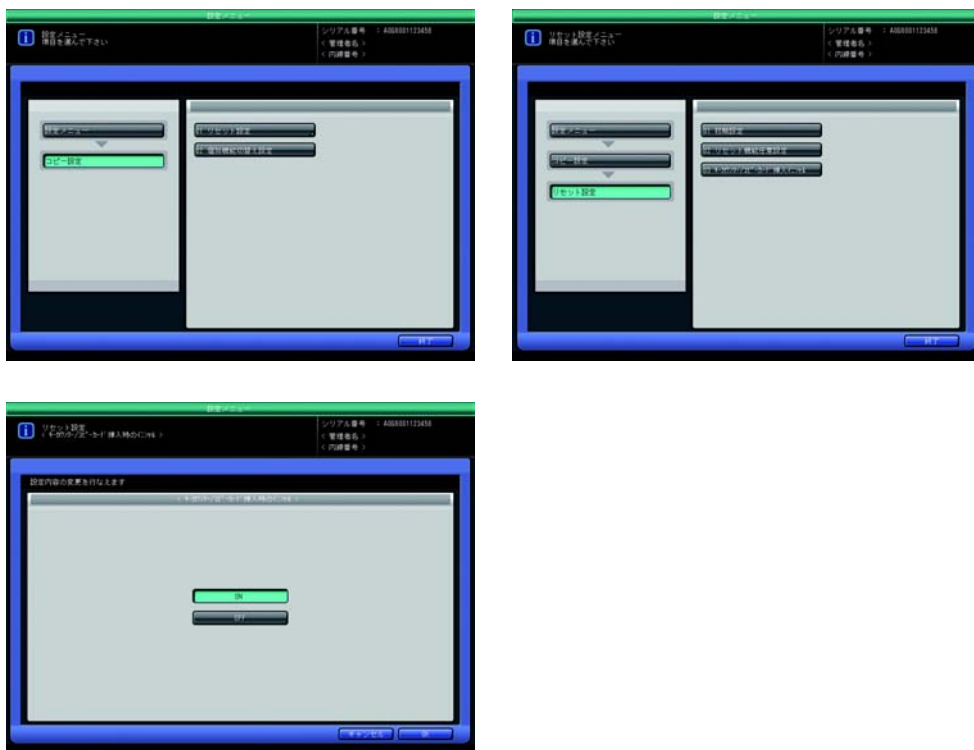


手順

1. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔01リセット設定〕、〔02リセット機能任意設定〕を順に押します。
2. リセット時のコピー条件を選択します。
リセットボタン設定：リセットしたときのコピー条件を工場出荷時に設定されている設定（フルオート）にするときは、〔フルオート〕を押して反転させます。
〔01初期設定〕で設定した初期設定にするときは、〔初期設定〕を押して反転させます。
3. フルオート時の出力設定を選択します。
「フルオート時のフィニッシャーモード」右の任意のボタンを押して反転させます。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

■ 01リセット設定>03キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル

キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、機械をリセットさせるかどうか設定します。



手順

1. 設定メニュー画面の〔03コピー設定〕、〔01リセット設定〕、〔03キーカウンター／コピーカード挿入イニシャル〕を順に押します。
2. キーカウンターやコピーカードを挿入したとき、機械をリセットさせるときは〔ON〕、リセットさせないときは〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、リセット設定メニュー画面にもどります。

■ 02 個別機能切替え設定

下記機能を切り替え設定します。

- **中とじ／重ね中折り時小冊子**
中とじ機 SD-506 の中とじ／重ね中折りの機能を選択したとき、応用設定の小冊子を自動選択するかどうかなを選択します。
- **原稿ガラス自動倍率**
原稿ガラスで原稿をスキャンするとき、自動倍率を機能させるかどうかなを選択します。
- **ADF自動倍率**
ADFで原稿をスキャンするとき、自動倍率を機能させるかどうかなを選択します。
- **原稿ガラス自動サイズ選択**
原稿ガラスで原稿をスキャンするとき、自動用紙を機能させるかどうかなを選択します。
- **ADF自動サイズ選択**
ADFで原稿をスキャンするとき、自動用紙を機能させるかどうかなを選択します。
- **APS解除時のトレイ指定**
自動用紙（APS）が解除されたとき、選択するトレイを指定します。
- **原稿／出力のとじ方向合わせ**
原稿設定で設定したとじ方向と出力設定の両面とじ方向の設定を合わせるかどうかなを選択します。
- **ステープルオートリセット**
ステープルソートでコピーを行った後、自動的にステープルモードを解除し、ソートモードにするかどうかなを選択します。
- **原稿セット／とじ方向**
原稿設定画面で設定した原稿セット方向、出力設定画面で設定した両面とじ方向の設定をジョブごとに解除するかどうかなを選択します。
- **リセット時の原稿ガラス／ADF状態保持**
機械がリセットされたとき、原稿ガラス／ADFモードを初期状態にもどすか、リセット前の状態を保持するかを選択します。



手順

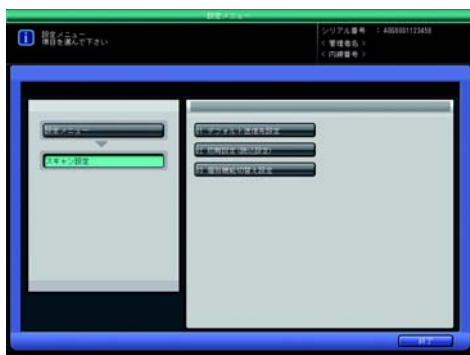
1. 設定メニュー画面の「03 コピー設定」、02 個別機能切替え設定」を順に押します。
2. 画面左側に表示される機能名称に対して、それぞれ「ON」「OFF」、または希望する設定のボタンを押して選択します。
設定画面は2つあります。「次頁」「前頁」を押して表示させます。
3. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は、「キャンセル」を押します。いずれも、設定メニュー画面にもどります。

04スキャン設定

■ 01 デフォルト送信先設定

スキャン画面を表示させたとき、デフォルトで選択される送信先を設定します。
送信先として、下記の4種類の中から1つを選択します。

- E-mail（メールアドレス）
- HDD（ボックスNO.）
- FTP（FTPサーバーアドレス）
- SMB



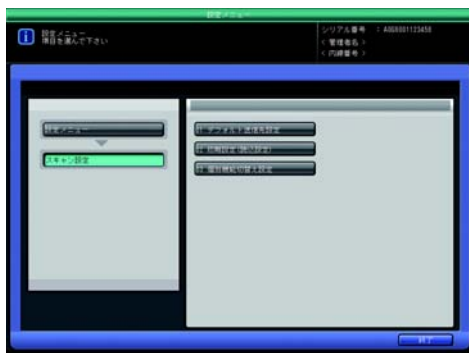
手順

1. 設定メニュー画面の〔04スキャン設定〕、〔01デフォルト送信先設定〕を順に押します。
2. 希望する送信先のボタンを押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

■ 02 初期設定（読込設定）

スキャン読込時の初期設定を設定します。



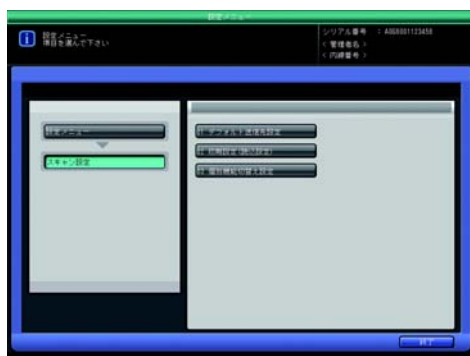
手順

1. 設定メニュー画面の〔04スキャン設定〕、〔02 初期設定（読込設定）〕を順に押します。
2. 初期設定のときの原稿設定、画質設定、倍率設定、応用設定、読込みサイズ、解像度（dpi）、片面/両面を設定します。
設定方法は、スキャン画面上で行う設定と同じです。
〔ADF〕を押して反転させると、初期設定としてADFモードが選択されます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

■ 03 個別機能切替え設定

スキャン画面を表示させたとき、デフォルトで選択されるファイルフォーマム、解像度、原稿画質／濃度、特殊原稿、読み込みサイズを設定します。

- ファイルフォーマム設定 (E-mail)**
 スキャンデータを E-mail に添付して送信するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。
- ファイルフォーマム設定 (HDD)**
 スキャンデータを HDD に保存するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。
- ファイルフォーマム設定 (FTP)**
 スキャンデータを FTP サーバに送信するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。
- ファイルフォーマム設定 (SMB)**
 スキャンデータを共有フォルダに送信するときのデータ形式を一括 PDF ／分割 PDF ／一括 TIFF ／分割 TIFF ／一括 XPS ／分割 XPS から選択します。



手順

- 設定メニュー画面の〔04スキャン設定〕、〔02個別機能切替え設定〕を順に押します。
- 画面左側に表示される機能に対して、それぞれ希望する設定のボタンを押して選択します。
- 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。



- 複数の宛先に対して同時送信する場合、個別にファイルフォーマムを設定することはできません。
- 同時送信する場合、ファイルフォーマム設定は、以下の優先順位で設定されます。
E-mail > HDD > FTP > SMB

05タッチパネル調整

タッチパネル上のボタンを押して正常に反応しないとき、タッチセンサーと画面にズレが生じていないか確認します。



- 設定メニュー画面で、操作パネルのテンキー【5】を押しても、タッチパネル調整画面を表示させることができます。
- 操作パネルのテンキー【5】を押したときのみタッチパネル調整画面を表示するように設定できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



手順

1. 設定メニュー画面の「05タッチパネル調整」を押します。
2. 右上と左下の十字マークを順番に押します。メッセージ表示部に座標値が表示されます。
3. 「タッチパネル調整」表示下の1行目に表示されている「X座標」「Y座標」の値が、2行目に表示されている規格値の範囲内にあることを確認します。
4. 左上、右下のチェックボタンを押し、2つともブザーが鳴ることを確認します。
5. 3項の規格値が表示の範囲外だったり、4項の操作でブザーが鳴らなかったりしたときは、調整をやり直すか、サービス実施店にご連絡ください。
6. 操作パネルの【1】を押すと、設定メニュー画面にもどります。

■01パワーセーブ設定

オートローパワーの時間、およびオートシャットオフの時間の設定をします。

設定項目： オートローパワー： 1分／3分／5分／10分／15分／30分／60分／
90分／120分／240分

オートシャットオフ： オフ／30分／60分／90分／120分／240分



手順

1. 管理者設定メニュー画面の「01環境設定」、 「01パワーセーブ設定」を順に押します。
2. 画面左側の<パワーセーブ機能選択>で「オートローパワー」を押して反転させます。
3. 画面右側の「オートローパワー設定」タイトル下の「▲」「▼」ボタンを押して、オートローパワーが機能する任意の時間を設定します。
最初はbizhub PRO 1200は15分、bizhub PRO 1051は5分に設定されています。
オートシャットオフ機能を使用しない場合は6項へ進みます。

ひとこと

オートローパワーの時間は、オートシャットオフの時間を超えて設定できません。
オートローパワーの時間をオートシャットオフと同じ時間に設定すると、「オートローパワー」の設定時間が白く反転します。このとき、オートローパワーのかわりにオートシャットオフが機能します。

4. 画面左側の<パワーセーブ機能選択>で「オートシャットオフ」を押して反転させます。
5. 画面右側の「オートシャットオフ設定」タイトル下の「▲」「▼」ボタンを押して、オートシャットオフが機能する任意の時間を設定します。
最初は90分に設定されています。

ひとこと

- ・ オートローパワーの時間より短い設定をすると、オートローパワーの時間は、強制的にオートシャットオフと同じ時間に再設定され、「オートローパワー」の設定時間が白く反転します。このとき、オートローパワーは機能しません。
6. 設定内容を確定するため、「OK」を押します。
確定しない場合は「キャンセル」を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 02日時設定

本機に設定されている時計の時刻合わせとサマータイムを設定するかどうかの選択をします。最初は、サマータイムは設定されていません。

設定項目： 現在時刻
サマータイムオン／オフ
時差設定



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔02日時設定〕を順に押します。
2. 本機に設定されている時計の時刻合わせを行います。
画面上段には、現在設定されている時刻が年（西暦）、月、日、時刻（24時間表示）の順に表示されています。
 (1) 「設定時刻」表示の「年」入力位置が反転表示されています。画面のテンキーを押して入力します。
 (2) テンキー右下の〔設定〕を押します。画面右位置に移動します。同様に「月」、「日」、「時刻」の設定をします。
3. サマータイムの設定をします。
最初、サマータイムは設定されていません。サマータイムを設定するときは、〔サマータイム〕を押して反転させます。現在時刻を1時間早めます。
4. 世界標準時との時差を設定します。
これはメール通知時の時差情報です。時差は国や地域によって決まっています。（日本の場合は9時間早い）
 (1) 〔時差設定〕を押します。
 (2) 〔+←→-〕を押して、世界標準時より早い場合は「+」、遅い場合は「-」を表示させます。
 (3) 画面のテンキーを押して、時差を入力します（例：9時間早いときは「+ 0900」）と入力します。
5. 更新／設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
現在時刻を更新しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも環境設定メニュー画面にもどります。

■ 04 管理リストプリント

下記のユーザーリストを選択し、プリントすることができます。

- 設定メモリーリスト：

設定メモリーの登録内容がプリントアウトされます。

P.1
2009/04/16 16:01
A0G6001902002
TC:1712

Mode memory list

No.1 (321)*	
Item	Setting
Number/Face	
Set number	1
Print side	1-1
Original setting	
Direction	Normal
Bind direction	Left/Right
Special original	Normal
Original size	Standard
Quality adjustment	
Original type	Text/Photo
Density set	AES
Background adjustment	+0
Sharpness	+0
Text/Photo	
Zoom setting	
Zoom	x1.0
Zoom(Vertical)	1.000
Zoom(Horizontal)	1.000
Output application	
Select tray	Auto
Rotation	On
Output tray	Staple finisher main tray
Bind direction	Left/Right
Face	Face down
Order	1 to N
Staple	Off
Fold & Staple	

- ユーザー管理リスト：

ユーザーが設定できるホームポジションの内容がプリントアウトされます。

P.1
2009/04/16 16:01
A0G6001902002
TC:1714

User setting list

System setting	
Item	Setting
Language setting	1
Paper size(length) unit	inch(fraction)
Paper weight unit	g/m2
Buzzer ON/OFF	Off
Buzzer volume regulation	7
Buzzer for JOB stop setting	Off
1 SHOT message indication time	3 seconds
Default screen setting	Machine
Auto reset setting	60 seconds
Key response time	Normal
Copy application register	
Copy output setting register	
Function key register F1	
Function key register F2	
Function key register F3	
Function key register F4	
Function key register F5	
Scanner application register	

Function setting	
Item	Setting

- 使用管理リスト：

ユーザー認証／部門管理によって管理される情報がプリントアウトされます。

P.1

2009/04/16 16:02

A0G6001902002

TC:1719

Use management list

User authentication(Total counter of each paper size) / Off

ID No	Name	Section	Postcard	A3	B4	A4	B5	A5	B6	8.5*14	8.5*11	Custom
0001	123	sample	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000	00000000

- フォントパターンリスト：

機械で使用するフォントのパターンがプリントアウトされます。

Font pattern list

P.1
2009/04/16 16:02
A066001902002
TC:1723

Gothic type

```
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
```

/0123456789

/0123456789

Ming type

```
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
!#$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz[\]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~
```

- 監査ログレポート：

監査ログがプリントアウトされます。

Audit log report

P.1
2009/04/16 16:03
A066001902002
TC:1724

No	date/time	id	action	result	No	date/time	id	action	result
0001	2009/04/16 16:03	-2	04	OK	0002	2009/04/15 15:34	0	14	OK
0003	2009/04/15 15:22	0	13	OK	0004	2009/04/15 15:22	0	13	OK
0005	2009/04/15 15:08	0	13	OK	0006	2009/04/15 15:07	0	13	OK
0007	2009/04/15 15:07	0	13	OK	0008	2009/04/15 15:01	0	13	OK
0009	2009/04/15 15:01	0	13	OK	0010	2009/04/15 15:01	0	13	OK
0011	2009/04/14 12:36	1	13	OK	0012	2009/04/14 12:31	1	13	OK
0013	2009/04/14 12:31	1	13	OK	0014	2009/04/14 12:30	1	13	OK
0015	2009/04/14 12:30	1	13	OK	0016	2009/04/13 12:51	-3	11	NG
0017	2009/04/13 12:42	1	07	OK	0018	2009/04/10 15:22	1	13	OK
0019	2009/04/10 15:22	1	13	OK	0020	2009/04/10 14:24	-3	11	NG
0021	2009/04/10 14:24	-3	11	NG	0022	2009/04/10 14:24	-3	11	NG
0023	2009/04/10 11:25	-1	05	OK	0024	2009/04/10 11:25	-1	05	OK
0025	2009/04/10 11:25	-1	01	OK	0026	2009/04/10 11:24	-2	02	OK
0027	2009/04/10 11:22	-2	02	OK	0028	2009/04/10 11:21	-2	02	OK
0029	2009/04/03 15:39	1	13	OK	0030	2009/04/03 14:12	1	13	OK
0031	2009/04/03 11:58	-1	01	OK	0032	2009/04/03 11:58	-2	02	OK
0033	2009/04/03 11:57	-2	02	OK	0034	2009/04/03 11:56	-2	02	OK
0035	2009/04/02 10:32	1	13	OK	0036	2009/04/02 10:16	1	13	OK
0037	2009/04/02 10:09	1	13	OK	0038	2009/04/02 10:07	1	09	OK



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔04管理リストプリント〕を順に押します。
2. プリントアウトしたいリストのボタンを押します。
3. 〔印刷モードへ〕を押します。コピー画面が表示されます。
4. 操作パネルの【スタート】を押します。プリントを開始します。
プリントを中断するときは、【ストップ】を押します。〔閉じる〕を押すと、管理リストプリントメニュー画面にもどります。
5. 〔前画面〕を押します。環境設定メニュー画面にもどります。


■ 05 ユーザー操作禁止設定

下記の設定メモリー項目のメモリー内容の変更を許可／禁止を設定します。

- **設定メモリーロック／削除設定：**
設定メモリー機能を使用して書き込みしたコピーパターンを、ほかの書き込み操作中にあやまって消されないようにロックします。また、そのロックを解除、あるいは書き込みした設定の内容をロックします。
- **宛先登録変更：**
スキャン画面で、送信先手動入力 of 許可／禁止する設定をします。
- **登録倍率変更：**
登録してある倍率を変更してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **登録オーバーレイ変更：**
登録オーバーレイ画像の画像名を削除したり、上書きしてもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (E-mail)：**
スキャンデータを E-Mail 送信する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (HDD)：**
スキャンデータを HDD に保存する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (FTP)：**
スキャンデータを FTP サーバーに送信する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。
- **スキャン機能選択 (SMB)：**
スキャンデータを共有フォルダーに送信する機能を選択してもいいかどうか、許可／禁止する設定をします。



手順

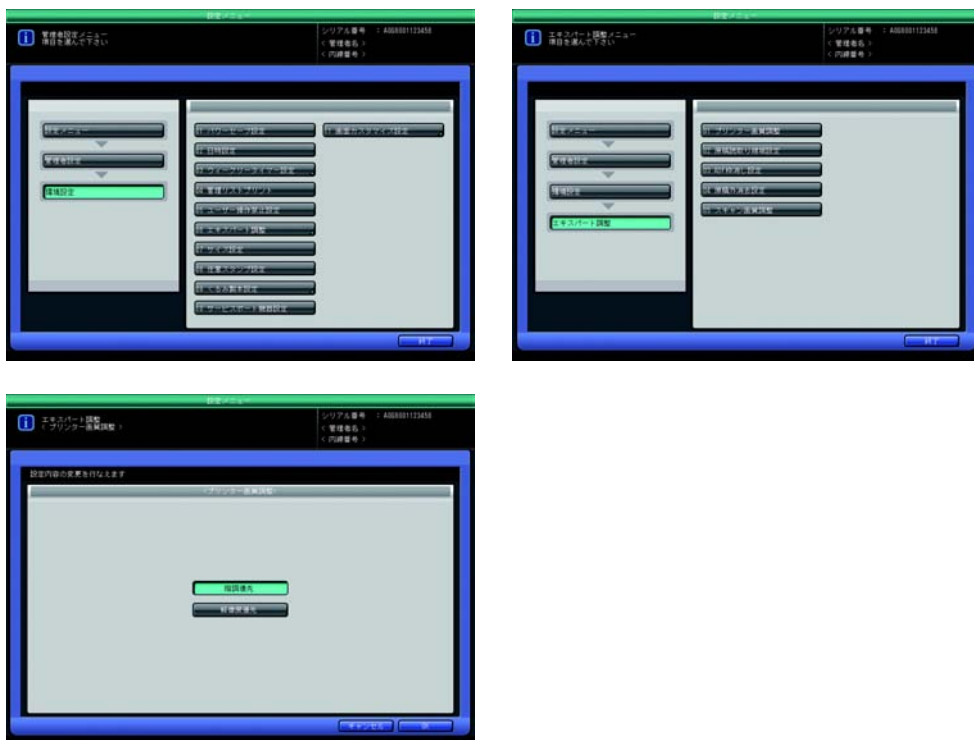
1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔05ユーザー操作禁止設定〕を順に押します。
2. 設定メモリーのロック／削除を設定します。
 - (1)〔設定メモリーロック／削除設定〕を押します。
 - (2) 書込みがしてある設定には、設定メモリー番号の右横に登録した名前が表示されています。ロックしたい設定メモリー番号の左横にあるボタンを押すと、ロックマークが表示されロックされます。ロックのかかっているボタンを押すと、ロックマークが消えロックが解除されます。名前が入力されていないボタンを押しても、ロックマーク「」は表示されずロックされません。
 - (3) 消去したい設定メモリー番号を押して反転させます。画面下の〔削除〕を押すと、設定メモリーは消去され名前もなくなります。反転表示は元にもどります。

ひとこと

- ここではロックされた設定メモリーも消去できます。その際、ロックも解除されます。一度消去すると復帰させることができませんので、ご注意ください。
 - 設定メモリーは30まで設定できます。〔次頁〕〔前頁〕を押して希望する設定メモリーを表示させます。
- (4) 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ユーザー操作禁止設定メニュー画面にもどります。
 3. 宛先登録変更、登録倍率変更、登録オーバーレイ変更、スキャン機能選択（E-mail）、スキャン機能選択（HDD）、スキャン機能選択（FTP）、スキャン機能選択（SMB）は、それぞれ〔許可〕または〔禁止〕を押して反転させます。
 4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 06エキスパート調整>01プリンター画質調整

プリンター画質を階調を優先するか、解像度を優先するかの選択をします。



手順

1. 設定メニュー画面の「01環境設定」、[06エキスパート調整]、[01プリンター画質調整]を順に押します。
2. [階調優先] または [解像度優先] を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、[OK] を押します。
4. 確定しない場合は、[キャンセル] を押します。いずれも、スキャン設定メニュー画面にもどります。

■ 06 エキスパート調整>02 原稿読取り領域設定

原稿の外側の余白部分を消去するかどうかを下記の3つの中から選択設定します。

- **原稿外消去する：**
無条件で原稿外消去します。
- **自動サイズ／自動倍率時のみ：**
自動用紙または自動倍率が機能しているときのみ原稿外消去します。
- **原稿ガラス等倍を除き消去：**
原稿ガラスで等倍コピーするときを除いて原稿外消去します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 エキスパート調整〕、〔02 原稿読取り領域設定〕を順に押します。
2. 希望する設定のボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確認しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 06 エキスパート調整 > 03 ADF 枠消し設定

ADFを使用してコピーするとき、枠消しコピーを無条件に機能させるかどうか、また機能させる場合の枠消し量を設定します。



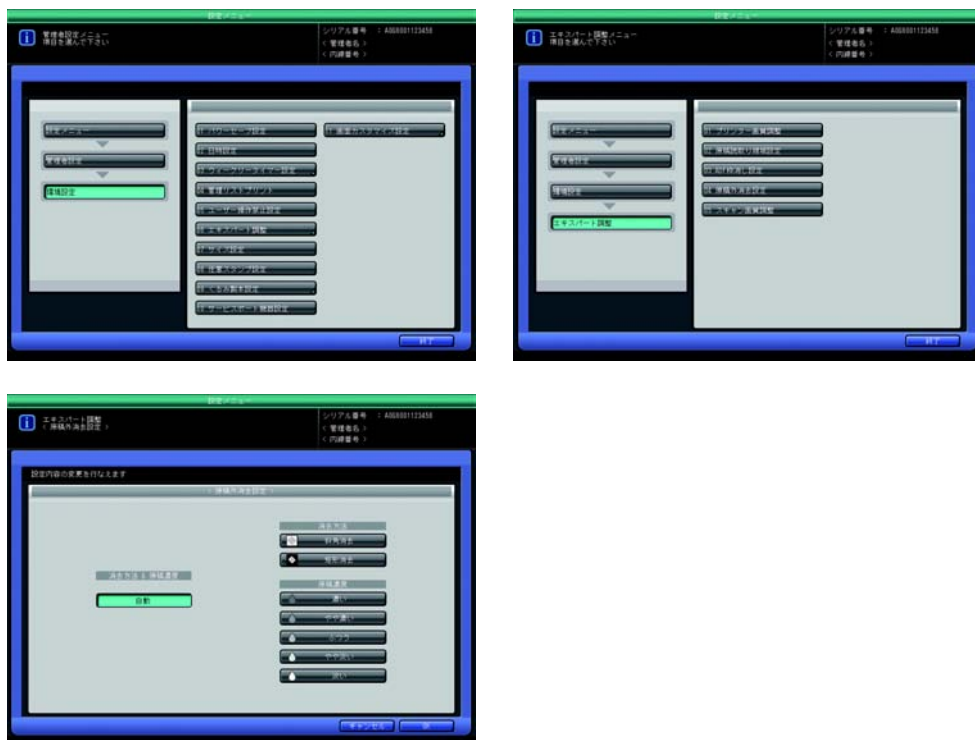
手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 エキスパート調整〕、〔03 ADF 枠消し設定〕を順に押します。
2. 希望する枠消し量のボタンを押して選択します。枠消しを必要としない場合は、〔なし〕を押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 06エキスパート調整>04原稿外消去

応用機能「原稿外消去」の消去方法の選択、および検知する原稿の濃度レベル（5段階）を設定します。

最初は、「自動」が設定されています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔06 エキスパート調整〕、〔04 原稿外自動消去設定〕を順に押します。
2. 原稿外消去機能の消去方法と原稿濃度を設定します。
消去方法および原稿濃度を自動的に判別させるときは、左側の〔自動〕を押して選択します。
マニュアル設定するときには、〔斜角消去〕または〔矩形消去〕を押して選択します。このとき、下側5つの原稿濃度ボタンのうちの1つを押して選択します。

ひとこと

〔斜角消去〕または〔矩形消去〕を設定しても、原稿によってはうまく機能しないことがあります。そのときは〔自動〕を設定してください。

3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 06エキスパート調整>05 スキャン画質調整

スキャン画質を設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔06エキスパート調整〕、〔05スキャン画質調整〕を順に押します。
2. 各項目の任意のボタンを押して反転させます。EE選択ガンマ調整は〔－5〕～〔5〕のうち1つを押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、エキスパート調整メニュー画面にもどります。

■ 07 サイズ設定

原稿検知のサイズ系列と原稿ガラスでの最小検知サイズを設定します。

選択項目： 原稿サイズ検知 A系・B系／A系列のみ／インチ系／フルサイズ

原稿ガラス最小サイズ設定 はがき／A5□／5.5×8.5□／B5□／A4□／8.5×11□



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔07サイズ設定〕を順に押します。
2. ADFまたは原稿ガラスに原稿を設置したとき、検知するサイズ系列を設定します。
「原稿サイズ検知」表示右側の任意のボタンを押して選択します。
3. 原稿ガラスで自動用紙が検知する最小サイズを設定します。
「原稿ガラス最小サイズ設定」で、希望するサイズのボタンを押して反転させます。
4. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。

■ 08 任意スタンプ設定

任意スタンプ設定の新規登録、編集、削除を行います。
任意スタンプ設定には以下の項目があります。

- **タイトル**

任意スタンプ設定のタイトルを入力します。
(半角英数字 12 文字または全角 6 文字以内)

- **3 項目の内容／順番／文字 (サイズ／種類)**

任意スタンプとして印刷される内容を項目順にタイプイン、日付／時刻、任意スタンプ番号、印刷なしから 1 つ選択し、印刷される文字のサイズと種類を設定します。

タイプイン

任意スタンプとして印刷される内容にタイプインを選択した場合、文字列を設定します。(半角英数字 40 文字以内)

日付／時刻

任意スタンプとして印刷される内容に日付／時刻を選択した場合、印刷形式を設定します。

日付：5 種類の印刷形式から 1 つ選択

('03/11/23、11/23/'03、23/11/'03、Nov 23,2003、23 Nov,2003)

時刻：3 種類の印刷形式から 1 つ選択

(表示なし、1：23PM、13：23)

任意スタンプ番号

任意スタンプとして印刷される内容に任意スタンプ番号を選択した場合、タイプインや番号のオン／オフの設定をします。(タイプインは半角英数字 20 文字以内、番号は 9 ケタ以内)

任意スタンプ番号を選択したとき、番号の印刷形式を全桁数／有効桁数から選択します。

文字設定

任意スタンプとして印刷される文字サイズと種類を設定します。(文字サイズを 8/10/12/14 ポイント、文字種類をゴシック体／明朝体からそれぞれ選択)

- **項目の組み合わせ方法**

設定した印刷内容をヨコ一行に並べて印刷するか内容ごとに改行して印刷するか選択します。





手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔08任意スタンプ設定〕を順に押します。
2. 任意スタンプ設定を新規登録します。
 - (1) 任意スタンプ設定一覧画面で任意の未登録タイトルボタンを押して選択し、〔新規登録〕を押します。任意スタンプ設定画面が表示されます。

ひとこと

選択したタイトルボタンに既に任意スタンプの設定が登録されている場合、〔新規登録〕に網がかかり、選択することができません。

- (2) 設定タイトルを入力します。

〔タイトル〕を押してタイトル入力画面を表示させタイトルを入力します。

〔OK〕を押します。



タイトルを入力しないと登録を完了できません。登録する場合は必ずタイトルを入力してください。

- (3)〔第1項目〕を押し、1行目の印刷内容を設定します。
〔タイプイン〕、〔日付／時刻〕、〔任意スタンプ番号〕、〔印刷なし〕から1つ押して選択します。

〔タイプイン〕を押したとき：

タイプイン入力画面が表示されます。入力して〔OK〕を押します。

〔日付／時刻〕を押したとき：

日付／時刻設定画面が表示されます。日付5種類、時刻3種類のボタンからそれぞれ1つずつ押して選択し、〔OK〕を押します。

〔任意スタンプ番号〕を押したとき：

任意スタンプ番号設定画面が表示されます。

「タイプイン」表示右の〔設定〕を押してタイプイン入力画面を表示させ文字列を入力して〔OK〕を押します。

「任意スタンプ番号」表示右の〔設定〕を押して任意スタンプ番号入力画面を表示させ、スタート番号を入力して〔OK〕を押します。

「<任意スタンプ番号の印刷形式>」表示下の〔全桁数を印刷〕または〔有効桁数を印刷〕を押して番号の印刷形式を選択します。

〔OK〕を押します。

〔印刷なし〕を押したとき：

ボタンが反転します。

第1項目は印刷されなくなります。

- (4)〔文字設定〕を押して1行目の文字サイズと文字種類を設定します。

印刷文字設定画面が表示されます。

「文字サイズ」表示下の4つのボタン、「文字種類」表示下の2つのボタンからそれぞれ1つずつ押して選択し〔OK〕を押します。

- (5)〔第2項目〕、〔第3項目〕を押して、手順(3)～(4)に従って設定します。

- (6)「項目の組み合わせ方法」表示下の〔三行〕または〔一行〕を押して選択します。

- (7)設定内容を確定するため〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも任意スタンプ設定一覧画面にもどります。

3. 任意スタンプ設定を編集します。

- (1)任意スタンプ設定一覧画面で任意の登録済タイトルボタンを押して選択し、〔編集〕を押します。任意スタンプ設定画面が表示されます。

- (2)設定を編集します。(手順2の(2)～(6)をごらんください。)

- (3)編集内容を確定するため〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも任意スタンプ設定一覧画面にもどります。

4. 任意スタンプ設定を削除します。

- (1)任意スタンプ設定一覧画面で任意の登録済タイトルボタンを押して選択し、〔削除〕を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。

- (2)削除するときは〔はい〕を押します。

削除しないときは〔いいえ〕を押します。

5. 〔前画面〕を押します。環境設定メニュー画面にもどります。

■ 09 くるみ製本設定 > 01 使用可能坪量選択

くるみ製本機で使用可能な用紙坪量を本身、表紙それぞれに設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔08 くるみ製本設定〕、〔01 使用可能坪量選択〕を順に押します。
2. 使用可能にする「本身」表示右の坪量ボタンを押して反転させます。また、使用可能にする「表紙」表示右の坪量ボタンを押して反転させます。

ひとこと

くるみ製本するときに使用するように設定したトレイに反転させた以外の坪量が設定されていると、不適切メッセージが表示されて、製本できなくなります。

3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれもくるみ製本機設定メニュー画面にもどります。

■ 09 くるみ製本設定 > 02 くるみ制限枚数設定

本身に使用する用紙の坪量に対して製本する枚数の最小、最大枚数を設定します。

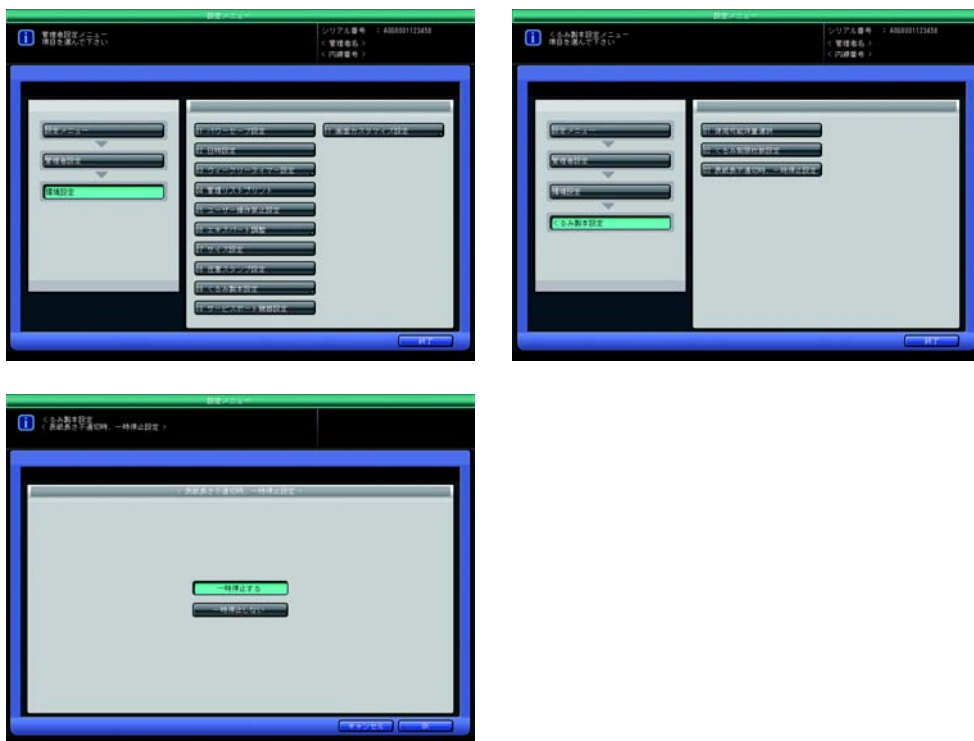


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔08 くるみ製本設定〕、〔02 くるみ制限枚数設定〕を順に押します。
2. それぞれの坪量に対して「最小枚数」表示右の任意の枚数ボタン、「最大枚数」表示右の任意の枚数ボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれもくるみ製本機設定メニュー画面にもどります。

■ 09 くるみ製本設定 > 03 表紙長さ不適切時停止設定

表紙のヨコ長さが、使用する本身サイズと背表紙厚みに適合していないとき、一時停止させるかどうかを設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔08 くるみ製本設定〕、〔03 表紙長さ不適切時停止設定〕を順に押します。
2. 〔一時停止する〕または〔一時停止しない〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれもくるみ製本機設定メニュー画面にもどります。

■ 10 サービスポート機器設定

サービスポート機器を使用するかしないかの選択、および選択するときのキーボード種類を選択します。



手順

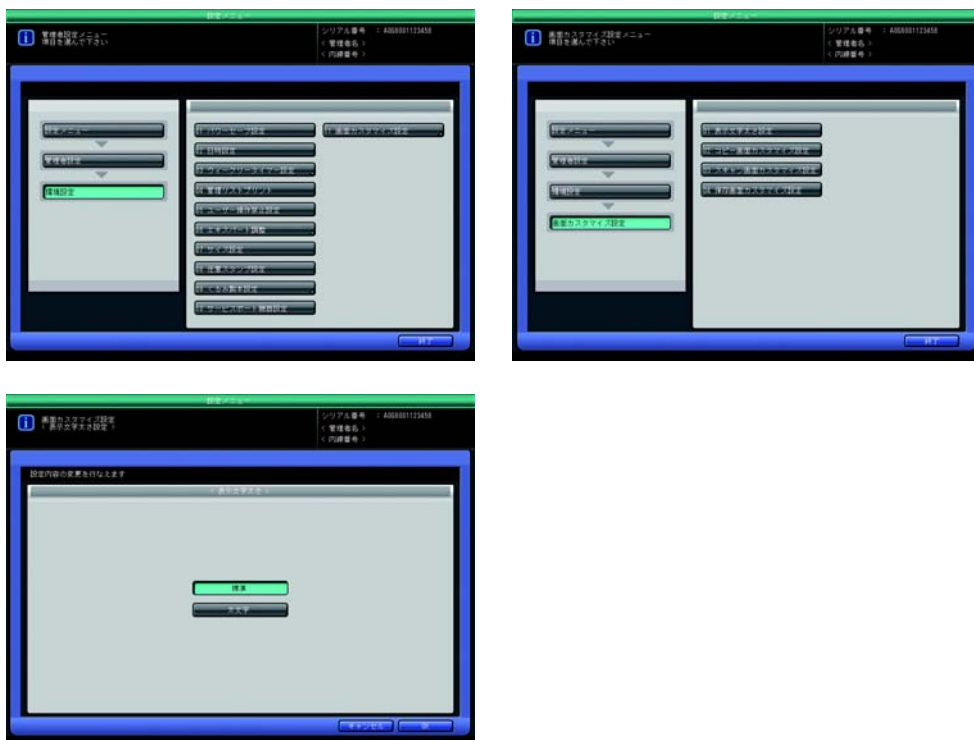
1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔10サービスポート機器設定〕を順に押します。
2. 〔使用する〕または〔使用しない〕を押して選択します。
〔使用する〕を選択したときは、キーボード種類ボタンを押してキーボードの種類を選択します。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、環境設定メニュー画面にもどります。



サービスポート機器を使用する場合は、サービス実施店にお申し出ください。

■ 11 画面カスタマイズ設定 > 01 表示文字太さ設定

画面の文字の太さを選択します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔11 画面カスタマイズ設定〕、〔01 表示文字太さ設定〕を順に押します。
2. 〔標準〕または〔太文字〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

■ 11 画面カスタマイズ設定>02 コピー画面カスタマイズ設定

コピー画面上半分に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔11画面カスタマイズ設定〕、〔02コピー画面カスタマイズ設定〕を順に押します。
2. 動かしたい設定項目を押して、下の〔◀〕、〔▶〕を押して左右に移動させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

■ 11 画面カスタマイズ設定> 03 スキャン画面カスタマイズ設定

スキャン画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔11画面カスタマイズ設定〕、〔03スキャン画面カスタマイズ設定〕を順に押します。
2. 動かしたい設定項目を押して、下の〔◀〕、〔▶〕を押して左右に移動させます。上下の移動はできません。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

■ 11 画面カスタマイズ設定 > 04 保存画面カスタマイズ設定

保存画面に表示される設定項目の並べ順を任意に変更します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔11画面カスタマイズ設定〕、〔04保存画面カスタマイズ設定〕を順に押します。
2. 動かしたい設定項目を押して、下の〔◀〕、〔▶〕を押して左右に移動させます。上下の移動はできません。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、画面カスタマイズ設定メニュー画面にもどります。

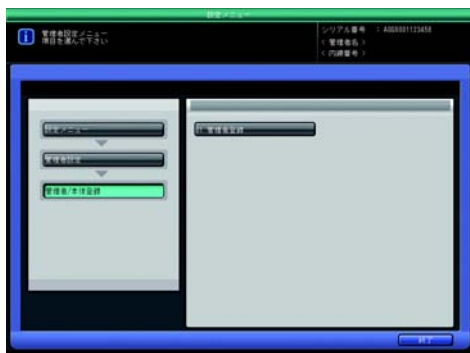
■01 管理者登録

設定メニュー画面の左側に表示される、管理者名、内線番号およびE-mailアドレスを登録します。

入力項目： 管理者名前／管理者内線番号／E-mailアドレス



管理者のE-mailアドレスを設定していないと、Scan to E-mailは機能しません。



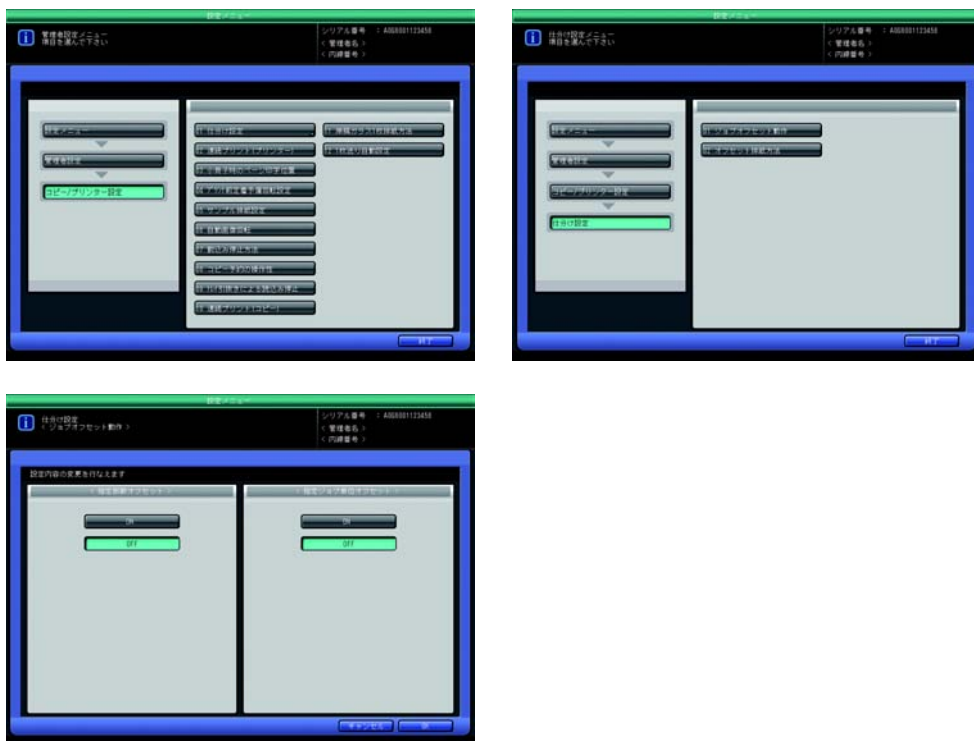
手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔02管理者／本体登録〕、〔01 管理者登録〕を順に押します。
2. 〔名前入力〕を押すと、管理者名入力画面が表示されます。画面上の文字ボタンを押して、管理者の名前を入力します。入力できる文字数は、ハイフン（-）も含め20文字までです。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、前の画面にもどります。
4. 〔内線番号入力〕で、画面上のテンキーを押して管理者の内線番号を入力します。入力できる数値は、ハイフン（-）も含め8ケタまでです。
内線番号が5ケタ未満の場合も、ハイフンを入れて5ケタにしてください。最初に入力したハイフンは、設定メニュー画面の表示ではスペースになります。
数値を入力していくと、入力した数字は下の位から入っていき、左へシフトしていきます。
5. 〔E-mailアドレス入力〕を押すと、E-mailアドレス入力画面が表示されます。画面上の文字ボタンを押して、管理者のE-mailアドレスを入力します。
6. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、前の画面にもどります。
7. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、管理者／本体登録画面にもどります。

06管理者設定>05コピー／プリンター設定

■ 01 仕分け設定 > 01 ジョブオフセット動作

指定部数ごとや指定ジョブごとにオフセットして出力して、出力紙を仕分けします。仕分け方法は〔02 オフセット排紙方法〕で設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔01 仕分け設定〕、〔01 ジョブオフセット動作〕を順に押します。
2. <指定部数オフセット>や<指定ジョブ単位オフセット>表示下の〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、仕分け設定メニュー画面にもどります。

■ 01 仕分け設定 > 02 オフセット排紙方法

オフセットの仕分け排紙の方法を選択します。ジョブごとに排紙をシフトさせる（排紙位置切替）、ジョブごとに仕切り紙を入れる（仕切り紙挿入）、ジョブごとにプリントを一時停止させる（プリント停止）の3つの方法があります。

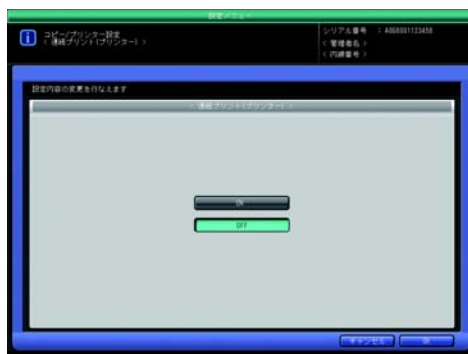


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔01 仕分け設定〕、〔02 オフセット排紙方法〕を順に押します。
2. 「オフセット排紙方法」表示下のボタンのうち1つを押して反転させます。
〔仕切り紙挿入〕を選択したとき「仕切り紙挿入トレイ」表示下のトレイボタンが選択可能になります。いずれか1つを押して反転させます。仕切り紙はここで選択したトレイから給紙されます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、仕分け設定メニュー画面にもどります。

■02連続プリント（プリンター）

連続した複数の予約プリントを、ジョブの切れ目で停止させることなく出力します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔02連続プリント（プリンター）〕を押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 03小冊子時のページ印字位置

小冊子とスタンプのページまたはナンバリングを併用したとき、スタンプの印字が左右の画像に対していつも外側に印字されるようにするかどうかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔03小冊子時のページ印字位置〕を押します。
2. 〔ON（外側印刷）〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 04 プリント前定着予備回転設定

紙種および坪量変更により、定着温度の切り替えが必要になることがあります。このとき、プリント前に定着を回転させ、その紙種および坪量に適した温度でプリントします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔04プリント前定着予備回転設定〕を押します。
2. 希望する設定ボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

ひとこと

〔回転する（基準時間+30秒）〕、〔回転する（基準時間+10秒）〕、または〔回転する（基準時間）〕を選択すると、紙種および坪量を変更してから【スタート】を押すと、「ウォームアップ中です」と表示されることがあります。コピー可能になるまでお待ちください。

■ 05 サンプル排紙設定

サンプル出力用紙の給紙トレイを選択します。また、部門カウンターを設定するかどうかを設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕を押して、〔05 サンプル排紙設定〕を順に押します。
2. 「給紙トレイ選択」表示右の任意のトレイボタンを押して反転させ、サンプル出力用紙の給紙トレイを選択します。
3. 「部門カウンター設定」表示右の〔する〕または〔しない〕を押して反転させます。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 06 自動画像回転

自動画像回転機能をオンにするか、自動画像回転機能を自動用紙、または自動倍率が働いたときのみ機能させる、自動画像回転機能を自動用紙、自動倍率または縮小倍率が働いたときのみ機能させるかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕、〔06自動画像回転〕を順に押します。
2. 希望する設定ボタンを押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 07 割込み停止方法

操作パネルの【割込み】を押したときの割込みのタイミングを設定します。進行中のジョブを設定した部数の出力まで待って停止させるか、出力途中で停止させるかを設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔07 割込み停止方法〕を順に押します。
2. 〔部数区切〕または〔部数途中〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 08 コピー予約の操作性

機械状態画面が表示されているときに〔コピー〕タブを押してコピー画面を表示させるか、原稿をセットすることでコピー予約のためのコピー画面へ移るかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔08 コピー予約の操作性〕を順に押します。
2. 〔ボタン押下によるコピー予約〕または〔原稿セットによるコピー予約〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 09トレイ引抜きによる読み込み禁止

原稿読み込み中にトレイを引き抜いたとき、読み込みを禁止させるかどうかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕を押して、〔09トレイ引抜きによる読み込み禁止〕を押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 10連続プリント（コピー）

連続した複数のコピー予約の出力をジョブの切れ目で一時停止させるか、停止させずに連続出力させるかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05コピー／プリンター設定〕、〔10連続プリント（コピー）〕を順に押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 11 原稿ガラス1枚排紙方法

原稿ガラスに原稿をセットして1部コピーしたとき、プリント面を上にするか下にするかの設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕を押して、〔11 原稿ガラス1枚排紙方法〕を押します。
2. 〔フェイスアップ〕または〔フェイスダウン〕を押して反転させます。
設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

06管理者設定>
05コピー／プリンター設定

[illegible]

1. 管理者設定メニュー画面の〔05 コピー／プリンター設定〕、〔12 1 枚送り自動設定〕を順に押します。
2. 〔ON〕または〔OFF〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、コピー／プリンター設定メニュー画面にもどります。

■ 01 ユーザー発信

サービス実施店のメンテナンスを受けたいときに使用します。サービス実施店は機械の状態を随時モニターしています。メンテナンスのときに有効な情報になります。



手順

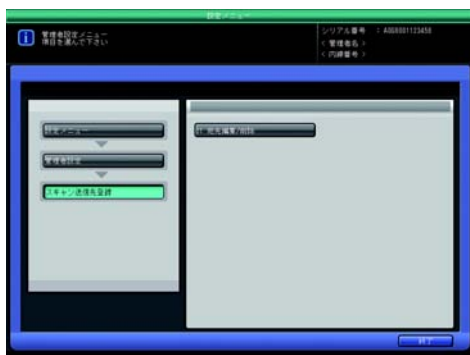
1. 管理者設定メニュー画面の〔05 システム連携〕、〔01 ユーザー発信〕を順に押します。
2. 〔スタート〕を押します。
3. 〔前画面〕を押します。システム連携画面にもどります。

■ 01宛先編集／削除

本機でスキャンした画像の送信先を変更／削除します。
送信先として、下記の4種類のアドレスを登録できます。

- E-mail（メールアドレス）
- HDD（ボックスNO.）
- FTP（FTPサーバーアドレス）
- SMB

また、登録されているE-mailアドレスのグループを削除できます。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔08スキャン送信先登録〕、〔01宛先編集／削除〕を順に押します。
2. 変更／削除したいアドレスの種類を選択します。

E-mail送信先の変更／削除

- (1) 〔E-mail〕を押します。
- (2) 検索ボタンや〔▲〕〔▼〕を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は〔変更〕を押してE-mail詳細画面を表示させます。
変更する項目を〔アドレス〕〔登録名〕〔検索文字〕のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用する／しないの設定をします。〔OK〕を押します。
- (5) 削除する場合は〔削除〕を押します。
削除確認のポップアップ画面の〔はい〕を押します。削除を中止する場合は〔いいえ〕を押します。



HDD送信先の変更／削除

- (1) 〔HDD〕を押します。
- (2) 検索ボタンや〔▲〕〔▼〕を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は〔変更〕を押してHDD詳細画面を表示させます。
変更する項目を〔登録名〕〔検索文字〕〔パスワード〕のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用〔する〕／〔しない〕の設定をします。〔OK〕を押します。
- (5) 削除する場合は〔削除〕を押します。
削除確認のポップアップ画面の〔はい〕を押します。削除を中止する場合は〔いいえ〕を押します。
- (6) 未登録ボックスを削除する場合は〔未登録ボックス〕を押します。(5) 項の手順に従って削除します。



FTP送信先の変更／削除

- (1) [FTP] を押します。
- (2) 検索ボタンや[▲][▼]を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は[変更]を押してFTP詳細画面を表示させます。
変更する項目を[プロファイル名][検索文字][ホストアドレス][ファイルパス][ログイン名][パスワード]のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用[する]／[しない]の設定をします。[OK]を押します。
- (5) 削除する場合は[削除]を押します。
削除確認のポップアップ画面の[はい]を押します。削除を中止する場合は[いいえ]を押します。



SMB送信先の変更／削除

- (1) [SMB] を押します。
- (2) 検索ボタンや[▲][▼]を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) 変更する場合は[変更]を押してSMB詳細画面を表示させます。
変更する項目を[プロファイル名][検索文字][ホストアドレス][ファイルパス][ログイン名][パスワード]のボタンから選んで押し、入力画面で変更します。また、常用[する]／[しない]の設定をします。[OK]を押します。
- (5) 削除する場合は[削除]を押します。
削除確認のポップアップ画面の[はい]を押します。削除を中止する場合は[いいえ]を押します。



グループの削除

- (1) [グループ] を押します。
- (2) [▲][▼]を使って、送信先の登録名ボタンを表示させます。
- (3) 任意の登録名ボタンを押して反転させます。
- (4) [削除]を押します。
削除確認のポップアップ画面の[はい]を押します。削除を中止する場合は[いいえ]を押します。



3. [前画面]を押します。スキャン送信先登録画面にもどります。

設定メニュー画面の06 管理者設定で設定するウィークリータイマーの設定方法を説明します。

06管理者設定>06環境設定>03ウィークリータイマー設定	6-2
■ 03ウィークリータイマー設定>01ウィークリータイマー使用設定	6-3
■ 03ウィークリータイマー設定>02タイマー予約時刻設定	6-4
■ 03ウィークリータイマー設定>03動作日設定	6-6
■ 03ウィークリータイマー設定>04昼休みオフ機能設定	6-7
■ 03ウィークリータイマー設定>05時間外使用パスワード設定	6-8

06管理者設定＞06環境設定＞03ウィークリータイマー設定

ウィークリータイマーは、管理者設定によって下記のように機械を管理します。

- 動作日設定でタイマーを一日一箇別に、または曜日単位で、タイマー動作日を設定します。
- タイマー予約時刻設定で月曜日～日曜日まで個別に、または一括に、オン時刻／オフ時刻を設定します。
- 基本的に1日1回のオン／オフをさせます。ただし、オンしているときに1回オフ／オンさせることができます。（昼休みオフ機能）
- 時間外パスワードをあらかじめ設定し、タイマーが機能して機械がオフ状態のときに操作パネルの【パワーセーブ】を押してその時間外パスワードを入力すると、機械が使えるようになります。（時間外使用）

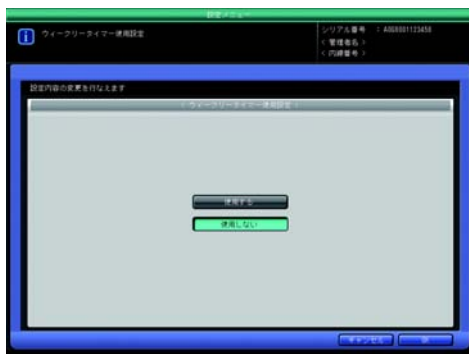
ウィークリータイマーは、工場出荷時には設定されていません。

ウィークリータイマーの基本条件

1. 本体のプラグがコンセントに接続されていること。
電源プラグが抜かれているとウィークリータイマーは機能しませんが、オン時刻／オフ時刻設定などのデータは保存されます。
2. 主電源および副電源スイッチがオン状態であること。
3. 現在の正確な日付、日時を設定すること。

■ 03ウィークリータイマー設定>01ウィークリータイマー使用設定

ウィークリータイマー機能を使用する、しないの設定します。

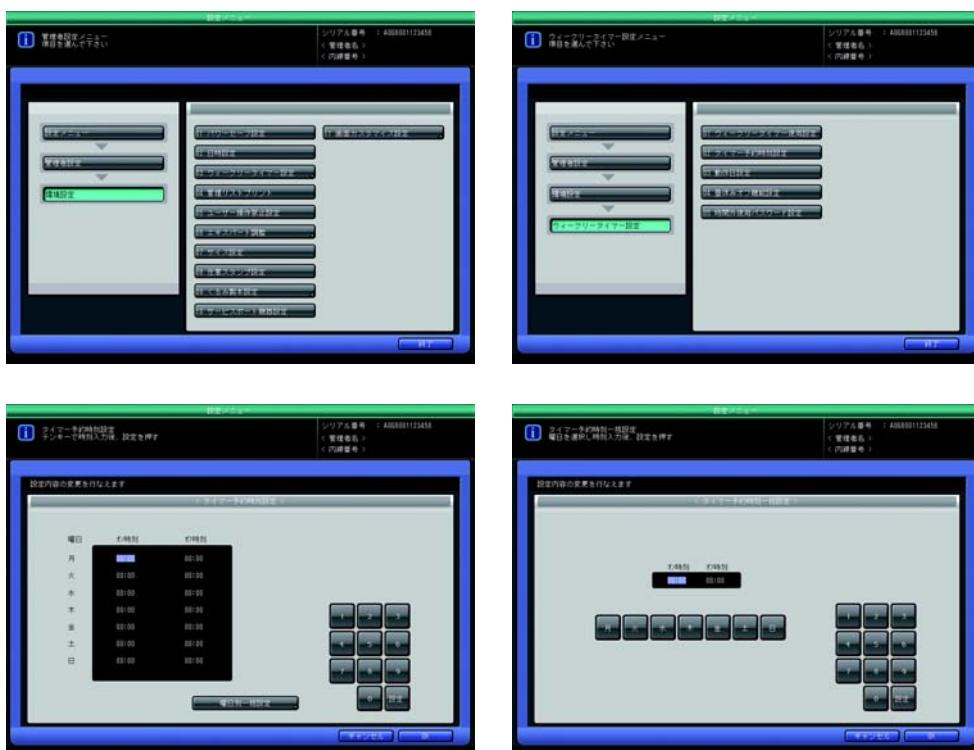


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔01ウィークリータイマー使用設定〕を順に押します。
2. 〔使用する〕または〔使用しない〕を押して、反転させます。
最初は〔使用しない〕が選択されています。
〔使用する〕を選択すると、ウィークリータイマーが機能します。このように設定した機械は主電源および副電源スイッチをオンにしたままにします。
〔使用しない〕を選択すると、ウィークリータイマーは機能しません。電源のオン/オフは主電源および副電源スイッチで行います。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>02タイマー予約時刻設定

機械のオン時刻／オフ時刻を曜日ごとに個別に、または一括に設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔02タイマー予約時刻設定〕を順に押します。
 - ・ 月曜日から日曜日まで個別にオン時刻／オフ時刻を設定する場合は、**2項**へ進みます。
 - ・ オン時刻／オフ時刻を一括で設定する場合は、**3項**へ進みます。

ひとこと

ここで時刻を設定してもタイマーを動作させるかどうかは、動作日設定 (p. 6-6 参照) で行います。休日の時刻を設定しても休日に機械の電源が入るわけではありません。

2. オン時刻 / オフ時刻を個別に設定します。

〔設定〕を押して、設定したい曜日のオン時刻またはオフ時刻を反転させます。

画面上のテンキーで時刻を入力します。

「時」は2ケタで入力して、午後の時間は24時間方式にします。(例：午後2時の場合、14と入力) 続けて「分」の2ケタを入力します。1分～9分は前に0をつけます。(例：7分の場合、07と入力) これを繰り返して月曜日から日曜日までのオン時刻 / オフ時刻を入力します。

ひとこと

- ・ オン時刻とオフ時刻を同じ時刻に設定すると、タイマー動作を設定しても電源は入りません。
- ・ 入力を間違えたときは、正しく入力をし直してください。

3. オン時刻/オフ時刻を一括で設定できます。

〔曜日別一括設定〕を押して、タイマー予約時刻曜日別一括設定画面を表示させます。この画面が設定されたとき、オン時刻とオフ時刻は2つとも00：00と表示されています。

月曜日から日曜日の中で、オン時刻とオフ時刻を同じにしたい曜日のボタンを押して反転させます。複数の選択ができ、一度に設定できます。

〔設定〕を押して、オン時刻またはオフ時刻を反転させ、画面上のテンキーを使って入力します。入力の要領は**2**項をごらんください。

ひとこと

- ここで時刻を設定してもタイマーを動作させるかどうかは、動作日設定（p. 6-6 参照）で行います。休日の時刻を設定しても休日に機械の電源が入るわけではありません。
- オン時刻とオフ時刻を同じ時刻に設定すると、タイマー動作を設定しても電源は入りません。
- 入力を間違えたときは、正しく入力をし直してください。

4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>03動作日設定

タイマー予約時刻設定で設定したオン時刻／オフ時刻どおりにタイマー動作させる動作日を、個別に設定するときはカレンダーをみながら、一括の場合は曜日単位で設定します。

ひとこと

工場出荷時は、どの月も月曜日から土曜日までオン、日曜日はオフに設定されています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01 環境設定〕、〔03 ウィークリータイマー設定〕、〔03 動作日設定〕を順に押します。
2. 画面中央に表示されるカレンダー内の動作日設定したい日のボタンを押して、反転させます。
〔▲〕〔▼〕で、表示されるカレンダーの月を変更することができます。
3. 画面下部に表示される曜日別一括設定で、曜日別にタイマーを動作させる、させないを設定します。曜日ごとに〔On〕、〔Off〕があります。変更するときは、ボタンを押して反転させます。
4. 曜日別一括設定で動作日を変更すると、動作日変更確認のポップアップ画面が表示されます。曜日別一括設定での設定は、カレンダーによる個別設定より優先されます。
 - ・〔はい〕を押すと、曜日別一括設定での変更が有効となります。
 - ・〔いいえ〕を押すと、カレンダーによる個別設定が有効となります。
5. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>04昼休みオフ機能設定

タイマー時間設定は、1日1回のオン／オフをさせます。

昼休みオフ時刻設定は、タイマー時間設定によってオンしている状態で1回オフ／オンさせる機能です。昼休みオフ時刻は、曜日に共通して1種類の時刻設定ができます。

ひとこと

- ・タイマー時間設定によってオン設定されていない時間に昼休みオフ時刻が設定されていてもそれは無効になります。
- ・工場出荷時、昼休みオフ機能は働かないように設定されています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔04昼休みオフ機能設定〕を順に押します。
2. 〔昼休みOFFする〕を選択すると、昼休みオフ機能が働きます。
このとき、画面上のテンキーで昼休みオフ時刻と再起動時刻を入力し、〔設定〕を押します。
(午前11時55分から午後1時10分の場合；1155+〔設定〕、1310+〔設定〕と入力)
〔連続運転〕を選択すると、昼休みオフ機能は機能しくなくなります。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

■ 03ウィークリータイマー設定>05時間外使用パスワード設定

ウィークリータイマーによって電源がオフしているときに、機械を強制オンさせて時間外に使用することができます。ここで4ケタの時間外使用パスワードを設定すると、操作パネルの【パワーセーブ】を押した後に時間外使用パスワードを入力しなければ時間外使用できないようになります。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔01環境設定〕、〔03ウィークリータイマー設定〕、〔05時間外使用パスワード設定〕を順に押します。
2. 画面上のテンキーを使用して4ケタの時間外使用パスワードを入力します。

ひとこと

パスワードを「0000」と設定すると、時間外使用パスワードを入力しなくても、操作パネルの【パワーセーブ】を押すだけで、時間外使用が可能となります。ただし、使用時間（電源が再びオフになるまでの時間）の入力が必要です。
工場出荷時は「0000」に設定されています。

3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、ウィークリータイマー設定メニュー画面にもどります。

ユーザー認証／部門管理

第7章

設定メニュー画面の06 管理者設定で設定するユーザー認証／部門管理の設定方法を説明します。

06管理者設定>03ユーザー認証／部門管理	7-2
■ 01認証方式>01認証設定	7-3
■ 01認証方式>02部門管理設定	7-5
■ 02部門管理	7-7
■ 03ユーザー認証設定	7-10
■ 04未登録ユーザー／部門出力設定	7-13

06管理者設定>03ユーザー認証／部門管理

本機の使用を制限するユーザー認証や部門管理の設定ができます。
ユーザー認証は個人を管理する、部門管理はグループや複数のユーザーを管理するのに適しています。
ユーザー認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザー別に各部門のカウント管理ができます。

ひとこと

- ・ 本機では、ユーザー認証と部門管理は合計1,000件まで登録できます。
- ・ 認証方式が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。ユーザー認証/部門認証して本機を使用するには、ユーザー名、パスワードなどを入力する必要があります。
- ・ ユーザー認証と部門管理は連動しないで設定することができます。

ユーザー認証と部門管理について

ユーザー認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

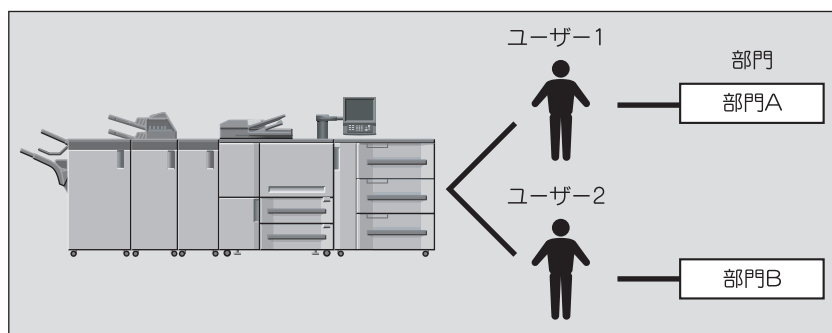
ユーザー認証

- ・ 操作可能な機能を制限する（コピー操作／スキャン操作／HDD保存／データ読出し）
- ・ ユーザーごとに出力／読込みのカウントを行う
- ・ 各ユーザーの参照できる宛先の参照許可グループ/レベルの操作をする
- ・ 他のユーザーのジョブを削除禁止する

部門管理

- ・ 部門ごとに出力／読込みのカウントを行う
- ・ グループボックスの操作をする

ユーザー認証と部門管理を連動する場合

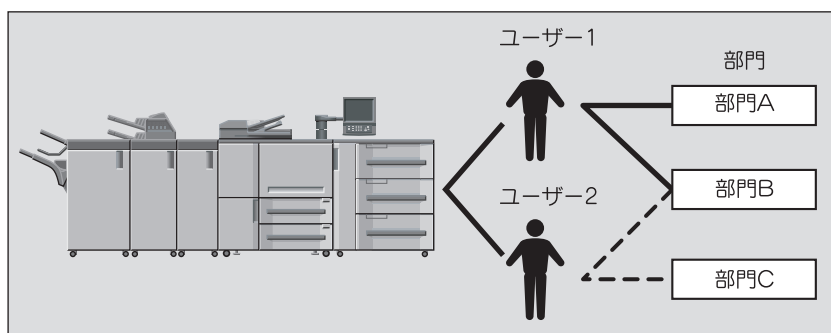


本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[あり]（PSWCの場合〔本体装置確認〕）を選択します。
部門管理	[あり]（PSWCの場合〔管理する〕）を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証/部門認証の連動	[あり]（PSWCの場合〔連動する〕）を選択します。
ユーザー登録/所属部門	ユーザー認証の〔あり〕を選択したときは、所属部門を設定します。

ユーザー認証と部門管理でそれぞれ認証する場合



本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザー別）に統計をとったり、業務別（部門別）に集計をとることができます。また社員1、社員2で同じ業務をする場合も、社員別（ユーザー別）、業務別（部門別）に集計がとれます。このように管理する場合、認証方式は以下のように設定します。

認証方式の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証	[あり]（PSWCの場合〔本体装置確認〕）を選択します。
部門管理	[あり]（PSWCの場合〔管理する〕）を選択し、部門名とパスワードを設定します。
ユーザー認証／部門認証の連動	[なし]（PSWCの場合〔連動しない〕）を選択します。

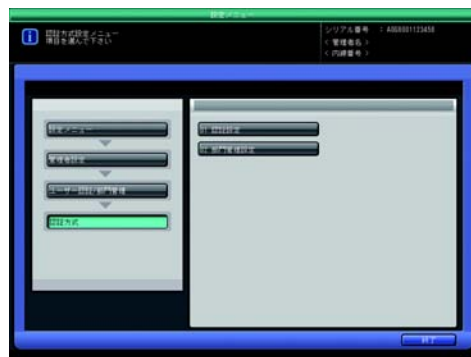
■ 01 認証方式>01 認証設定

ユーザー認証と部門管理に関して下記の4要素を組み合わせ、認証時の条件を設定します。

- **ユーザー認証：**
ユーザー名とユーザーパスワードの入力
- **部門認証：**
部門パスワードの入力
- **部門名入力：**
部門名の入力（部門認証をなしにしたときは選択不可）
- **ユーザー認証／部門認証連動：**
ユーザー認証と部門認証を〔あり〕にして、ユーザー認証／部門認証連動を〔あり〕にすると、認証の必要なモードでは、ユーザー認証のみ必要になります。ただし、それ以外の認証は部門認証が必要になります。
- **パスワード入力タイミング：**
認証時のパスワードを入力するタイミングを設定します。
- **部門振分け数：**
部門振分け数で部門認証の数を設定します。1000ある認証の数を部門認証とユーザー認証で振り分けるため、ここで設定した残りの数が、ユーザー認証の数になります。



ユーザー認証または部門認証にすべての認証数を振り分けると一方の認証が使用できなくなります。両方使用する場合は任意に振り分けてください。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の「03ユーザー認証／部門管理」、[01認証方式]、[01認証設定]を順に押します。
2. 「ユーザー認証」、「部門認証」、「部門名入力」、「ユーザー／部門認証連動」表示右側のそれぞれの「あり」、「なし」を押して選択します。
3. 「パスワード入力タイミング」表示右側の「オートリセット時」または「ジョブ終了時」を押して選択します。
4. 「部門振分け数」を押して、テンキーを表示させます。
画面のテンキーを押して振分け数を入力します。
[OK]を押します。
5. 設定内容を確定するため、[OK]を押します。
確定しない場合は[キャンセル]を押します。いずれも、認証方式設定メニュー画面にもどります。

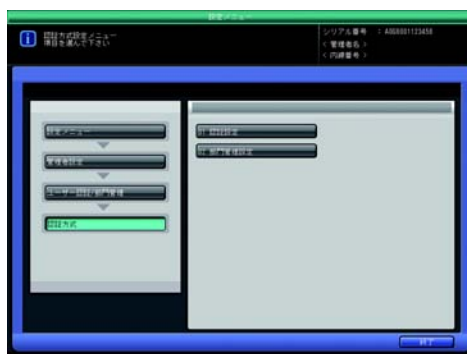
■ 01 認証方式>02 部門管理設定

コピー／プリンターやスキャンジョブを部門管理するかどうか設定します。
また部門管理によるリミットオーバー停止時の機械の対応を設定します。

詳しく説明します

- ・〔01 認証方式〕の設定で部門認証を〔あり〕にしてコピー／プリンターやスキャンを〔なし〕に設定すると、部門パスワードを入力せずに使用可能になります。また、このときのジョブカウントやリミット枚数カウントは中断されます。
- ・リミットオーバー停止設定の〔即時停止〕を選択した場合、リミット枚数に達すると直ちにジョブを停止します。このときのコピー条件、出力データ、スキャンデータなどは保持されません。同じ部門パスワードでジョブを続ける場合は、そのパスワードに設定されているリミット枚数の変更またはカウントリセットをしてください。

〔プリント後停止〕を選択した場合、リミット枚数に達するとそのジョブ終了後に停止します。「リミットをオーバーしました」というメッセージが表示され、動作しなくなります。〔警告のみ〕を選択した場合、リミット枚数に達すると「リミットをオーバーしました」というメッセージが表示されますが、引き続き次のジョブも使用可能です。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔03ユーザー認証／部門管理〕、〔01 認証方式〕、〔02 部門管理設定〕を順に押します。
2. 「コピー／プリンター」、「スキャン」表示右側のそれぞれの〔あり〕、〔なし〕を押して選択します。
3. 「リミットオーバー停止設定」表示右側の〔即時停止〕、〔プリント後停止〕または〔警告のみ〕を押して選択します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、認証方式設定メニュー画面にもどります。

■ 02 部門管理

部門ごとに任意のNo. を割り当て、No. ごとに任意の部門名、パスワードおよびリミット値を設定します。登録された部門管理データは画面上でリスト表示されます。リスト上の部門管理データを選択し、データの内容を変更、リセットおよび削除できます。





手順

1. 管理者設定メニュー画面の「03ユーザー認証／部門管理」、[02部門管理] を順に押します。
2. 部門データの追加、変更、削除、およびカウントのリセット方法については、それぞれ以下の手順に従ってください。

部門データを変更する：

- (1) 画面上の「次頁」、「前頁」を押して、変更したい部門名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 「変更」を押します。部門登録変更画面が表示されます。
- (3) 変更したい項目のボタンを押します。それぞれの入力画面が表示されます。
- (4) 入力画面を使って新しいデータを入力します。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。パスワードは8ケタ、名前は8文字、リミット値は8ケタまで設定できます。
- (5) 入力が終了したら、「OK」を押します。
このとき、変更されたパスワードや名前が重複していると、注意画面が表示されます。重複させる場合は「NO」、させない場合は「YES」を押して別のパスワード／名前を入力します。

部門データを追加する：

- (1) 「追加」を押します。部門登録追加画面が表示されます。
- (2) 「部門 No.」を押して入力画面を表示させ、部門 No. を入力して「OK」を押します。部門 No. は4ケタまで設定できます。
- (3) 「部門名」を押して入力画面を表示させ、部門名を入力して「OK」を押します。部門名は8文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (4) 「パスワード」を押して入力画面を表示させ、パスワードを入力して「OK」を押します。パスワードは8ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (5) 「リミット」を押して入力画面を表示させ、リミット値を入力して「OK」を押します。リミット値は8ケタまで設定できます。
- (6) 入力が終了したら、「OK」を押します。

- (7) このとき、追加したパスワードや名前が重複していると、注意画面が表示されます。重複させる場合は〔NO〕、させない場合は〔YES〕を押して別のパスワード／名前を入力します。

部門データを削除する：

- (1) 画面上の〔次頁〕、〔前頁〕を押して、削除したい部門名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 〔削除〕を押します。削除確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 削除する場合は〔はい〕、削除しない場合は〔いいえ〕を押します。

部門名のカウントをリセットする：

- (1) 画面上の〔次頁〕、〔前頁〕を押して、カウントリセットしたい部門名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 〔カウントリセット〕を押します。リセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は〔キャンセル〕を押します。

全カウントをリセットする：

- (1) 〔全カウントリセット〕を押します。全カウントリセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (2) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は〔キャンセル〕を押します。

3. 〔前画面〕を押します。

ユーザー認証／部門管理メニュー画面にもどります。

■ 03ユーザー認証設定

ユーザー一人一人に任意のNo.を割り当て、No.ごとにユーザー名、パスワードおよびリミット値を設定します。登録されたユーザーデータは画面上でリスト表示されます。リスト上のユーザー登録を選択し、データの内容を変更、リセットおよび削除できます。





手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔03ユーザー認証／部門管理〕、〔03ユーザー認証設定〕を順に押します。
2. ユーザー登録の追加、変更、削除、およびカウントのリセット方法については、それぞれ以下の手順に従ってください。

ユーザー登録を変更する：

- (1) 画面上の〔次頁〕、〔前頁〕を押して、変更したいユーザー名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) 〔変更〕を押します。ユーザー登録変更画面が表示されます。
- (3) 〔ユーザー名〕を押してユーザー名入力画面をさせ、変更ユーザー名を入力して〔OK〕を押します。ユーザー名は8文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (4) 〔パスワード〕を押して入力画面を表示させ、変更パスワードを入力して〔OK〕を押します。パスワードは8ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (5) 〔所属部門〕を押して所属部門選択画面を表示させます。
〔次頁〕、〔前頁〕を押して希望する所属部門名を表示させ、押して選択して〔OK〕を押します。

詳しく説明します

認証方式の「ユーザー認証／部門認証連動」が〔あり〕に設定されているとき、〔所属部門〕を設定することができます。

- (6) 「使用可能な機能」右側のボタンを押して、設定したユーザー登録の認証が必要なジョブを設定します。
- (7) 入力が終了したら、〔OK〕を押します。

ユーザー登録を追加する：

- (1) [追加] を押します。ユーザー登録追加画面が表示されます。
- (2) [ユーザー No.] を押して入力画面を表示させ、ユーザー No. を入力して [OK] を押します。ユーザー No. は4ケタまで設定できます。
- (3) [ユーザー名] を押して入力画面を表示させ、ユーザー名を入力して [OK] を押します。ユーザー名は8文字まで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (4) [パスワード] を押して入力画面を表示させ、パスワードを入力して [OK] を押します。パスワードは8ケタまで設定できます。入力の方法は付録の文字入力のしかたをごらんください。
- (5) [所属部門] を押して所属部門選択画面を表示させます。
[次頁]、[前頁] を押して希望する所属部門名を表示させ、押して選択して [OK] を押します。

**詳しく説明します**

認証方式の「ユーザー認証／部門認証連動」が〔あり〕に設定されているとき、〔所属部門〕を設定することができます。

- (6) 「使用可能な機能」右側のボタンを押して、設定したユーザー登録の認証が必要なジョブを設定します。
- (7) 入力が終了したら、[OK] を押します。

ユーザー登録を削除する：

- (1) 画面上の [次頁]、[前頁] を押して、削除したい ユーザー名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) [削除] を押します。削除確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 削除する場合は [はい]、削除しない場合は [いいえ] を押します。

ユーザー名のカウントをリセットする：

- (1) 画面上の [次頁]、[前頁] を押して、カウントリセットしたいユーザー名を表示させ、そのボタンを押して選択します。
- (2) [カウントリセット] を押します。リセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (3) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は [キャンセル] を押します。

全カウントをリセットする：

- (1) [全カウントリセット] を押します。全カウントリセット確認ポップアップ画面が表示されます。
- (2) 任意のボタンを押してリセットします。リセットしない場合は [キャンセル] を押します。

3. 設定内容を確定するため、[OK] を押します。

確定しない場合は [キャンセル] を押します。いずれも、ユーザー認証設定画面にもどります。

4. [前画面] を押します。管理者設定メニュー画面にもどります。

■ 04 未登録ユーザー／部門出力設定

未登録のユーザーや部門の出力設定を制限する、しないの設定をします。
オンにしたとき、ユーザー認証／部門認証なしの状態でのジョブは、初期状態の出力設定以外の設定ができなくなります。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔03ユーザー認証／部門管理〕、〔04 未登録ユーザー／部門出力設定〕を順に押します。
2. 機能させるときは〔ON〕、させないときは〔OFF〕を押して選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、管理者設定メニュー画面にもどります。

第8章 ネットワーク設定

設定メニュー画面の06管理者設定で設定するネットワーク設定の設定方法を説明します。

06管理者設定>04ネットワーク設定	8-2
■ 01本体NIC設定>01 TCP/IP設定	8-2
■ 02コントローラー NIC設定	8-5

06管理者設定>04ネットワーク設定

■ 01 本体NIC設定 > 01 TCP/IP 設定

本体のIPアドレスや回線速度の設定をします。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔04 ネットワーク設定〕、〔01 本体NIC設定〕、〔01 TCP/IP 設定〕を順に押します。
2. 各項目を入力します。
数値を入力する場合、画面上のテンキーで入力します。〔設定〕を押すと、次に入力できる部分が反転します。同様に入力します。
 - IPアドレス
本体のIPアドレスを入力します。
 - サブネットマスク
サブネットマスクを入力します。
 - ゲートウェイアドレス
ゲートウェイアドレスを入力します。
 - IPアドレス(相手機)
タンデム接続時、相手機のIPアドレスを入力します。
 - 回線速度設定
ネットワークの回線速度を設定します。任意の回線速度を選択します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、本体NIC設定メニュー画面にもどります。

■ 01 本体NIC設定 > 02 http通信設定

本体のhttp通信の設定をします。

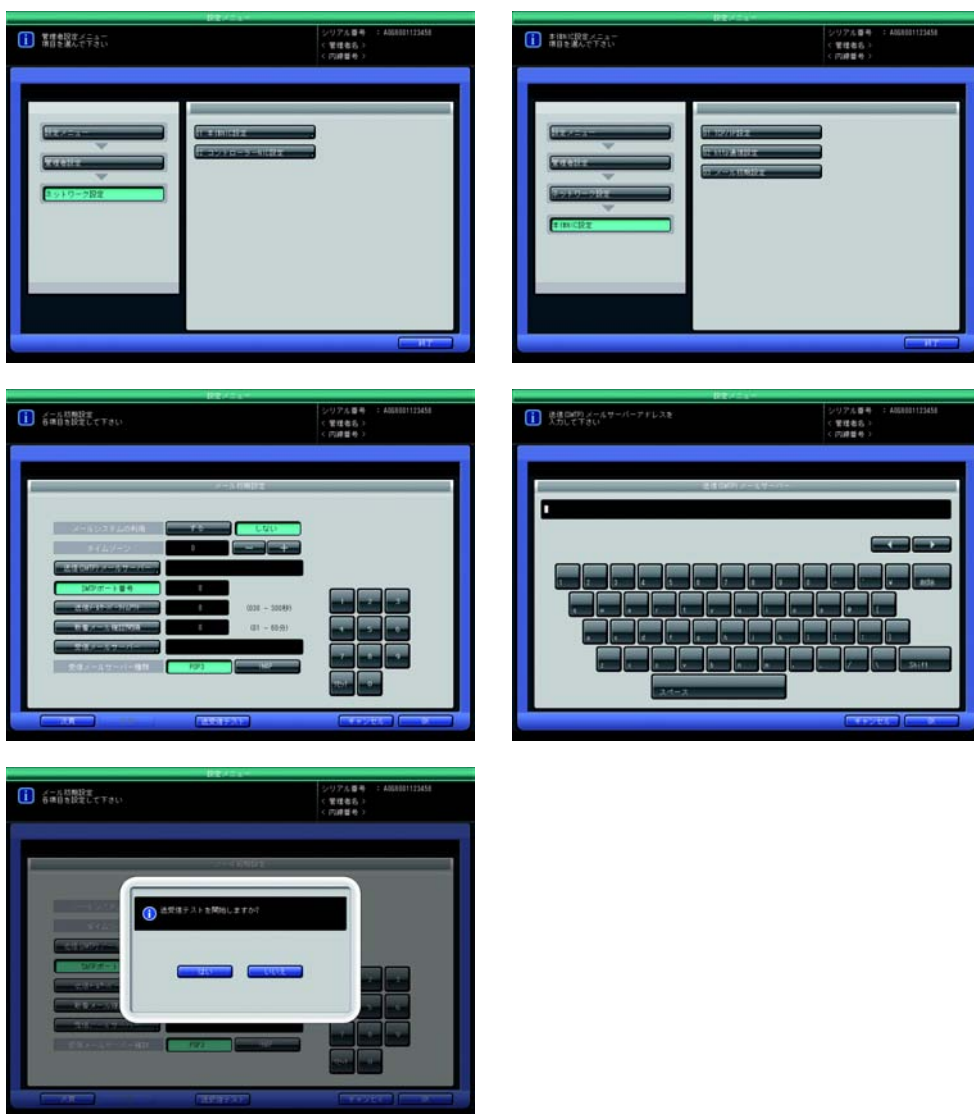


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔04ネットワーク設定〕、〔01 本体NIC 設定〕、〔02 http通信設定〕を順に押します。
2. プロキシサーバーを使用する場合は、〔プロキシサーバーの使用〕を押して「する」を選択し、〔プロキシサーバーアドレス〕と〔プロキシサーバーポート〕を入力します。
3. SSLを使用する場合は、〔SSLの使用〕を押して「する」を選択します。
4. 認証を使用する場合は、〔認証の使用〕を押して「する」を選択し、〔認証ユーザー名〕と〔認証パスワード〕を入力します。
5. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、本体 NIC 設定メニュー画面にもどります。

■ 01 本体NIC設定 > 03 メール初期設定

本体のE-mailの初期設定を行います。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔04ネットワーク設定〕、〔01 本体NIC設定〕、〔02 メール初期設定〕を順に押します。
メール初期設定画面が表示されます。
2. 各項目を選択/入力します。
数値を入力する場合、画面上のテンキーで入力します。〔設定〕を押すと、次に入力できる部分が反転します。同様に入力します。
〔送信 (SMTP) メールサーバ〕 / 〔受信メールサーバ〕 を押して、IPアドレスを入力します。
DNSサーバを使用している場合は、ホスト名を入力することができます。(フルパス：最大128文字)

ひとこと

セキュリティ強化設定を使用する場合は、IPアドレスを入力してください。

3. 入力後は、〔送受信テスト〕を押し、ポップアップ画面の〔はい〕を押して、正しく設定されているか確認します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、本体 NIC 設定メニュー画面にもどります。

■ 02コントローラ NIC 設定



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔04ネットワーク設定〕、〔02コントローラ NIC 設定〕を順に押します。
2. 各項目のボタンの設定を行います。
各項目の内容に関しては「ネットワーク設定一覧」をごらんください。



必ず守ってください

〔コントローラ NIC 設定〕内で設定変更した場合に、「主電源の OFF/ON 後、設定が反映されます」と表示された場合は、必ず本体の主電源を入れなおしてください。

3. 設定内容を確定するため、各画面の〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれもコントローラ NIC 設定メニュー画面にもどります。

ネットワーク設定一覧

設定項目と説明	設定値（下線は初期値）
01 TCP/IP 設定	
< TCP/IP 設定 >	
TCP/IP 設定	有効／無効
IP 確定方法	直接指定／自動設定 *1
自動設定	
DHCP 設定	有効／無効
BOOTP 設定	有効／無効
ARP/PING 設定	有効／無効
AUTO IP 設定	有効／無効
直接指定	
IP アドレス	0.0.0.0 (0 ~ 255)
サブネットマスク	0.0.0.0 (0 ~ 255)
デフォルトゲートウェイ	<u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255)
IPv6 設定	
IPv6 設定	有効／無効 *2
IPv6 自動設定	有効／無効 *3
グローバルアドレス	0000:0000:0000:0000:0000: 0000:0000:0000 (1-39 byte) *4
プレフィックスレンジ	1 ~ 128 (0)
リンクローカルアドレス	fe80: XXXX*5
ゲートウェイアドレス	0000:0000:0000:0000:0000: 0000:0000:0000 (1-39 byte) *6
DNS サーバー設定	
DNS サーバー自動取得	有効／無効
優先 DNS サーバー	IPv4 / IPv6 <u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
代替 DNS サーバー 1	IPv4 / IPv6 <u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
代替 DNS サーバー 2	IPv4 / IPv6 <u>0: 0: 0: 0</u> (0 ~ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
Dynamic DNS 設定	有効／無効
ホスト名	KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
DNS ドメイン名設定		
DNS ドメイン名自動取得		有効／無効
DNS デフォルトドメイン名		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
DNS 検索ドメイン名 1		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
DNS 検索ドメイン名 2		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
DNS 検索ドメイン名 3		記号および英数字を最大 251 字まで使用可。*7
RAW ポート番号		
RAW1 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9100</u>) 有効／無効 *8
RAW2 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9112</u>) 有効／無効 *8
RAW3 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9113</u>) 有効／無効 *8
RAW4 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9114</u>) 有効／無効 *8
RAW5 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9115</u>) 有効／無効 *8
RAW6 ポート番号		1 ～ 65535 (<u>9116</u>) 有効／無効 *8
IP フィルタリング		
許可設定		有効／無効 範囲 1: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)*9 範囲 2: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 3: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 4: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 5: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)
拒否設定		有効／無効 範囲 1: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)*9 範囲 2: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 3: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 4: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255) 範囲 5: 開始 0.0.0.0 - 終了 0.0.0.0 (0 ～ 255)
IPsec 設定		許可／ <u>禁止</u>
IPsec 設定 /IKE 設定		
グループ 1 ～グループ 4 暗号化アルゴリズム		DES CBC / 3DES CBC / 無効
グループ 1 ～グループ 4 認証アルゴリズム		MD5 / SHA-1 / 無効

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
鍵有効時間		80 ～ 604800 (<u>28800</u>) (秒)
Diffie-Hellman Group		グループ 1 / <u>グループ 2</u>
IPsec 設定 / IPsec SA 設定		
グループ 1 ～グループ 8 セキュリティプロトコル		AH / ESP / <u>ESP AH</u> / 無効 ^{*12}
グループ 1 ～グループ 8 ESP 暗号化アルゴリズム		DES CBC / 3DES CBC / AES CBC / NULL / 無効
グループ 1 ～グループ 8 ESP 認証アルゴリズム		MD5/SHA-1/ 無効
グループ 1 ～グループ 8 AH 認証アルゴリズム		MD5/SHA-1/ 無効
確立後の破棄時間		120 ～ 604800 (<u>3600</u>) (秒)
IPsec 設定 / 通信相手先登録		
グループ 1 ～グループ 10 カプセル化モード		トンネルモード / トランスポート / 無効 ^{*12}
グループ 1 ～グループ 10 IP アドレス		IPv4 / IPv6 0.0.0.0 (0 ～ 255) 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte)
グループ 1 ～グループ 10 Pre-Shared Key 文字列		記号および英数字を最大 64 字まで使 用可。
グループ 1 ～グループ 10 Perfect Forward Secrecy		有効 / 無効
02 NetWare 設定		
< Netware プリント設定 >		
IPX 設定		有効 / 無効
イーサネットフレームタイプ		<u>自動検出</u> / 802.2 / 802.3 / EthernetII / 802.3SNAP
Netware プリントモード		<u>無効</u> / Pserver / Nprinter / Rprinter
Nprinter/Rprinter 設定		
プリントサーバー名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使 用可。
プリンター番号		0 ～ 255 (<u>255</u>)
Pserver 設定		
プリントサーバー名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使 用可。
プリントサーバーパスワード		記号および英数字を最大 63 字まで使 用可。
ポーリング間隔		1 ～ 65535 (1) (秒)
Bindery/NDS 設定		<u>NDS</u> / Bindery / NDS
ファイルサーバー名		記号および英数字を最大 47 字まで使 用可。
NDS コンテキスト名		記号および英数字を最大 191 字まで 使用可。
NDS ツリー名		記号および英数字を最大 63 字まで使 用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
03 HTTP サーバー設定		
< HTTP サーバー設定 >		
HTTP サーバー設定		有効／無効
PSWC 設定		有効／無効
IPP 設定		
IPP 設定		有効／無効
IPP ジョブ受付		有効／無効
< HTTP サーバー設定 /IPP 設定 >		
オペレーションサポート番号		
印刷ジョブ		有効／無効 *8
有効ジョブ		有効／無効 *8
キャンセルジョブ		有効／無効 *8
ジョブ属性取得		有効／無効 *8
ジョブ取得		有効／無効 *8
プリンター属性取得		有効／無効 *8
プリンター関連情報		
プリンター名		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
プリンター設置場所		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
プリンター情報		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
プリンター URI		変更不可
IPP 認証情報		
IPP 認証設定		有効／無効
認証方式		<u>requesting-user-name</u> ／basic／digest
ユーザー名		<u>user</u> 記号および英数字を最大 20 字まで使用可。
パスワード		<u>pass</u> 記号および英数字を最大 20 字まで使用可。
realm		<u>IPP</u> 記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
04 FTP 設定		
< FTP 設定 >		
FTP 送信設定		
FTP 送信設定		有効／無効
プロキシサーバーアドレス		IPv4 / IPv6 / ホスト名 IPv4 0.0.0.0 (0～255) IPv6 0:0:0:0:0:0:0:0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	プロキシサーバーポート番号	1 ～ 65535 (<u>21</u>)
	PASV モード	有効／無効
	接続タイムアウト	5 ～ 300 (<u>60</u>) (秒)
	ポート番号	1 ～ 65535 (<u>21</u>)
	FTP サーバー設定	有効／無効
05 SNMP 設定		
< SNMP 設定 >		
	SNMP 設定	
	SNMP 設定	有効／無効
	SNMPv1/v2c (IP)	有効／無効 *8
	SNMPv3 (IP)	有効／無効 *8
	SNMPv1 (IPX)	有効／無効 *8
	UDP ポート番号	
	SNMP 設定 /SNMPv1/v2c 設定	1 ～ 65535 (<u>161</u>)
< SNMP 設定 /SNMPv1/v2c 設定 >		
	Read Community Name 設定	
	Read Community Name	<u>public</u> 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	Write Community Name 設定	
	Write 許可設定	許可／禁止 *8
	Write Community Name	<u>private</u> 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 >		
	Context Name 設定	
	Context Name	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	Discovery User Name 設定	
	Discovery User 許可設定	許可／禁止 *8
	Discovery User Name	<u>public</u> 記号および英数字を最大 32 字まで使用可。 *11
	Read User Name 設定	
	Read User Name	記号および英数字を最大 32 字まで使用可。 *11
	Security Level	認証しない／ auth-password ／ auth-password/priv-password
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 /Read user Name 設定 >		
	パスワード設定	
	Read User auth-Password	記号および英数字を 8 ～ 32 字まで使用可。
	Read User priv-Password	記号および英数字を 8 ～ 32 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
< SNMP 設定 /SNMPv3 設定 /Write User Name 設定 >		
Write User auth-Password	Write User Name	restrict 記号および英数字を最大 32 字まで使用可。
	Security Level	認証しない / auth-password / <u>auth-password/priv-password</u> *11
	パスワード設定	
	Write User auth-Password	記号および英数字を 8-32 字まで使用可。 <u>MAC アドレス（：は除く）</u>
	Write User priv-Password	記号および英数字を 8-32 字まで使用可。 <u>MAC アドレス（：は除く）</u>
< SNMP 設定 >		
TRAP 許可設定	TRAP 許可設定	許可 / 禁止
	認証失敗時の TRAP 設定	有効 / 無効
06 SMB 設定		
< SMB 設定 >		
SMB 設定	SMB 送信設定	有効 / 無効
	NTLM 設定	NTLMv1 / NTLMv2 / NTLMv1/ NTLMv2
	プリント設定	
	プリント設定	有効 / 無効
	NetBIOS 名	KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
プリントサービス名	プリントサービス名	PRO 1200 / PRO 1051 記号および英数字を最大 12 字まで使用可。
	ワークグループ	WORKGROUP 記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
< SMB 設定 /WINS 設定 >		
WINS 設定	WINS 設定	許可 / 禁止
	WINS 自動取得設定	許可 / 禁止
	WINS サーバーアドレス	
WINS サーバーアドレス 1	WINS サーバーアドレス 1	0.0.0.0 (0 ~ 255)
	WINS サーバーアドレス 2	0.0.0.0 (0 ~ 255)
	ノードタイプ設定	B ノード / P ノード / M ノード / H ノード

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
07 AppleTalk 設定		
< AppleTalk 設定 >		
AppleTalk 設定		
AppleTalk 設定		許可／ <u>禁止</u>
プリンター名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 31 字まで使用可。
ゾーン名		<u>*</u> 記号および英数字を最大 31 字まで使用可。
現在のゾーン		<u>変更不可</u>
08 Bonjour 設定		
< Bonjour 設定 >		
Bonjour 設定		
Bonjour 設定		許可／ <u>禁止</u>
Bonjour 名		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
09 E-mail 設定		
< E-mail 設定 >		
SMTP 設定		
SMTP 設定		<u>有効</u> ／無効
SMTP サーバーアドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
SSL 設定		<u>有効</u> ／無効
ポート番号		1 ~ 65535 (<u>25</u>)
ポート番号 (SSL)		1 ~ 65535 (<u>465</u>)
接続タイムアウト		30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/ 240/270/300 (秒)
バイナリー分割		<u>有効</u> ／無効
分割メールサイズ		100 ~ 15000 (<u>500</u>) (step: 100) (K byte)
サーバー容量		0 ~ 100 (M byte) (<u>Q</u>) 0 を指定すると無制限になります。
認証設定		
POP Before SMTP		<u>有効</u> ／無効 (秒)
SMTP 認証		
POP Before SMTP 時間		
POP Before SMTP 時間		0 ~ 60 (<u>Q</u>)
SMTP 認証設定		
ユーザー ID		記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 128 字まで使用可。

設定項目と説明		設定値 (下線は初期値)
	realm	記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
POP 設定		
	POP サーバアドレス	IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ログイン名	記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
	パスワード	記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
	APOP 認証	有効/無効
	SSL 設定	有効/無効
	ポート番号	1 ~ 65535 (<u>110</u>)
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65535 (<u>995</u>)
	接続タイムアウト	30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/ 240/270/300 (秒)
< E-mail 件名登録 >		
	E-mail デフォルト選択	
	登録 No.1 ~ 登録 No.5 のタイトル	<u>登録 No.1</u> 記号および英数字を最大 64 字まで使用可。
< E-mail 本文登録 >		
	E-mail デフォルト選択	
	登録 No.1 ~ 登録 No.5 の本文	<u>登録 No.1</u> 記号および英数字を最大 256 字まで使用可。
10 TCP Socket 設定		
< TCP Socket 設定 >		
	TCP Socket 設定	
	TCP Socket 設定	有効/無効
	ポート番号	1 ~ 65535 (<u>59158</u>)
	SSL 設定	有効/無効
	ポート番号 (SSL)	1 ~ 65535 (<u>59159</u>)
	TCP Socket (ASCII Mode)	
	TCP Socket (ASCII Mode)	有効/無効
	ポート番号 (ASCII Mode)	1024 ~ 65535 (<u>59160</u>)
11 CSRC 設定		
< CSRC 送信設定 >		
	CSRC 送信設定	有効/無効
	SMTP サーバアドレス	IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	ポート番号	1 ~ 65535 (<u>25</u>)

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
管理者 From アドレス		記号および英数字を最大 127 字まで使用可。
接続タイムアウト		30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/240/270/300（秒）
認証設定		
POP Before SMTP		有効／無効
認証設定		有効／無効
POP Before SMTP 時間		0 ～ 60 (<u>0</u>)（秒）
SMTP 認証設定		
ユーザー ID		記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 128 字まで使用可。
realm		記号および英数字を最大 255 字まで使用可。
< CSRC 受信設定 >		
CSRC 受信設定		
CSRC 受信設定		有効／無効
POP サーバーアドレス		IPv4 0.0.0.0 (0 ～ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
ログイン名		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大 15 字まで使用可。
APOP 認証		有効／無効
ポート番号		1 ～ 65535 (<u>110</u>)
接続タイムアウト		30/ <u>60</u> /90/120/150/180/210/240/270/300（秒）
自動到着チェック		有効／無効
ポーリング間隔		1 ～ 60 (<u>15</u>)（分）
CSRC 通信テスト		スタート
12 OpenAPI 設定		
< OpenAPI 設定 >		
OpenAPI 設定		有効／無効
SSL 設定		有効／無効
認証設定		
認証設定		有効／無効
ログイン名		記号および英数字を最大8字まで使用可。
パスワード		記号および英数字を最大8字まで使用可。
ポート番号		1 ～ 65535 (<u>50001</u>)
ポート番号 (SSL)		1 ～ 65535 (<u>50003</u>)

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
13 Web サービス設定		
< Web サービス設定 >		
Web サービス設定		
Friendly Name		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 62 字まで使用可。
SSL 設定		有効 / 無効
プリント設定		
プリント設定		有効 / 無効
プリンター名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター設置場所		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
プリンター情報		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャン設定		
スキャン設定		有効 / 無効
スキャナー名		KMBT + MAC 下 6 桁 記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャナー設置場所		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
スキャナー情報		記号および英数字を最大 63 字まで使用可。
14 JSP 設定		
< JSP 設定 >		
JSP 設定		有効 / 無効
SSL 設定		有効 / 無効
認証設定		
認証設定		有効 / 無効
ログイン名		Unknown 記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
パスワード		changeit 記号および英数字を最大 8 字まで使用可。
ポート番号		30081 ~ 30090 (<u>30081</u>)
ポート番号 (SSL)		30081 ~ 30090 (<u>30082</u>)
15 詳細設定		
< 詳細設定 >		
デバイス設定		
MAC アドレス		
ネットワーク速度		自動設定 / 10Mbps 半二重 / 10Mbps 全二重 / 100Mbps 半二重 / 100Mbps 全二重

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
< 詳細設定 / 時刻補正設定 >		
NTP 設定		有効／無効
NTP サーバー設定		
NTP サーバーアドレス		IPv4 <u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
ポート番号		1 ~ 65535 (<u>123</u>)
< 詳細設定 / 状態通知設定 / アラート E-mail >		
アラート E-mail 設定		有効／無効
通知先 E-mail アドレス		記号および英数字を最大 250 字まで 使用可。
通知内容		サービスコール／ジャム発生／トレ イ紙補給／トナー補給／PMコール／ ステーブル針補給／フィニッシャー 積載オーバー／パンチくず除去／断 裁くず除去／全項目解除
< 詳細設定 / 状態通知設定 / SNMP Trap >		
通知先設定 1 ~ 5		
通知先設定		有効／無効
通知先アドレス		IPv4 <u>0.0.0.0</u> (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。
通知先ポート番号		1 ~ 65535 (<u>162</u>)
通知先コミュニティ名		<u>public</u> 記号および英数字を最大 15 字まで使 用可。
通知内容		サービスコール／ジャム発生／トレ イ紙補給／トナー補給／PMコール／ ステーブル針補給／フィニッシャー 積載オーバー／パンチくず除去／断 裁くず除去／全項目解除
通知先設定		有効／無効
通知先 IPX ネットワークアドレス		0.0.0.0 (0 ~ 255)
通知先 IPX ノードアドレス		0: 0: 0: 0: 0: 0
通知先 IPX コミュニティ名		<u>public</u> 記号および英数字を最大 15 字まで使 用可。

設定項目と説明		設定値（下線は初期値）
	通知内容	サービスコール／ジャム発生／トレイ紙補給／トナー補給／PMコール／ステーブル針補給／フィニッシャー積載オーバー／パンチくず除去／断裁くず除去／全項目解除
	PING 応答確認	
	PING 送信アドレス	IPv4 0.0.0.0 (0 ~ 255) IPv6 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0: 0 (1-39 byte) ホスト名 記号および英数字を最大 253 字まで使用可。*7
	接続確認実行	スタート
	LPD 設定	有効／無効
	SLP 設定	有効／無効
	証明書無効時設定	ジョブを削除／ジョブを継続
	ネットワーク設定クリア	スタート

- *1: 〔自動設定〕にすると「DHCP 設定」、「BOOTP 設定」、「ARP/PING 設定」、「AUTO IP 設定」の設定が可能になります。なお、〔自動設定〕の状態から〔直接設定〕に変更して確定したとき、「DHCP 設定」、「BOOTP 設定」の設定値は無効になります。また〔直接設定〕の状態から〔自動設定〕に変更して確定したとき、「DHCP 設定」、「BOOTP 設定」、「ARP/PING 設定」、「AUTO IP 設定」の設定値は有効になります。
- *2: 「IPv6 設定」を〔無効〕にすると、「IPv6 自動設定」を〔有効〕にしても機能しません。PSWCでは、「IPv6自動設定」のプルダウンメニューがグレイアウトします。
- *3: 「IPv6 自動設定」を〔無効〕にすると、設定した「グローバルアドレス」「プレフィックスレンジ」「ゲートウェイアドレス」が変更可能になります。
- *4: fe80:: ~ febf:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff および ff00:: ~ ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff の範囲は設定できません。
- *5: XXXXは、MACアドレスから算出されます。
- *6: fe80:0:0:0:: ~ fe80:0:0:0:ffff:ffff:ffff:ffff の範囲のみ設定できません。
- *7: ピリオドを区切った文字数は最大63字までです。この文字列をピリオドを使って複数連結して最大251字（ホスト名を含めて253字）まで入力可能になります。
- *8: PSWCの場合、✓を入れると有効、外すと無効となります。
- *9: 1つのIPアドレスのみ許可/拒否する方法は3つあります。
(例) 192.168.11.22を1つだけ許可/拒否する場合
192.168.11.22 - 0.0.0.0 と入力します。
0.0.0.0 - 192.168.11.22 と入力します。
192.168.11.22 - 192.168.11.22 と入力します。
- *10: 「セキュリティプロトコル」「ESP 暗号化アルゴリズム」「ESP 認証アルゴリズム」「AH 認証アルゴリズム」の各設定の組み合わせによっては、設定できないことがあります。PSWCで設定している場合、組合せ禁止警告のメッセージが表示されます。PSWCでエラーを確認した場合、メッセージが表示されます。
- *11: 「Discovery User Name」は「Read User Name」または「Write User Name」と同じ文字列では設定できません。
- *12: ESP AH設定でのトンネルモードはサポートしていません。

セキュリティ設定

第9章

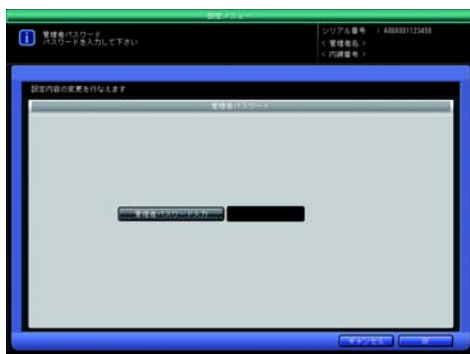
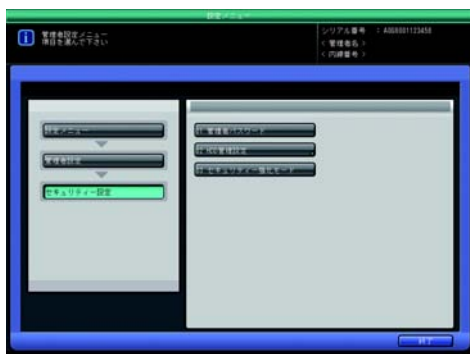
設定メニュー画面の06 管理者設定を設定する
セキュリティ設定の設定方法を説明します。

06管理者設定>07セキュリティ設定	9-2
■ 01管理者パスワード.....	9-2
■ 02HDD管理設定>01フォルダー・ボックス詳細／削除	9-3
■ 02HDD管理設定>02 HDD保存データ自動削除期間設定.....	9-5
■ 02HDD管理設定>03 HDDロックパスワード変更	9-6
■ 02HDD管理設定>04一時データ上書き削除	9-7
■ 02 HDD管理設定>05全データ上書き削除	9-8
■ 03セキュリティ強化モード	9-10

06管理者設定>07セキュリティー設定

■ 01 管理者パスワード

新しい管理者パスワードを設定します。



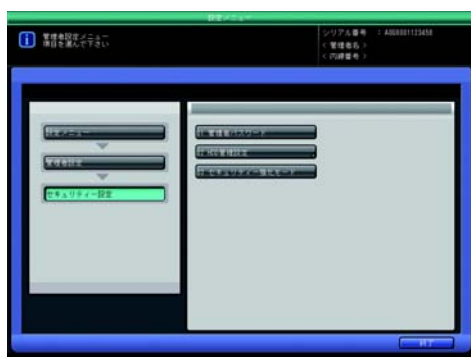
手順

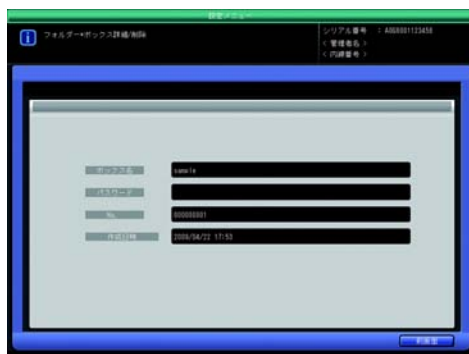
1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔01 管理者パスワード〕を順に押します。
2. 〔管理者パスワード入力〕を押して、管理者パスワード入力画面を表示させます。
3. 新しいパスワードを入力します。
4. 〔OK〕を押します。
5. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。

確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、セキュリティー設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD管理設定>01フォルダー・ボックス詳細／削除

個人、共有または機密フォルダーに画像を保存するとき、ユーザーは任意のフォルダーやボックスを作ることができます。管理者はユーザーが作ったフォルダーやボックスの名前／パスワード／No.／作成日時を閲覧し、必要に応じてそのフォルダーやボックスを削除することができます。





手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD 管理設定〕、〔01 フォルダ・ボックス詳細／削除〕を順に押します。フォルダ・ボックス詳細／削除画面が表示されます。
2. フォルダやボックスの詳細情報を閲覧します。
 - (1) 〔個人フォルダ〕、〔共有フォルダ〕または〔機密フォルダ〕を押して、閲覧したいフォルダ／ボックスが入っているフォルダの種類を選択します。
 - (2) 閲覧したいフォルダボタンを押して反転させます。
ボックスの情報を閲覧する場合は、閲覧したいボックスが入っているフォルダボタンを押し、〔ボックス〕を押して反転させます。
閲覧したいフォルダやボックスボタンが表示されていない場合は、右側の〔▲〕〔▼〕を押して表示させます。
 - (3) 画面上部に閲覧したいフォルダ名／ボックス名が表示されているのを確認します。
 - (4) 〔詳細〕を押します。詳細情報が表示されます。
 - (5) 〔前画面〕を押します。フォルダ・ボックス詳細／削除画面にもどります。
3. フォルダやボックスの詳細情報を削除します。
 - (1) 3項の(1)、(2)の手順に従って削除したいフォルダまたはボックスを選択します。
 - (2) 画面上部に削除指定フォルダ／ボックス名が表示されているのを確認します。
 - (3) 〔削除〕を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。
 - (4) 削除する場合は〔はい〕、削除を中止する場合は〔いいえ〕を押します。
4. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD 管理設定>02 HDD 保存データ自動削除期間設定

保存期間 12 時間（12 時間／1 日間／2 日間／3 日間／7 日間／30 日間）が経過すると、HDD に保存した画像を自動的に削除するように設定します。初期設定では「削除しない」になっています。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD 管理設定〕、〔02 HDD 保存データ自動削除期間設定〕を順に押します。
2. 任意の自動削除期間ボタンを押して反転させます。
自動削除期間を設定しない場合は〔削除しない〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD 管理設定>03 HDD ロックパスワード変更

HDDロックパスワードを変更します。

ひとこと

セキュリティー強化モードがオンに設定されていないと、HDDロックパスワード変更は、できません。

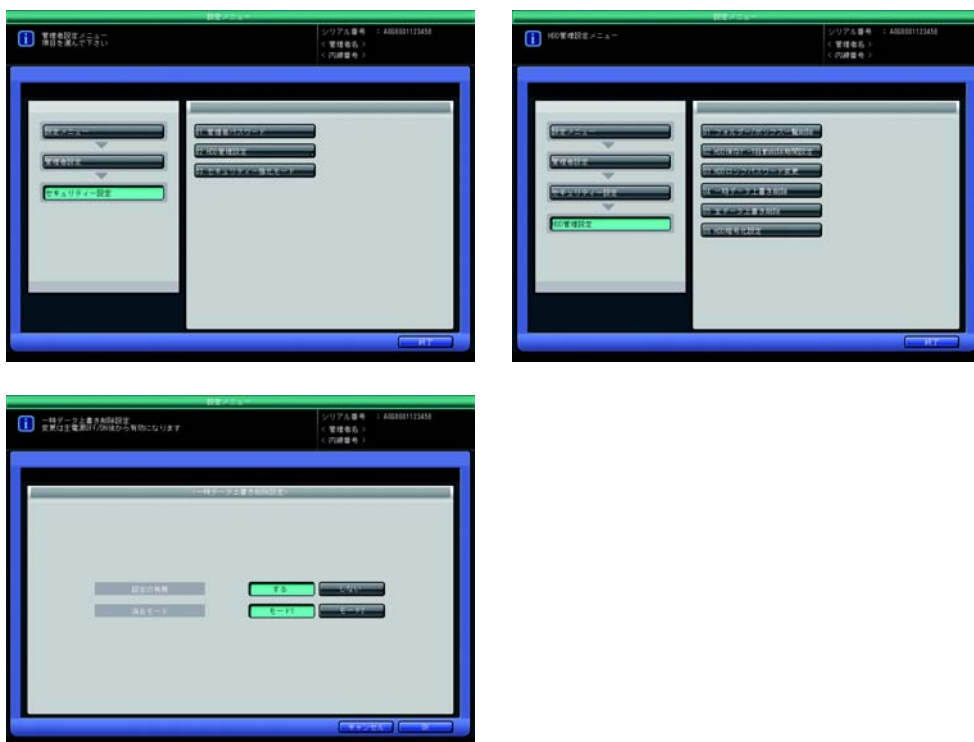


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD管理設定〕〔03 HDDロックパスワード変更〕を順に押します。
2. 〔現パスワード〕を押して、パスワード入力画面を表示させます。現パスワードを入力して〔OK〕を押します。
3. 〔新パスワード〕を押して、パスワード入力画面を表示させます。新パスワードを入力して〔OK〕を押します。
〔確認入力〕を押して、同様に新パスワードを入力して〔OK〕を押します。
4. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD 管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02HDD 管理設定>04一時データ上書き削除

HDDやDRAMに一時的に保存するドキュメントデータを再利用できないように消去するかしないかを選択します。消去する場合、そのレベルを2つのうちから1つ選択します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD管理設定〕、〔04一時データ上書き削除〕を順に押します。
2. 設定の有無の〔しない〕または〔する〕を押して選択します。
消去モードは2種類あります。〔する〕を選択したとき、選択した〔モード1〕または〔モード2〕が機能します。
3. 設定内容を確定するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、セキュリティー設定メニュー画面にもどります。

■ 02 HDD管理設定>05全データ上書き削除

HDDに保存されているドキュメントデータを全て消去します。そのとき、消去レベルを8つのうちから1つを選択します。

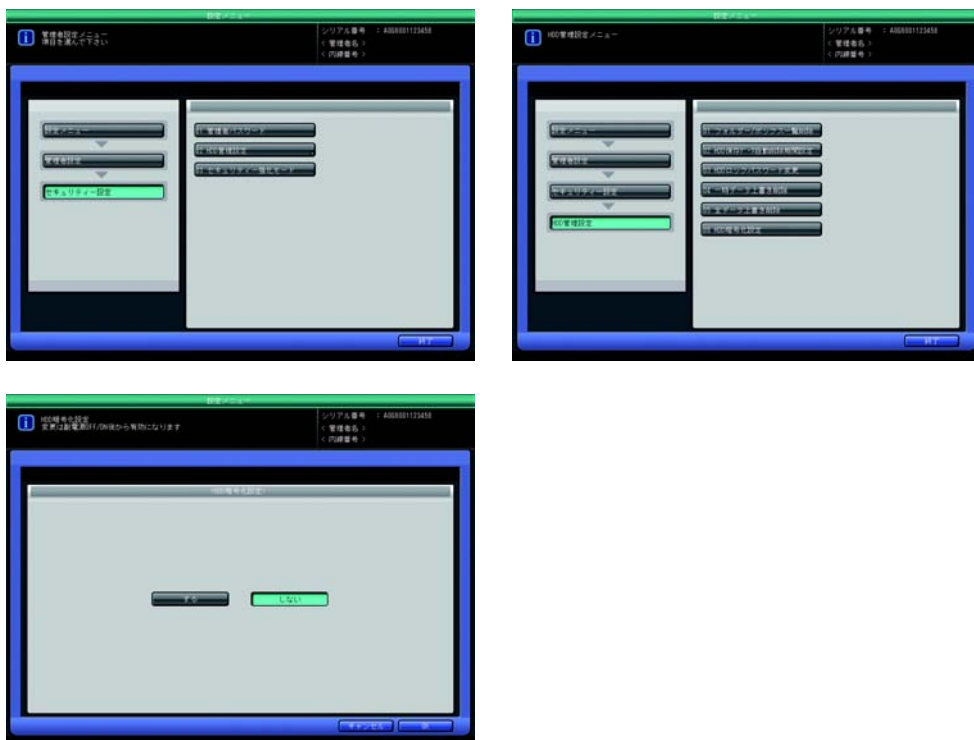


手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD管理設定〕、〔05全データ上書き削除〕を順に押します。
2. 消去モードを選択し、〔削除実行〕を押します。
3. 〔前画面〕を押します。HDD管理設定メニュー画面にもどります。

■ 02 HDD管理設定> 06 HDD暗号化設定

HDDのデータを暗号化するかどうかを設定します。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティー設定〕、〔02 HDD管理設定〕、〔06 HDD暗号化設定〕を順に押します。
2. 〔する〕または〔しない〕を押して反転させます。
3. 設定内容を確認するため、〔OK〕を押します。
確定しない場合は、〔キャンセル〕を押します。いずれも、HDD管理設定メニュー画面にもどります。

■ 03 セキュリティー強化モード

セキュリティ強化モードのオン/オフを設定します。

ひとこと

セキュリティ強化モードをオンにするためには、サービス実施店によって機械にCE認証パスワードおよび管理者パスワードが設定されている必要があります。

セキュリティ強化モードにすると、さまざまなセキュリティ機能設定が連動して切換えられ、スキャンされたデータの管理において安全性をより高めることができます。ユーザーの操作には制限がかかり、パブリックユーザーの使用を禁止したり、ボックス操作が制限されたりします。

セキュリティ強化モードをオンにするには、あらかじめ必要な機能設定や強制的に切換えられる機能設定があります。セキュリティ強化モードをオンにする前に、各セキュリティ機能の設定を確認しておく必要があります。



セキュリティ強化モードに適合しない機能設定がある場合、セキュリティ強化モードを[ON]にすることができません。



- セキュリティー強化モードを適用するには、必要な条件があります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- セキュリティー強化モードを[ON]にすると、必要な設定や強制的に切換えられた設定は変更できません。

< 必要な設定 >

セキュリティ強化モードをオンにするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
ユーザー認証/部門管理	[あり] を選択します。
OpenAPI設定/SSL使用	ボタンが表示された状態にします。
セキュリティ設定/管理者パスワード	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
セキュリティ設定/HDD 管理設定/ HDDロックパスワード	HDDロックパスワードを設定します。
セキュリティ設定/セキュリティ詳細/ 認証操作禁止機能	5分以上に設定します。



SSL 使用は PageScope Web Connection で証明書が登録済の場合に表示されます。



手順

1. 管理者設定メニュー画面の〔07セキュリティ設定〕、〔03 セキュリティ強化モード〕を順に押します。
2. セキュリティ強化モードにする場合は〔ON〕、しない場合は〔OFF〕を押して反転させます。
3. 画面右下の〔OK〕を押します。設定確認のポップアップ画面が表示されます。
4. 設定を確定するため、〔はい〕を押します。機械電源をオフ/オンします。
確定しない場合は〔いいえ〕を押します。画面右下の〔キャンセル〕を押してセキュリティ設定メニュー画面にもどします。

Web Utilities で設定できる管理者設定やリモートパネル設定、画像データや設定データの管理のしかた、本体の出力履歴の表示方法について説明します。

Web Utilitiesについて	10-2
部門管理データの編集	10-3
■ 部門管理データをブラウザで新規登録する	10-3
■ 登録済み部門管理データをブラウザで編集する	10-5
リモートパネル・リモートモニター・マルチモニターの設定	10-11
ネットワークスキャナーの設定	10-14
設定データを転送する	10-19
ボックスエクスプローラを使用する	10-25
■ ボックスエクスプローラ画面を表示させる	10-26
■ 本体HDDに対する操作	10-27
■ 本体サービスポートに外付けされたCD/DVDドライブに対する操作	10-29
■ 本体操作部からボックスエクスプローラを終了する	10-32
ジョブ履歴を表示する	10-33
■ ジョブ履歴機能をオン/オフする	10-33
■ ジョブ履歴一覧を表示する	10-35

Web Utilitiesについて

本機がネットワークでPCとつながっているとき、PCのブラウザを使って下記の項目の操作ができます。

1 部門管理データ編集

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定の部門管理設定をPC上で行います。

2 リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

ブラウザを使って本機を操作したり、本機の状態を監視します。

3 ネットワークスキャナー設定

本機タッチパネルや操作パネルで行う管理者設定のスキャン送信先登録をPC上で行います。

4 設定データのインポート/エクスポート

ブラウザを使って本機にある設定データをPCに転送（エクスポート）したり、PCにある設定データを本機に転送（インポート）します。

5 ボックス編集

ブラウザを使って、本体のHDDに作成保存されたボックスやファイルの名前を変更したり、ファイルの先頭ページのサムネイルを表示します。

6 ジョブ履歴一覧

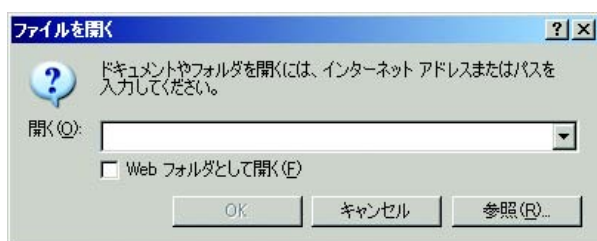
ブラウザを使って、本体の出力履歴を表示します。

対応ブラウザについては、p. 11-2をごらんください。

下記の手順に従って、ブラウザで本機のWeb Utilitiesのメインページ画面を表示します。

1 本機とネットワークでつながっている PC を起動させます。

2 ブラウザを開き、ファイルメニューの「開く」を選択します。



3 <http://>本機のIPアドレスまたはホスト名を入力して、〔OK〕キーをクリックします。

本機のWeb Utilitiesのメインページ画面が表示されます。



詳しく説明します

ネットワーク接続に関しては、ネットワーク管理者にお尋ねください。

詳しく説明します

本機のIP アドレスやホスト名は、ネットワーク管理者にお尋ねください。

詳しく説明します

改良のためWeb Utilities 画面の構成を予告なく変更することがあります。

■ 部門管理データをブラウザで新規登録する

ブラウザを使って下記管理者設定の部門管理設定をPCから行います。

- **部門管理データ登録**
パスワード、名前、リミット値を新規登録します。
- **登録済み部門管理データの編集**
部門管理データ（パスワード、名前、リミット値）を変更/削除したり、枚数カウントをリセットします。



- 本機能は本機が以下の設定になっている場合のみ利用可能です。
- 認証データの振り分けが1,000件全て部門認証に割り当てられている。
 - 部門認証を「あり」に設定している。
 - ユーザー認証データが1件も登録されていない。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

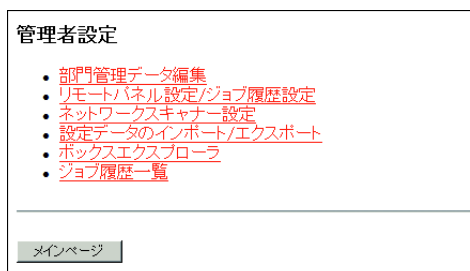
2 〔管理者設定〕をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。
管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 〔部門管理データ編集〕をクリックします。



部門管理データ編集画面が表示されます。



- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

5 「部門管理データ追加」をクリックします。

部門管理データ登録画面が表示されます。

6 新規に部門管理データを入力します。

部門名： 最大8文字（半角英数字のみ）
 パスワード： 最大8文字（半角英数字のみ）
 リミット値： 0～99,999,999（半角数字のみ）

7 「登録」ボタンをクリックします。

登録終了画面が表示されます。新規データは本機に即時登録され有効になります。

8 「戻る」をクリックします。

部門管理データ編集画面にもどります。

詳しく説明します

- 入力を最初からやり直すときは、「リセット」をクリックします。
- 新規登録を中止するときは、「戻る」をクリックします。

詳しく説明します

- 部門名を重複させるとエラーメッセージが表示されて登録できません。本機の認証方式で部門名の入力がない場合に設定されている場合、部門名の省略および重複は可能です。
- 名前で使用できない文字を使うとエラーメッセージが表示されて登録できません。
- 登録件数が1,000件を越えるとエラーメッセージが表示されて登録できません。
- 本機動作中はエラーメッセージが表示されて登録できません。本機がアイドリング状態になってから「登録」をクリックしてください。

■ 登録済み部門管理データをブラウザで編集する

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 「管理者設定」をクリックします。

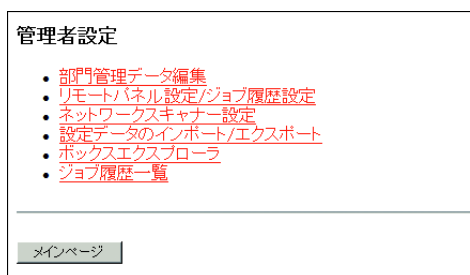


パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して「OK」をクリックします。

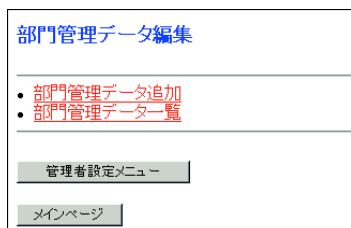
管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 「部門管理データ編集」をクリックします。



部門管理データ編集画面が表示されます。

5 「部門管理データ一覧」をクリックします。



部門管理データ一覧画面が表示されます。



詳しく説明します

Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2をごらんください。



詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。



詳しく説明します

部門管理データ一覧画面に記述されている「その他ユーザーカウント」は、本体設定で「未登録のユーザーや部門出力」が有効になっているときのみ表示されます。カウントリセット以外の編集はできません。

6 部門名、パスワード、リミット値を変更します。

- (1) 部門管理データ一覧画面の変更したいデータの〔Number〕をクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー
<input type="checkbox"/>	1	1	大サイズ
<input type="checkbox"/>	2	Sample	
<input type="checkbox"/>	----	その他ユーザーカウント	

☒ コピー/プリンター のカウントリセット
☐ スキャナー のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (2) 部門管理データ編集画面が表示されます。
- (3) 部門名、パスワード、リミット値を変更します。変更入力方法は新規登録と同じです。p. 10-4 をご覧ください。
- (4) 〔登録〕をクリックします。

部門管理データ登録

Number	2	
部門名	Sample	最大8文字
*パスワード	12345	最大8文字
*リミット値	1000	最大999999

登録 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (5) 変更終了画面が表示されます。変更されたデータは本機に即時登録され有効になります。
- (6) 〔戻る〕をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

詳しく説明します

もとのデータにもどりたいときは〔リセット〕をクリックします。変更を中止するときは、〔戻る〕をクリックします。

詳しく説明します

〔登録〕をクリックしたときにエラーメッセージが表示されたときは、p. 10-4の「詳しく説明します」をご参照ください。

7 枚数カウントをリセットします

- (1) 部門管理データ一覧画面の枚数カウントをリセットしたいデータ項目（複数選択可）のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、カウントリセットしたいモードのラジオボタンをクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー 大サイズ
<input type="checkbox"/>	1	1	
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Sample	
<input type="checkbox"/>	---	その他ユーザーカウント	

☒ コピー/プリンター のカウントリセット
☐ スキャナー のカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (2) 「決定」をクリックします。
- (3) カウントリセット確認画面が表示されます。
- (4) 「決定」をクリックします。

部門管理データ一覧

これらのデータをカウントリセットします(コピー/プリンター)

Number
2

決定

[戻る](#)

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ



詳しく説明します

選択したデータのカウントリセットしないときは、「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

- (5) カウントリセット終了画面が表示されます。選択したデータのカウン트가即時リセットされます。

部門管理データ一覧

設定を更新しました

[戻る](#)

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ



本機動作中はエラーメッセージが表示されてリセットできません。本機がアイドリング状態になるのを待ってから「決定」をクリックしてください。

- (6) 「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

8 部門管理データを削除します

- (1) 部門管理データ一覧画面の削除したいデータ項目(複数選択可)のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、「削除(その他ユーザーカウン트는削除できません)」のラジオボタンをクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー 大サイズ
<input type="checkbox"/>	1	1	
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Sample	
<input type="checkbox"/>	----	その他ユーザーカウン	

☐ コピー/プリンターのカウントリセット
☐ スキャナーのカウントリセット
☒ 削除(その他ユーザーカウンは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

- (2) 「決定」をクリックします。
 (3) 削除確認画面が表示されます。

部門管理データ一覧

これらのデータを削除します

Number
2

決定

[戻る](#)

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ



選択したデータの削除を中止するときは、「戻る」をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

- (4) [決定] をクリックします。削除終了画面が表示されます。選択したデータが即時削除されます。

部門管理データ一覧

設定を更新しました

[戻る](#)

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (5) [戻る] をクリックします。部門管理データ一覧画面にもどります。

9 部門管理データ一覧をファイルに保存します。

- (1) [この表をファイルに保存] をクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー		プリンター
			大サイズ	シート	大サイズ
<input type="checkbox"/>	1	1	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Sample	0	0	0
<input type="checkbox"/>	3	その他ユーザーアカウント	27	38	0

☐ コピー/プリンターのカウントリセット
☐ スキャナーのカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーアカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

- (2) [このファイルをディスクに保存] のラジオボタンをクリックして選択し、[OK] をクリックします。

部門管理データ一覧

選択	Number	部門名	コピー		プリンター
			大サイズ	シート	大サイズ
<input type="checkbox"/>	1	1	0	0	0
<input checked="" type="checkbox"/>	2	Sample	0	0	0
<input type="checkbox"/>	3	その他ユーザー	27	38	0

☐ コピー/プリンターのカウントリセット
☐ スキャナーのカウントリセット
☐ 削除(その他ユーザーアカウントは削除できません)

決定 リセット

部門管理データ編集メニュー

管理者設定メニュー

メインページ

ファイルのダウンロード

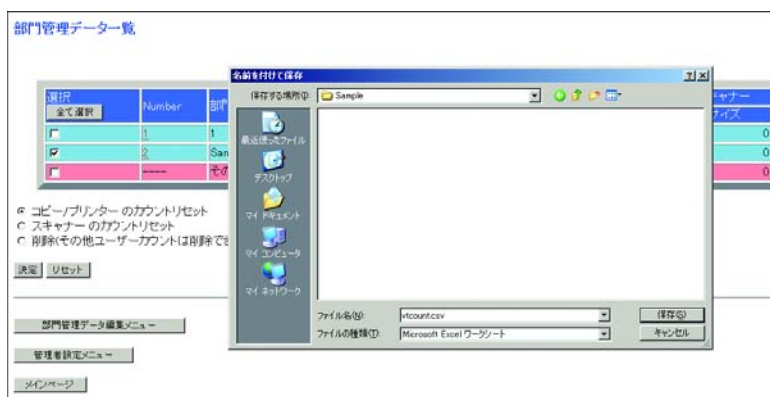
このファイルを開くか、または保存しますか?

名前: vltount.csv
 種類: Microsoft Office Excel CSV ファイル, 167 バイト
 宛先元: 10.11.92.170

開く(O) 保存(S) キャンセル

インターネットのファイルは宛先にアクセスするが、ファイルによってはコンピュータに感染するウイルスが含まれる場合があります。宛先元が信頼できない場合は、このファイルを開く、または保存しないことをお勧めします。

- (3) 保存先指定ダイアログで、設定ファイルの保存先を指定し、[保存] をクリックします。



詳しく説明します

部門管理データ一覧のファイルは、CSV形式で保存されます。本機動作中はファイルの保存はできません。本体がアイドリングの状態になってから再度行ってください。このとき、ブラウザの「戻る」ボタンをクリックして部門管理データ一覧画面にもどってください。

例：部門管理データ一覧保存ファイル

NUMBER	PASSWORD	NAME	COPYLARGECOUNT	COPYCOUNT	PRINTLARGECOUNT
4	2	cs02	0	0	0
8	3	cs03	0	0	0
9	4	cs04	0	0	0
24	cs0ED	CSO	0	0	0
1001		UNKNOWN	0	1	0
PRINTCOUNT SCANLARGECOUNT SCANCOUNT LIMIT					
0	0	0	50		
0	0	0	50		
0	0	0	10		
0	0	0	11111111		
0	0	0	0		

「その他ユーザーカウント」は最後尾にNAMEをUNKNOWNとして保存されます。

リモートパネル・リモートモニター・マルチモニターの設定

PCのブラウザ画面から本機の操作をしたり、本体の状態を監視することができます。

リモートパネルの機能

- 本体タッチパネルに表示されるあらゆる画面をブラウザ上に表示します。
- PCのマウスによってタッチパネルや操作パネルの操作を代用します。
- パスワード等の入力をPCのキーボードから入力できます。

リモートモニターの機能

- ブラウザの自動リロードを使って、本機のタッチパネルの画面、ジョブの状況、本機の状態を監視します。
- リモートパネルを別ウィンドウで表示します。

マルチモニターの機能

- 1つのブラウザ上に最大 10 台の機械のリモートモニターを並べて表示し、監視することができます。
- リモートモニターとリモートパネルを同じブラウザ上に表示します。



- ブラウザの設定で JavaScript を有効にします。
- PC と本体はネットワークで繋がれ、TCP/IP で通信できる環境にします。
- セキュリティー強化モードをオフにします。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 [管理者設定] をクリックします。



Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2をごらんください。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

管理者設定画面が表示されます。

4 〔リモートパネル設定/ジョブ履歴設定〕をクリックします。

管理者設定

- ・ [部門管理データ編集](#)
- ・ [リモートパネル設定/ジョブ履歴設定](#)
- ・ [ネットワークスキャナー設定](#)
- ・ [設定データのインポート/エクスポート](#)
- ・ [ボックスエクスプローラ](#)
- ・ [ジョブ履歴一覧](#)

メインページ

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定画面が表示されます。

5 リモートパネルの設定をします。

リモートパネルを使用するPCのIPアドレスを設定します。

最大3つまで設定することができます。

リモートパネル設定/ジョブ履歴設定

アクセスを許可するIPアドレス 1	10.11.32.100	※ 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 2		※ 192.168.0.100
アクセスを許可するIPアドレス 3		※ 192.168.0.100

このPCのIPアドレス [10.11.32.100]

リモートモニターのユーザー設定レベル 1	ADG6001901009
リモートモニターのユーザー設定レベル 2	10.11.32.70
リモートモニターの更新間隔	5分

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	10.11.32.70	※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10		※ 192.168.0.100
マルチモニターの表示形式	上部に手書き表示	

ジョブ履歴 HDD最大保存件数(書き換え)

登録 リセット

詳しく説明します

- ・ ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- ・ パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ・ ユーザー名をパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

詳しく説明します

これ以外の設定をしないときは、画面下の〔登録〕をクリックし、〔管理者設定メニュー画面〕をクリックします。

6 リモートモニターの設定をします。

リモートモニターのユーザー設定ラベルを入力し、リモートモニターの更新時間を選択します。

このPCのIPアドレス [10.11.32.100]

リモートモニターのユーザー設定ラベル 1	PC06001901007
リモートモニターのユーザー設定ラベル 2	10.11.32.70
リモートモニターの更新時間	5分

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	10.11.32.70	※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		※ 192.168.0.100



これ以外の設定をしないときは、画面下の「登録」をクリックし、「管理者設定メニュー画面」をクリックします。

7 マルチモニターの設定をします。

マルチモニターに表示させる機械のIPアドレスを入力します。最大10台までの登録ができます。

マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 1	10.11.32.70	※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 2		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 3		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 4		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 5		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 6		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 7		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 8		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 9		※ 192.168.0.100
マルチモニターに表示するMFPのIPアドレス 10		※ 192.168.0.100
マルチモニターの表示形式	上部に子画面表示	

ジョブ履歴 HCC最大保存件数: 画面再起動



これ以外の設定をしないときは、画面下の「登録」をクリックし、「管理者設定メニュー画面」をクリックします。

8 「登録」をクリックします。

新規データは本機に即時登録されます。

9 「管理者設定メニュー画面」をクリックします。

管理者設定メニュー画面にもどります。

ネットワークスキャナーの設定

ブラウザを使って管理者設定の一部であるネットワークスキャナー設定をします。ネットワークスキャナーの詳細は、サービス実施店にお問い合わせください。



本体でネットワークスキャナー機能を使用していないこと

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。



詳しく説明します

Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2をごらんください。

2 「管理者設定」をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

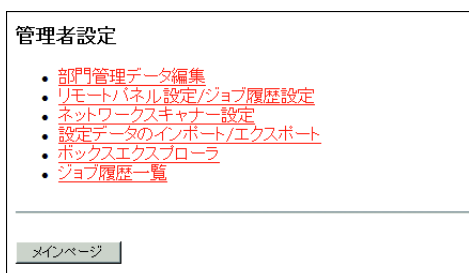
3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して「OK」をクリックします。



詳しく説明します

- ・ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- ・パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。

4 「ネットワークスキャナー設定」をクリックします。



ネットワークスキャナー設定画面が表示されます。

- ・ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

5 E-Mail、HDD、FTP、SMBを登録します。 任意に入力します。

ネットワークスキャナー設定

E-Mail登録

登録名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
アドレス	<input type="text"/>	(最大 250文字)
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

HDD登録

登録名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ボックスNo.	<input type="text"/>	(数字9桁[000000001~999999999])
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

FTP登録

プロファイル名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ホストアドレス	<input type="text"/>	(最大 63文字)
ポート番号	<input type="text" value="21"/>	
ファイルパス	<input type="text"/>	(最大 96文字)
ログイン名	<input type="text"/>	(最大 47文字)
<input type="checkbox"/> Anonymous		
パスワード	<input type="text"/>	(最大 24文字)
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

SMB登録

プロファイル名	<input type="text"/>	(最大 24文字[日本語 12文字])
検索文字	<input type="text"/>	(最大 24文字[ひらがな 12文字])
ホストアドレス	<input type="text"/>	(最大 63文字)
ファイルパス	<input type="text"/>	(最大 95文字)
ログイン名	<input type="text"/>	(最大 47文字)
パスワード	<input type="text"/>	(最大 14文字)
常用登録	<input type="checkbox"/> (チェックすると常用に登録されます)	

[登録](#) [一覧表示](#)

[管理者設定メニュー](#)

[メインページ](#)



設定値の詳細については、ネットワークスキャナー編を参照してください。



- 入力できる漢字および記号には制限があり、操作部で表示できないものは登録できません。操作部で表示できる漢字は、第1水準SJISコードのJ8740～J879Fを除いたJ8140～J9872です。
- HDDのボックスNo.は、9ケタで登録されます。たとえば「1」と入力すると、「000000001」と登録されます。
- 「常用」のチェックボックスにチェックを入れると、常用に登録されます。



文字制限を違反した場合や必須項目が未入力の場合は下記のように「～が不正です」と表示されます。[戻る]をクリックして入力し直してください。

設定データを転送する

ブラウザを使って設定データをPCに転送（エクスポート）したり、PCにある設定データを本機に転送（インポート）します。

設定データはPCのアプリケーションソフトを使って編集できます。

設定データには下記のものがあります。

部門管理データ（最大1,000件）

4つのスキャン送信先データ（4つ合計で500件まで登録可能）

- E-mailデータ
- HDD（box No.）データ
- FTP（FTP server address）データ
- SMBデータ



- 設定データはPCに転送してバックアップとして保存することができます。
- 本機が複数台ある場合、設定データによって設定を共通化できます。
- 設定データは一括処理しやすい形式になっているので、設定を効率的に編集し本機に反映させることができます。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 「管理者設定」をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。



- 部門管理データに関しては p. 7-7 をごらんください。
- スキャン転送先データに関しては、p. 5-93 をごらんください。
- PC に転送される設定データは上記4種類ごとに1つの設定データとして転送されます。部門管理データや4つのスキャン送信先データを1件ごとに編集する場合は、p. 10-3 をごらんください。



詳しく説明します

Web Utilities 画面の表示方法は、p. 10-2 をごらんください。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 〔設定データのインポート/エクスポート〕をクリックします。

設定データのインポート/エクスポート設定画面が表示されます。

5 設定データをエクスポートします。

エクスポートしたい設定データをプルダウンメニューから選択します。
〔エクスポート実行〕をクリックします。



詳しく説明します

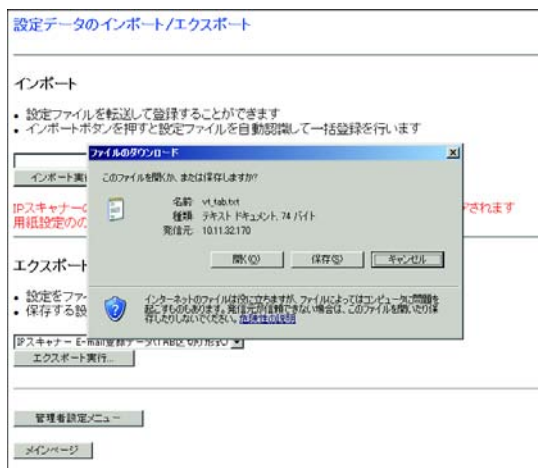
- ・ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- ・パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ・ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。



詳しく説明します

転送する設定データ形式はTAB区切り形式で、そのほかの設定はできません。

保存ダイアログボックスが表示されます。
保存ダイアログボックスの「保存」のラジオボックスをクリックして選択します。



保存先指定ダイアログボックスで設定データの保存先を指定し、「保存」をクリックします。



保存完了のダイアログボックスが表示されます。「閉じる」をクリックします。

6 設定データを編集します。

PCに転送された設定データはPCのテキスト編集や表計算のアプリケーションソフトで編集できます。また、設定データを書式に沿って新規に作成できます。詳しくはp. 10-23～p. 10-24をごらんください。

詳しく説明します

設定データの名前は下記のように自動発生します。このときファイル名を変更することができます。任意のファイルを指定して保存します。

- evt_tab.txt : 部門管理データ
- ip_email.txt : スキャナー転送先データのE-Mailデータ
- ip_hdd.txt : スキャナー転送先データのHDDデータ
- ip_ftp.txt : スキャナー転送先データのFTPデータ
- ip_smb.txt : スキャナー転送先データのSMBデータ

詳しく説明します

本機動作中は設定データをPCに転送しようとしてもエラーメッセージが表示されてできません。本機がアイドリングの状態になってから行ってください。

7 設定データをインポートします。

〔参照...〕ボタンをクリックしてPCにある設定ファイルを選択し、〔インポート実行〕をクリックします。

設定データのインポート/エクスポート

インポート

- 設定ファイルを転送して登録することができます
- インポートボタンを押すと設定ファイルを自動認識して一括登録を行います

参照...

インポート実行...

IPスキャナーのインポートでは、既に本体に登録済みのデータおよびグループ用紙設定のインポートでは、既に本体に登録済みのデータはクリアされます

エクスポート

- 設定をファイルに保存することができます
- 保存する設定を選択してエクスポートボタンを押してください

IPスキャナー E-mail登録データ(TAB区 切り形式) ▼

エクスポート実行...

管理者設定メニュー

転送結果が表示されます。

設定データのインポート/エクスポート

1 件、部門管理データを登録しました。

一覧表示

[戻る](#)

[メインページ](#)



常に本機に設定データが転送されないというエラーメッセージが表示され、本機に転送できません。処置方法は、p. 10-2 をご覧ください。



このとき、ブラウザの〔更新〕をクリックしないでください。〔戻る〕をクリックします。設定データのインポート / エクスポート設定画面にもどります。



インポート時のエラーメッセージとその処置

- 「本体が動作中のため転送できませんでした」
本機がアイドリングの状態になってから本機に転送してください。
- 「データを識別できませんでした」
本機に転送しようとしているファイルが設定データか確認してください。
- 「データサイズが大きすぎます」
本機に転送しようとしているファイルが設定データか確認してください。また、設定データサイズが100,000バイトを越えていないか確認してください。越えている場合は転送できません。
- 「登録できませんでした」
設定データの記述に間違いがないか確認してください。詳しくはp. 10-3～p. 10-4 をご覧ください。また、登録件数が一杯になっていないか確認してください。それぞれの設定データの最大登録件数は4つのスキャナー送信先データ合わせて500件です。

設定ファイル作成／編集の共通ルール

- ・ 設定データはテキスト形式で保存します。
- ・ 設定データの先頭にTagをつけます。(例：#EKC_TAB)
- ・ 1行は300バイト以下にします。
- ・ 設定データサイズは100,000バイト以下にします。
- ・ 「#」で始まる行はコメント行となります。

例：部門管理データの設定データ

```
#IP_EMAIL
#GROUP_NAME
NAME ADDRESS KANA DAILY USE 管理職 一般
田中部長 tanaka@k たなか 1 1
鈴木課長 suzuki@k すずき 1 1
高橋主任 takahashi@k たかはし 1
渡辺係長 watanabe@k わたなべ 1
金子係長 kaneko@k かねこ 1 1
```

設定データ作成／編集の個別ルール

部門管理データの設定データ

設定データの先頭に「#EKC_TAB」を記述します。

最大1,000件です。

1行に「PASSWORD」、「NAME」、「LIMIT」をタブ区切りします。

「PASSWORD」は半角英数字で最大8文字で記述します。

「NAME」は半角英数字で最大8文字で記述します。

「LIMIT」は0～99999999までの数字で記述します。

E-mailデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_EMAIL」を記述します。

1行に「NAME」、「ADDRESS」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24byteです。

「ADDRESS」は最大250 byteです。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

HDDデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_HDD」を記述します。

1行に「NAME」、「NUMBER」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24 byteです。

「NUMBER」は1～99999999までの9ケタの数字のみで記述します。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

FTPデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_FTP」を記述します。

1行に「NAME」、「ADDRESS」、「FILEPATH」、「LOGINNAME」、「PASSWORD」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24 byteです。

「ADDRESS」は最大63 byteです。

「PORT」は1～65535までの5ケタの数字で記述します。

「FILEPATH」は最大96 byteです。

「LOGINNAME」は最大47 byteです。

「PASSWORD」は最大24 byteです。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

SMBデータの設定データ

設定データの先頭に「#IP_SMB」を記述します。

1行に「NAME」、「ADDRESS」、「FILEPATH」、「LOGINNAME」、「PASSWORD」、「REFERENCE」、「DAILY」をタブ区切りします。

「NAME」は最大24 byteです。

「ADDRESS」は最大63 byteです。

「FILEPATH」は最大96 byteです。

「LOGINNAME」は最大47 byteです。

「PASSWORD」は最大14 byteです。

「REFERENCE」は最大24byteです。

「DAILY」を常用登録は1、しない場合は0と記述します。

ボックスエクスプローラを使用する

ボックスエクスプローラは、ブラウザを使って本体のHDDに作成保存されたボックスデータ（フォルダ、ボックス、ファイル）の操作をします。また、外付けされたCD/DVDへのバックアップとリストアをします。

利用できる機能

- 本体HDDに対する操作
本体HDDに作成保存されたボックスデータの参照、リネーム、削除、複製を行います。
本体HDDのボックスデータをサムネイル表示します。
- 本体接続ポートに外付けされたCD/DVDドライブに対する操作
CD/DVD内のボックスデータを参照します。
本体HDDのボックスデータをCD/DVDにバックアップします。
CV/DVD内のボックスデータを本体HDDにリストアします。

機能制限

- ボックスエクスプローラは、同時に複数のブラウザから利用することはできません。
- パスワード管理されているボックスデータの参照、リネームはできません。複製、CD/DVDへのバックアップ、リストアは可能です。
- ボックスエクスプローラでアクセスしているときは、本体操作パネルでの操作、外部PCからのプリントを行うことはできません。
- 本体にジョブが残っている状態のとき、ボックスエクスプローラでアクセスすることはできません。
- 本体操作パネルによってHDD 保存画面、HDD 読出し画面でファイルを選択している場合、ボックスエクスプローラは使用できません。
- セキュリティ強化モード、およびユーザー認証/部門管理モードを使用しているときは、ボックスエクスプローラは使用できません。
- CD/DVDのボックスデータを参照、バックアップ、リストアしているときは、外付けされたCD/DVDドライブを開けることができません。



必ず守ってください

CD/DVDのボックスデータを参照、バックアップ、リストアしているときは、CD/DVDドライブを接続ポートから外さないでください。

■ ボックスエクスプローラ画面を表示させる

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 「管理者設定」をクリックします。

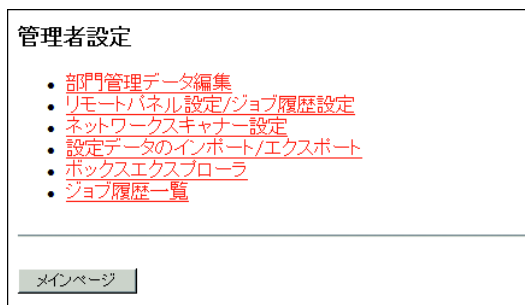


パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して、「OK」をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 ボックスエクスプローラ」をクリックします。



ボックスエクスプローラ画面が表示されます。

詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

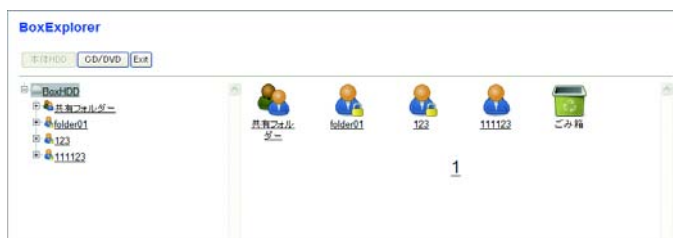
■ 本体HDDに対する操作

手順

1 ボックスエクスプローラ画面を表示させます。

2 本体 HDD のボックスデータをサムネイル表示します。

本体HDD参照画面では左側の画面がボックスデータのツリー表示領域になっています。
ツリー表示領域上でサムネイル表示したいファイルをクリックします。



3 本体HDDのボックスデータをリネームします。

本体HDD参照画面では右側の画面がボックスデータのアイコン表示領域になっています。
リネームするデータのアイコンの名前の部分をクリックして反転させ、新しい名前を入力してEnterキーを押します。



4 本体HDDのボックスデータを削除します。

ボックスデータのアイコン表示領域から削除するデータのアイコンをゴミ箱にドラッグします。削除確認のダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックします。



5 本体HDDのボックスデータを複製します。

ボックスデータのアイコン表示領域から複製するデータのアイコンをツリー領域あるコピー先にドラッグします。複製確認のダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると元の領域にもどります。



6 〔Exit〕をクリックします。

管理者設定メニュー画面にもどります。

詳しく説明します

ブラウザの〔戻る〕、〔更新〕、〔中止〕をクリックしても終了できません。

■ 本体サービスポートに外付けされたCD/DVDドライブに対する操作

本体の接続ポートに接続されたCD/DVDドライブのCD/DVDのボックスデータの参照、データのバックアップ、データの本体HDDへのリストアをします。

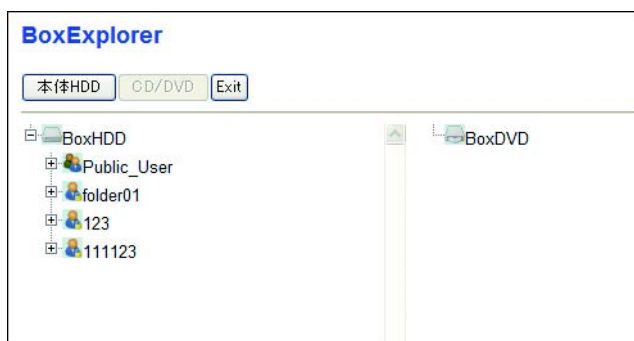
手順

1 ボックスエクスプローラ画面を表示させます。



CD/DVDのボックスデータを参照、バックアップ、リストアしているときは、CD/DVDドライブを接続ポートから外さないでください。

2 [CD/DVD] をクリックします。



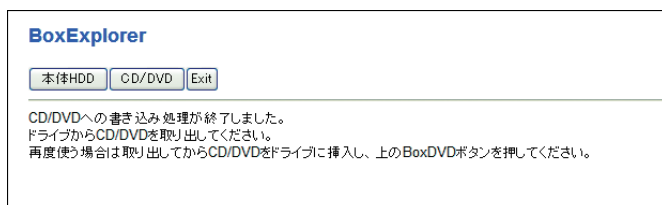
画面右側にCD/DVDのツリーが表示されます。

3 本体HDDのボックスデータをCD/DVDにバックアップします。

(1) 本体HDDのツリー表示領域からバックアップするデータをCD/DVDのツリー表示領域のバックアップ先にドラッグします。



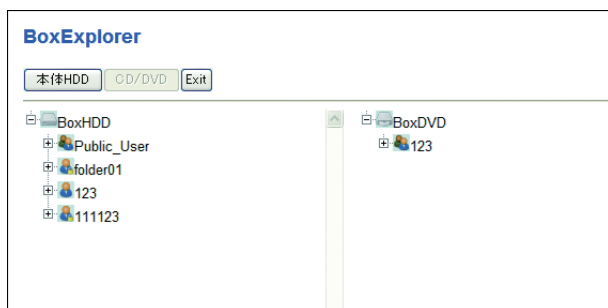
- (2)バックアップ確認のダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると元の画面にもどります。
バックアップ先に同じ名前のデータがある場合、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックすると、上書き処理を行い、書き込み中画面に移行します。〔キャンセル〕をクリックすると元の画面にもどります。
- (3)書き込み中画面が表示され、書き込みが完了すると書き込み終了画面が表示されます。



再度同じCD/DVDにバックアップする場合は、ドライブを一度開閉してから〔BoxDVD〕をクリックします。

4 CD/DVDのボックスデータを本体HDDにリストアします。

- (1) CD/DVD のツリー表示領域からリストアするデータを本体HDDのツリー表示領域のリストア先にドラッグします。



- (2)リストア確認のダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると元の画面にもどります。
リストア先に同じ名前のデータがある場合、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。〔OK〕をクリックすると、上書き処理を行い、書き込み中画面に移行します。〔キャンセル〕をクリックすると元の画面にもどります。

- 5** **〔Exit〕 をクリックします。**
管理者設定メニュー画面にもどります。



詳しく説明します

ブラウザの〔戻る〕、〔更新〕、〔中止〕 をクリックしても終了できません。

■ 本体操作部からボックスエクスペローラを終了する

ボックスエクスペローラを起動させていると、本体操作はロックされ操作できません。本体操作パネルは下記の画面が表示されています。



ロックを解除して本体操作部の操作をする場合は、〔ロック解除〕を押し、解除確認画面の〔はい〕を押します。



ジョブ履歴を表示する

ブラウザを使って本体の出力履歴を表示します。
ジョブ履歴は本体操作部画面にも表示できますが、本体の電源をオフにすると消去されます。Web Utilitiesで表示されるジョブ履歴はHDDに保存されるため、電源をオフにしても履歴が消去されず、過去の履歴を参照することができます。

■ ジョブ履歴機能をオン/オフする

ジョブ履歴機能は初期設定ではオフになっています。下記の手順に従ってオン/オフしてください。

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 〔管理者設定〕をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

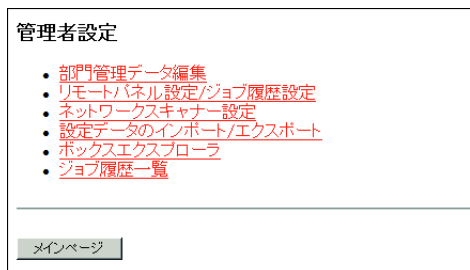
3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。

管理者設定メニュー画面が表示されます。

詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

4 「リモートパネル設定/ジョブ履歴設定」をクリックします。



リモートパネル設定/ジョブ履歴設定画面が表示されます。

5 ジョブ履歴に関する設定をします。

ジョブ履歴をオンにするため、100,000/500,000/1,000,000 から任意の最大保存件数を選択します。ジョブ履歴をオフにするときは「0」を選択します。



6 変更した設定を有効にします。

「登録」をクリックし、主電源スイッチをオフ/オンします。



最大保存件数を変更すると履歴データがリセットされる場合があります。ご注意ください。



主電源スイッチをオフ/オンする場合は、主電源をオフにして、必ず 10 秒以上経過してからオンにしてください。間隔を空けないと、正常に機能しないことがあります。

■ ジョブ履歴一覧を表示する

手順

1 PC上にWeb Utilitiesのメインページ画面を表示させます。

2 〔管理者設定〕をクリックします。



パスワード入力のダイアログボックスが表示されます。

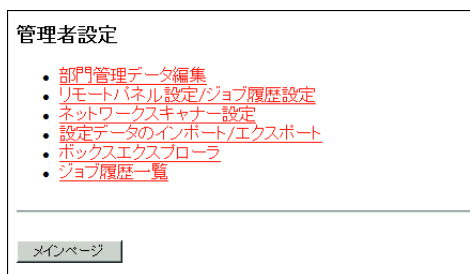
3 ユーザー名に「admin」、パスワードに8ケタの管理者パスワードを入力して〔OK〕をクリックします。



詳しく説明します

- ユーザー名は「admin」で固定されていて、変更はできません。
- パスワードは本機で設定済みの管理者パスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは一度入力すると記憶されるので2度目以降のアクセスには入力する必要はありません。ただし、ブラウザを再起動すると、再び入力する必要があります。

4 〔ジョブ履歴一覧〕をクリックします。



ジョブ履歴一覧画面が表示されます。

5 ジョブ履歴一覧でジョブ履歴を確認します。

履歴番号 (No.)、ジョブ番号 (JobId)、モード、ジョブ生成日時 (Date) が表示されます。

Job History List

634 - 733 (Total 833) / Previous / Next

No.	JobId	Mode	Date
733	6	Copy	07/11/20 (10:30:46)
732	5	Copy	07/11/20 (10:29:34)
731	4	Copy	07/11/20 (10:28:33)
730	3	Copy	07/11/20 (10:27:39)
729	2	HDD load	07/11/20 (10:26:01)
728	1	HDD load	07/11/20 (10:24:07)
727	3	Print	07/11/19 (14:48:37)
726	1	Copy	07/11/19 (14:46:17)
725	10	HDD load	07/11/16 (19:08:23)
724	9	Copy	07/11/16 (19:08:20)
723	8	HDD load	07/11/16 (19:05:25)
722	7	Copy	07/11/16 (19:05:18)
721	4	Copy	07/11/16 (19:04:08)
720	5	HDD load	07/11/16 (19:04:06)
719	3	Copy	07/11/16 (19:00:49)
718	2	HDD save	07/11/16 (18:59:25)
717	1	Copy	07/11/16 (18:23:15)
716	1	Copy	07/11/16 (14:20:52)
715	5	Print	07/11/15 (15:32:02)
714	3	Print	07/11/15 (15:27:18)
713	2	HDD load	07/11/15 (15:19:43)
712	1	HDD load	07/11/15 (15:17:43)
711	2	HDD load	07/11/13 (11:00:46)
710	6	HDD load	07/11/13 (10:57:09)
709	5	Print	07/11/13 (10:56:42)
708	4	HDD load	07/11/13 (10:56:11)
707	3	Copy	07/11/13 (10:55:49)
706	2	Copy	07/11/13 (10:55:28)
705	1	Copy	07/11/13 (10:55:10)
704	9	Print	07/11/13 (10:35:20)
703	8	Print	07/11/13 (10:34:36)



ジョブ履歴一覧の表示項目を変更することができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

下記表示をクリックすると表示が切り替わります。

[Job History List] : 直近の 100 件のジョブ履歴を表示します。

[Previous] : 前の100件のジョブ履歴を表示します。

[Next] : 次の100件のジョブ履歴を表示します。

第1章

PageScope Web Connection と、その管理者モードの操作方法について説明します。

PageScope Web Connectionについて ...	11-2	〔スキャナ〕 タブ	11-29
■ システム環境	11-2	■ E-mail件名	11-29
■ Webブラウザの設定	11-3	■ E-mail本文	11-30
アクセスのしかた	11-4	■ スキャン設定	11-32
管理者モード画面の構成	11-6	〔ネットワーク〕 タブ	11-33
■ カウンター	11-7	■ TCP/IP設定>TCP/IP設定	11-33
■ ROMバージョン	11-7	■ TCP/IP設定>IPフィルタリング	11-34
〔メンテナンス〕 タブ	11-7	■ TCP/IP設定>IPsec設定	11-35
■ インポート/エクスポート	11-8	■ 時刻補正設定	11-37
■ 状態通知設定	11-9	■ E-mail設定>E-mail受信 (POP)	11-38
■ 本体登録	11-10	■ E-mail設定>E-mail送信 (SMTP)	11-39
■ サポート情報	11-11	■ IPP設定	11-40
■ 初期化>ネットワーク設定クリア	11-12	■ FTP設定>FTP送信設定	11-41
〔セキュリティ〕 タブ	11-13	■ FTP設定>FTPサーバー設定	11-42
■ 認証設定	11-13	■ SNMP設定	11-42
■ ユーザー登録	11-13	■ SMB設定>WINS設定	11-43
■ 部門登録	11-15	■ SMB設定>クライアント設定	11-44
■ SSL/TLS設定>SSL/TLS設定	11-17	■ SMB設定>プリント設定	11-45
■ SSL/TLS設定>証明書無効時処理	11-22	■ Webサービス設定>Webサービス設定	11-46
■ 自動ログアウト	11-23	■ Webサービス設定>プリント設定	11-47
■ 管理者パスワード設定	11-23	■ Webサービス設定>スキャン設定	11-48
〔ボックス〕 タブ	11-24	■ Bonjour設定	11-49
〔プリンター設定〕 タブ	11-25	■ NetWare設定>NetWare設定	11-50
■ デフォルト設定	11-25	■ NetWare設定>NetWare状態	11-51
■ ジョブスプール設定	11-27	■ AppleTalk設定	11-52
■ インターフェース設定	11-28	■ OpenAPI設定	11-53
■ ポート別出力設定	11-28	■ TCP Socket設定	11-53
		■ JSP設定	11-54

PageScope Web Connectionについて

PageScope Web Connection は、bizhub PRO 950 用イメージコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用のユーティリティー・プログラムです。このユーティリティーは、Web ブラウザを通して、bizhub PRO 950 のプリンター、スキャナー、ネットワークのステータスを表示したり、プリンターのデフォルト設定やネットワークの設定を変更することができます。



- セキュリティ強化モードが設定されている場合、本機能は使用できません。
- 本体の PSWC 設定が「使用する」になっていないと本機能は使用できません。詳細は、設定メニュー画面＞06 管理者設定＞04 ネットワーク設定＞02 コントローラー NIC 設定をごらんください。

■ システム環境

PageScope Web Connection の機能を十分に発揮するため、操作するパソコンは以下の要件を満たす必要があります。

OS	Web ブラウザ
Windows 2000, XP, Server2003	Microsoft Internet Explorer 6 (推奨) Microsoft Internet Explorer 5.x ただし、MSXML3 のインストールが必要 (*1) Netscape Navigator 7.02 以降 Mozilla Firefox 1.0 以降
Windows Vista, Server 2008	Microsoft Internet Explorer 7 以降 (推奨)
Macintosh Mac OS 9.x, X	Netscape Navigator 7.02 以降 Mozilla Firefox 1.0 以降
Linux	Netscape Navigator 7.02 以降 Mozilla Firefox 1.0 以降

(*1) Microsoft ダウンロードセンターで MSXML3.0 を取得して、PC にインストールしてください。



PageScope Web Connection の表示方法は、Flash 形式 / HTML 形式から選択できます。Flash 形式でご覧いただくには、Adobe Flash Player をインストールする必要があります。

■ Webブラウザの設定

1. JavaScript

JavaScriptは有効にしてください。設定は以下の方法で確認できます。

- Internet Explorer
インターネットオプションの〔セキュリティ〕タブの〔レベルのカスタマイズ〕で〔スクリプト〕の〔アクティブスクリプト〕を有効に設定してください。
- Netscape Navigator
編集メニューから〔設定〕－〔詳細〕－〔スクリプトとプラグイン〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください。
- FireFox
ツールメニューから〔オプション〕－〔コンテンツ〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください。

2. Cookie

Cookieは有効にしてください。設定は以下の方法で確認できます。

- Internet Explorer
インターネットオプションの〔プライバシー〕タブの〔設定〕で、プライバシー設定を〔高〕以下にしてください。
- Netscape Navigator
編集メニューから〔設定〕-〔プライバシーとセキュリティ〕-〔Cookie〕で〔プライバシー設定に基づいてCookieを有効にする〕または〔すべてのCookieを有効にする〕に設定してください。
- FireFox
ツールメニューから〔オプション〕－〔コンテンツ〕で〔JavaScriptを有効にする〕にチェックしてください

3. キャッシュ

キャッシュについて、ブラウザで以下の設定を確認してください。

- Internet Explorer
インターネットオプションの〔全般〕タブの〔設定〕で〔保存しているページの新しいバージョンの確認〕を〔ページを表示するごとに確認する〕に設定してください。
- Netscape Navigator
編集メニューから〔設定〕－〔詳細〕－〔キャッシュ〕で〔キャッシュにあるページとネットワーク上のページ比較：〕を〔ページにアクセスするたび〕に設定してください。
- FireFox
ツールメニューから〔オプション〕－〔プライバシー〕－〔キャッシュ〕でキャッシュ容量をOMBに設定してください。

4. KONICA MINOLTA PageScope Web Connection ロゴマーク

KONICA MINOLTA ロゴマークをクリックすると、弊社のホームページへジャンプします。

<http://www.konicaminolta.jp>

PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると、About 画面（バージョン情報と Copyright 表記）へジャンプします。

About 画面のPageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると以下のWebへジャンプします。

<http://www.pagescope.com>

アクセスのしかた

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザで直接アクセスすることができます。

手順

1. Webブラウザを起動します。
2. URL フィールドに、以下のようにイメージコントローラーのIP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。
http://< イメージコントローラーのIP アドレス >/
(例) イメージコントローラーのIP アドレスが192.168.0.10 の場合:
http://192.168.0.10/
3. PageScope Web Connection の画面が表示されます。
4. トップ画面のログイン項目の〔管理者〕をクリックして〔ログイン〕をクリックします。



詳しく説明します

- 表示言語を選択できます。言語項目のプルダウンメニューから任意の言語を選択してください。
- 表示方法をFlash形式/HTML形式から選択できます。ログインする前に希望する表示形式をクリックして選択してください。

詳しく説明します

このマニュアルでは、「日本語 (Japanese)」「Flash」を選択した状態を記載しています。

5. 管理者パスワードを入力します。

詳しく説明します

- 管理者モードのデータ安全性を確保するため、SSLの設定を行ってください。SSL設定は管理者モードの〔セキュリティ〕タブで行うことができます。詳しくは、p. 11-21「SSL使用モードを変更する」をごらんください。
- 管理者パスワードは本機で設定済みのパスワードを入力します。

6. 6つのタブをクリックして各設定をします。

トータルカウンタ	値
トータル	82
両面トータル	6
厚紙枚数	100
使用用紙枚数	76

コピーカウンタ	値
トータル	82
大サイズ	27

印刷カウンタ	値
トータル	0
大サイズ	0

スキャンカウンタ	値
トータル	100
大サイズ	0

7. ログアウトする場合は〔ログアウト〕をクリックします。
トップ画面にもどります。

詳しく説明します

PageScope Web Connection は、インターネットのWeb ページと同様に操作することができます。Web ページのリンクをクリックしてリンク先へジャンプすることができます。

管理者モード画面の構成

管理者モード画面は、管理者パスワードを入力することでログインできる画面です。
管理者モード画面は以下のように構成されています。



1. KONICA MINOLTA Page Scope Web Connectionロゴマーク
KONICA MINOLTA ロゴマークをクリックすると、弊社のホームページヘジャンプします。
<http://www.konicaminolta.jp>
PageScope Web Connection ロゴマークをクリックすると、About画面（バージョン情報とCopyright表記）ヘジャンプします。
About画面のPageScope Web Connectionロゴマークをクリックすると以下のWebヘジャンプします。
<http://www.pagescope.com>
2. 管理者モード
表示画面が管理者モード画面であることを表しています。
3. ステータス表示
本体のプリント部分とスキャン部分の状態をアイコンとテキストで表示しています。
4. [ログアウト]
管理者モードからログアウトするときクリックします。
5. ヘルプ
オンラインマニュアルのURLが設定されている場合、それが表示されます。詳しくは、p. 11-11をごらんください。
6. 更新
画面表示を更新するときにクリックします。
7. タブ
タブ項目のカテゴリを選択します。
 - ・メンテナンス
 - ・セキュリティー
 - ・ボックス
 - ・プリンター設定
 - ・スキャナ
 - ・ネットワーク各タブの詳細については、以降のセクションをごらんください。
8. メニュー
表示される情報または設定の項目を選択します。タブの選択により表示されるメニューは異なります。
各メニューの詳細については、以降のセクションをごらんください。
9. 情報・設定の表示
タブ、メニューで選択された項目の内容が表示されます。

〔メンテナンス〕タブ

〔メンテナンス〕タブでは、本体のメンテナンスに関する情報の表示や設定を行います。

■ カウンター

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔カウンター〕をクリックすると表示されます。

メンテナンス	
カウンター	トータルカウンター
ROMバージョン	トータル 82
インポート/エクスポート	両面トータル 6
状態通知設定	庫裏枚数 100
本体登録	使用用紙枚数 76
サポート情報	コピーカウンター
初期化	トータル 82
	大サイズ 27
	印刷カウンター
	トータル 0
	大サイズ 0
	スキャンカウンター
	トータル 100
	大サイズ 0

- ・トータルカウンター
全カウント、両面全カウント、原稿枚数、使用用紙枚数が表示されます。
- ・コピーカウンター
コピー全カウント、大サイズのコピーカウントが表示されます。
- ・印刷カウンター
プリント全カウント、大サイズのプリントカウントが表示されます。
- ・スキャンカウンター
スキャン読取り全カウント、大サイズのスキャン読取りカウントが表示されます。

■ ROMバージョン

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔ROMバージョン〕をクリックすると表示されます。

メンテナンス	
ROMバージョン	ROMバージョン
インポート/エクスポート	Image Control I1 A0G60Y0-0011-F00-0300
状態通知設定	Image Control I2 A0G60Y0-0012-F00-0200
本体登録	Image Control I3 A0G60Y0-0013-F00-0300
サポート情報	Image Control I4 A0G60Y0-0014-F00-0000
初期化	Image Control I5 A0G60Y0-0015-F00-0000
	Printer Control C1 A0G60Y0-00C1-F00-0000
	Printer Control C2 A0G60Y0-00C2-F00-0000
	ADF F A0H30Y1-00F1-F00-01
	Multi Folder H1 A0H00Y0-00H1-G00-10
	H-Fold/Stapler B1 A0GY0Y0-00H1-F00-3100
	Stapler H1
	Stacker S1-1
	Stacker S1-2
	Perfect Binder J1
	Relay Unit R1 A0GE0Y0-00R1-F00-0100
	Stream Punch GBC0000-00GP-AFD-0318
	IP Control A0G60Y1-00P1-F00-0000

本体のイメージコントローラー、プリンターコントローラー、ADF、フィニッシャー、パンチキット、Z折りユニット、ポストインサーターのROMバージョンが表示されます。

■ インポート/エクスポート

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔インポート/エクスポート〕をクリックすると表示されます。



ここでは、PCにある設定ファイルを本体に転送（インポート）したり、本体に設定されている設定ファイルをPCに転送（エクスポート）します。

インポート

- (1) デバイス設定またはユーザー登録情報の項目からPCから転送するファイルを1つ選択し、〔OK〕をクリックします。
- (2) 〔インポート〕をクリックします。
- (3) 〔参照〕をクリックし、PC内のファイルを選択します。
- (4) 〔OK〕をクリックします。PCから設定ファイルが本体に転送されます。

エクスポート

- (1) 表示されている3つの項目から本体からPCに転送するファイルを1つ選択し、〔OK〕をクリックします。
- (2) 〔エクスポート〕をクリックします。
- (3) 〔OK〕をクリックします。ファイルのダウンロード画面が表示されます。
- (4) 〔ダウンロード〕をクリックします。
- (5) 〔保存〕をクリックし、保存場所を指定します。ダウンロード完了の画面が表示されます。
- (6) 〔閉じる〕をクリックします。本体からdatファイルが転送されます。
- (7) 〔戻る〕を押します。Import/Export画面が表示されます。

■ 状態通知設定

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔状態通知設定〕をクリックすると表示されます。



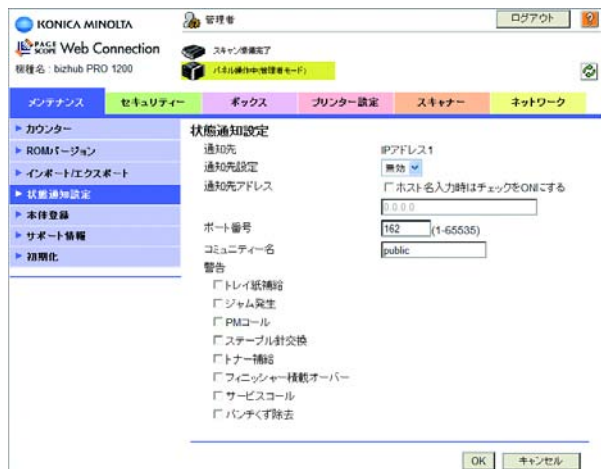
本体およびオプションに警告が発生したときに、設定した通知先に通知を行うための設定を行います。

チェックボックスにチェックを入れた警告が設定した通知先に通知されます。

編集

通知先を設定し、通知内容を選択します。

- (1) 任意の通知先項目の〔編集〕をクリックします。
- (2) 通知先および通知内容を設定します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。

削除

設定した通知先およびその通知内容を削除します。

- (1) 削除する通知先項目の〔削除〕をクリックします。
- (2) 削除確認画面のOK〕をクリックします。



- (3) 〔OK〕をクリックします。

■ 本体登録

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔本体登録〕をクリックすると表示されます。



本体の装置名、設置場所、管理者の情報を入力します。

この情報は、パブリックユーザーに開示する〔情報表示〕タブのメニュー〔装置情報〕＞〔▼構成要素〕に表示されます。

- ・装置名
本体の名称を入力します。半角英数字記号で255字まで入力できます。
- ・設置場所
本体の設置場所を入力します。半角英数字記号で255字まで入力できます。
- ・管理者名
本体の管理者名を入力します。半角英数字記号で20字まで入力できます。
- ・内線番号
本体管理者の内線番号を入力します。半角英数字記号で8字まで入力できます。
- ・管理者アドレス
本体管理者のメールアドレスを入力します。半角英数字記号で250字まで入力できます。
- ・〔OK〕
設定が完了します。
- ・〔キャンセル〕
入力した情報が設定されず削除されます。

■ サポート情報

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔サポート情報〕をクリックすると表示されます。

本体のサポート情報を入力します。

この情報は、パブリックユーザーに開示する〔情報表示〕タブのメニュー〔装置情報〕＞〔サポート情報〕に表示されます。

- **問い合わせ先**
本体に関する問い合わせ先を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。
- **問い合わせ情報**
サポート先のURL、電話番号などを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **製品情報ホームページ**
製品情報のWebサイトのURLを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **製品元ホームページ**
製品元(会社)のホームページのURLが表示されます。(変更可能) 半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **消耗品連絡先**
消耗品の発注先を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- **オンラインマニュアルURL**
オンラインマニュアルのURLを入力します。英数字記号で、最大127文字まで入力できます。以下の2つの方法があります。
 1. インターネットを使って弊社ホームページのマニュアルを参照する場合
<http://www.pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/pro1200/help.html> または、<http://www.pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/pro1051/help.html> を入力して設定してください。
 2. LANを使ってマニュアルを参照する場合
[http://\(PCのIPアドレス\)/pswc_help/wc_help.html](http://(PCのIPアドレス)/pswc_help/wc_help.html) を入力して設定してください。
 管理者が、予め、LAN内のサーバー上で、オンラインマニュアルを公開できるよう設定しておく必要があります。
 PCはMicrosoftのIISや他のWebサーバーが稼働しているもので、"/pswc_help/"フォルダーをアクセスできるようにWebサーバーの設定をしてください。なお、Webサーバーへは、CDインストーラでインストールした"pswc_help"フォルダーごとコピーしてください。
- **〔OK〕**
設定が完了します。
- **〔キャンセル〕**
入力した情報が設定されず削除されます。

■ 初期化＞ネットワーク設定クリア

この画面は〔メンテナンス〕タブのメニュー〔初期化〕をクリックすると表示されます。



ネットワーク設定を工場出荷時の初期値にもどします。

〔クリア〕をクリックし、〔OK〕をクリックします。

主電源スイッチを入れなおしてください。

〔クリア〕をクリックし、〔キャンセル〕をクリックすると、初期値にはもどりません。

〔セキュリティ〕タブ

〔セキュリティ〕タブでは、本体のセキュリティに関する情報の表示や設定を行います。

■ 認証設定

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔認証設定〕をクリックすると表示されます。

ユーザー認証 / 部門管理に関する設定を行います。

- **ユーザー認証**
本体にユーザー認証を行うかどうかを選択します。〔本体装置認証〕を選択するとユーザーは、本体を使用するときユーザー認証が必要になります。
- **部門管理**
本体に部門認証を行うかどうかを選択します。〔管理する〕を選択するとユーザーは、本体を使用するとき部門認証が必要になります。
- **部門管理認証方式**
部門管理をする場合、認証方式を部門名+パスワードかパスワードのみかを選択します。
- **ユーザー認証 / 部門認証の連動**
ユーザー認証と部門認証を連動させるかどうかを選択します。
- **ユーザーカウンター割当て数**
ユーザー認証の数を設定します。1000ある認証の数をユーザー認証と部門認証で振り分けるため、ここで設定した残りの数が部門認証の数になります。
- **〔OK〕**
設定が完了します。
- **〔キャンセル〕**
入力した情報が設定されず削除されます。

■ ユーザー登録

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔ユーザー登録〕をクリックすると表示されます。

〔認証設定〕でユーザー認証の〔本体装置認証〕を選択しなければ表示されません。

ユーザー認証のためのユーザー登録および削除を行います。

ユーザー登録

- (1) 新規登録する場合は〔新規登録〕、登録済みのデータを編集する場合はユーザー名項目の〔編集〕をクリックします。「番号から検索」のプルダウンメニューで範囲を選択し、〔Go〕をクリックすると、選択範囲の登録リストが表示されます。
- (2) 登録No.を入力します。0 - 1000の範囲で入力できます。編集の場合は入力できません。

- (3) ユーザー名を入力します。半角英数字記号で64字（全角32字）まで入力できます。
- (4) ユーザーパスワードを入力します。半角英数字記号で64字まで入力できます。ユーザーパスワードを再入力します。
- (5) ユーザーに所属部門を設定します。〔部門一覧より選択〕をクリックします。
- (6) 部門一覧から任意の部門名のラジオボタンをクリックし、〔OK〕を押します。

選択	No.	部門名
<input type="radio"/>	1	burmon1
<input type="radio"/>	2	burmon2

- (7) 登録ユーザーが使用できる機能を選択します。
- (8) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (9) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

ユーザー削除

- (1) ユーザー名項目の〔削除〕をクリックします。
- (2) ユーザー削除画面の〔OK〕をクリックします。削除しない場合は〔キャンセル〕をクリックします。

- (3) 〔OK〕をクリックします。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ 部門登録

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔部門登録〕をクリックすると表示されます。〔認証設定〕で部門管理の〔管理する〕を選択しなければ表示されません。

部門管理のための部門登録および削除を行います。

部門登録

- (1) 新規登録する場合は〔新規登録〕、登録済みのデータを編集する場合は、部門名項目の〔編集〕をクリックします。「番号から検索」のプルダウンメニューで範囲を選択し、〔Go〕をクリックすると、選択範囲の登録リストが表示されます。
- (2) 登録No.を入力します。0－1000の範囲で入力できます。編集の場合は入力できません。

- (3) 部門名を入力します。半角英数字記号で8字まで入力できます。〔認証設定〕で部門認証方式を〔パスワード〕のみを選択した場合は入力できません。
- (4) パスワードを入力します。半角英数字記号で8字まで入力できます。パスワードを再入力します。
- (5) 登録部門のトータル枚数制限をする場合は、プルダウンメニューで〔有効〕を選択し、1－99999999の範囲で枚数を入力します。
- (6) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (7) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

部門削除

- (1) 部門名項目の〔削除〕をクリックします。
- (2) 部門名削除画面の〔OK〕をクリックします。削除しない場合は〔キャンセル〕をクリックします。

- (3) 〔OK〕をクリックします。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ SSL/TLS 設定 > SSL/TLS 設定

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔SSL/TLS 設定〕をクリックすると表示されます。

SSL 証明書がインストールされていない場合



SSL 証明書がインストールされている場合

SSL/TLS の設定情報が表示されます。



〔設定〕をクリックして SSL/TLS を設定します。(以降のページをご覧ください)

証明書を自己で作成する

SSL 証明書を自己作成して、SSL の設定を行います。

- (1) SSL/TLS 設定の「証明書を自己で作成する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 組織名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。

- (3) 部門名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。
- (4) 市区町村名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (5) 都道府県名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (6) 国別記号を入力します。半角英数字記号で2字まで入力できます。
- (7) 管理者アドレスを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (8) 有効開始日は入力変更できません。
- (9) 有効期間を入力します。1－3650の範囲で入力します。
- (10) 暗号強度をプルダウンメニューから選択します。
- (11) SSL/TLS使用モードをプルダウンメニューから選択します。
- (12)〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (13) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

証明書の発行要求をする

認証局へ送る証明発行の要求データを作成します。

- (1) SSL/TLS 設定の「証明書の発行要求をする」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 組織名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。

- (3) 部門名を入力します。半角英数字記号で63字まで入力できます。
- (4) 市区町村名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (5) 都道府県名を入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (6) 国別記号を入力します。半角英数字記号で2字まで入力できます。
- (7) 管理者アドレスを入力します。半角英数字記号で127字まで入力できます。
- (8) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、設定されず削除されます。
- (9) 設定完了画面の[OK] をクリックします。証明書要求データ画面が表示されます。
- (10) 証明書要求データ画面の[保存] をクリックすると、PCにPEM形式のテキストデータで証明書のデータが保存されます。

- (11) [OK] をクリックすると、SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

証明書をインストールする

外部の認証局で発行された証明書をインストールします。

- (1) SSL/TLS設定の「証明書をインストールする」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 外部の認証局から送付されてきたPEMテキスト形式のCSR(Certificate Signing Request)を「証明書をインストールする」の項目に貼り付けてインストールします。
証明書インストール画面の〔OK〕をクリックします。



暗号強度 / SSL使用モード選択画面が表示されます。

- (3) 暗号強度をプルダウンメニューから選択します。



- (4) SSL/TLS使用モードをプルダウンメニューから選択します。
- (5) [インストール] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、設定されず削除されます。
- (6) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

暗号の強度を変更する

インストール済みのSSL証明書の強度を変更します。

- (1) SSL/TLS 設定の「暗号の強度を変更する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 暗号強度をプルダウンメニューから選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

SSL使用モードを変更する

インストール済みのSSL証明書の使用モードを変更します。

- (1) SSL/TLSのSSL証明書の「SSL使用モードを変更する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) SSL/TLS使用モードをプルダウンメニューから選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS設定情報画面が表示されます。

証明書を破棄する

インストールされているSSL 証明書を破棄します。

- (1) SSL/TLS 設定の「証明書を破棄する」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。
- (2) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、破棄されません。



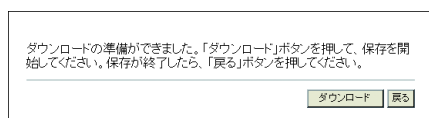
本体電源入れ直しの指示画面が表示されます。

- (3) 本体の電源を入れ直して〔OK〕をクリックします。SSL/TLS 設定情報画面にもどります。

証明書をダウンロードする

インストールされているSSL 証明書をダウンロードします。

- (1) SSL/TLS 設定の「証明書をダウンロードする」のラジオボタンをクリックして〔OK〕をクリックします。ダウンロードの準備ができると、準備完了画面が表示されます。
- (2) 〔ダウンロード〕をクリックします。ダウンロードしない場合は〔戻る〕をクリックします。



■ SSL/TLS 設定＞証明書無効時処理

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔証明書無効時処理〕をクリックすると表示されます。



設定されている証明書が無効の場合、そのときのジョブをどのようにするかを選択します。

- (1) 「証明書無効時処理」のプルダウンメニューから〔継続〕または〔ジョブを削除〕を選択します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると設定されません。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。SSL/TLS 設定情報画面が表示されます。

■自動ログアウト

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔自動ログアウト〕をクリックすると表示されます。

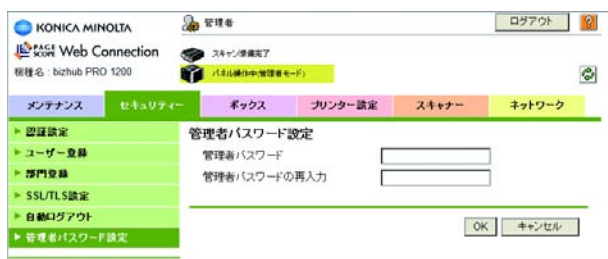


パブリックモード、管理者モード、それぞれのログアウト時間を設定します。

- (1) 「管理者モードログアウト時間」のプルダウンメニューから任意のログアウト時間を選択します。
(1分/2分/3分/4分/5分/6分/7分/8分/9分/10分/20分/30分/40分/50分/60分)
- (2) 「ユーザーモードログアウト時間」のプルダウンメニューから任意のログアウト時間を選択します。
(1分/2分/3分/4分/5分/6分/7分/8分/9分/10分/20分/30分/40分/50分/60分)
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■管理者パスワード設定

この画面は〔セキュリティ〕タブのメニュー〔管理者パスワード設定〕をクリックすると表示されます。



管理者パスワードを設定します。

- (1) 「管理者パスワード」に新しいパスワードを入力します。半角英数字記号で8字入力します。すでにパスワードが設定されていても、入力欄は空欄になっています。
- (2) 「管理者パスワードの再入力」に新しいパスワードを再入力します。
- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

〔ボックス〕 タブ

〔ボックス〕 タブでは、HDDのボックス保存に関する設定をします。管理者モード画面の〔ボックス〕 タブの設定内容は、パブリックユーザーモード画面の〔ボックス〕 タブをクリックして行う設定と同じです。

ユーザーズガイド プリンター編をごらんください。

パブリックユーザーモード画面

KONICA MINOLTA
iAS Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

パブリック
ログアウト

スキャン準備完了
印刷準備完了

情報表示 ジョブ確認 **ボックス** ダイレクトプリント

▶ ボックス操作

フォルダログイン
フォルダ名
フォルダパスワード
OK

フォルダー一覧
新規作成 ページ(50件ずつ表示) 1 Go

フォルダ名	フォルダタイプ
Public	共有
test1	個人
test2	個人
test3	個人
test4	個人

管理者モード画面

KONICA MINOLTA
iAS Web Connection
機種名: bizhub PRO 950

管理者
ログアウト

スキャン準備完了
印刷準備完了
パブリック操作(管理者モード)

メンテナンス セキュリティ **ボックス** プリンター設定 スキャナー ネットワーク

▶ ボックス操作

フォルダログイン
フォルダ名
フォルダパスワード
OK

フォルダー一覧
新規作成 ページ(50件ずつ表示) 1 Go

フォルダ名	フォルダタイプ
Public	共有
test1	個人
test2	個人
test3	個人
test4	個人

〔プリンター設定〕タブ

〔プリンター設定〕タブでは、本機イメージコントローラーのプリンターに関する設定を行います。

■ デフォルト設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔デフォルト設定〕をクリックすると表示されます。



下記の4つの設定を1セットにして設定します。6セットまで設定ができ、「ポート別出力設定」で、各ポートに対し6セットの中から1つを選択します。なお、プリント時にドライバーからの指示もなく「ポート別出力設定」で設定されているポート以外のポートが使用される場合、「デフォルト設定」ラジオボタンで選択した設定内容がプリントに反映されます。

- 基本設定
プリント出力の基本的な設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞01 基本設定と同じ内容です。
- PCL設定
PCLプリントに関する設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞02 PCL設定と同じ内容です。
- PS設定
PostScriptプリントに関する設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞03 PS設定と同じ内容です。
- TIFF設定
TIFFプリントに関する設定を行います。設定内容は第4章コントローラー設定＞02 プリンター設定＞04 TIFF設定と同じ内容です。

基本設定

- (1) 基本設定の「編集」をクリックします。
- (2) それぞれの項目にプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力が必要な欄はカーソルをおいて入力します。

KONICA MINOLTA

PAGE Web Connection

機種名: bizhub PRO 1200

管理者

ヘルプ/マニュアル

バスと接続中(管理モード)

ログアウト

メンテナンス
セキュリティ
ボックス
プリンター設定
スキャナー
ネットワーク

デフォルト設定
 ジョブステアール設定
 インターフェース設定
 ポート割出力設定

プリンター設定

設定番号 1

PDL設定 自動 ▼

紙張サイズ 自動 ▼

紙張レイアウト 自動 ▼

両面印刷 しない ▼

向き方向 左向き ▼

ステアール しない ▼

パンチ しない ▼

紙張リ断続 しない ▼

仕舞す しない ▼

出力設定 ファイスダウン ▼

排紙順 正順 ▼

印等回数 1 (1-9999)

ソート する ▼

用紙サイズ 8 1/2x11 ▼

画像の向き ギートレート ▼

解像度 1200x1200dpi ▼

バーナオプション しない ▼

バーナベータトレイ 自動 ▼

用紙サイズ交換 しない ▼

美的リビート しない ▼

小冊子 しない ▼

集約とじ しない ▼

印字位置 見場合合わせ ▼

ふちなし印刷 OFF ▼

上積み許可 しない ▼

くるみ製本 モード OFF ▼

OK
キャンセル

- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

PCL設定

- (1) PCL 設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) それぞれの項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力が必要な欄はカーソルをおいて入力します。

- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

PS 設定

- (1) PS 設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) 「PSエラー印刷」のプルダウンメニューから〔する〕、〔しない〕を選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

TIFF 設定

- (1) TIFF 設定の〔編集〕をクリックします。
- (2) それぞれの項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。



- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ ジョブスプール設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔ジョブスプール設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞04 スプール設定と同じ内容です。



プリントジョブのスプール機能を設定します。

- (1) 「ジョブスプール設定」のプルダウンメニューから〔自動〕、〔する〕、〔しない〕のいずれか1つを選択します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ インターフェース設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔インターフェース設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞05 I/F タイムアウトと同じ内容です。

ネットワークタイムアウト、およびUSBタイムアウトの時間を設定します。

- (1) 「ネットワークタイムアウト」の入力欄にタイムアウト時間を入力します。設定範囲は10－3600（秒）です。
- (2) 「USBタイムアウト」の入力欄にタイムアウト時間を入力します。設定範囲は10－1000（秒）です。
- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ ポート別出力設定

この画面は〔プリンター設定〕タブのメニュー〔ポート別出力設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞03 ポート別出力設定と同じ内容です。

No.	RAWポート番号	有効無効	設定番号
1	9100	有効	1
2	9112	有効	1
3	9113	有効	1
4	9114	有効	1
5	9115	有効	1
6	9116	有効	1

6つのRAWポート番号に〔デフォルト設定〕で設定したプリンター設定を割り当てます。

- (1) 「設定番号」のプルダウンメニューから任意のデフォルト設定番号を選択します。
- (2) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

〔スキャナ〕タブ

〔スキャナ〕タブでは、本機のスキャンに関する設定を行います。

■ E-mail 件名

この画面は〔スキャナ〕タブのメニュー〔E-mail 件名〕をクリックすると表示されます。設定内容は第8章 04ネットワーク設定＞02コントローラNIC設定＞09 E-mail 設定＞＜E-mail 件名登録＞と同じ内容です。

No.	E-mail 件名	編集	削除
1		編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除
5		編集	削除

E-mailの件名を編集・削除します。

編集

- (1) 編集するE-mail件名項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔編集〕をクリックします。
- (3) 「E-mail 件名」の入力欄に新しい件名を入力します。半角英数字記号で64字（全角32字）まで入力できます。

登録No.	E-mail 件名
1	

- (4) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (5) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

削除

- (1) 削除するE-mail件名項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔削除〕をクリックします。
- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。



KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

PAS Web Connection

機種名: bizhub PRO 1200

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

➤ E-mail 件名

➤ E-mail 本文

➤ スキャン設定

E-mail 件名削除

登録No. 1

E-mail 件名 1

再開してよろしいですか?

OK キャンセル

- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ E-mail 本文

この画面は〔スキャナ〕タブのメニュー〔E-mail 本文〕をクリックすると表示されます。設定内容は第8章 04ネットワーク設定＞02コントローラーNIC設定＞09 E-mail 設定＞＜E-mail 本文登録＞と同じ内容です。



KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

PAS Web Connection

機種名: bizhub PRO 1200

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

➤ E-mail 件名

➤ E-mail 本文

➤ スキャン設定

E-mail 本文一覧

No.	E-mail 本文	編集	削除
1	用紙情報してください	編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除
5		編集	削除

OK キャンセル

E-mailの本文を編集・削除します。

編集

- (1) 編集するE-mail本文項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔編集〕をクリックします。
- (3) 「E-mail本文」の入力欄に新しい件名を入力します。半角英数字記号で256字（全角128字）まで入力できます。

The screenshot shows the 'E-mail本文登録' (E-mail text registration) screen. On the left, a sidebar lists 'E-mail件名' (E-mail subject), 'E-mail本文' (E-mail text), and 'スキャン設定' (Scan settings). The 'E-mail本文' item is selected. The main area shows a form with '登録No.' (Registration No.) set to '1' and an empty 'E-mail本文' (E-mail text) input field. At the bottom right are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- (4) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (5) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

削除

- (1) 削除するE-mail本文項目のラジオボタンをクリックします。
- (2) 選択した項目の〔削除〕をクリックします。
- (3) 〔OK〕をクリックします。〔キャンセル〕をクリックすると、本作業の内容は設定されません。

The screenshot shows the 'E-mail本文削除' (E-mail text deletion) screen. The sidebar is the same as in the previous screenshot. The main area shows a confirmation message: '削除してよろしいですか?' (Are you sure you want to delete?). Below the message are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ スキャン設定

この画面は〔スキャナ〕タブのメニュー〔スキャン設定〕をクリックすると表示されます。設定内容は第4章コントローラー設定＞07 スキャン設定と同じ内容です。



スキャンデータが自動的に削除されるまでの時間とファイル名を設定します。

- (1) 「ボックス内ドキュメント削除時間」のプルダウンメニューからボックスに保存されたデータが自動的に削除されるまでの時間を選択します。
- (2) 「ファイル名」の入力欄にファイル名を入力します。半角英数字記号で11字まで入力できます。
(「"」「¥」「/」「*」「|」「:」「<」「>」「?」「.」「,」は入力不可)
実際のデータには、このファイル名に日付、時刻、拡張子、分割番号が付加されます。
- (3) [OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、本作業の内容は設定されません。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

〔ネットワーク〕 タブ

〔ネットワーク〕タブでは本機イメージコントローラ NICの設定を行います。

■ TCP/IP 設定 > TCP/IP 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔TCP/IP設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA

TASAROCK Web Connection
機種名 bizhub PRO 1200

管理者へ
ログイン
システム準備完了
（バッチ実行中(管理者モード)）

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

TCP/IP設定

設定変更時は本体の主電源を入れなおしてください。

TCP/IP設定
ネットワーク選定
IP固定方法

有効
自動設定
直接設定

DHCP*
BootP*
ARP/Ping*
AutoIP*

IPアドレス
サブネットマスク
デフォルトゲートウェイ

255.255.255.255
0.0.0.0
0.0.0.0

IPv6設定
IPv6自動設定*

有効
有効

IPv6リンクローカルアドレス
IPv6グローバルアドレス
IPv6グローバルアドレスプレフィックスレンジ

0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000
0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000

IPv6ゲートウェイアドレス

0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000

RAWポート番号

ポート1
ポート2
ポート3
ポート4
ポート5
ポート6

[100] (1-65535)
[5112] (1-65535)
[5113] (1-65535)
[5114] (1-65535)
[5115] (1-65535)
[5116] (1-65535)

Dynamic DNS設定
ホスト名

無効
KMBT2943IC

TCP/IPの設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルを置いて入力します。
各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-6～p. 8-8およびp. 8-14をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず削除されます。
- (3) *印がついた項目の設定を変更したときは、本体の電源を入れ直します。
- (4) IPアドレス、IP確定方法を変更した場合は、下記の画面が表示されます。

IPアドレスが変更されました。
新しいIPアドレスにアクセスしなおしてください。

- (5) 新たに設定したIPアドレスにアクセスします。

■ TCP/IP 設定 > IP フィルタリング

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔IP フィルタリング〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 1200

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

▼ TCP/IP 設定
 ▶ TCP/IP 設定
 ▶ IP フィルタリング
 ▶ IPsec 設定
 ▶ 時刻補正設定
 ▶ E-mail 設定
 ▶ IPP 設定
 ▶ FTP 設定
 ▶ SNMP 設定
 ▶ SMB 設定
 ▶ Web サービス 設定
 ▶ Bonjour 設定
 ▶ NetWare 設定
 ▶ AppleTalk 設定
 ▶ OpenAPI 設定
 ▶ TCP Socket 設定
 ▶ JSP 設定

IP フィルタリング

許可設定 無効

範囲1	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0	-	0.0.0.0

拒否設定 無効

範囲1	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲2	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲3	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲4	0.0.0.0	-	0.0.0.0
範囲5	0.0.0.0	-	0.0.0.0

OK キャンセル

TCP/IP の IP フィルタリング の設定を行います。

- (1) アクセス許可をする場合は、「許可設定」のプルダウンメニューから〔有効〕を選択します。
- (2) 「範囲」の入力欄に許可するアドレスの範囲を入力します。範囲を5つまで設定できます。
1つのIPアドレスのみ許可する方法は3つあります。
(例) 192.168.11.22 を1つだけ許可する場合、
192.168.11.22 — 0.0.0.0
0.0.0.0 — 192.168.11.22
192.168.11.22 — 192.168.11.22
- (3) アクセス拒否する場合は、「拒否設定」のプルダウンメニューから〔有効〕を選択します。
- (4) 「範囲」の入力欄に拒否するアドレスの範囲を入力します。範囲を5つまで設定できます。
1つのIPアドレスのみ拒否する方法は、許可する方法と同じです。
- (5) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (6) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ TCP/IP 設定 > IPsec 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔IPsec 設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA 管理者 ログアウト

Web Connection

機種名: bizhub PRO 1200

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

▼ TCP/IP 設定

- ▶ TCP/IP 設定
- ▶ IP フィルタリング
- ▶ IPsec 設定
- ▶ 時刻修正設定
- ▶ E-mail 設定
- ▶ IPP 設定
- ▶ FTP 設定
- ▶ SNMP 設定
- ▶ SMB 設定
- ▶ Web サービス 設定
- ▶ Bonjour 設定
- ▶ NetWare 設定
- ▶ AppleTalk 設定
- ▶ OpenAPI 設定
- ▶ TCP Socket 設定
- ▶ JSP 設定

IPsec 設定

IPsec 設定: 禁止

IKE 設定

鍵有効時間: 28800 秒 (80-604800)

Diffie-Hellman グループ: グループ2

No.	設定済み	編集	削除
1		編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除

IPsec SA 設定

確立後の破棄時間: 3600 秒 (120-604800)

No.	設定済み	編集	削除
1		編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除
5		編集	削除
6		編集	削除
7		編集	削除
8		編集	削除

通信相手先登録

No.	設定済み	編集	削除
1		編集	削除
2		編集	削除
3		編集	削除
4		編集	削除
5		編集	削除
6		編集	削除

TCP/IP の IPsec 設定を行います。

IPsec 設定

プルダウンメニューから〔禁止〕または〔許可〕を選択します。

IKE 設定

- (1) 「鍵有効時間」の入力欄に時間を入力します。80－604800 (秒)の範囲で入力します。
- (2) 「Diffie-Hellman グループ」のプルダウンメニューから〔グループ1〕または〔グループ2〕を選択します。
- (3) 暗号化アルゴリズムと認証アルゴリズムの設定を編集する場合は、項目の〔編集〕をクリックします。設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」(アスタリスク)が表示されています。
- (4) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定の p. 8-7 をご覧ください。

IKE 設定

No. 1

暗号化アルゴリズム: 無効

認証アルゴリズム: 無効

OK キャンセル

- (5) [OK] をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (6) 削除する場合は、項目の〔削除〕をクリックします。

- (7) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると削除はキャンセルされます。

IKE削除	
No.	1
暗号化アルゴリズム	無効
認証アルゴリズム	無効
再登録してよろしいですか?	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

SA 設定

- (1) 「確立後の破棄時間」の入力欄に時間を入力します。120 - 604800 (秒)の範囲で入力します。
 (2) セキュリティープロトコル、ESP 暗号化アルゴリズム、ESP 認証アルゴリズム、AH 認証アルゴリズムの編集をする場合は、項目の〔編集〕をクリックします。設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」(アスタリスク)が表示されています。
 (3) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルを置いて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-8をごらんください。



4つの項目の選択の組み合わせによっては設定できないことがあります。

SA設定	
No.	1
セキュリティプロトコル	無効
ESP暗号化アルゴリズム	無効
ESP認証アルゴリズム	無効
AH認証アルゴリズム	無効
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- (4) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
 (5) 削除する場合は、項目の〔削除〕をクリックします。
 (6) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると削除はキャンセルされます。

SA削除	
No.	1
セキュリティプロトコル	無効
ESP暗号化アルゴリズム	無効
ESP認証アルゴリズム	無効
AH認証アルゴリズム	無効
再登録してよろしいですか?	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

通信相手先登録

- (1) Perfect Forward Security、IPアドレス、Pre-Shared Key文字列、カプセル化モードを編集する場合は、項目の〔編集〕をクリックします。
設定されている場合は、「設定済み」欄に「*」(アスタリスク)が表示されています。
 (2) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-8をごらんください。

(3) 入力欄に任意の名前や情報を入力します。

(4) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。

(5) 削除する場合は、項目の〔削除〕をクリックします。

(6) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると削除はキャンセルされます。

(7) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。

(8) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ 時刻補正設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔時刻補正設定〕をクリックすると表示されます。

NTPサーバーの設定を行います。

(1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-16をごらんください。

(2) 〔OK〕をクリックします。

〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。

(3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ E-mail 設定 > E-mail 受信 (POP)

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔E-mail 受信 (POP)〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA Web Connection
機種名: bizhub PRO 1200

管理者 ログアウト

スキャン準備完了
バス接続中(管理モード)

メンテナンス セキュリティー ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

TCP/IP設定
 時刻補正設定
 E-mail設定
 E-mail受信(POP)
 E-mail送信(SMTP)
 IPP設定
 FTP設定
 SNMP設定
 SMB設定
 Webサービス設定
 Bonjour設定
 NetWare設定
 AppleTalk設定
 OpenAPI設定
 TCP Socket設定
 JSP設定

E-mail受信(POP)

POPサーバーアドレス ☐ ホスト名入力時はチェックをONにする

ログイン名

☐ パスワードを変更する
パスワード

APOP認証 無効

接続タイムアウト 60 秒

ポート番号 110 (1-65535)

☐ SSL/TLS使用

ポート番号(SSL/TLS) 995 (1-65535)

OK キャンセル

POPによるメール受信に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-12をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の[OK] をクリックします。

■ E-mail 設定 > E-mail 送信 (SMTP)

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔E-mail 送信 (SMTP)〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'E-mail 送信 (SMTP)' configuration window. On the left is a sidebar with a tree view containing categories like TCP/IP, E-mail, and various protocols. The 'E-mail 送信 (SMTP)' option is selected. The main area contains the following settings:

- E-mail 送信設定**: Enabled (有効)
- SMTP サーバアドレス**: 0.0.0.0
- ポート番号**: 25 (1-65535)
- SSL/TLS 使用**: Disabled (無効)
- ポート番号 (SSL/TLS)**: 465 (1-65535)
- 接続タイムアウト**: 60 秒
- 最大メールサイズ**: 無制限
- サーバー容量**: Mbyte (1-100)
- 認証設定**:
 - POP before SMTP: Disabled (無効)
 - POP before SMTP 時間: 秒 (0-60)
 - SMTP 認証: Enabled (有効)
 - ユーザーID: [Empty field]
 - パスワードを変更する: [Empty field]
 - パスワード: [Empty field]
 - realm: [Empty field]
 - バイナリー分割: Disabled (無効)
 - 分割メールサイズ: kbyte (100-15000, ステップ100)

At the bottom right are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

SMTP によるメール送信に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定の p. 8-12 をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ IPP 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔IPP 設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'IPP設定' (IPP Settings) page in the Konica Minolta Web Connection interface. The left sidebar lists various settings categories, with 'ネットワーク' (Network) selected. The main content area is titled 'IPP設定' and contains the following fields and options:

- 有効** (Enabled): A dropdown menu set to '有効'.
- 有効** (Enabled): A dropdown menu set to '有効'.
- プリンター名** (Printer Name): A text input field.
- プリンター設置場所** (Printer Location): A text input field.
- プリンター情報** (Printer Information): A text input field.
- プリンターURI** (Printer URI): A text input field with the value 'http://0.0.0.0/ipp'.
- オペレーションサポート情報** (Operation Support Information): A text input field with the value 'http://0.0.0.0/ipp'.
- 印刷ジョブ** (Print Job): A checkbox checked with a green mark.
- 有効ジョブ** (Valid Job): A checkbox checked with a green mark.
- キャンセルジョブ** (Cancel Job): A checkbox checked with a green mark.
- ジョブ属性取得** (Job Attribute Retrieval): A checkbox checked with a green mark.
- ジョブ取得** (Job Retrieval): A checkbox checked with a green mark.
- プリンター属性取得** (Printer Attribute Retrieval): A checkbox checked with a green mark.
- IPP認証設定** (IPP Authentication Settings): A checkbox checked with a green mark.
- 認証方式** (Authentication Method): A dropdown menu set to 'requesting-user-name'.
- ユーザー名** (Username): A text input field with the value 'user'.
- パスワードを変更する** (Change Password): A checkbox checked with a green mark.
- パスワード** (Password): A text input field.
- realm** (Realm): A text input field with the value 'ipp'.

At the bottom right, there are two buttons: **OK** and **キャンセル** (Cancel).

IPPに関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-9をごらんください。
- (2) **〔OK〕** をクリックします。
〔キャンセル〕 をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の **〔OK〕** をクリックします。

■ FTP設定＞FTP送信設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔FTP送信設定〕をクリックすると表示されます。

KONICA MINOLTA i254 Web Connection
機種名: bizhub PRO 1200

メンテナンス セキュリティ ボックス プリンター設定 スキャナー ネットワーク

FTP送信設定

FTP送信設定: 有効
 プロキシサーバーアドレス: 0.0.0.0
 プロキシサーバーポート番号: 21 (1-65535)
 PASVモード: 無効
 接続タイムアウト: 60 秒 (5-300)
 ポート番号: 21 (1-65535)

OK キャンセル

FTP送信に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-9をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ FTP設定>FTPサーバー設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔FTPサーバー設定〕をクリックすると表示されます。



FTPサーバーの設定を有効にするかしないかの選択を行います。

- (1) 「FTPサーバー設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 「OK」をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の「OK」をクリックします。

■ SNMP設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔SNMP設定〕をクリックすると表示されます。



SNMPに関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-10をごらんください。
- (2) 「OK」をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の「OK」をクリックします。

■ SMB設定＞WINS設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔WINS設定〕をクリックすると表示されます。



WINSに関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-11をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。

■ SMB設定>クライアント設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔クライアント設定〕をクリックすると表示されます。



SMBクライアント機能に関する設定を行います。

- (1) 「SMB送信設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 「NTLM設定」のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。
- (3) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ SMB設定>プリント設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔プリント設定〕をクリックすると表示されます。



SMBプリント機能に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-11をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (4) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Web サービス設定 > Web サービス設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔Web サービス設定〕をクリックすると表示されます。



Web サービスの共通設定に関する設定を行います。

- (1) 「Friendly Name*」の入力欄に任意の名前を入力します。半角英数字記号を62字まで入力できます。
- (2) 「SSL 設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。(SSL 証明書がインストールされていない場合は、この項目は表示されません。)
- (3) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (5) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Webサービス設定>プリント設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔プリント設定〕をクリックすると表示されます。



Webサービスのプリント機能に関する設定を行います。

- (1) 「プリント設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 入力欄は、カーソルをおいて入力します。
- (3) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の[OK] をクリックします。
- (5) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Webサービス設定>スキャン設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔スキャン設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the Konica Minolta Web Service Connection interface. At the top, there's a header with the Konica Minolta logo, a user icon labeled '管理者' (Administrator), and a 'ログアウト' (Logout) button. Below the header, it says 'Web Connection' and '機種名: bizhub PRO 1200'. There's a status bar with icons for 'スキャン準備完了' (Scan ready) and 'パネルロック/管理モード' (Panel lock/Management mode). The main menu on the left includes 'メンテナンス' (Maintenance), 'セキュリティ' (Security), 'ボックス' (Box), 'プリンター設定' (Printer settings), 'スキャナー' (Scanner), and 'ネットワーク' (Network). The 'スキャナー' menu is expanded, showing options like 'TCP/IP設定', '時刻補正設定', 'E-mail設定', 'IPP設定', 'FTP設定', 'SNMP設定', 'SMB設定', 'Webサービス設定' (selected), 'Webサービス設定', 'プリント設定', 'スキャン設定' (selected), 'Bonjour設定', 'NetWare設定', 'AppleTalk設定', 'OpenAPI設定', 'TCP Socket設定', and 'JSP設定'. The 'スキャン設定' (Scan Settings) page is displayed, featuring a '有効' (Valid) dropdown menu, a 'スキャン機能' (Scan function) label, a 'スキャナー名*' (Scanner name) field with the value 'JM1272N311C', a 'スキャナー設置場所*' (Scanner location) field, and a 'スキャナー情報*' (Scanner information) field with the value 'KONICA MINOLTA bizhub PRO 1200'. There are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

Webサービスのスキャン機能に関する設定を行います。

- (1) 「スキャン設定」のプルダウンメニューから〔有効〕または〔無効〕を選択します。
- (2) 入力欄は、カーソルをおいて入力します。
- (3) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。
- (5) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ Bonjour 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔Bonjour 設定〕をクリックすると表示されます。



Bonjour の設定を行います。

- (1) 「Bonjour」のプルダウンメニューから〔許可〕または〔禁止〕を選択します。
- (2) 「Bonjour 名」の入力欄に任意の名前を入力します。半角英数字記号を63字まで入力できます。
- (3) 「OK」をクリックします。
 「キャンセル」をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の「OK」をクリックします。

■ NetWare 設定 > NetWare 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔NetWare 設定〕をクリックすると表示されます。

The screenshot shows the 'NetWare 設定' (NetWare Settings) screen. The left sidebar contains a list of menu items: TCP/IP 設定, 時刻補正 設定, E-mail 設定, IPP 設定, FTP 設定, SNMP 設定, SMB 設定, Webサービス 設定, Bonjour 設定, NetWare 設定 (highlighted), NetWare 設定, NetWare 設定, AppleTalk 設定, OpenAPI 設定, TCP Socket 設定, and JSP 設定. The main area is titled 'NetWare 設定' and contains the following settings:

- IP 設定*: 無効 (dropdown menu)
- イーサネットフレームタイプ*: 自動検出 (dropdown menu)
- NetWare プリントモード*: 無効 (dropdown menu)
- PServer 設定:
 - プリントサーバー名*: KMST25A31C (text field)
 - ☐ パスワードを変更する
 - プリントサーバーパスワード*: (text field)
- ポーリング间隔*: 1 秒 (1-65535) (text field)
- Bindery/NDS 設定*:
 - Bindery:
 - ファイルサーバー名*: (text field)
 - NDS:
 - NDS コンテナ名*: (text field)
 - NDS ツリー名*: (text field)
- Printer/Printer 設定:
 - プリントサーバー名*: KMST25A31C (text field)
 - プリンター番号*: 255 (0-255 自動) (text field)

At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

NetWare 設定に関する設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-8をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (4) *印がついた項目の設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ NetWare 設定 > NetWare 状態

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔NetWare 状態〕をクリックすると表示されます。



NetWare 接続の状態を表示します。

- **サーバー名**
NetWare 接続で検出されたサーバー名を表示します。
- **キュー名**
検出されたキュー名を表示します。

■ AppleTalk 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔AppleTalk 設定〕をクリックすると表示されます。



AppleTalk の設定を行います。

- (1) 「AppleTalk 設定」のプルダウンメニューから〔許可〕または〔禁止〕を選択します。
- (2) 入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章ネットワーク設定のp. 8-12をごらんください。
- (3) [OK] をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (4) 設定完了画面の [OK] をクリックします。
- (5) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ OpenAPI 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔OpenAPI 設定〕をクリックすると表示されます。



拡張アプリケーションI/F (OpenAPI)の設定を行います。

- (1) 「ポート番号」の入力欄に任意の番号を入力します。
- (2) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。

■ TCP Socket 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔TCP Socket 設定〕をクリックすると表示されます。



TCP Socketの設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-13をごらんください。
- (2) 〔OK〕をクリックします。
〔キャンセル〕をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の〔OK〕をクリックします。
- (4) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

■ JSP 設定

この画面は〔ネットワーク〕タブのメニュー〔JSP 設定〕をクリックすると表示されます。



Tomcatサーバに接続するための初期設定を行います。

- (1) 各項目のプルダウンメニューから任意の機能を選択します。入力欄は、カーソルをおいて入力します。各項目に関しては、第8章 ネットワーク設定のp. 8-15をごらんください。
- (2) [OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、設定されず設定内容は削除されます。
- (3) 設定完了画面の[OK] をクリックします。
- (4) 設定を変更した場合は、本体の電源を入れ直します。

付 録

文字入力のしかた

文字を入力できる項目のボタンに軽く触れると文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、ローマ字、かな漢字、カタカナの4種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字種によります。



それぞれの文字入力画面については次のページを参照してください。

- 「文字入力画面（英記号）」(p. 付録-2)
- 「文字入力画面（ローマ字）」(p. 付録-3)
- 「文字入力画面（かな漢字）」(p. 付録-4)
- 「文字入力画面（カタカナ）」(p. 付録-5)

文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



英記号

文字入力画面（英記号）に切り替わります。

かな漢字

文字入力画面（かな漢字）に切り替わります。

ローマ字

文字入力画面（ローマ字）に切り替わります。

カタカナ

文字入力画面（カタカナ）に切り替わります。



カーソル位置が移動します。

削除

カーソルのひとつ前の文字を削除します。

OK

入力した文字を確定し、文字入力画面が閉じます。

キャンセル

入力した文字を解除し、文字入力画面が閉じます。

文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

1 該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。

- 英記号は、**Shift** キーで大文字、小文字を切り替えます。
- かな漢字は、**変換** / **無変換** でひらがな、漢字の入力を切り替えます。
- カタカナは、**全角** / **半角** で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。

2 **OK** を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

■ 文字入力画面（英記号）

アルファベット、記号を入力できます。コンピューターのキーボードの配列と同じ文字の並びです。



Shift

大文字、小文字を切り替えます。

■ 文字入力画面（ローマ字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、**変換** または **無変換** で確定されるまで反転表示されます。



Shift

大文字、小文字を切り替えます。

変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ローマ字入力で入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、**OK** を押します。変換候補が 6 以上ある場合は、漢字変換画面を切り替えて全ての候補が表示できます。

先頭

複数ページの変換候補があった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

複数ページの変換候補があった場合、前のページの変換候補に切り替わります。

次候補

複数ページの変換候補があった場合、次のページの変換候補に切り替わります。

最後

複数ページの変換候補があった場合、最後ページの変換候補に切り替わります。



■ 文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、**変換** または **無変換** で確定されるまで反転表示されます。



変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、**OK**を押します。変換候補が6以上ある場合は、漢字変換画面を切り替えて全ての候補が表示できます。

先頭

複数ページの変換候補があった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

複数ページの変換候補があった場合、前のページの変換候補に切り替わります。

次候補

複数ページの変換候補があった場合、次のページの変換候補に切り替わります。

最後

複数ページの変換候補があった場合、最後ページの変換候補に切り替わります。



■ 文字入力画面（カタカナ）

カタカナを入力できます。**全角** / **半角** で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。



全角

文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

半角

文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

「デバイス」項目でインポート/エクスポートができる設定項目一覧

[1] メンテナンス

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
状態通知設定		通知先設定
		通知先アドレス
		ポート番号
		コミュニティ名
		警告
		トレイ紙補給
		ジャム発生
		PMコール
		ステープル針交換
		トナー補給
		フィニッシャー積載オーバー
		サービスコール
		パンチくず除去
		断裁くず除去
本体登録		装置名
		設置場所
		管理者名
		内線番号
		管理者アドレス
サポート情報		問い合わせ先
		問い合わせ情報
		製品情報ホームページ
		製品元ホームページ
		消耗品連絡先
		オンラインマニュアルURL

[2] セキュリティ

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
認証設定		ユーザー認証
		部門管理
		部門管理認証方式
		ユーザー認証/部門認証の連動
		ユーザーカウンター割当て数
SSL/TLS設定	証明書無効時処理	証明書無効時処理
自動ログアウト		管理者モードログアウト時間
		ユーザーモードログアウト時間

[3] プリンター設定

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
デフォルト設定	デフォルト設定	デフォルト設定ラジオボタン
		PDL設定
	基本設定	給紙トレイ
		排紙トレイ
		両面印刷
		とじ方向
		ステープル
		パンチ
		紙折り/断裁
		仕分け
		出力設定
		排紙順
		印刷部数
		ソート
		用紙サイズ
		画像の向き
		バナーオプション
		バナーページトレイ
		用紙サイズ変換
		集約/リビート
		小冊子
		無線とじ
		印字位置
		ふちなし印刷
	PCL設定	シンボルセット
		レジデントフォント
		ダウンロードフォント
		フォントサイズ
		プロポーショナルフォント
		固定幅フォント
		ライン/ページ
		CR/LFマッピング
	PS設定	PSエラー印刷
	TIFF設定	自動用紙選択
		画像位置
ジョブスプール設定		ジョブスプール設定
インターフェース設定		ネットワークタイムアウト
		USBタイムアウト
ポート別出力設定		設定番号

[4] ネットワーク

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
TCP/IP設定	TCP/IP設定	TCP/IP設定
		ネットワーク速度
		IP確定方法
		DHCP
		BootP
		ARP/PING
		AutoIP
		IPアドレス
		サブネットマスク
		デフォルトゲートウェイ
		IPv6設定
		IPv6自動設定
		IPv6グローバルアドレス
		IPv6グローバルアドレスプレフィックスレンジス
		IPv6ゲートウェイアドレス
		RAWポート番号 ポート1～6
		Dynamic DNS設定
		ホスト名
		DNSドメイン名設定
		DNSドメイン名自動取得
		DNSデフォルトドメイン名
		DNS検索ドメイン名1～3
		DNSサーバー設定
		DNSサーバー自動取得
		優先DNSサーバー
		代替DNSサーバー1～2
		SLP
		LPD
	IPフィルタリング	アクセス許可アドレス設定
		開始アドレス1 ～終了アドレス1
		開始アドレス2 ～終了アドレス2
		開始アドレス3 ～終了アドレス3
		開始アドレス4 ～終了アドレス4
		開始アドレス5 ～終了アドレス5
		アクセス拒否アドレス設定
		開始アドレス1 ～終了アドレス1
		開始アドレス2 ～終了アドレス2
		開始アドレス3 ～終了アドレス3
		開始アドレス4 ～終了アドレス4
		開始アドレス5 ～終了アドレス5
	IPSec設定	IPsec設定
		IKE設定
		鍵有効時間
		Diffie-Hellman グループ
		暗号化アルゴリズム
		認証アルゴリズム
		IPsec SA設定
		確立後の破棄時間
		セキュリティープロトコル
		ESP暗号化アルゴリズム
		ESP認証アルゴリズム
		AH認証アルゴリズム
		通信相手先登録
		Perfect Forward Secrecy
		IPアドレス
		Pre-Shared Key文字列
		カプセル化モード
時刻補正設定		時刻補正設定
		NTPサーバーアドレス
		ポート番号

E-mail設定	E-mail受信(POP)	POPサーバーアドレス ログイン名 パスワード APOP認証 接続タイムアウト ポート番号 SSL/TLS使用 ポート番号(SSL/TLS)
	E-mail送信(SMTP)	E-mail送信設定 SMTPサーバーアドレス ポート番号 SSL/TLS使用 ポート番号(SSL/TLS) 接続タイムアウト 最大メールサイズ サーバー容量 認証設定 POP before SMTP POP before SMTP時間 SMTP認証 ユーザーID パスワード realm バイナリー分割 分割メールサイズ
LDAP設定	LDAP設定	LDAP使用設定
	LDAPサーバー登録	サーバーアドレス ポート番号 SSL使用設定 ポート番号(SSL) 検索ベース タイムアウト時間 検索最大表示件数 認証方式 ログイン名 パスワード ドメイン名 サーバー認証方式選択 referral設定 詳細検索初期設定 名称 E-mail 姓 名
IPP設定		IPP IPP設定ジョブ許可 プリンター名 プリンター設置場所 プリンター情報 オペレーションサポート情報 印刷ジョブ 有効ジョブ キャンセルジョブ ジョブ属性取得 ジョブ取得 プリンター属性取得 IPP認証設定 認証方式 ユーザー名 パスワード realm
	FTP送信設定	FTP送信設定 プロキシサーバーアドレス プロキシサーバーポート番号 PASVモード 接続タイムアウト ポート番号
FTP設定	FTPサーバー設定	FTPサーバー設定

SNMP設定		SNMP設定
		SNMP v1/v2c(IP)
		SNMP v3(IP)
		SNMP v1(IPX)
		UDPポート番号
		SNMP v1/v2c設定
		Read Community Name
		Write Community Name
		SNMP v3設定
		Context Name
		Discovery User Name
		Read User Name
		Security Level
		auth-password
		priv-password
		Write User Name
		Security Level
		auth-password
		priv-password
		TRAP許可設定
		認証失敗時のTRAP設定
SMB設定	WINS設定	WINS設定
		WINS自動取得設定
		WINSサーバーアドレス1~2
		ノードタイプ設定
	クライアント設定	SMB送信設定
		NTLM設定
	プリント設定	プリント設定
		NetBIOS名
		プリントサービス名
		ワークグループ
Webサービス設定	Webサービス設定	Friendly Name
		SSL設定
	プリント設定	プリント機能
		プリンター名
		プリンター設置場所
		プリンター情報
	スキャン設定	スキャン機能
		スキャナー名
		スキャナー設置場所
Bonjour設定		スキャナー情報
		Bonjour設定
NetWare設定	NetWare設定	Bonjour名
		IPX設定
		イーサネットフレームタイプ
		NetWareプリントモード
		PServer設定
		プリントサーバー名
		プリントサーバーパスワード
		ポーリング間隔
		Bindery/NDS設定
		ファイルサーバー名
		NDSコンテキスト名
		NDSツリー名
		Nprinter/Rprinter設定
		プリントサーバー名
		プリンター番号
AppleTalk設定		AppleTalk設定
OpenAPI設定		プリンター名
		ゾーン名
		ポート番号
TCP Socket設定		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
		TCP Socket設定
		ポート番号
		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
		TCP Socket(ASCII Mode)
		ポート番号(ASCII Mode)

JSP設定		JSP設定
		ポート番号
		SSL/TLS使用
		ポート番号(SSL/TLS)
		ユーザーID
		パスワード

「カウンター」でエクスポートができる設定項目一覧

・カウンターを選択してエクスポート可能な項目

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
メンテナンス - カウンター		トータルカウンター
		両面トータルカウンター
		原稿枚数カウンター
		使用用紙枚数カウンター
		コピートータルカウンター
		コピートータルカウンター大サイズ
		プリンターカウンタートータル
		プリンターカウンター大サイズ
		スキャンカウンタートータル
		スキャンカウンター 大サイズ

「ユーザー登録」でインポート/エクスポートができる設定項目一覧

[1] セキュリティ

メインメニュー	サブメニュー	画面上の該当項目
ユーザー登録		登録No.
		ユーザー名
		ユーザーパスワード
		所属部門
		機能制限
部門登録		登録No.
		部門名
		パスワード
		上限設定
認証設定		ユーザー認証
		部門管理
		部門管理認証方式
		ユーザー認証/部門認証の連動
		ユーザーカウンター割当て数



KONICA MINOLTA



Adobe® PostScript®

3016.102

リュウミンL-KL™ 中ゴシックBBB™

Type 1 Fonts

Total Type 1 Fonts: 0

Type 2 Fonts

Albertus ‡
Albertus Italic ‡
Albertus Light ‡
AntiqueOlive Bold §
AntiqueOlive Compact §
AntiqueOlive Italic §
AntiqueOlive Roman §
Arial ‡
Arial Bold ‡
Arial Bold Italic ‡
Arial Italic ‡
ITC AvantGarde Gothic Book *
ITC AvantGarde Gothic Book Oblique *
ITC AvantGarde Gothic Demi *
ITC AvantGarde Gothic Demi Oblique *
Bodoni
Bodoni Bold
Bodoni Bold Italic
Bodoni Italic
Bodoni Poster
Bodoni Poster Compressed
ITC Bookman Demi *
ITC Bookman Demi Italic *
ITC Bookman Light *
ITC Bookman Light Italic *
Carta *
Clarendon ‡
Clarendon Bold ‡
Clarendon Light ‡
CooperBlack
CooperBlack Italic
Copperplate Gothic 33BC
Copperplate Gothic 32BC

Coronet **
Courier
Courier Bold
Courier Bold Oblique
Courier Oblique
Eurostile **
Eurostile Bold **
Eurostile Bold Extended Two **
Eurostile Extended Two **
GillSans ‡
GillSans Bold ‡
GillSans Condensed Bold ‡
GillSans Bold Italic ‡
GillSans Condensed ‡
GillSans Extra Bold ‡
GillSans Italic ‡
GillSans Light ‡
GillSans Light Italic ‡
Goudy Oldstyle
Goudy Bold
Goudy Bold Italic
Goudy ExtraBold
Goudy Oldstyle Italic
Helvetica ‡
Helvetica Bold ‡
Helvetica Bold Oblique ‡
Helvetica Condensed ‡
Helvetica Condensed Bold ‡
Helvetica Condensed Bold Oblique ‡
Helvetica Condensed Oblique ‡
Helvetica Narrow ‡
Helvetica Narrow Bold ‡
Helvetica Narrow Bold Oblique ‡
Helvetica Narrow Oblique ‡
Helvetica Oblique ‡
HoeflerText Ornaments ◊
Joanna ‡
Joanna Bold ‡

Joanna Bold Italic ‡
Joanna Italic ‡
LetterGothic
LetterGothic Bold
LetterGothic Bold Slanted
LetterGothic Slanted
ITC Lubalin Graph Book *
ITC Lubalin Graph Book Oblique *
ITC Lubalin Graph Demi *
ITC Lubalin Graph Demi Oblique *
Marigold *
ITC Mona Lisa Recut *
New Century Schoolbook Bold ‡
New Century Schoolbook Bold Italic ‡
New Century Schoolbook Italic ‡
New Century Schoolbook Roman ‡
NewYork ◊
Optima ‡
Optima Bold ‡
Optima Bold Italic ‡
Optima Italic ‡
Oxford *
Palatino Bold ‡
Palatino Bold Italic ‡
Palatino Italic ‡
Palatino Roman ‡
Stempel Garamond Bold ‡
Stempel Garamond Bold Italic ‡
Stempel Garamond Italic ‡
Stempel Garamond Roman ‡
ITC Symbol *
Tekton *
Times Bold ‡
Times Bold Italic ‡
Times Italic ‡
Times Roman ‡
Times New Roman ‡
Times New Roman Bold ‡

Times New Roman Bold Italic ‡
Times New Roman Italic ‡
Univers ‡
Univers Bold ‡
Univers Bold Oblique ‡
Univers Oblique ‡
Univers Light ‡
Univers Light Oblique ‡
UniversCondensed ‡
UniversCondensed Bold ‡
UniversCondensed Bold Oblique ‡
UniversCondensed Oblique ‡
UniversExtended ‡
UniversExtended Bold ‡
UniversExtended Bold Oblique ‡
UniversExtended Oblique ‡
ITC ZapfChancery Mediumitalic *
ITC ZapfDingbats *

Total Type 2 Fonts: 127

Type 14 Fonts

Total Type 14 Fonts: 0

Type 42 Fonts

Apple Chancery ◊
Chicago ◊
Geneva ◊
HoeflerText Black ◊
HoeflerText Black Italic ◊
HoeflerText Italic ◊
HoeflerText ◊
Monaco ◊
Wingdings *

Total Type 42 Fonts: 9



Adobe (アドビ), Adobeロゴ, PostScript (ポストスクリプト)および PostScriptロゴは
Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の各国での登録商標または商標です。
リュウミンL-KL、中ゴシックBBBは株式会社モリサワの商標です。

* registered trademark of Adobe Systems Incorporated
* trademark of AlphaOmega Typography
◊ trademark of Apple Computer, Inc.
** registered trademark of Ludlow Type Foundry
* registered trademark of International Typeface Corporation
‡ trademark of Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries
§ registered trademark of Marcel Olive
* trademark of Microsoft Corporation
‡ trademark of The Monotype Corporation
** trademark of Nebiolo



KONICA MINOLTA

pcl font list

PCL Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Orient	Escape Sequence	Font#	FontID
Courier	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	I-0	
CG Times	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4101T	I-1	
CG Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4101T	I-2	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4101T	I-3	
CG Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4101T	I-4	
CG Omega	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4113T	I-5	
CG Omega Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4113T	I-6	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4113T	I-7	
CG Omega Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4113T	I-8	
<i>Coronet</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4116T	I-9	
Clarendon Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4140T	I-10	
Univers Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4148T	I-11	
Univers Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4148T	I-12	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4148T	I-13	
Univers Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4148T	I-14	
Univers Med. Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s0b4148T	I-15	
Univers Bold Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4148T	I-16	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s0b4148T	I-17	
Univers Bold Cond. It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s3b4148T	I-18	
Antique Olive	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4168T	I-19	
Antique Olive Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4168T	I-20	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4168T	I-21	
Garamond Antiqua	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4197T	I-22	
Garamond Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4197T	I-23	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4197T	I-24	
Garamond Kursiv Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4197T	I-25	
<i>Marigold</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4297T	I-26	
Albertus Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s1b4362T	I-27	
Albertus Extra Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s4b4362T	I-28	
Arial	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b16602T	I-29	
Arial Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b16602T	I-30	
<i>Arial Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b16602T	I-31	



KONICA MINOLTA

pcl font list

Arial Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b16602T	I-32
Times New Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b16901T	I-33
Times New Roman Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b16901T	I-34
<i>Times New Roman Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b16901T	I-35
Times New Roman Bold It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b16901T	I-36
Helvetica	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24580T	I-37
Helvetica Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b24580T	I-38
<i>Helvetica Oblique</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24580T	I-39
Helvetica Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b24580T	I-40
Helvetica Narrow	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s0b24580T	I-41
Helvetica Narrow Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b24580T	I-42
<i>Helvetica Narrow Oblique</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s0b24580T	I-43
Helvetica Narrow Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s3b24580T	I-44
Palatino Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24591T	I-45
Palatino Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b24591T	I-46
<i>Palatino Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24591T	I-47
Palatino Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b24591T	I-48
ITC Avant Garde Gothic Book	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24607T	I-49
ITC Avant Garde Gothic Demi	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s2b24607T	I-50
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24607T	I-51
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s2b24607T	I-52
ITC Bookman Light	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s-3b24623T	I-53
ITC Bookman Demi	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s2b24623T	I-54
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s-3b24623T	I-55
ITC Bookman Demi Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s2b24623T	I-56
New Century Schoolbook Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24703T	I-57
New Century Schoolbook Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b24703T	I-58
<i>New Century Schoolbook Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24703T	I-59
New Century Schoolbook Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b24703T	I-60
Times Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b25093T	I-61
Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b25093T	I-62
<i>Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b25093T	I-63
Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b25093T	I-64



PCLXL Only Internal Fonts

付録

PostScript® Fonts

abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨
abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨

[illegible]

PostScript® Fonts

Eurostile Bold **
Eurostile Bold Extended Two **
Eurostile Extended Two **
Geneva □
GillSans ‡
GillSans Bold ‡
GillSans Condensed Bold ‡
GillSans Bold Italic ‡
GillSans Condensed ‡
GillSans Extra Bold ‡
GillSans Italic ‡
GillSans Light ‡
GillSans Light Italic ‡
Goudy Oldstyle
Goudy Bold
Goudy Bold Italic
Goudy ExtraBold
Goudy Oldstyle Italic
Helvetica †
Helvetica Bold †
Helvetica Bold Oblique †
Helvetica Condensed †
Helvetica Condensed Bold †
Helvetica Condensed Bold Oblique †
Helvetica Condensed Oblique †
Helvetica Narrow †
Helvetica Narrow Bold †
Helvetica Narrow Bold Oblique †
Helvetica Narrow Oblique †
Helvetica Oblique †
HoeflerText Black □
HoeflerText Black Italic □
HoeflerText Italic □
HoeflerText Ornaments □
HoeflerText □
Joanna ‡
Joanna Bold ‡
Joanna Bold Italic ‡
Joanna Italic ‡
LetterGothic
LetterGothic Bold
LetterGothic Bold Slanted
LetterGothic Slanted
ITC Lubalin Graph Book *

[illegible]

PostScript® Fonts

ITC Lubalin Graph Book Oblique*
ITC Lubalin Graph Demi*
ITC Lubalin Graph Demi Oblique*
Marigold*
ITC Mona Lisa Recut*
Monaco □
New Century Schoolbook Bold †
New Century Schoolbook Bold Italic †
New Century Schoolbook Italic †
New Century Schoolbook Roman †
NewYork □
Optima †
Optima Bold †
Optima Bold Italic †
Optima Italic †
Oxford*
Palatino Bold †
Palatino Bold Italic †
Palatino Italic †
Palatino Roman †
Stempel Garamond Bold †
Stempel Garamond Bold Italic †
Stempel Garamond Italic †
Stempel Garamond Roman †
ITC Symbol*
Tekton*
Times Bold †
Times Bold Italic †
Times Italic †
Times Roman †
Times New Roman ‡
Times New Roman Bold ‡
Times New Roman Bold Italic ‡
Times New Roman Italic ‡
Univers †
Univers Bold †
Univers Bold Oblique †
Univers Oblique †
Univers Light †
Univers Light Oblique †
UniversCondensed †
UniversCondensed Bold †
UniversCondensed Bold Oblique †
UniversCondensed Oblique †

[illegible]

PostScript® Fonts

UniversExtended †
UniversExtended Bold †
UniversExtended Bold Oblique †
UniversExtended Oblique †
Wingdings *
ITC ZapfChancery MediumItalic *
ITC ZapfDingbats *

[illegible]

Adobe (アドビ), Adobeロゴ, PostScript (ポストスクリプト)および PostScriptロゴは Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ 社)の各国での登録商標または商標です。 Times, Helvetica and Palatinoは Linotype-Hell AGおよび関連会社の商標です。 ITC Avant Garde, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery and ITC Zapf Dingbatsは International Typeface Corporationの登録商標です。 リュウミェン-LX, 中ゴシックBBBは株式会社モリサワの商標です。

用語	内容
10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernetの規格における仕様の一種。 銅でできた線材を2本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は10Base-Tが10Mbps、100Base-TX が100Mbps、 1000Base-Tは1000Mbpsである。
APOP	Authenticated Post Office Protocolの略。通常のPOPが電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。 DHCPサーバーでDHCPクライアント用にIPアドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name Systemの略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応するIPアドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくいIPアドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
FTP	File Transfer Protocolの略。インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocolの略。Webサーバーとクライアント(Webブラウザなど)がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IPP	Internet Printing Protocolの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPアドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号(アドレス)。192.168.1.10のように最大3桁の数字4つで表される。コンピュータを始めとしてインターネットに接続した機器には、全てIPアドレスが割り振られる。
Java	Sun Microsystems社が開発したプログラミング言語。 ハードウェアやOSに依存せずに動作する。 ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、JavaVirtual Machine (Java VM) と呼ばれる動作環境が必要である。
LAN	Local Area Networkの略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocolの略。インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。 WindowsNT系、UNIX系におけるネットワーク経由印刷の1種。 TCP/IPを使って、Windows、UNIXからの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
NDS	Novell Directory Serviceの略。 ネットワーク上に存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワークOS。 通信プロトコルにNetWare IPX/SPXを使用している。

用語	内容
OS (オーエス)	Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の1つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の1つ(拡張子は.pdf)。PostScriptをベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Readerという無料ソフトを使用して閲覧できる。
ping	Packet INternet Groperの略。TCP/IPネットワーク環境で相手の機器との通信状況を確認するのに利用するコマンドのこと。
POP	Post Office Protocolの略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在はPOPのバージョン3であるPOP3が主に使われている。
Proxy Server	Internetとの接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバーのこと。
Pserver	Netware環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
SMB	Server Message Blockの略。主にWindows間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocolの略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略。TCP/IPを使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Securityの略。Webサーバーとブラウザ間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。 個々のネットワーク機器を識別するために、IPアドレスを使用する。
TIFF	Tagged Image File Formatの略。 画像データを保存するファイル形式の1つ(拡張子は.tif)。データの型を表す「タグ」によって、1つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
ウェブブラウザ	Webページを閲覧するためのソフトウェアのこと。Internet Explorerや、Netscape Navigatorなどがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源をOFFしても、データが保持される。
プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
ポート番号	ネットワーク上のコンピューター内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使うことはできない。
メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。 電源をOFFした時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

索引

アルファベット

ADF 自動サイズ選択	5-47
ADF 自動倍率	5-47
ADF 枠消し設定	5-62
APS 解除時のトレイ指定	5-47
ATS 許可	5-29
ATS 設定	5-30
E-Mail 送信先の変更／削除	5-94
FTP 送信先の変更／削除	5-95
HDD 送信先の変更／削除	5-94
HDD 保存データ自動削除期間設定	9-5
HDD ロックパスワード変更	9-6
I/F タイムアウト	4-13
IP アドレス	8-2
PCL 設定	4-7
PFU 予備乾燥設定	5-31
PS 設定	4-7、4-10
SMB 送信先の変更／削除	5-96
TIFF 設定	4-7、4-10
Web Utilities 設定	10-1
E-mail データ	10-19
E-mail データの設定データ	10-23
FTP データの設定データ	10-24
FTP (FTP server address) データ	10-19
HDD データの設定データ	10-23
HDD (box No.) データ	10-19
SMB データ	10-19
SMB データの設定データ	10-24
Web Utilities について	10-2
設定データ作成／編集の個別ルール	10-23
設定データを転送する	10-19
設定ファイル作成／編集の共通ルール	10-23
登録済み部門管理データの編集	10-3
登録済み部門管理データをブラウザで編集する	10-5
ネットワークスキャナーの設定をする	10-14
部門管理データ登録	10-3
部門管理データの設定データ	10-23
部門管理データ編集をする	10-3
部門管理データをブラウザで新規登録する	10-3

数字・記号

1SHOT メッセージ表示時間	5-18
1 枚送り自動設定	5-91

あ行

宛先登録変更	5-58
宛先編集／削除	5-93
色紙	5-32
インデックス紙	2-10
ウィークリータイマー使用設定	6-3
ウィークリータイマーの基本条件	6-2
薄文字	5-38
エキスパート調整	5-61、5-62、5-63、5-64
追い刷り紙	2-4
オートシャットオフ	5-53

オートリセット設定	5-20
オートローパワー	5-53
オフセット	5-79

か行

回線速度設定	8-2
各種リセット設定	5-45
画像濃度選択	5-41
環境設定	5-14
監査ログレポート	5-56
管理者登録	5-78
管理者パスワード	9-2
管理者／本体登録	5-78
管理リストプリント	5-55
キー応答時間	5-21
キーカウンター	5-46
機能設定	5-28
基本設定	4-7、4-8
給紙トレイ	5-28
給紙トレイ自動選択	5-28
グループの削除	5-96
くるみ制限枚数設定	5-71
くるみ製本設定	5-70
ゲートウェイアドレス	8-2
原稿外消去	5-63
原稿外消去する	5-61
原稿画質の濃度シフト	5-38
原稿ガラス 1 枚排紙方法	5-90
原稿ガラス最小サイズ設定	5-65
原稿ガラス自動サイズ選択	5-47
原稿ガラス自動倍率	5-47
原稿ガラス等倍を除き消去	5-61
原稿サイズ検知	5-65
原稿／出力のとじ方向合わせ	5-47
原稿セット／とじ方向	5-47
原稿濃度	5-63
原稿読取り領域設定	5-61
言語設定	5-14
現在時刻	5-54
コピーカード挿入イニシャル	5-46
コピー設定	5-43
コピー／プリンター設定	5-79
コピー予約の操作性	5-87
個別機能切替え	5-33、5-47
個別機能切替え設定	5-51

さ行

サービスポート機器設定	5-73
サイズ設定	5-65
サブネットマスク	8-2
サマータイム	5-54
時間外使用パスワード設定	6-8
時差設定	5-54
システム連携	5-92
自動画像回転	5-85

自動サイズ／自動倍率時のみ	5-61
自動選択の有無	5-28
自動用紙種類	5-32
写真	5-38
写真モード濃度選択	5-40
シャドウ部 (最高濃度)	5-41
使用可能坪量選択	5-70
使用管理リスト	5-55
消去方法	5-63
小冊子時のページ印刷位置	5-82
上質紙	2-4
初期設定	5-43
ジョブオフセット動作	5-79
スキャン画質調整	5-64
スキャン機能選択 (E-Mail)	5-58
スキャン機能選択 (FTP)	5-58
スキャン機能選択 (HDD)	5-58
スキャン機能選択 (SMB)	5-58
スキャン設定	4-15、5-49
スキャン送信先登録	5-93
ステープルオートリセット	5-47
スプール設定	4-12
セキュリティ強化モード	9-10
セキュリティ設定	9-2
設定番号	4-7
設定メニュー画面	5-2
設定メモリーリスト	5-55
設定メモリーロック／削除設定	5-58
全カウントをリセットする	7-9、7-12

た行

タイマー予約時刻設定	6-4
タッチ音	5-16
タッチパネル	5-52
タッチパネル調整	5-52
単位系設定	5-15
チャート調整	2-3
坪量	2-2、2-5、2-34、5-32
定形サイズ	2-7
停止時ブザー設定	5-17
デフォルト画面設定	5-19
デフォルト送信先設定	5-49
動作日設定	6-6
登録オーバーレイ変更	5-58
登録濃度設定	5-39
登録倍率設定	5-42
登録倍率変更	5-58
塗工紙	2-4
とじしろ量	5-34
トレイ引抜きによる読み込み禁止	5-88
トレイ優先順位	5-28

な行

中とじ／重ね中折り時小冊子	5-47
認証設定	7-3

認証方式	7-3
ネットワーク設定	8-2
濃度設定	5-38、5-40、5-41

は行

パスワード入力タイミング	7-3
パワーセーブ機能選択	5-53
パワーセーブ設定	5-53
パンチ穴	2-34、5-32
表紙長さ不適切時一時停止設定	5-72
表裏調整	2-3、2-35
昼休み OFF する	6-7
昼休みオフ機能設定	6-7
ファイルフォーム	5-51
ファイルフォーム設定 (E-Mail)	5-51
ファイルフォーム設定 (FTP)	5-51
ファイルフォーム設定 (HDD)	5-51
ファイルフォーム設定 (SMB)	5-51
フォルダー・ボックス詳細／削除	9-3
フォントパターンリスト	5-56
ブザー ON/OFF、音量設定	5-16
ブザー設定	5-16
普通紙	2-4
不定形サイズ	2-8
部門管理	7-7
部門管理設定	7-5
部門データを削除する	7-9
部門データを追加する	7-8
部門データを変更する	7-8
部門認証	7-3
部門振分け数	7-3
部門名入力	7-3
部門名のカウントをリセットする	7-9
プリンター設定	4-7
プリント前定着予備回転設定	5-83
フルオート	5-43
フルオート時のフィニッシャーモード	5-45
ポート別出力設定	4-11
本体 NIC 設定	8-2

ま行

マルチモニター	10-11
未印字挿入紙	2-4
未登録ユーザー／部門出力設定	7-13
文字	5-38
文字／写真	5-38

や行

ユーザー管理リスト	5-55
ユーザー登録を削除する	7-12
ユーザー登録を追加する	7-12
ユーザー認証設定	7-10
ユーザー認証／部門管理	7-2
ユーザーパスワード変更	5-22

ユーザー発信.....	5-92
ユーザー名のカウントをリセットする.....	7-12
ユーザ登録を変更する.....	7-11
ユーザ認証.....	7-3
ユーザ認証／部門認証連動.....	7-3
用紙種類.....	2-2、2-33、5-32
用紙条件.....	2-2
用紙名称.....	2-2
曜日別一括設定.....	6-5

ら行

ラフ紙.....	2-4
リセット機能任意設定.....	5-45
リセット時の原稿ガラス／ ADF 状態保持 ..	5-47
リセット設定.....	5-43
リセットボタン設定.....	5-45
リモートパネル.....	10-11
リモートモニター.....	10-11
レポートタイプ.....	4-6
連続運転.....	6-7
連続プリント (コピー).....	5-89
連続プリント (プリンター).....	5-81
連量.....	2-5

わ行

ワイド紙.....	2-9
割込み停止方法.....	5-86

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	
電話番号	
担当部門	
担当者	

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

A0G6956100

2009 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

2009. 4